



Satera

LBP322i / LBP321

ユーザーズガイド

もくじ

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10
基本操作	14
おもな機能のご紹介	16
各部の名称とはたらき	17
本体前面	18
本体背面	20
本体内部	22
手差しトレイ	23
給紙カセット	24
操作パネル	25
ディスプレイ	28
操作パネルを使う	30
文字を入力する	33
電源を入れる／切る	35
本機を高速起動する	38
用紙をセットする	40
給紙カセットにセットする	42
手差しトレイにセットする	48
封筒・はがきをセットする	51
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	55
用紙サイズと種類を設定する	59
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	60
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	62
節電する	64
スリープモードにする	65
オートシャットダウンを設定する	68
印刷する	72
パソコンから印刷する	73
用紙名称を設定する	76
印刷を中止する	79
いろいろな印刷方法	81
USB メモリーから印刷する（メディアプリント）	83
よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）	92
暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）	94

暗号化セキュアプリントを使う	97
文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）	98
本機に保存した文書を削除する	102
ボックスに名前や暗証番号を設定する	106
ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）	109
ダイレクトプリントの印刷設定	112
E メールを受信して印刷する（E メール印刷）	119
メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）	125

モバイル機器と便利に連携 129

モバイル機器と接続する	130
アプリを使って本機を活用する	131
AirPrint を使う	133
AirPrint で印刷する	137
AirPrint を使用できないときは	140
Google Cloud Print を使う	141
本機を遠隔管理する	145

ネットワーク 147

ネットワークに接続する	148
有線 LAN に接続する	150
IP アドレスを設定する	152
IPv4 アドレスを設定する	153
IPv6 アドレスを設定する	158
パソコンから印刷するための設定をする	162
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	163
IPP/IPPS を使用する	169
印刷ポートの設定をする	176
プリントサーバーを設定する	179
使用するネットワーク環境に合わせる	183
イーサネットの設定をする	184
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	186
DNS の設定をする	187
WINS の設定をする	193
SNTP の設定をする	196
SNMP で監視／制御する	199
デバイス管理ソフトウェアの設定をする	205
SMB の設定をする	209
印刷を行うパソコンの設定をする	213

セキュリティ 217

不正な使用を防止する	218
不正アクセス防止対策について	219
アクセス権限を設定する	221
管理者パスワードを設定する	222

部門別 ID 管理をする	225
リモート UI の暗証番号を設定する	233
ファイアウォールで通信制限する	235
IP アドレスでファイアウォールを設定する	236
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	242
プロキシを設定する	246
機能を制限する	249
印刷動作を制限する	250
USB の使用を制限する	254
操作パネルの使用を制限する	258
HTTP 通信を無効にする	261
リモート UI を無効にする	262
LAN ポートが無効にする	263
印刷履歴を非表示にする	264
強固なセキュリティー機能を導入する	266
TLS で暗号化通信をする	268
IPSec の設定をする	273
IEEE 802.1X 認証の設定をする	284
鍵ペアと電子証明書の設定をする	290
鍵ペアを生成する	291
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	300
鍵ペアと CA 証明書を検証する	304
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ）	306
証明書の発行要求状況にエラーが表示された（LBP322i のみ）	311

リモート UI を使う 314

リモート UI を起動する	315
リモート UI の画面	318
待機中の文書や本機の状態を確認する	324
一般ユーザーが文書进行操作できるようにする	330
本機の設定を変更する	333
設定データの保存／読み込みをする	335
設定データを保存する	336
設定データを読み込む	338

設定メニュー一覧 341

セットアップメニュー	342
拡張機能	343
給紙	356
ネットワーク	357
レイアウト	379
印字調整	383
インターフェイス	387
ユーザーメンテナンス	390
動作モード	404

動作モード専用の設定	407
LIPSLX 設定	408
LIPS4 設定	409
ESC/P 設定	424
Imaging 設定	437
XPS 設定	444
PDF 設定	448
MEAP 設定	452
カウンター確認	454
パネル設定初期化	455
ユーティリティーメニュー	456
ジョブメニュー	463
リセットメニュー	465
給紙選択メニュー	468

困ったときは (Q&A)	476
-------------------------------	------------

メンテナンス	478
---------------------	------------

日常のお手入れ	480
本体	481
定着器	482
トナーカートリッジの交換	483
本機を移動する	489
印刷品質を調整する	491
印刷濃度を調整する	492
印字位置を調整する	494
レポートとリストをプリントする	499
印刷ページ数を確認する	510
消耗品を確認する	513
設定を初期化する	515
メニューを初期化する	516
ネットワーク設定を初期化する	517
無償保証や保守サービスについて	518
無償保証について	519
キヤノンサービスパック (CSP)	520
キヤノン・ケア・ギャランティ (CCG)	522
NETEYE について	523
本機を準備する	524

付録	528
-----------------	------------

第三者のソフトウェアについて	529
活用術	530
節約してエコロジー	531
効率アップの使いこなし術	532

まだあるこんな使い方	534
おもな仕様	536
本体	537
用紙について	539
ペーパーフィーダー PF-C	543
環境ヒーター EH-H1	544
プリント機能	545
管理機能	549
サポート環境	553
ネットワーク環境	554
消耗品	555
オプションについて	557
オプション機器について	558
システムオプションについて	559
ROM を取り付ける	561
SD カードを取り付ける	565
マニュアルの種類と内容	570
ユーザーズガイドの使いかた	571
ユーザーズガイドの画面構成	572
ユーザーズガイドの読みかた	575
MEAP アプリケーションを管理する	577
FTP クライアントを使用する	578
FTP サーバーの準備をする	579
FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)	582
FTP クライアントを使用して設定する	584
その他	592
Windows の基本操作	593
メニュールートマップ	602
動作モードについて	603
自動切り替えがうまくできないとき	606
動作モードを固定する	608
ESC/P エミュレーションのページフォーマット	609
内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント	624
ダンプリスト	630
おことわり	633

安全にお使いいただくために

安全にお使いいただくために	2
設置について	3
電源について	5
取り扱いについて	7
保守／点検について	9
消耗品について	10

安全にお使いいただくために

4L33-000

お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載しています。本機をお使いになる前によくお読みいただき、正しくお使いください。また、このマニュアルに記載されていないことは行わないでください。マニュアルの記載に従わない使いかた、不適切な使いかた、弊社および弊社指定以外の第三者による修理／変更などによって生じた障害の責任は負いかねますのでご了承ください。

設置について

4L33-001

本機を安全かつ快適にお使いいただくために、次の注意事項をよくお読みいただき、適切な場所に設置してください。

警告

火災や感電の原因となる場所には設置しない

- 通気口をふさぐおそれのある場所
(壁の近く、ベッド、ソファ、毛足の長いじゅうたんの上等)
- 湿気やホコリの多い場所
- 屋外や直射日光のあたる場所
- 高温になる場所
- 火気のある場所
- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近く

その他の警告

- 本機の接続部には、定められたもの以外は接続しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- アクセサリーなどの金属や、液体の入った容器を本機の上に置かないでください。異物が内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
- オプション品を取り付けたり、取り外したりする場合は、電源を切り、電源プラグを抜き、インターフェースケーブルと電源コードを取り外してください。電源コードやインターフェースケーブルが傷つくと、火災や感電の原因になることがあります。
- 万一、本機の内部に異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。

注意

次のような場所には設置しない

- 落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
 - 不安定な場所
 - 振動のある場所



その他の注意

- 本機を持ち運ぶときは、マニュアルの指示に従って正しく持ってください。誤った持ち方をすると、落とすなどして、けがの原因になることがあります。
- 本機を設置する場合は、床面や壁との間などに手を挟まないように、ゆっくりと慎重に行ってください。手などを挟むと、けがの原因になることがあります。

注意

風通しの悪い場所には設置しない

- 本機の使用中は、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量に印刷する場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。また、本機からの排気が人体に直接当たる場所には設置しないでください。



次のような場所には設置しない

- 故障の原因になることがあります。
- 急激な温度変化や湿度変化がある場所
- 磁気や電磁波を発生する機器に近い場所
- 実験室など、化学反応が生ずる場所
- 空気中に、腐食性または毒性のガスを含んでいるような場所
- 本機の重みによってゆがみや沈みが生じる可能性のある場所（じゅうたん／畳の上など）



結露の発生する場所には設置しない

- 部屋を急に暖めたり、温度や湿度が低い場所から高い場所へ本機を移動させたりすると、本体内部に水滴（結露）が発生することがあります。そのまま使用すると紙づまり、印字不良、故障などの原因になることがありますので、2時間以上放置して周囲の温度や湿度に慣らしてからご使用ください。

海拔 3000 m 以上の高地の場合

- ハードディスクを搭載している製品は、高地（海拔 3000 m 以上）で使用すると、正常に動作できない場合があります。

電源について

4L33-002

警告

- 仕様外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードを用いて本機を確実にアース端子付きコンセントに接続してください。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 付属の電源コードは本機専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電源コードを傷つける、加工する、引っ張る、無理に曲げる、などの行為はしないでください。また、電源コードに重いものをのせないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になることがあります。
- タコ足配線をしたり、延長コードを使用したりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。電源プラグがしっかり差し込まれていないと、火災や感電の原因になることがあります。
- 雷が発生したときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災、感電、故障の原因になることがあります。

アース線を接続してください

- コンセントのアース端子に、アース線を接続してください。アース線を接続していないと、万一漏電した場合に感電の恐れがあります。コンセントにアース端子がない場合は、接地工事（D 種）が行われているアース端子に接続してください。
- アース線を接続する場合は、必ず電源プラグをコンセントに接続する前に行ってください。また、アース線を取り外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

次の場所にはアース線を絶対に接続しない

- 水道管：配管の一部がプラスチックの場合、アースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管には接続できます。
- ガス管：ガス爆発や火災の原因になることがあります。
- 電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 非常時にすぐ電源プラグが抜けるように、本機をコンセントの近くに設置し、電源プラグの周囲に物を置かないでください。



電源を接続するとき

- 電源コードを無停電電源に接続しないでください。停電発生時に誤動作や故障の原因になることがあります。
- 複数の接続口を持つコンセントに本機を接続した場合、残りの接続口にはほかの機器を接続しないでください。

- パソコン本体の補助コンセントに本機の電源コードを接続しないでください。
- 屋内漏電ブレーカーを介して配線されているコンセントの使用を推奨します。

その他の注意事項

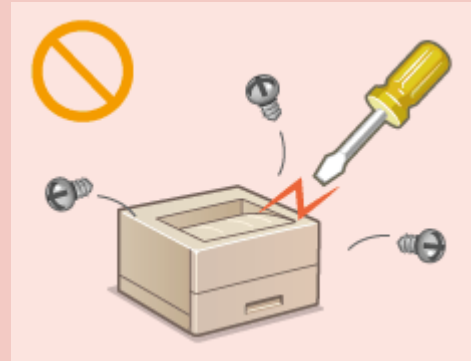
- 電氣的なノイズは、本機の誤動作、あるいはデータ消失の原因になることがあります。
- お使いの電源についてご不明な点は、電力会社またはお近くの電気店などにご相談ください。

取り扱いについて

4L33-003

警告

- 異音・異臭がする、発熱・発煙している、などの場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜き、お買い求めの販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を分解、改造しないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源コード、ケーブル類、製品内部のギア、電気部品などに子供の手が届かないよう注意してください。思わぬ事故の原因になることがあります。
- 本機の近くで可燃性スプレーなどを使用しないでください。ガスなどの異物が本機内部の電気部品などに付着すると、火災や感電の原因になることがあります。
- 本機を移動させる場合は、必ず本機とパソコンの電源を切ってから、電源プラグを抜き、インターフェイスケーブルを取り外してください。そのまま移動すると、電源コードやインターフェイスケーブルが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグをコンセントに接続している状態で USB ケーブルを抜き差しするときは、コネクタの金属部分に触れないでください。感電の原因になることがあります。

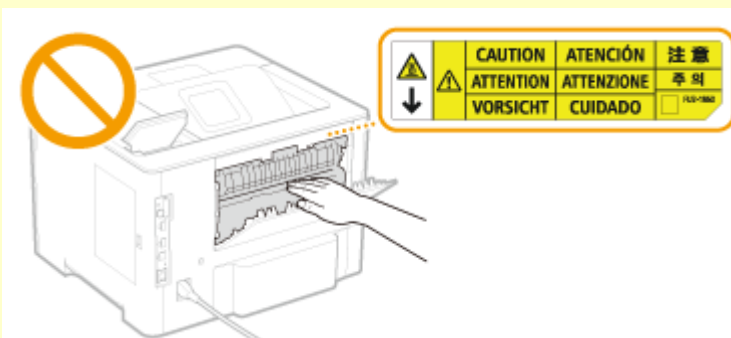


心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- 本機から微弱な磁気や超音波が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機から離れ、医師にご相談ください。

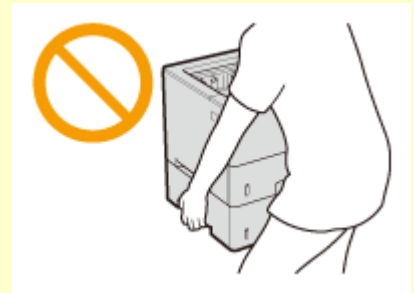
注意

- 本機の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちたりしてけがの原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 開閉部を操作するときは、手を挟まないようにしてください。けがの原因になることがあります。
- 排紙部のローラーに触らないでください。巻き込まれて、けがの原因になることがあります。
- 使用直後は、内部や排紙口が高温になります。また、連続印刷すると用紙が熱くなることがありますので、取り扱いには注意してください。やけどの原因になることがあります。



注意

- 給紙カセットやオプションのペーパーフィーダーは、取り付けた状態で持ち運ばないでください。落下してけがの原因になることがあります。



レーザー光について

- 万一、レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。

ご注意

移転や引っ越しなどで本機を輸送するとき

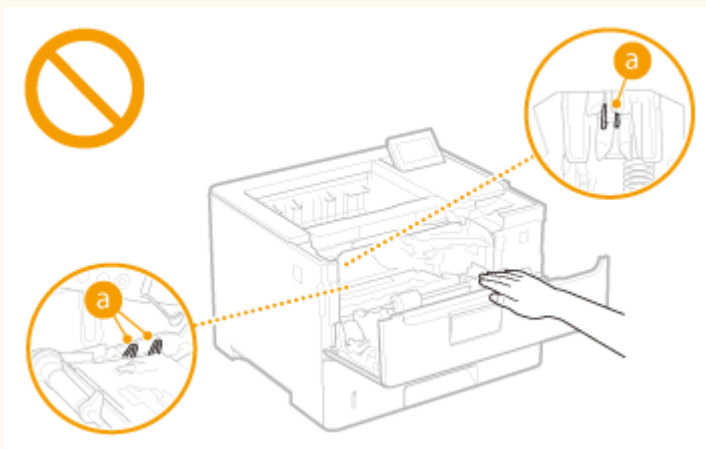
- 輸送中の破損や故障を避けるため、次のようにしてください。
- トナーカートリッジを取り外す
- 購入時のパッケージ（箱）や梱包材を使ってしっかりと梱包する

稼働音が気になる場合

- お客様の使用環境や動作モードにより、稼働音が気になる場合は、事務所とは別の場所に設置することをおすすめします。

その他の注意事項

- 本機にあるラベルなどの注意表示に従ってください。
- 本機に強い衝撃や振動を与えないでください。
- 開閉部を無理に開け閉めしないでください。故障の原因になることがあります。
- 本体内部の接点部（**a**）に触れないでください。故障の原因になることがあります。



- 印刷中は電源を切らないでください。また、カバーの開閉、用紙の出し入れも行わないでください。紙づまりの原因となります。

保守／点検について

4L33-004

定期的に本機を清掃してください。ホコリなどがたまると、正しく動作しないことがあります。

お手入れをする際は、次の内容を必ずご確認ください。操作上問題が発生したときは、困ったときはを参照してください。それでも解決しない場合や点検が必要と考えられる場合には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センターにご連絡ください。

警告

- 清掃の前に、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。これをせずに清掃作業を行うと、火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグは定期的に抜き、付着したホコリや汚れを乾いた布で拭き取ってください。ホコリが湿気を吸って電流が流れ、火災の原因になることがあります。
- 清掃のときは、水で湿らせ固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤や、ティッシュペーパー、紙タオルなどは使用しないでください。これらが内部の電気部品などに付着すると、火災や感電、静電気発生の原因になることがあります。
- 電源コードや電源プラグは定期的に点検し、発熱、錆び、曲がり、擦れ、亀裂がないかどうか確認してください。損傷した状態で使用し続けると、火災や感電の原因になることがあります。

注意

- 本体内部には高温／高電圧部分があり、むやみに手を触れるとけがややけどの原因になることがあります。マニュアルで説明されている以外の箇所に手を触れないでください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切らないように、注意してください。

ご注意

- 紙づまり処理やトナーカートリッジを交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。

消耗品について

4L33-005

警告

- トナーカートリッジなどを火中に投じないでください。また、トナーカートリッジや用紙は火気のある場所に保管しないでください。引火して、火災ややけどの原因になることがあります。
- トナーをこぼした場合は、トナー粉塵を吸いこまないよう、掃き集めるか濡れた雑巾等で拭き取ってください。掃除機を使用する場合は、粉塵爆発に対する安全対策がとられていない一般の掃除機は使用しないでください。掃除機の故障や静電気による粉塵爆発の原因になる可能性があります。

心臓ペースメーカーをご使用の方へ

- トナーカートリッジから微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらトナーカートリッジから離れ、医師にご相談ください。

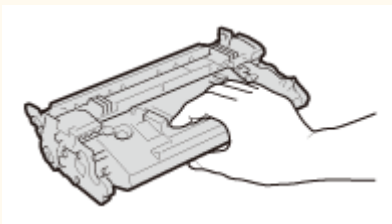
注意

- トナーを吸い込まないように注意してください。万一、吸い込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーが目や口などに入らないように注意してください。万一、トナーが目や口などに入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師に相談してください。
- トナーが皮膚に付着しないように注意してください。万一、皮膚に付着した場合は、石鹸を使って水で洗い流してください。皮膚に刺激が残る場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。万一、トナーを飲んだ場合は、直ちに医師に相談してください。
- トナーカートリッジを分解、改造しないでください。トナーが飛び散ることがあります。
- トナーカートリッジのシーリングテープを引き抜く場合は、テープを勢いよく引っ張ったり、引き抜いている途中で止めたりしないでください。トナーが飛び散ることがあります。

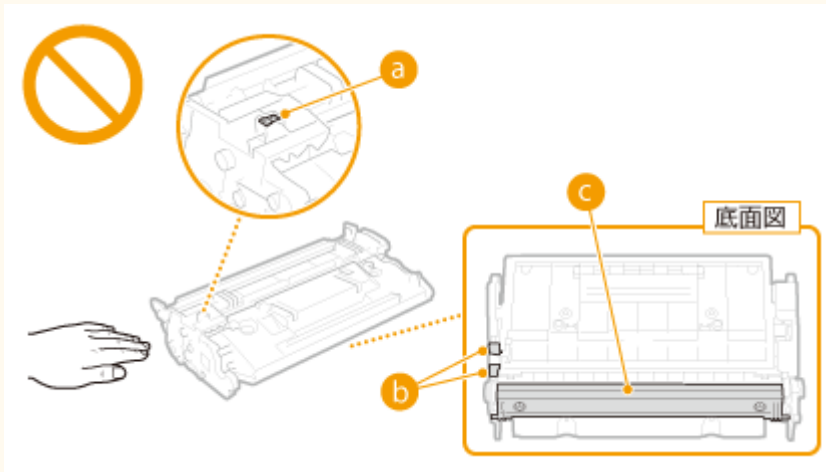
ご注意

トナーカートリッジの取り扱いかた

- 必ず取っ手を持ってください。



- トナーカートリッジメモリー (a) や電気接点部 (b) には触れないでください。また、内部のドラム表面を傷つけたり、光にさらしたりしないよう、ドラム保護シャッター (c) は開けないでください。



- 必要なとき以外は、梱包材や本機からトナーカートリッジを取り出さないでください。
- トナーカートリッジは磁気製品です。フロッピーディスクやディスクドライブなど、磁気の影響を受ける製品には近づけないでください。データ破損などの原因になることがあります。

トナーカートリッジの保管方法

- 安全かつ快適にご使用いただくために、以下の環境で保管してください。
保管温度範囲：0℃～35℃
保管湿度範囲：35％～85％RH（相対湿度／結露しないこと）*
- 使用する直前まで未開封の状態で保管してください。
- 本機からトナーカートリッジを取り外して保管する場合は、梱包材に入れてください。
- トナーカートリッジを保管する場合は、立てたり、裏返したり、逆さにしないでください。中のトナーが固まり、振っても元に戻らなくなる恐れがあります。

*保管湿度範囲内でも、外気温との差がある場合は内部に水滴が付着することがあります（結露）。結露は印字品質に悪影響を及ぼします。

トナーカートリッジを次のような場所に保管しない

- 火気のある場所
- 直射日光や電灯の光に5分以上当たる場所
- 空気中に塩分を多く含む場所
- 腐食性ガス（エアゾールスプレーやアンモニアなど）が充満している場所
- 高温多湿の場所
- 温度変化および湿度変化が激しく、結露が生じやすい場所
- ホコリの多い場所
- 幼児の手の届く場所

トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

global.canon/ctc

補修用性能部品とトナーカートリッジの保有期間

- 本機の補修用性能部品およびトナーカートリッジの最低保有期間は、製造打ち切り後7年間です。

トナーカートリッジの梱包材について

- 梱包材は保管しておいてください。本機を移動するときなどに必要になります。
- 梱包材は予告なく位置、形状が変更されたり、追加や削除されたりすることがあります。
- トナーカートリッジのシーリングテープを引き抜いた場合は、地域の条例に従って処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどを処分するとき

- 環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。トナーカートリッジの回収にご協力ください（[🔴資源再利用について\(P. 636\)](#)）。廃棄する場合は、梱包材に入れて中のトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

基本操作

基本操作	14
おもな機能のご紹介	16
各部の名称とはたらき	17
本体前面	18
本体背面	20
本体内部	22
手差しトレイ	23
給紙カセット	24
操作パネル	25
ディスプレイ	28
操作パネルを使う	30
文字を入力する	33
電源を入れる／切る	35
本機を高速起動する	38
用紙をセットする	40
給紙カセットにセットする	42
手差しトレイにセットする	48
封筒・はがきをセットする	51
ロゴなどが印刷された用紙をセットする	55
用紙サイズと種類を設定する	59
給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する	60
手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する	62
節電する	64
スリープモードにする	65
オートシャットダウンを設定する	68

基本操作

4L33-006

操作パネルの使いかたや、用紙のセット方法など、本機の各機能をお使いになるうえで共通する基本的なことからについて説明しています。



- お買い上げの機種によって搭載機能が異なります。あらかじめ、**▶おもな機能のご紹介(P. 16)** を参照してご使用になれる機能を確認してください。

■各部の名称とはたらき

本体の外観と内部について、各部の名前とそのはたらきをご紹介します。また、操作パネルの各キーの使いかたや、ディスプレイに表示される画面についても説明しています。**▶各部の名称とはたらき(P. 17)**



■操作パネルを使う

設定値を調整するときや設定内容を確定するときなど、操作パネルのどのキーをどう使うかについて説明しています。**▶操作パネルを使う(P. 30)**



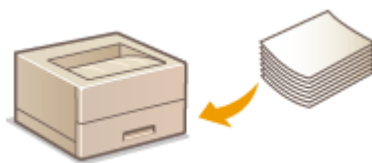
■電源を入れる／切る

電源の入れかたと切りかたを説明しています。**▶電源を入れる／切る(P. 35)**



■用紙をセットする

給紙カセットや手差しトレイに用紙をセットする方法について説明しています。▶[用紙をセットする\(P. 40\)](#)



■節電する

消費電力を抑える方法について説明しています。▶[節電する\(P. 64\)](#)



おもな機能のご紹介

4L33-007

本マニュアルは、お買い上げの機種シリーズすべての機能を網羅しております。はじめに、お買い上げの機種でどの機能が使えるのかをご確認ください。

○：機能あり ×：機能なし

機能	LBP322i	LBP321
プリント	○	○
両面印刷	○	○
有線 LAN 接続	○	○
無線 LAN 接続	×	×
USB 接続	○	○
リモート UI	○	○
鍵と証明書	○	○
モバイル機器と連携	○	○
ディスプレイ	モノクロ液晶	モノクロ液晶
部門別 ID 管理	○	○
ペーパーフィーダー PF-C	オプション	オプション
環境ヒーター EH-H1	オプション	オプション
コントロール ROM	オプション	×
SD カード	オプション	オプション



- お使いになれるドライバーの種類は、付属のユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM またはキヤノンホームページ (<https://global.canon/>) で確認してください。



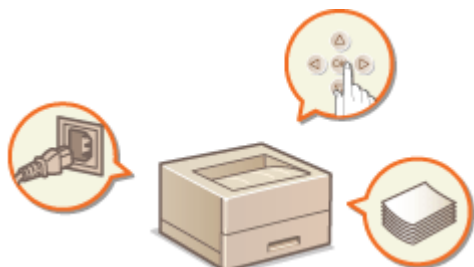
関連項目

● ユーザーズガイドの読みかた(P. 575)

各部の名称とはたらき

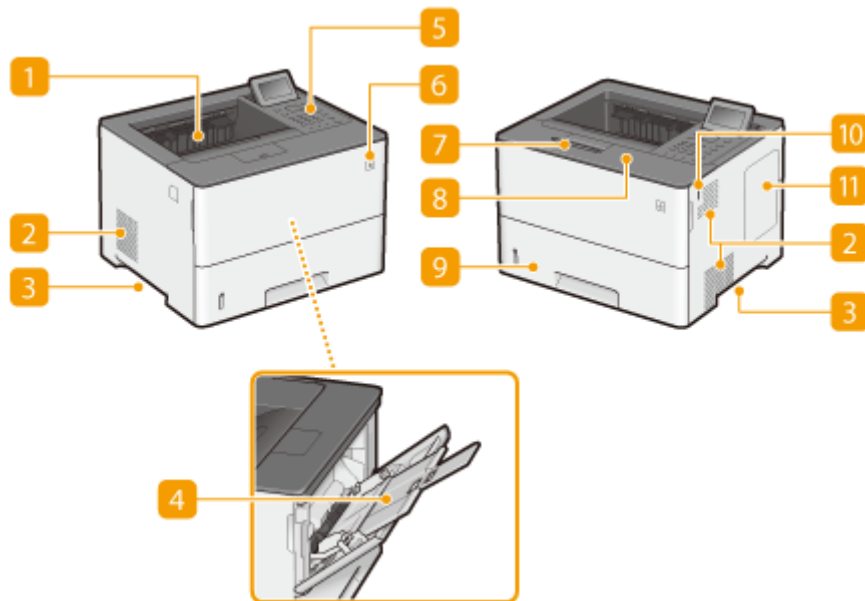
4L33-008

基本操作に関わる各部について本体外観、前面、背面、内部とそれぞれの部位ごとに名称とはたらきをご紹介します。また、用紙のセット、トナーカートリッジ交換など、基本操作に関わる各部について個別に取り上げているほか、操作パネルのキーやディスプレイの表示についても説明しています。円滑に操作していただく一助としてご活用ください。



- ▶ 本体前面(P. 18)
- ▶ 本体背面(P. 20)
- ▶ 本体内部(P. 22)
- ▶ 手差しトレイ(P. 23)
- ▶ 給紙カセット(P. 24)
- ▶ 操作パネル(P. 25)

本体前面



1 排紙トレイ

印刷が終わると、用紙はここに排出されます。

2 通気口

本体内部の換気と冷却を行います。通気口のそばに障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。▶
設置について(P. 3)

3 運搬用取っ手

本機を移動するときには、ここを持ちます。▶本機を移動する(P. 489)

4 手差しトレイ

給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときなどは、ここにセットします。▶手差しトレイにセットする(P. 48)

5 操作パネル

テンキー、各種ランプ、ディスプレイなどが配置されており、操作／設定はすべてこの操作パネルから行います。
▶操作パネル(P. 25) ▶ディスプレイ(P. 28)

6 電源スイッチ

電源を入れるときは、ここを押します。電源を切るときはこのスイッチを使わずに▶電源を切る（シャットダウンする）(P. 35)に記載されている手順に従ってください。

7 排紙ストッパー

排紙トレイから用紙が落ちないようにする場合に開いて使います。

8 前カバー

トナーカートリッジを交換したり、本体内部につまった用紙を取り除いたりするときに開けます。

▶トナーカートリッジの交換(P. 483)

▶本体内部(P. 22)

9 給紙カセット

よく使う用紙は、ここにセットします。▶給紙カセットにセットする(P. 42)

10 USB ポート (USB メモリー用)

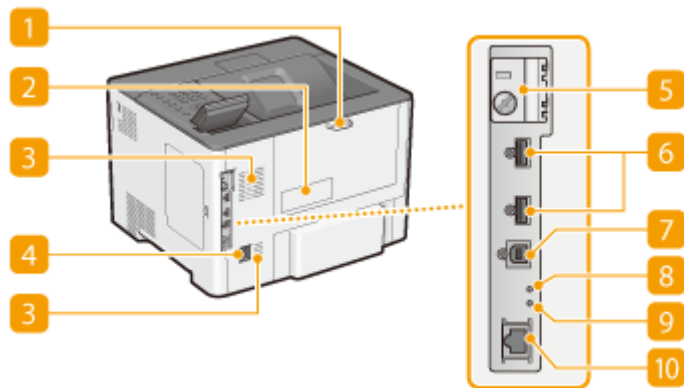
USB メモリーを接続します。USB メモリー内のデータを、パソコンを介さずに直接印刷することができます (▶**USB メモリーから印刷する (メディアプリント) (P. 83)**)。また、本機の設定をエクスポートまたはインポートするときに USB メモリーを接続します (▶**設定のインポート/エクスポート(P. 401)**)。

11 右カバー

オプションのコントロール ROM を装着するときに開けます。▶ROM を取り付ける(P. 561)

本体背面

4L33-00A



1 後ろカバー

つまった用紙を取り除くときに開けます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

2 定格銘板ラベル

お問い合わせの際に必要なシリアルナンバーが記載されています。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

3 通気口

本体内部の換気と冷却を行います。通気口のそばに障害物を置くと換気の妨げになりますのでご注意ください。▶
設置について(P. 3)

4 電源ソケット

電源コードを接続します。

5 SD カードスロットカバー

オプションの SD カードを装着するときに開けます。▶SD カードを取り付ける(P. 565)

6 USB ポート (USB 機器用)

MEAP アプリケーションで使用する USB 機器を接続します (LBP322i のみ)。また、本機の設定をエクスポートまたはインポートするときに USB メモリーを接続します (▶設定のインポート/エクスポート(P. 401))。

7 USB ポート (パソコン接続用)

市販の USB ケーブルを使ってパソコンに接続します。

8 ACT ランプ

データの送受信が行われているときに点滅します。

9 LNK ランプ

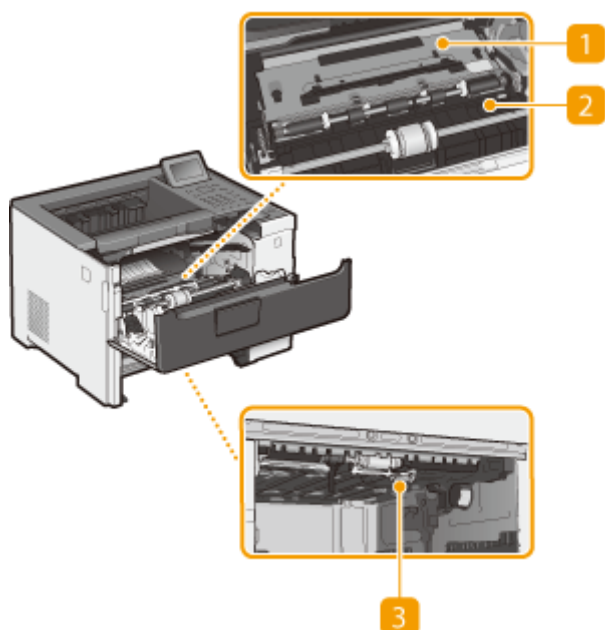
ネットワークに正しく接続されているときに点灯します。

10 LAN ポート

市販の LAN ケーブルを使って有線 LAN ルーターなどに接続します。▶[有線 LAN に接続する\(P. 150\)](#)

本体内部

4L33-00C



1 搬送ガイド（奥）

本体の内部に用紙がつまったときに、手前に持ち上げて用紙を取り除きます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

2 搬送ガイド（手前）

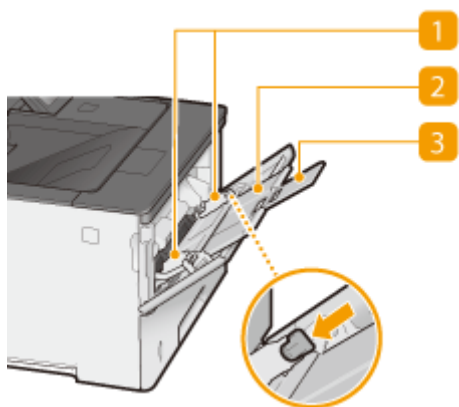
本体の内部に用紙がつまったときに、奥に持ち上げて用紙を取り除きます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

3 両面搬送ガイド

両面印刷中に用紙がつまったときは、ここを押し下げて用紙を取り除きます。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

手差しトレイ

4L33-00E



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の幅にぴったり合わせます。図の矢印で示されたロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

2 用紙トレイ

用紙をセットするときに引き出して使います。

3 延長トレイ

大きなサイズの用紙をセットする場合に開いて使います。

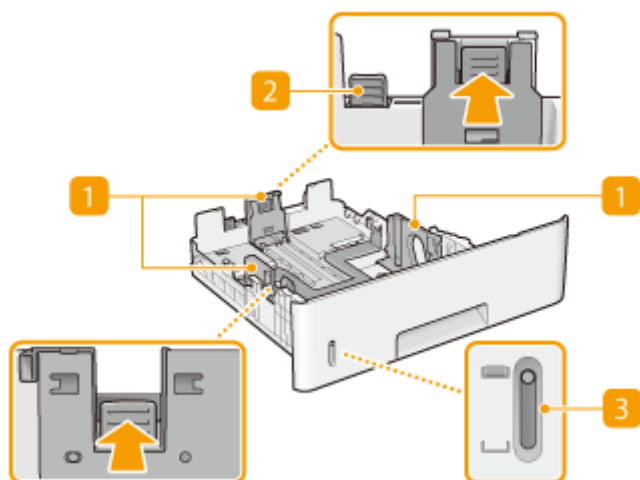


関連項目

●手差しトレイにセットする(P. 48)

給紙カセット

4L33-00F



1 用紙ガイド

セットした用紙がまっすぐ引き込まれるように、用紙の大きさにぴったり合わせます。図の矢印で示されたロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを移動します。

2 ロック解除レバー（給紙カセット延長用）

リーガル（LGL）サイズ of 用紙をセットするときは、このレバーをつまみながらカセットを引き伸ばします。カセットは縦方向に伸びます。

3 用紙残量表示

用紙の残量を示します。残量が少なくなるにつれマークが下に移動します。

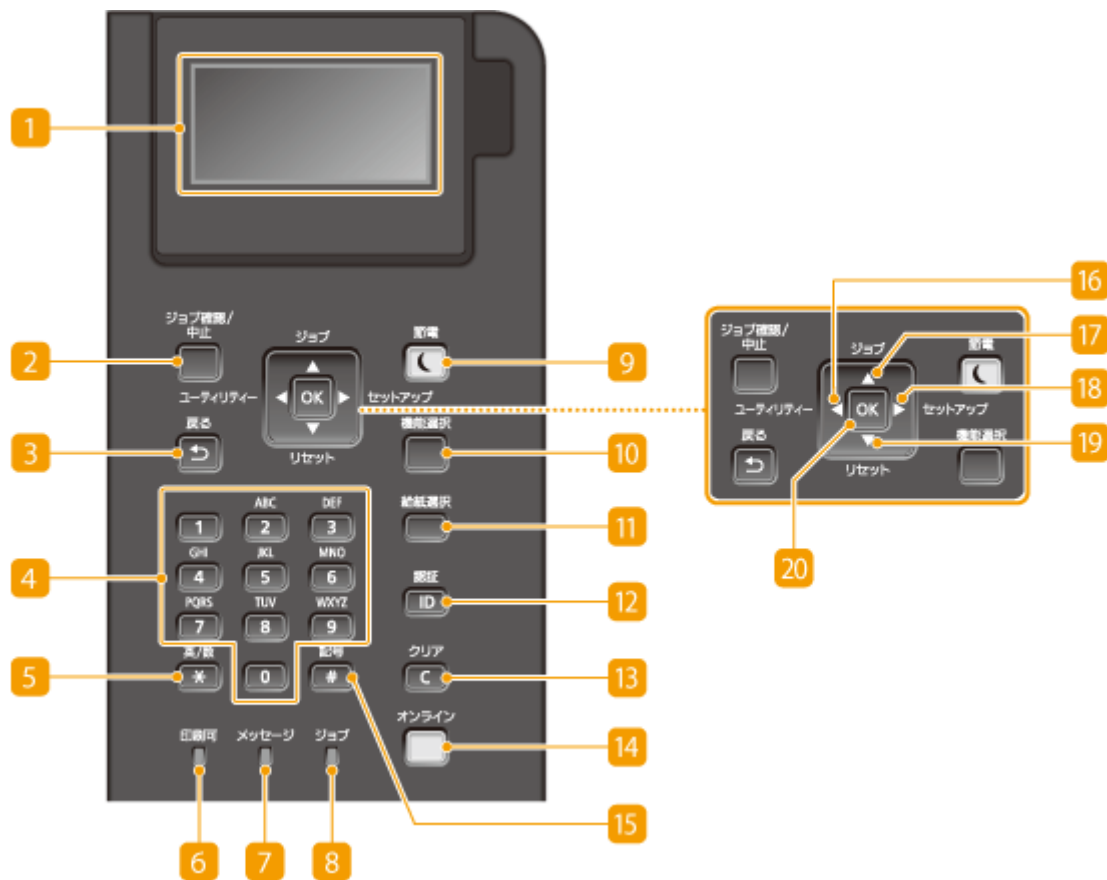


関連項目

● 給紙カセットにセットする (P. 42)

操作パネル

4L33-00H



1 ディスプレー

印刷などの動作状況やエラー状況、トナーカートリッジの状態などが表示されます。▶ディスプレイ(P. 28)

2 [ジョブ確認/中止] キー

[ジョブ] ランプが点灯／点滅しているときに押すと、印刷中や印刷待ちのデータが一覧表示されます。一覧からデータを選んで印刷を中止することもできます。▶操作パネルから(P. 80)

3 [戻る] キー

現在表示されている画面から1つ前の画面に戻ります。たとえば、設定操作をしているときに押すと、設定を確定せずに1つ前の画面に戻ることができます。

4 テンキー ([0] ～ [9])

数字や文字を入力します。▶文字を入力する(P. 33)

5 [英/数] キー

文字の入力モード（数字、アルファベット）を切り替えます。

6 [印刷可] ランプ

印刷可能な状態のときに点灯し、準備中のときには点滅します。

7 [メッセージ] ランプ

- トラブルが発生して印刷できないときに点灯します。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。
- オフラインでスリープモードに入ったときに点灯します。

8 [ジョブ] ランプ

印刷データを受信しているときや、本体内部のメモリーに印刷データが残っているときに点灯します。印刷データを処理しているときは点滅します。

9 [節電] キー

スリープモード（節電状態）にします。スリープモード中はキーが緑色に点灯します。キーを再度押すとスリープモードが解除されます。▶スリープモードにする(P. 65)

10 [機能選択] キー

このキーを押すと「印刷画面 ▶ MEAP1 ▶ MEAP2 ▶ ... ▶ MEAP8 ▶ メディアプリント ▶ 印刷画面」のように機能が切り替わります。使う機能を選択してください。なお、部門別 ID 管理中は、ログインしないままこのキーを押すと認証画面が表示されます。



- LBP321 はこのキーを押すと、印刷画面とメディアプリントの2つの機能が切り替わります。

11 [給紙選択] キー

給紙部の選択や、用紙サイズの設定を行います。▶給紙選択メニュー(P. 468)

12 [認証] キー（LBP322i）

MEAP 機能を使用するためのログイン画面を表示します。操作が終わったときは、このキーを再度押してログアウトします。

13 [クリア] キー

入力した文字や数字を取り消します。

14 [オンライン] キー

オンライン（印刷を受け付ける状態）とオフライン（印刷を受け付けない状態）を切り替えます。オンラインのときはキーが緑色に点灯し、オフラインのときは消灯します。通常はオンラインにしておきますが、設定メニューの<ユーザーメンテナンス>を設定するときはオフラインにしてください（▶ユーザーメンテナンス(P. 390)）。



- **基本画面(P. 28)** が表示されているときに、オフラインの状態ですら一定時間キー操作をしないと、自動的にオンラインになります。オンラインへの移行時間は、＜オートクリア移行時間＞で変更することができます（● **オートクリア移行時間(P. 345)** ）。

15 [記号] キー

「@」や「/」のような記号を入力するときに押します。

16 [ユーティリティー] キー／[◀] キー

- ユーティリティーメニューを表示します。総印刷ページ数の表示や、内部のシステム情報を印刷して確認することができます。● **ユーティリティーメニュー(P. 456)**
- 設定時に押すと、前の画面に戻ります。文字入力時に押すと、カーソルが左に移動します。

17 [ジョブ] キー／[▲] キー

- ジョブメニューを表示します。印刷履歴などを確認することができます。● **ジョブメニュー(P. 463)**
- 設定時に押すと、1つ上の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が増加します。

18 [セットアップ] キー／[▶] キー

- セットアップメニューを表示します。本機の各種設定をすることができます。● **セットアップメニュー(P. 342)**
- 設定時に押すと、次の画面に進みます。文字入力時に押すと、カーソルが右に移動します。

19 [リセット] キー／[▼] キー

- リセットメニューを表示します。全処理を中止してメモリー内のデータを消去する、電源を切る、などの操作ができます。● **リセットメニュー(P. 465)**
- 設定時に押すと、1つ下の項目を選択します。設定値変更時に押すと、値が減少します。

20 [OK] キー

選択／設定した内容を確定します。



関連項目

- **操作パネルを使う(P. 30)**

ディスプレイ

4L33-00J



印刷状況や設定画面が表示されます。また、エラーメッセージやトナーカートリッジの状態なども確認できます。

基本画面



a 状態表示

本機の状態や動作モードが表示されます。

b 用紙サイズ表示

現在選択している用紙サイズが表示されます。



以下の用紙サイズは略称で表示されます。

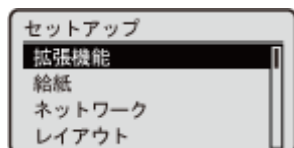
- リーガル：LG
- レター：LT
- ステートメント：ST
- エグゼクティブ：EX
- Foolscap：FC
- インデックスカード：IC
- Legal (India)：ILG
- はがき：HG
- 往復はがき：H2
- 4面はがき：H4
- 封筒 長形 3 号：N3
- 封筒 洋形長 3 号：YN3
- 封筒 No.10 (COM10)：CO
- 封筒 Monarch：MO
- 封筒 ISO-C5：EC5
- 封筒 DL：DL
- フリーサイズ：FR
- ユーザー設定用紙ヨコ：80
- ユーザー設定用紙タテ：80R

c トナーカートリッジの状態

トナーカートリッジの状態が表示されます。

メニュー画面

◀ (ユーティリティ) / ▲ (ジョブ) / ▶ (セットアップ) / ▼ (リセット) / [給紙選択] を押すと、それぞれに対応したメニュー画面が表示されます。以下の画面は、▶ (セットアップ) を押したときの表示例です。



●設定メニュー一覧(P. 341)

エラーが発生したとき

エラー発生時に対処方法が表示されることがあります。画面の指示に従って操作を進めてください。以下の画面は、紙づまりが発生したときの表示例です。表示されたメッセージについて、詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。



関連項目

●操作パネルを使う(P. 30)

操作パネルを使う

4L33-00K

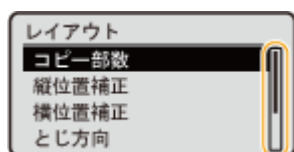
各種機能の設定や設定内容の確認には、以下のキーを使用します。



▲／▼を使う

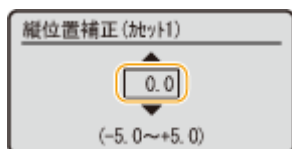
■画面をスクロールする

画面右端にスクロールバーが表示されている場合は、画面に表示しきれない情報がまだあることを示しています。この場合、▲／▼で画面をスクロールしてください。現在選択されている項目は反転して表示されます。



■数値を変更する

数値を入力するときは、▲／▼を使います。



- 入力欄の下に表示されている () 内の数値が入力範囲です。

◀ / ▶ を使う

■ 次の画面に進む / 前の画面に戻る

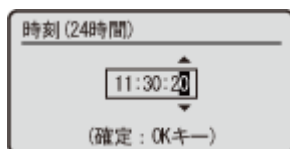
次の画面に進むときは ▶ を押します。前の画面に戻るときは ◀ を押します。



- 次の画面には を押して進むこともでき、前の画面には を押して戻ることもできます。

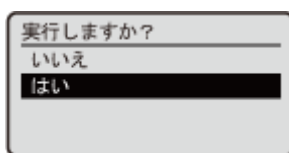
■ カーソルを移動する

文字や数字を入力するときに ◀ / ▶ を使います。▶ **文字を入力する(P. 33)**



を使う

確定するときは を押します。



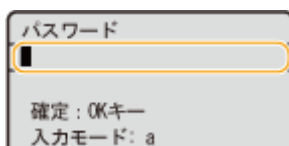
(オンライン) を使う

設定メニューを終了し、基本画面に戻るときは (オンライン) を押します。



テンキーを使う

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。▶ **文字を入力する(P. 33)**



- 数値を入力する場合、画面によってはテンキーで入力できないことがあります。そのときは、▲ / ▼ で入力してください。



便利な機能

- 画面調整や表示言語の切り替えなど、画面表示に関する各種設定は、操作パネルの設定メニューにある＜拡張機能＞で設定することができます。▶ **拡張機能(P. 343)**

文字を入力する

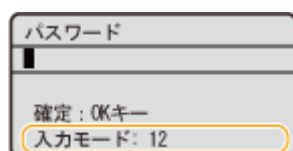
4L33-00L

文字や数字を入力するときはテンキーを使います。



文字の種類を切り替える

[*] を押すと文字の種類が「a（英小文字）→A（英大文字）→12（数字）」のように切り替わります。



入力できる文字の種類

次の表は入力できる文字です。

使用するキー	a	A	12
[1]	(入力不可)		1
[2]	abc	ABC	2
[3]	def	DEF	3
[4]	ghi	GHI	4
[5]	jkl	JKL	5
[6]	mno	MNO	6

	p q r s	P Q R S	7
	t u v	T U V	8
	w x y z	W X Y Z	9
	(入力不可)		0
	(スペース) @./-?!?&\$%#()[]{}<>*+=",;:'^`\" data-kind="ghost">		(入力不可)



- 入力モードが＜a＞または＜A＞のときに  を押すと、入力できる記号がディスプレイに表示されます。▲／▼／◀／▶ で入力したい記号を選択し、 を押して入力します。

文字を削除する

 を押すごとに 1 文字ずつ削除されます。長押しすると、入力した文字がすべて削除されます。

カーソルを移動する

◀ または ▶ を押します。

スペースを入力する

 を押して  を押します。

文字や数字の入力例

入力例：「Canon 1」

-  を繰り返し押し、入力モードを＜A＞にする
-  を繰り返し押し、「C」を入力する
-  を繰り返し押し、入力モード＜a＞にする
-  を繰り返し押し、「a」を入力する
-  を繰り返し押し、「n」を入力する
-  を繰り返し押し、「o」を入力する
-  を繰り返し押し、「n」を入力する
-  を押して  を押す
-  を繰り返し押し、入力モードを＜12＞にする
-  を押す
-  を押す

電源を入れる／切る

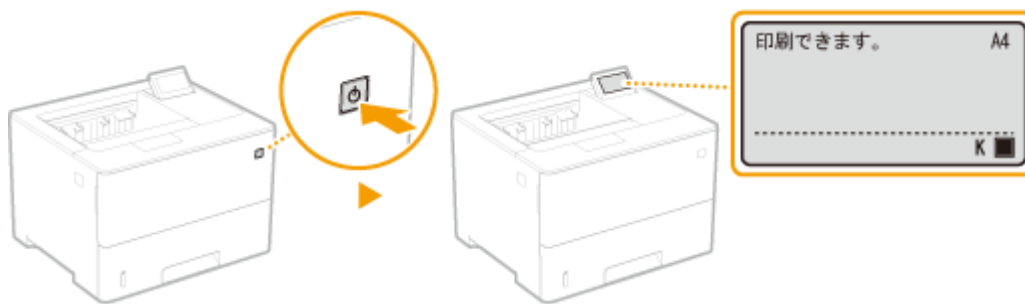
4L33-00R

電源を入れるときは電源スイッチを使いますが、切るときは電源スイッチではなく操作パネルからシャットダウンします。パソコンの電源を入れたり切ったりするのと同じ要領です。

- ▶電源を入れる(P. 35)
- ▶電源を切る（シャットダウンする）(P. 35)

電源を入れる

本体の電源スイッチを押します。自己診断が実行されたあと、操作パネルのディスプレイに基本画面が表示されたら、印刷可能な状態となります。



MEMO

- 自己診断後に何らかのメッセージが表示されることがあります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。
- 高速起動を設定すると、電源を入れたときの待ち時間を短縮することができます。▶**本機を高速起動する(P. 38)**

電源を切る（シャットダウンする）

電源を切るときは、電源スイッチからではなく、「シャットダウン」を行います。



シャットダウンは電源スイッチを使わない

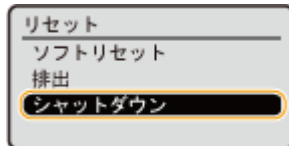
- 電源スイッチを押して電源を切ると、予期せぬエラーが発生する恐れがあります。次の手順に従って正しく電源を切ってください。

MEMO

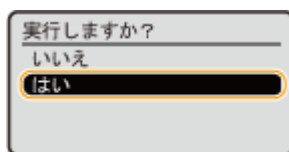
- 高速起動を設定しているときは、電源スイッチを押して電源を切ることができます。▶ **本機を高速起動する (P. 38)**

1 ▼ (リセット) を押す

2 ▲ / ▼ で<シャットダウン>を選び、 を押す



3 <はい>を選び、 を押す



⇒ 以下のメッセージが表示されたあと、電源が自動的に切れます。



<実行できませんでした。>が表示されたとき

- 印刷データが残っています。データを消去してから (▶ **リセットメニュー (P. 465)**)、操作しなおしてください。操作を取りやめるときは、 (オンライン) を押します。



- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。



電源を切った直後に電源を入れない

- 10 秒以上経ってから電源を入れてください。

電源切断時の電力消費について

- 電源を切ってもわずかに電力を消費しています。電力消費をゼロにするには、電源プラグをコンセントから抜いてください。



関連項目

▶ **本機を高速起動する(P. 38)**

本機を高速起動する

高速起動に設定すると、電源スイッチを押してから画面操作できるようになるまでの時間を短縮できます。高速起動するための電源の切りかたを「クイックオフ」といいます。

- ▶ 高速起動を設定する(P. 38)
- ▶ 電源を切る（クイックオフする）(P. 39)



ネットワークをお使いのとき

- 以下の設定のいずれかが < ON > になっている場合、高速起動は機能しません。
 - RARP、BOOTP、IPv6 ▶ ネットワーク(P. 147)
 - IPSec ▶ IPSec の設定をする(P. 273)

MEAP 機能をお使いのとき（LBP322i のみ）

- インストールしている MEAP アプリケーションが高速起動に対応しているかを確認してください。

高速起動を設定する

- 1 ▶（セットアップ）を押す
- 2 ▲／▼で<拡張機能>を選び、を押す
- 3 <主電源 ON 時の高速起動>を選び、を押す
- 4 < OFF >または< ON >を選び、を押す



a < OFF >

高速起動を無効にします。

b < ON >

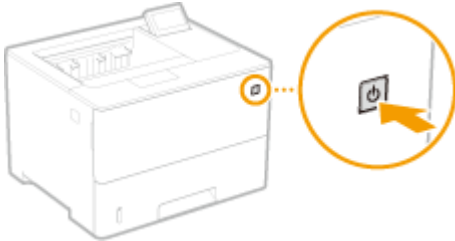
高速起動を有効にします。

- 5 ハードリセットする ▶ ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

電源を切る（クイックオフする）

高速起動の設定中は、電源スイッチを押して電源を切ること、次回電源を入れたときに高速起動することができます（クイックオフ）。



● **ご注意**

クイックオフのあと、電源プラグをコンセントから抜かない

- クイックオフで電源を切ったあと、電源プラグをコンセントから抜かないでください。内部の機器がダメージを受ける場合があります。本機の移動などで抜く必要がある場合は、一度電源を入れてからシャットダウンを行ってください。▶ **電源を切る（シャットダウンする）** (P. 35)



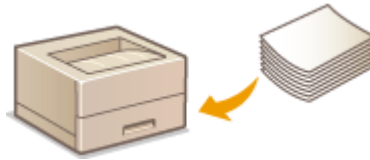
MEMO

- ジョブ中またはエラー発生中や、操作パネルもしくはリモート UI から何らかの設定変更をした場合などは、電源スイッチを押しても、クイックオフではなくシャットダウンになります。
- 高速起動設定中でもシャットダウンで電源を切ると、次回は通常の起動になります。
- 高速起動設定中にオートシャットダウンした場合は、クイックオフになります。▶ **オートシャットダウンを設定する** (P. 68)
- クイックオフしてからすぐに電源を入れなおすと、起動に時間がかかる場合があります。

用紙をセットする

4L33-00U

用紙は給紙カセットや手差しトレイにセットできます。給紙カセットには、普段よく使う用紙をセットしてください。まとまった枚数をセットできるので便利です。給紙カセットにセットされていない用紙を一時的に使うときは手差しトレイにセットしてください。使用できる用紙のサイズと種類については、**用紙について(P. 539)** を参照してください。



用紙について

- ▶ 用紙についての注意事項(P. 40)
- ▶ 本機で印刷した用紙の保管について(P. 41)

用紙のセット方法

- ▶ 給紙カセットにセットする(P. 42)
- ▶ 手差しトレイにセットする(P. 48)
- ▶ 封筒・はがきをセットする(P. 51)
- ▶ ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)

セットした用紙の設定

- ▶ 用紙サイズと種類を設定する(P. 59)

用紙についての注意事項



次の用紙は使用しない

- 紙づまりや印刷不良の原因になることがあります。
 - しわや折り目がある紙
 - カールした紙や巻いた紙
 - 破れた紙
 - 湿った紙
 - 非常に薄い紙
 - 薄いわら半紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙
 - 熱転写プリンターで印刷された紙のウラ面
 - 目の粗い紙
 - つるつるした紙
 - インクジェット専用の郵便はがき

用紙を使うときは

- 用紙は本機が設置されている環境に十分慣らしてからご使用ください。異なる温度／湿度に保管されていた用紙を使用すると、紙づまりや印字不良が起こる場合があります。

用紙の保管方法

- 用紙は開封後すぐにお使いになることをおすすめします。用紙が残った場合は、入っていた包装紙に再度包み、平らな場所に保管してください。
- 湿気や乾燥を防ぐため、使用するまでは包装したままにしておいてください。
- 用紙が丸まったり折れ目が付いたりするような置きかたをしないでください。
- 用紙を立てて保管したり、多く積み重ねたりしないでください。
- 直射日光の当たる場所、湿度の高い場所、乾燥している場所、使用場所との温度差や湿度差が著しい場所には保管しないでください。



湿った用紙に印刷すると

- 排紙部周辺から湯気が出たり、排紙部に水滴が付いたりすることがあります。これは、トナーを定着するときの熱によって用紙に含まれる水分が蒸発しているためですので、異常ではありません（特に、室温が低い場合に発生しやすくなります）。

本機で印刷した用紙の保管について

本機で印刷した用紙の取り扱いや保管には、次のことに気を付けてください。

■印刷した用紙の保管方法

- 平らな場所に保管してください。
- クリアホルダなど PVC（ポリ塩化ビニル）素材のものと一緒に保管しないでください。トナーが溶けて用紙と PVC 素材が貼り付くことがあります。
- 折れたりしわになったりしないように保管してください。トナーがはがれることがあります。
- 長期間（2 年以上）保管するときはバインダーなどに入れて保管してください。
- 長期間保管すると、用紙の変色によりプリントが変色したように見えることがあります。
- 高温の場所には保管しないでください。

■のり付けするときの注意

- 不溶性の接着剤を必ず使用してください。
- 不要になった印刷物で試してから、接着剤を使用してください。
- のり付けした用紙を重ねるときは、完全に乾いていることを確認してください。

給紙カセットにセットする

4L33-00W

普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは、手差しトレイに用紙をセットします。●**手差しトレイにセットする(P. 48)**

- 定型サイズ**の用紙をセットする(P. 42)
- 非定型サイズ**の用紙（ユーザー設定用紙）をセットする(P. 44)

用紙のセット方向

セットできる用紙と置きかたは以下のとおりです。

用紙	置きかた
A4、B5、A5（タテ）、A6、リーガル、レター、ステートメント、エグゼクティブ、Foolscap、16K、Legal (India)、ユーザー設定（タテ）	
A5（ヨコ）、ユーザー設定（ヨコ）	

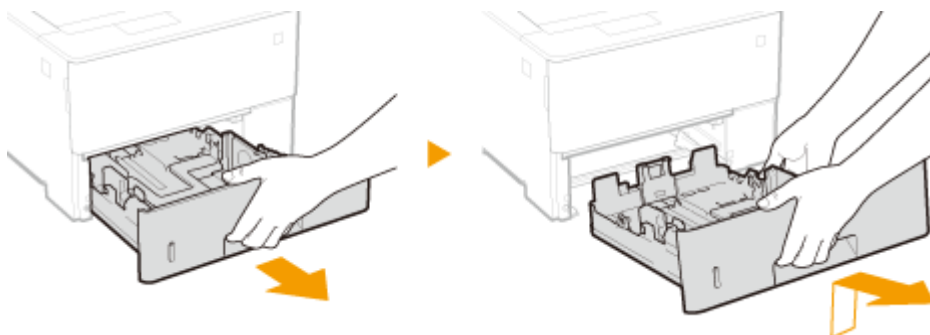


- オプションのペーパーフィーダーについても、以下の手順で用紙をセットしてください。

定型サイズの下紙をセットする

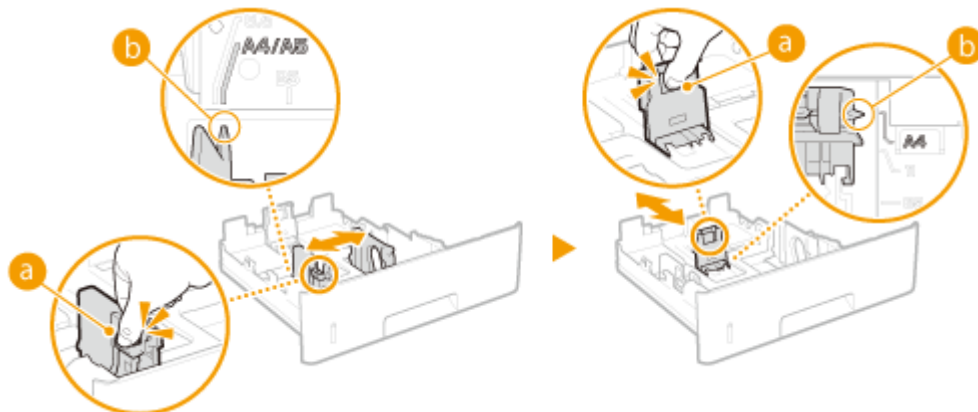
給紙カセットに用紙サイズの指標がある用紙は以下の手順でセットします。用紙サイズの指標がないときは、●**非定型サイズ**の下紙（ユーザー設定用紙）をセットする(P. 44)を参照してください。

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



2 用紙ガイドをセットする用紙サイズに合わせる

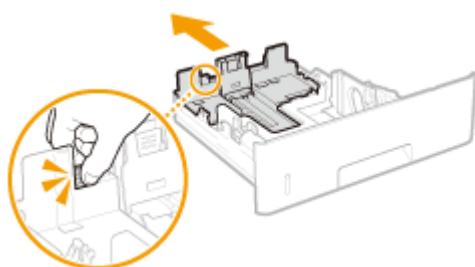
- ロック解除レバー（a）をつまみながら、突起部（b）をセットする用紙サイズの指標に合わせます。



MEMO

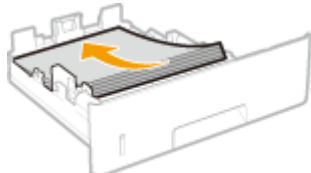
リーガル（LGL）サイズ用紙をセットするとき

- ロック解除レバーをつまみながら給紙カセットを引き延ばします。



3 用紙を給紙カセット後端の用紙ガイドに合わせてセットする

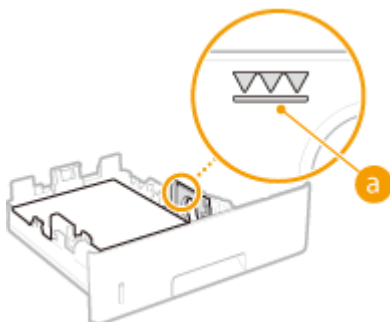
- プリントする面を下にしてセットします。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所 で用紙の端をそろえてからセットしてください。



！ ご注意

積載制限マークを超えないようにセットする

- 用紙は積載制限マーク（a）の線を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。



MEMO

- ロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**👉ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)** を参照してください。

4 給紙カセットを本体にセットする

≫ 続いて、**👉給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 60)** に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- 用紙サイズや種類を変更したときは、必ず設定を確認してください。セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷されません。



- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、＜デフォルト用紙サイズ＞と＜デフォルト用紙種類＞を設定してください。**👉給紙選択メニュー(P. 468)**



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

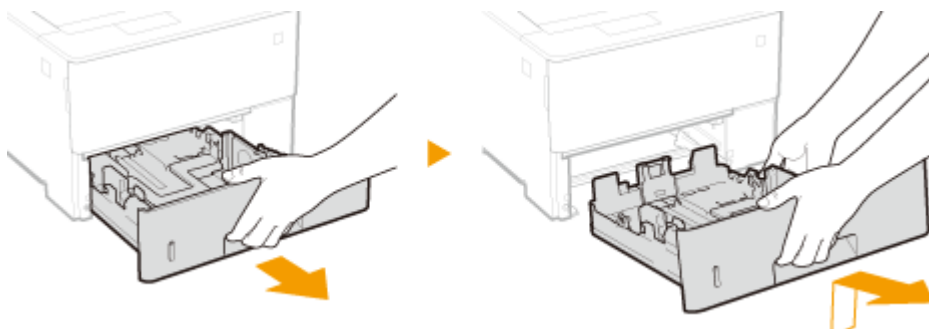
一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして手差しトレイ（**👉手差しトレイにセットする(P. 48)**）にセットしてください。

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある＜手動両面印刷(手差し)＞を＜2 面目＞に設定してください。**👉手動両面印刷（手差し）(P. 473)**
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。

非定型サイズの内紙（ユーザー設定用紙）をセットする

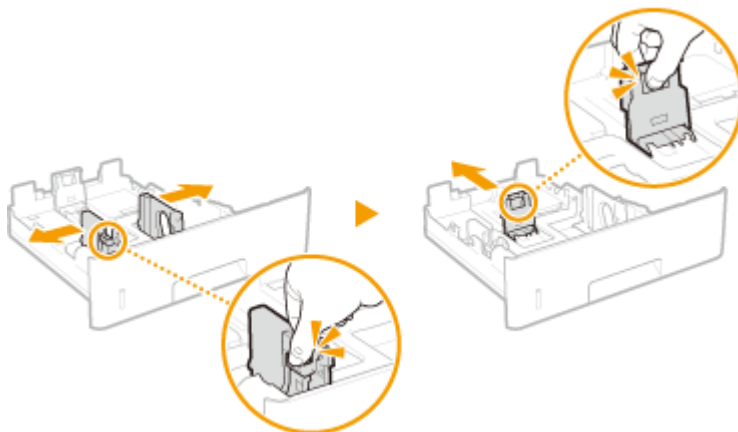
定型サイズ以外の内紙など、給紙カセットに用紙サイズの指標がない用紙は以下の手順でセットします。

1 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



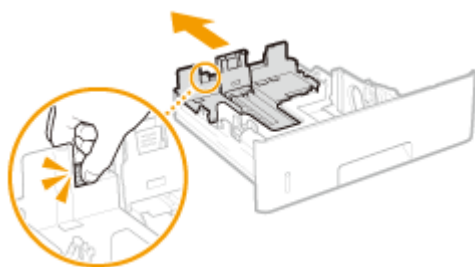
2 用紙ガイドを広げる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを外側へ移動します。



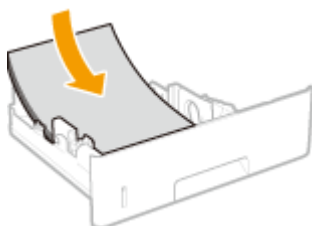
A4 より長いサイズの下紙をセットするとき

- ロック解除レバーをつまみながら給紙カセットを引き延ばします。



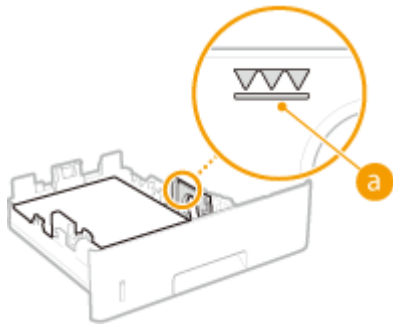
3 用紙を給紙カセットの手前に突き当ててセットする

- プリントする面を下にしてセットします。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットしてください。



積載制限マークを超えないようにセットする

- 用紙は積載制限マーク（a）の線を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。

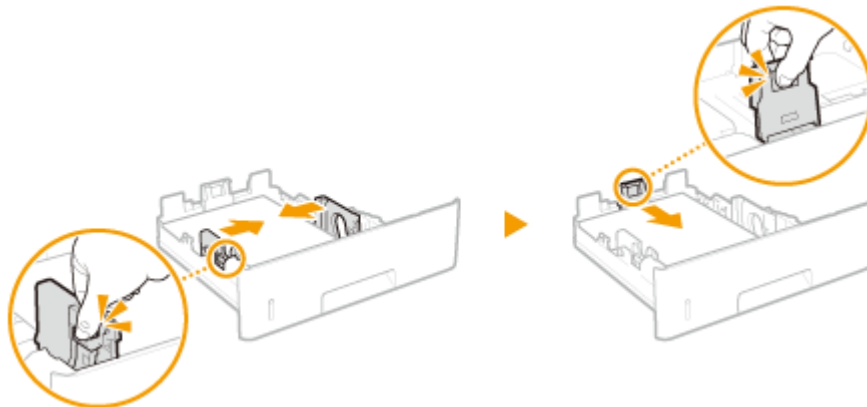


MEMO

- ロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)** を参照してください。

4 用紙ガイドを用紙に合わせる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙にぴったり合わせます。



用紙ガイドを用紙にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。

5 給紙カセットを本体にセットする

≫ 続いて、**▶給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 60)** に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- 用紙サイズや種類を変更したときは、必ず設定を確認してください。セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷されません。



- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、＜デフォルト用紙サイズ＞と＜デフォルト用紙種類＞を設定してください。▶給紙選択メニュー(P. 468)



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして手差しトレイ（▶手差しトレイにセットする(P. 48)）にセットしてください。

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある＜手動両面印刷(手差し)＞を＜2 面目＞に設定してください。▶手動両面印刷（手差し）(P. 473)
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。



関連項目

- ▶用紙について(P. 539)

手差しトレイにセットする

4L33-00X

給紙カセットにセットされていない用紙を使って印刷したいときは手差しトレイにセットします。普段よく使う用紙は、給紙カセットにセットしてください。●給紙カセットにセットする(P. 42)

用紙のセット方向

セットできる用紙と置きかたは以下のとおりです。

用紙	置きかた
A4、B5、A5（タテ）、A6、リーガル、レター、ステートメント、エグゼクティブ、Foolscap、16K、インデックスカード、Legal (India)、ユーザー設定（タテ）、はがき、往復はがき、4面はがき、封筒	
A5（ヨコ）、ユーザー設定（ヨコ）	

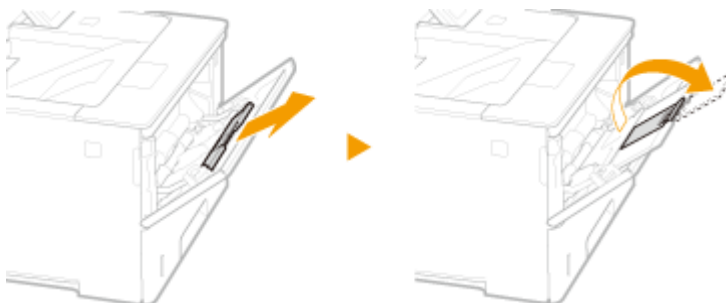
1 カバーを開ける

- カバーの左右にある取っ手を持って開けます。



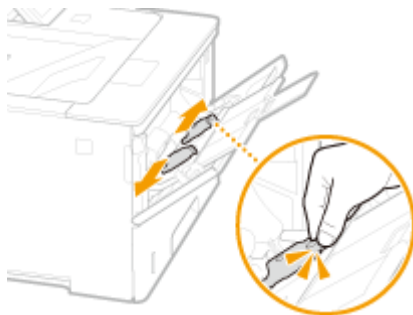
2 用紙トレイを引き出し、延長トレイを開く

- 延長トレイは、大きなサイズの下紙をセットする場合に開けてください。



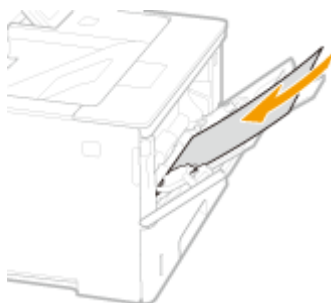
3 用紙ガイドを広げる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを外側へ広げます。



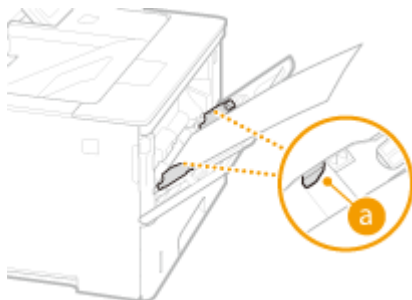
4 用紙を奥に突き当たるまで差し込む

- プリントする面を上にして差し込みます。
- 用紙をよくさばいて、平らな場所で用紙の端をそろえてからセットしてください。



積載制限ガイドを超えないようにセットする

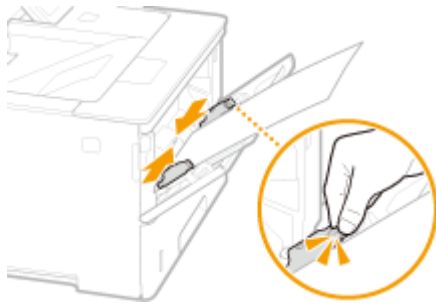
- 用紙は積載制限ガイド（a）を超えないようにセットしてください。紙づまりの原因になります。



- 封筒、はがきやロゴマーク付きの用紙をセットするときは、**封筒・はがきをセットする(P. 51)** または **ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)** を参照してください。

5 用紙ガイドを用紙に合わせる

- ロック解除レバーをつまみながら、用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせます。



用紙ガイドを用紙の幅にぴったり合わせる

- ガイドの合わせかたがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、用紙が正しく送られなかったり、紙づまりの原因になったりします。

≫ 続いて、**手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 62)** に進む



用紙サイズや種類を変更したとき

- 用紙サイズや種類を変更したときは、必ず設定を確認してください。セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷されません。



- プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズや種類を設定できない機器から印刷するときは、＜デフォルト用紙サイズ＞と＜デフォルト用紙種類＞を設定してください。▶ **給紙選択メニュー(P. 468)**



印刷済み用紙のウラ面に印刷する（手動両面印刷）

一度印刷した用紙のウラ面に印刷することができます。用紙の端を伸ばしてカールを取り、プリントする面を上にして手差しトレイにセットしてください。

- 一度印刷した用紙のウラ面に印刷するときは、操作パネルの設定メニューにある＜手動両面印刷(手差し)＞を＜2 面目＞に設定してください。▶ **手動両面印刷（手差し）(P. 473)**
- 印刷のたびに1枚ずつセットしてください。
- 本機で印刷した用紙のみ使用できます。
- 一度プリントした面の上からさらに印刷することはできません。



関連項目

▶ **用紙について(P. 539)**

封筒・はがきをセットする

4L33-00Y

封筒やはがきをセットするときは、カールを取るなどの準備作業を確実に行う必要があります。また、セットする面や向きにも注意が必要です。なお、封筒やはがきは、給紙カセットにはセットできません。

🔴封筒をセットする(P. 51)

🔴はがきをセットする(P. 53)



- ここでは、封筒をセットする前に行う準備と、封筒やはがきをセットする際の正しい向きについて説明しています。手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、🔴手差しトレイにセットする(P. 48) を参照してください。

封筒をセットする

■封筒をセットする前に

セットする前に、以下の手順で封筒を整えてください。

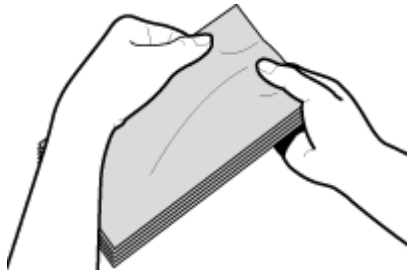
1 ふたを閉じる



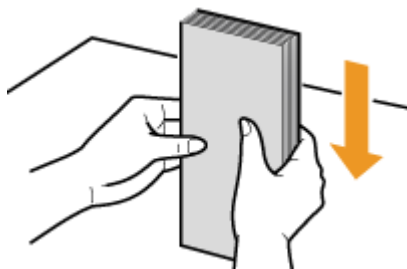
2 上から押して空気を抜き、四辺の折り目をしっかり付けたあと、平らにならす



3 四隅の固い部分をほぐすようにしてカールを取る



4 平らな場所でそろえる

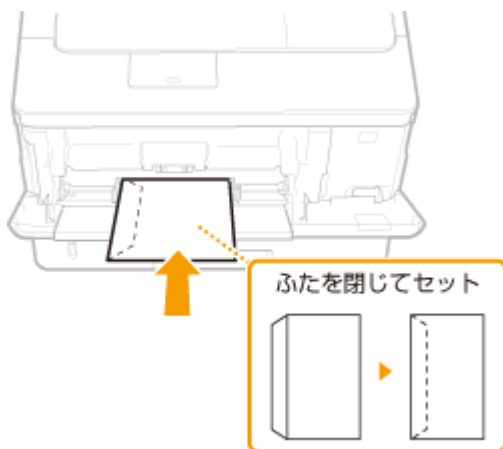


■手差しトレイにセットする

貼り合わせのない面（オモテ面）を上にして、封筒の短辺から差し込みます。なお、貼り合わせのある面（ウラ面）には印刷できません。

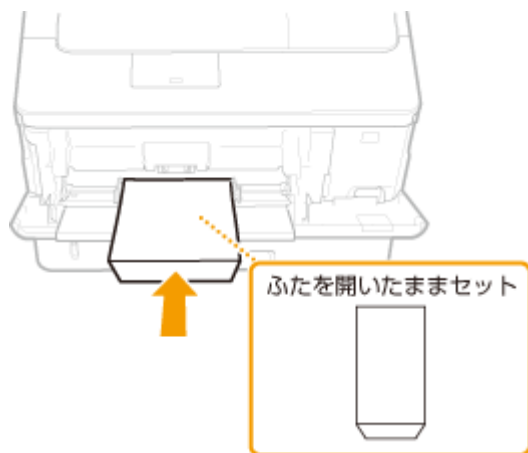
洋形長 3 号、ISO-C5、Monarch、No.10、DL

封筒のふたを左にして差し込みます。



長形 3 号

封筒のふたを手前にして差し込みます。



はがきをセットする



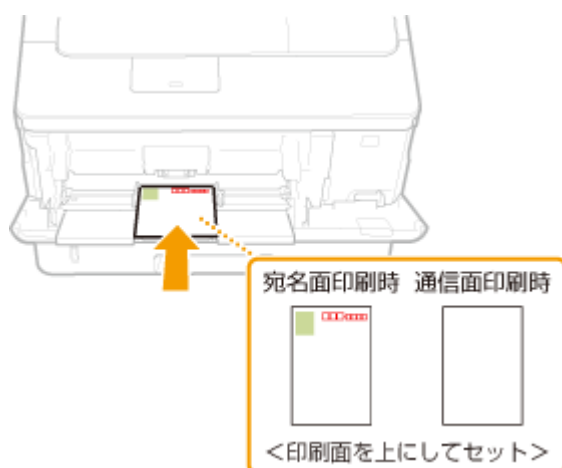
- はがきの自動両面印刷はできません。両面印刷するときは、まず片面を印刷してから反対面を印刷してください。
- はがきはカールを取ってからセットしてください。カールしたままでは、斜めに印刷されたり、画像がゆがんで印刷されたりすることがあります。

■手差しトレイにセットする

プリントする面を上にして、はがきと4面はがきは短辺から、往復はがきは長辺から差し込みます。

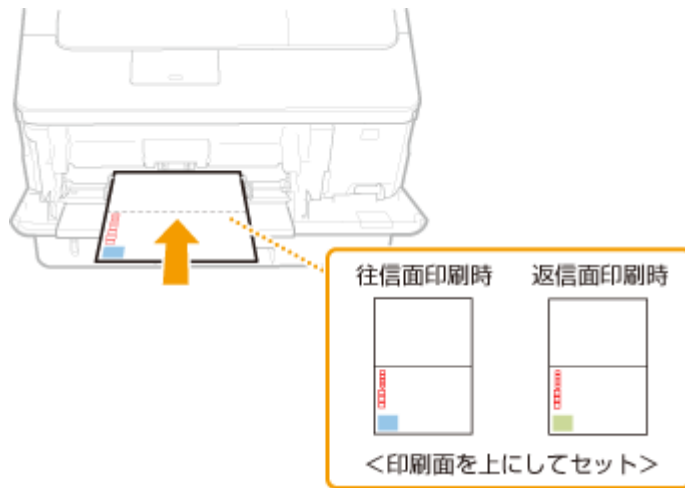
はがき

はがきの上端から差し込みます。



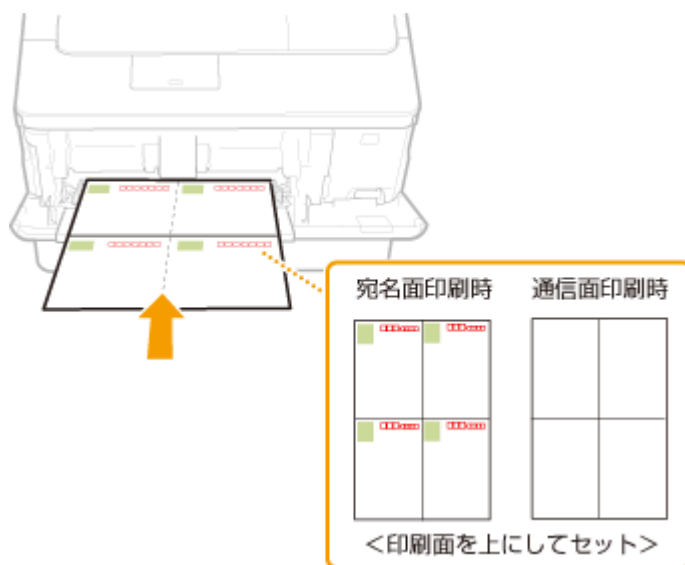
往復はがき

はがきを広げた状態で右端から差し込みます。



4 面はがき

はがきの上端から差し込みます。



ロゴなどが印刷された用紙をセットする

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、用紙の向きに注意する必要があります。ロゴマークなどがある面に正しい向きで文書を印刷するために、レイアウトや印刷のしかたに応じて用紙をセットしてください。



- ▶ロゴ入り用紙に片面印刷する(P. 55)
- ▶ロゴ入り用紙に両面印刷する(P. 57)



- ここでは、ロゴマークなどが印刷された用紙をセットするときの正しい向きについて説明しています。用紙を給紙カセットや手差しトレイにセットするときの全体的な手順については、以下を参照してください。

- ▶給紙カセットにセットする(P. 42)
- ▶手差しトレイにセットする(P. 48)

ロゴ入り用紙に片面印刷する

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



給紙カセットにセットするとき

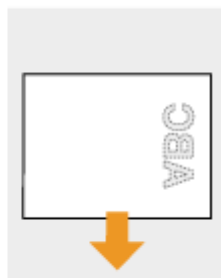
ロゴのある面（文書をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き

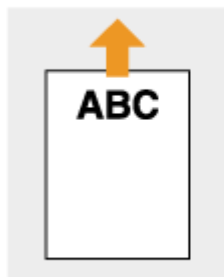


手差しトレイにセットするとき

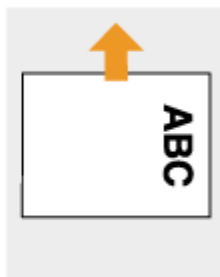
ロゴのある面（文書をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する

ロゴ入り用紙

文書

仕上がり



給紙カセットにセットするとき

ロゴのある面（文書をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き

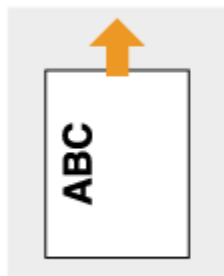


手差しトレイにセットするとき

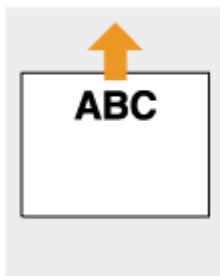
ロゴのある面（文書をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



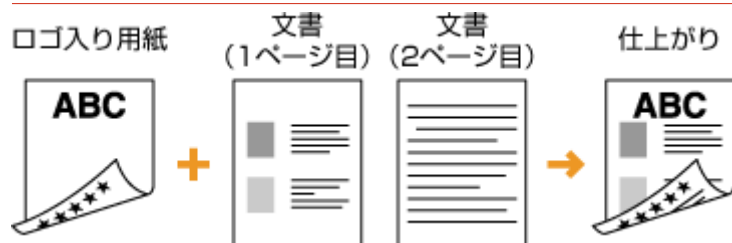
ヨコ置き



ロゴ入り用紙に両面印刷する

原稿が奇数枚のときは、操作パネルの設定メニューにある＜特殊両面処理＞を＜OFF＞に設定してください。●**特殊両面処理(P. 382)**

タテ向きのロゴ入り用紙に印刷する



給紙カセットにセットするとき

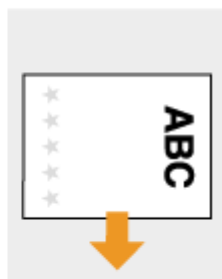
ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



ヨコ向きのロゴ入り用紙に印刷する



給紙カセットにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を上向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



手差しトレイにセットするとき

ロゴのある面（文書の1ページ目をプリントする面）を下向きにセットしてください。

用紙のセット方向

タテ置き



ヨコ置き



＜給紙方法切替＞設定について

- ロゴ入り用紙に片面印刷するときと両面印刷するときでは、用紙のセット面を変える必要がありますが、＜給紙方法切替＞を＜印刷面優先＞に設定すると、片面印刷時のセット面を両面印刷と同じ（給紙カセットにセットするときはロゴのある面を上向き、手差しトレイにセットするときはロゴのある面を下向き）にすることができます。片面印刷と両面印刷をひんばんに使い分ける場合に設定しておくくと便利です。▶給紙方法切替(P. 399)

用紙サイズと種類を設定する

4L33-011

セットした用紙に合わせて用紙サイズと種類を設定する必要があります。今までセットされていた用紙と異なる用紙をセットした場合も、忘れずに設定を変更してください。



- セットした用紙と設定が一致していないと、正しく印刷できないだけでなく、紙づまりや印刷不良の原因となります。

給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する

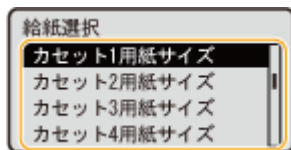
4L33-012

給紙カセットにセットした用紙に合うよう、必要に応じて用紙サイズや種類を設定します。

1 （給紙選択）を押す

2 ▲／▼で<カセット 1～4 用紙サイズ>を選び、を押す

- <カセット 2～4 用紙サイズ>は、オプションのペーパーフィーダーを装着している場合にのみ表示されます。



3 用紙のサイズを選び、を押す



A5／非定型サイズの場合

- A5 サイズおよび非定型サイズ（ユーザー設定用紙）の用紙はタテとヨコ両方にセットできます。用紙の置きかたに応じて、以下の表から設定を選んでください。

用紙サイズ	置きかた	設定
A5	 *1	< ☐ A5R >
		< ☐ A5 >
ユーザー設定用紙	 *2	< ☐ ユーザー設定サイズ R >
		< ☐ ユーザー設定サイズ >

*1Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [定形用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

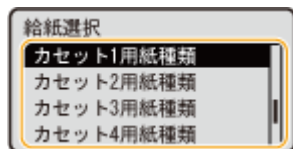
*2Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [ユーザー設定用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

<フリーサイズ>について

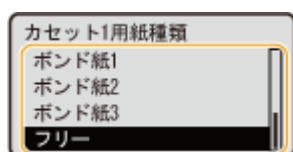
- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、＜フリーサイズ＞に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙サイズと、実際にセットされた用紙サイズが異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。
- ＜フリーサイズ＞に設定したときは、印刷速度が遅くなります。

4 ＜カセット 1～4 用紙種類＞を選び、を押す

- ＜カセット 2～4 用紙種類＞はペーパーフィーダーを装着している場合に表示されます。



5 用紙の種類を選び、を押す



＜フリー＞について

- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、＜フリー＞に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。



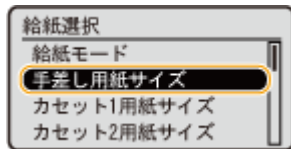
関連項目

- 給紙カセットにセットする (P. 42)
- 用紙について (P. 539)

手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する

1 （給紙選択）を押す

2 ▲／▼で＜手差し用紙サイズ＞を選び、 を押す



3 用紙のサイズを選び、 を押す



A5／非定型サイズの場合

- A5 サイズおよび非定型サイズ（ユーザー設定用紙）の用紙はタテとヨコ両方にセットできます。用紙の置きかたに応じて、以下の表から設定を選んでください。

用紙サイズ	置きかた	設定
A5	 *1	<  A5R >
		<  A5 >
ユーザー設定用紙	 *2	<  ユーザー設定サイズ R >
		<  ユーザー設定サイズ >

*1Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [定形用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

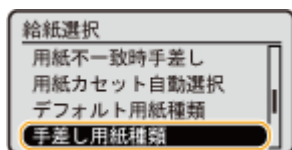
*2Generic Plus LIPSLX プリンタードライバーを使用するときは、[給紙] タブで [ユーザー設定用紙を縦送りにする] にチェックマークを付けてから印刷してください。

<フリーサイズ>について

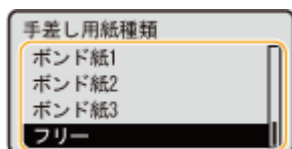
- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、<フリーサイズ>に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙サイズと、実際にセットされた用紙サイズが異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。

- <フリーサイズ>に設定したときは、印刷速度が遅くなります。

4 <手差し用紙種類>を選び、を押す



5 用紙の種類を選び、を押す



MEMO

<フリー>について

- セットする用紙をひんぱんに変更する場合は、<フリー>に設定しておくことで、その都度、設定を変更する手間が省けます。ただし、プリンタードライバー側で設定した用紙種類と、実際にセットされた用紙種類が異なっても印刷が行われるため、注意が必要です。



関連項目

- ▶ 手差しトレイにセットする(P. 48)
- ▶ 用紙について(P. 539)

節電する

4L33-014

一定時間何の操作もしないと、自動的に節電状態（スリープモード）になるように設定したり、毎週決まった時刻に電源が切れるように設定したりして、節電することができます。



- ▶スリープモードにする(P. 65)
- ▶オートシャットダウンを設定する(P. 68)

スリープモードにする

4L33-015

スリープモードは、本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。たとえば、昼休みなどで本機をしばらく使わない場合、操作パネルの  を押してください。これだけの操作で、かんたんに節電できます。なお、一定時間何の操作も行わないと、自動的にスリープモードとなるオートスリープもあります。オートスリープまでの時間を変更したり、指定した時刻にスリープモードになるようにしたりすることもできます。



状態を確認するには

- スリープモード時は、 が緑色に点灯します。

スリープモードにならない場合

- パソコンとデータを送受信しているときや、カバーを開いているとき、トナーカートリッジが装着されていないときなどはスリープモードになりません。

スリープモードを選択する

スリープモードは選択したレベルによって消費電力の節電効果が異なります（ **スリープモード(P. 343)**）。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめしますが、設定を変更する場合は以下の手順に従ってください。



オートスリープまでの時間を変更する

一定時間何の操作も行わないと自動的にスリープモードになります。効果的な節電のためにお買い上げ時の設定（ **オートスリープ移行時間(P. 344)**）でお使いになることをおすすめしますが、時間を変更する場合は以下の手順に従ってください。

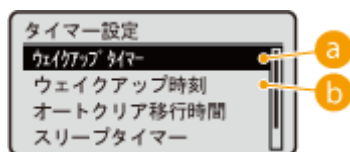
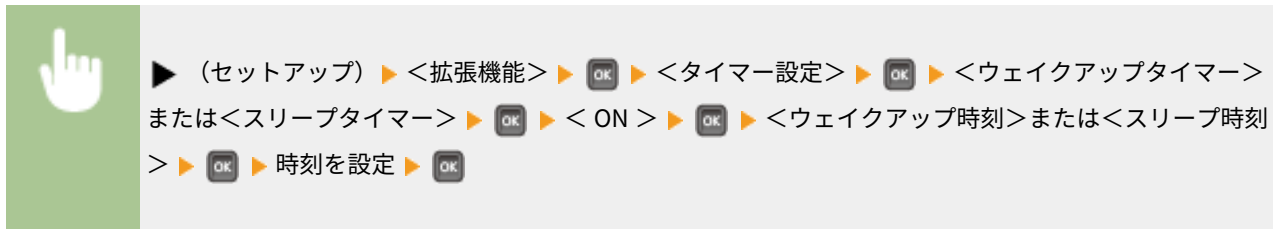




- 電源を入れた直後は、スリープモードに移行するまでの時間が長くなる場合があります。

指定した時刻にスリープモードを切り替える

決まった時刻になるとスリープモードになるように設定することができます。また逆に、指定した時刻になるとスリープモードが解除されるように設定することもできます。

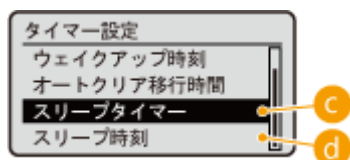


a <ウェイクアップタイマー>

<ON>に設定すると、指定した時刻に自動的にスリープモードを解除します。

b <ウェイクアップ時刻>

自動的にスリープモードを解除する時刻を設定します。



c <スリープタイマー>

<ON>に設定すると、指定した時刻に自動的にスリープモードになります。

d <スリープ時刻>

自動的にスリープモードにする時刻を設定します。

エラー時はスリープモードにならないようにする

エラー発生時にはスリープモードに移行しないように設定できます。▶エラースリープ(P. 344)



スリープモードを解除するとき

 を押します。

オートシャットダウンを設定する

4L33-016

長時間使わないでいると自動的に電源が切れるように設定することができます。指定した時刻に電源が切れるようにすることも可能です。電源の切り忘れによる無駄な電力消費を抑えることができます。お買い上げ時は、無効に設定されています。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

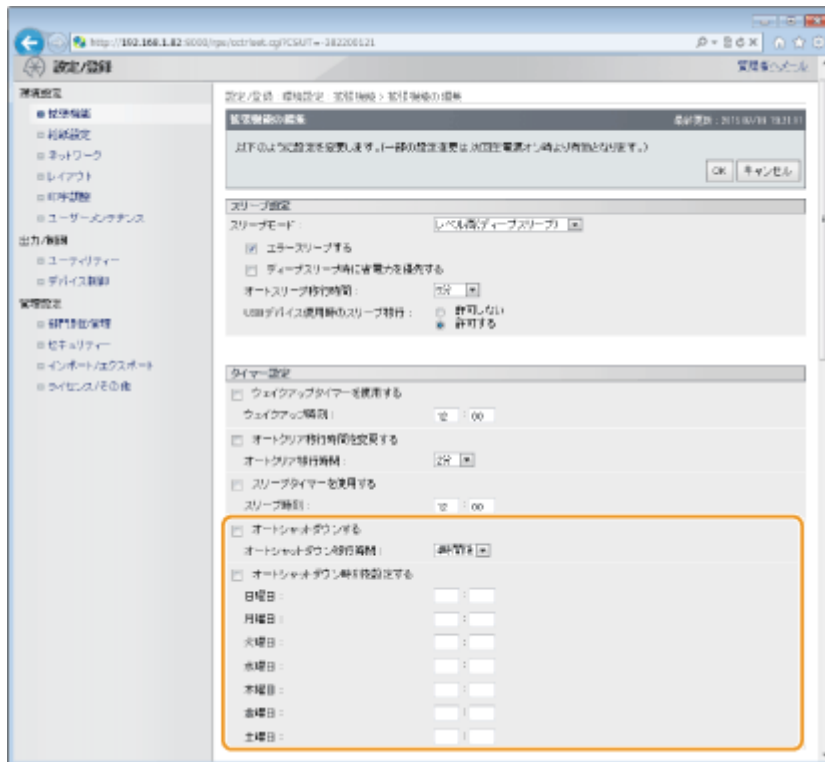
2 「設定/登録」をクリックする



3 「拡張機能」▶「編集」をクリックする



4 オートシャットダウンを設定する



【オートシャットダウンする】

チェックマークを付けると、[オートシャットダウン移行時間] で設定した時間を経過したときに電源が切れるようになります。

【オートシャットダウン移行時間】

スリープモードに入ってから電源が切れるまでの時間を選びます。

【オートシャットダウン時刻を設定する】

チェックマークを付けると、曜日ごとに設定できるようになります。

【日曜日】～【土曜日】

電源を切りたい時刻を入力します。時刻を空欄にすると、その曜日の設定はされません。

5 【OK】をクリックする



シャットダウンが終わらない場合

- 電源が切れるまでに、しばらく時間がかかることがあります。ディスプレイが消灯するまで電源プラグを抜かないでください。

指定した時刻に電源が切られない場合

- 本機で何らかの操作をしている
- ジョブ中やクリーニング中など、本機が動作中
- エラーメッセージが表示されている

指定した時刻に電源を切ることができなかったときは、1分ごとに最大10回まで再試行します。それでも電源を切ることができなかった場合、その日は自動的に電源が切られません。

印刷する

印刷する	72
パソコンから印刷する	73
用紙名称を設定する	76
印刷を中止する	79
いろいろな印刷方法	81
USB メモリーから印刷する（メディアプリント）	83
よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）	92
暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）	94
暗号化セキュアプリントを使う	97
文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）	98
本機に保存した文書を削除する	102
ボックスに名前や暗証番号を設定する	106
ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）	109
ダイレクトプリントの印刷設定	112
E メールを受信して印刷する（E メール印刷）	119
メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）	125

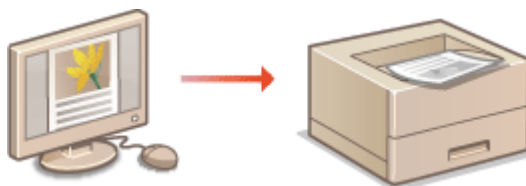
印刷する

4L33-017

パソコンで作成した文書を印刷する、USB メモリーに保存したファイルを印刷する、操作パネルで暗証番号を入力して印刷するなどの方法を説明します。

■ パソコンから印刷する

パソコンで作成した文書を、プリンタードライバーを使って印刷できます。▶ [パソコンから印刷する\(P. 73\)](#)



■ 便利な印刷機能を使用する

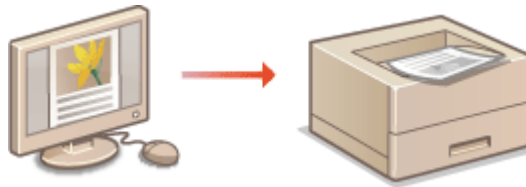
USB メモリー内のファイルをパソコンを介さずに本機から直接印刷したり、暗証番号を入力しないと印刷できないようにしたりする、などの機能を紹介します。▶ [いろいろな印刷方法\(P. 81\)](#)



パソコンから印刷する

4L33-018

アプリケーションで作成した文書を、パソコンのプリンタードライバーを使って印刷します。プリンタードライバーには、拡大／縮小や両面印刷などの設定が用意されていますので、さまざまな形で印刷できます。これらの機能を使うには、パソコンにプリンタードライバーをインストールするなどのいくつかの準備が必要です。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



- ▶ プリンタードライバーのヘルプについて(P. 73)
- ▶ オプション品を使うときは(P. 73)
- ▶ 印刷の基本操作(P. 74)
- ▶ DOS から印刷するとき (LBP322i) (P. 75)

プリンタードライバーのヘルプについて

プリンタードライバー画面の「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ユーザーズガイドに記載されていない項目の詳しい説明については、ヘルプを参照してください。

オプション品を使うときは

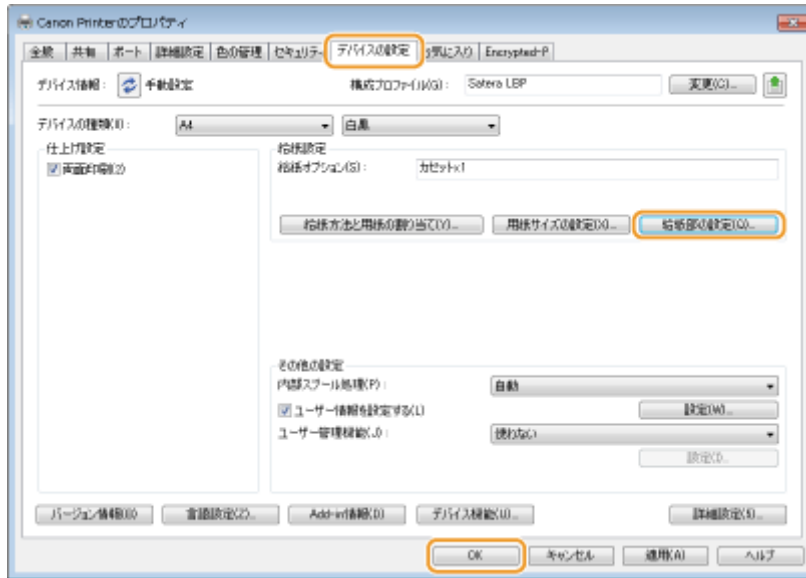
オプションのペーパーフィーダーを装着している場合は、プリンタードライバーであらかじめ以下の操作をする必要があります。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。



プリンターフォルダーを開く (▶ **プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)**) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ 「プリンターのプロパティ」または「プロパティ」▶ 「デバイスの設定」タブ ▶ 「給紙部の設定」▶ オプションカセットを設定 ▶ [OK] ▶ [OK]



印刷の基本操作

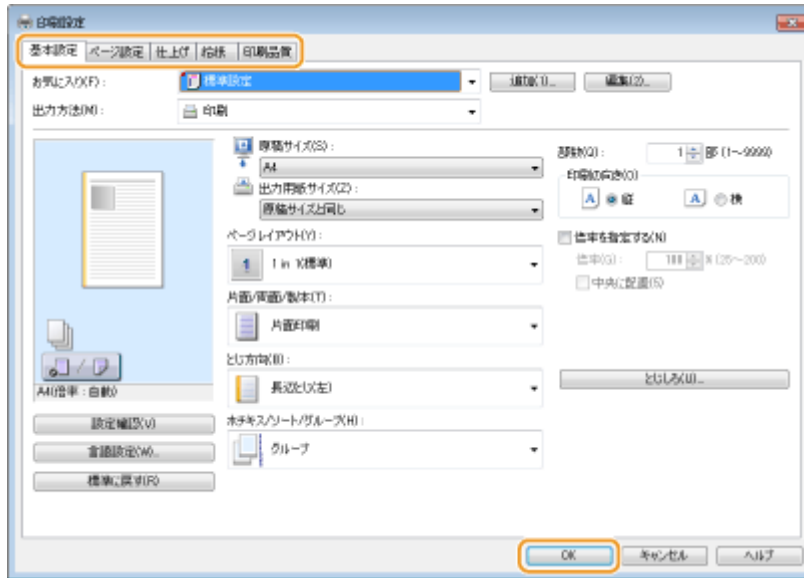
プリンタードライバーを使って、パソコン上の文書を本機で印刷する方法を説明します。



本体の用紙設定について

- 通常は各給紙部にセットした用紙サイズと種類を、あらかじめ操作パネルで設定しておく必要があります。

- 1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる**
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする**
- 3 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする**
 - 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



4 [印刷] または [OK] をクリックする

印刷が開始されます。

- 中止したいときは、**▶印刷を中止する(P. 79)** を参照してください。

DOS から印刷するとき (LBP322i)

アプリケーションのプリンター設定で本機を選択して印刷します。また、そのほかにも「キヤノン製 LIPS プリンター」や「ESC/P 準拠プリンター」を互換性のあるプリンターとして選択できます*。

*本機は動作モードとして、キャノン独自の LIPS モードと、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードを標準で内蔵しています。



- 動作モードの詳細については、**▶動作モードについて(P. 603)** を参照してください。
- 印刷設定は動作モードごとに設定を変更できます。**▶動作モード専用の設定(P. 407)**
- オプションのコントロール ROM を装着すると、PC-9800 や PS/55 シリーズ用のプリンターを互換プリンターとして選択したり、HP-GL や HP-GL/2 対応のアプリケーションから印刷したりすることが可能になります。**▶システムオプションについて(P. 559)**

用紙名称を設定する

4L33-019

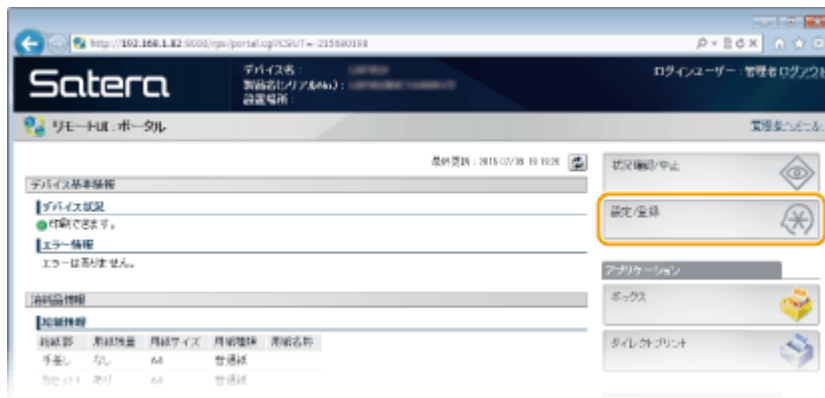
給紙部にセットした用紙の名前を付けることができます。たとえば、会社で複数のキヤノン製プリンターをお使いの場合、すべてのプリンターで特定の用紙をセットする給紙部に同じ名前を付けておきます。そうすることで、どの給紙部に目的の用紙がセットされているか確認することなく、用紙名称を指定するだけでその用紙がセットされた給紙部から印刷できます。

用紙名称を設定する

用紙名称の設定はリモート UI から行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [給紙設定] ▶ [編集] をクリックする



4 用紙名称を入力する



【用紙名称】

用紙名称を 16 文字以内の半角英数字または半角カナで入力します。

5 【OK】をクリックする



印刷するパソコンで用紙名称を指定できるようにする

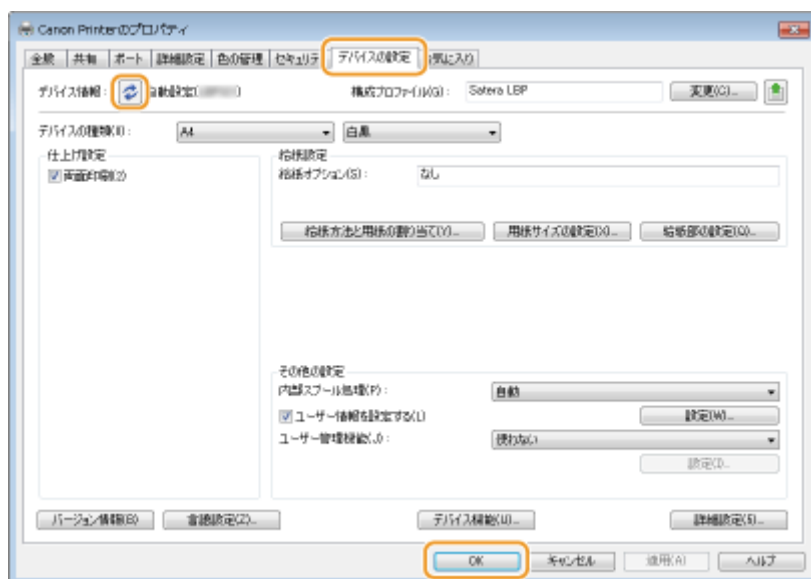
パソコンで用紙名称を指定できるようにするには、あらかじめ以下の操作をする必要があります。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。
- USB 接続または WSD ポートを使用している場合は、ここでの操作ができません。プリンタードライバーをインストールしなおしてください。
- プリントサーバーをお使いのときは、あらかじめプリントサーバーに「Canon Driver Information Assist Service」をインストールしておいてください。インストール方法は、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



プリンターフォルダーを開く ( **プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)**) ▶ 本機のプリンタードライバのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [デバイスの設定] タブ ▶  (デバイス情報を取得) ▶ [はい] ▶ [OK]



関連項目

▶ パソコンから印刷する(P. 73)

印刷を中止する

4L33-01A

パソコンから印刷を中止する方法と、本機の操作パネルから中止する方法があります。

- ▶ パソコンから(P. 79)
- ▶ 操作パネルから(P. 80)

パソコンから

デスクトップのタスクトレイに表示されているプリンターアイコンから印刷を中止できます。

1 プリンターアイコンをダブルクリックする



プリンターアイコンが表示されないとき

- プリンターフォルダーを開き（▶ [プリンターフォルダーの表示方法\(P. 593\)](#)）、本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックして「印刷ジョブの表示」をクリックします（または、本機のアイコンをダブルクリックします）。

2 中止したい文書を選んで、[ドキュメント] ▶ [キャンセル] をクリックする



3 [はい] をクリックする

⇒ 選択した文書が中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



便利な機能

リモート UI から中止する

- リモート UI の [ジョブ状況] ページから印刷を中止することができます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 324)

アプリケーションから中止する

- アプリケーションによっては、印刷中に次のような画面が表示されます。[キャンセル] をクリックして印刷を中止することができます。

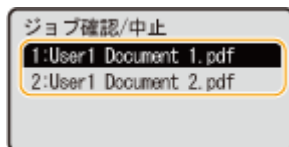


操作パネルから

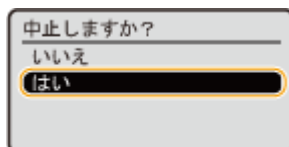
印刷データがパソコンから送られてくると [ジョブ] ランプが点灯（または点滅）しますが、この状態のときに印刷を中止することができます。

1  (ジョブ確認/中止) を押す

2 ▲／▼ で中止したい文書を選び、 を押す



3 <はい>を選び、 を押す



⇒ <ジョブを中止中です。>が表示され、選択した印刷データが中止されます。



- 中止操作をしても、数ページ印刷されることがあります。



関連項目

- ▶パソコンから印刷する(P. 73)
- ▶待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 324)

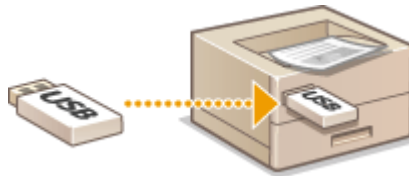
いろいろな印刷方法

4L33-01C

プリンタードライバーを使った基本的な印刷のほかに、いろいろな印刷機能を備えています。

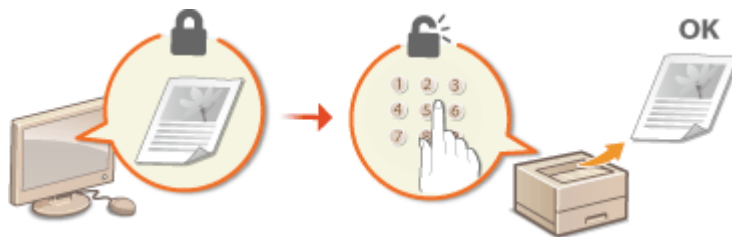
■ USB メモリーから印刷する（メディアプリント）

USB メモリーに保存されている PDF や画像ファイルなどを、パソコンを介さずに本機から直接印刷できます。▶ **USB メモリーから印刷する（メディアプリント）** (P. 83)



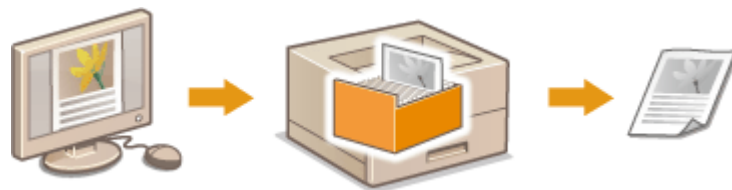
■ 暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）

パソコンから本機に送る印刷データに暗証番号を付けると、同じ番号を本機で入力しないかぎり印刷できません。機密性の高い文書を印刷するときに便利です。▶ **暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）** (P. 94)



■ 文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）

パソコンから送られた印刷データをオプションの SD カードに保存することができます。保存した印刷データは何度でも繰り返し印刷できます。▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）** (P. 98)



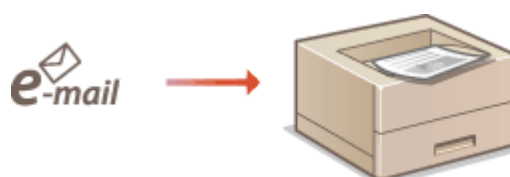
■ ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）

パソコンに保存されているファイル（PDF や JPEG など）をウェブブラウザで直接本機に送って印刷することができます。アプリケーションは使いません。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）** (P. 109)



■ E メールを受信して印刷する（E メール印刷）

本機に送られてきた E メール本文や添付ファイルをパソコンなしで直接印刷することができます。▶ **E メールを受信して印刷する（E メール印刷）（P. 119）**



■ メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）

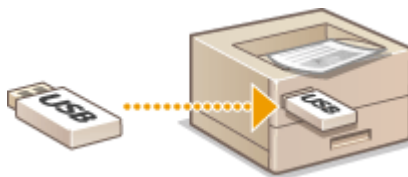
さまざまなメーカーや機種で共通して利用できる BMLinkS プリンタードライバーを使って印刷します。▶ **メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）（P. 125）**



USB メモリーから印刷する（メディアプリント）

4L33-01E

USB メモリーを本機に接続して、パソコンを介さずにファイルを直接印刷できます。



使用できる USB メモリー

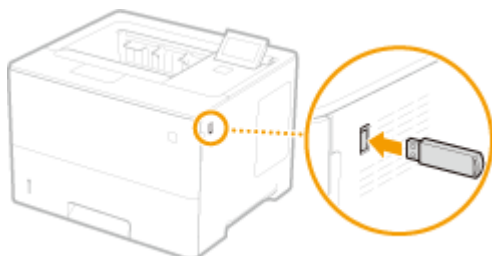
FAT32 のフォーマット形式の USB メモリーを使用できます。



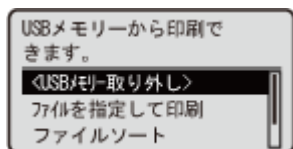
ご注意

- USB 規格に準拠していないものは使えません。また、USB メモリーによってはファイルを正しく印刷できない場合があります。
- USB メモリー以外は接続しないでください。また、USB ハブを介して接続したり、延長ケーブルを使って接続したりすることはできません。
- セキュリティー機能付きなど特殊な USB メモリーは使えません。

1 本体右側面の USB ポートに USB メモリーを接続する



⇒ 次のような画面が自動的に表示されます。



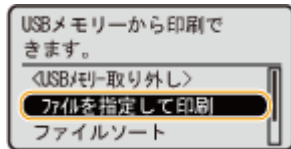
- 画面が表示されないときは、（機能選択）を押してください。



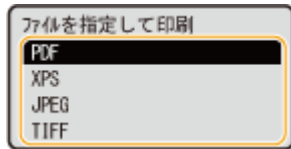
ご注意

- USB メモリーを接続しているときは、衝撃や振動を与えないでください。

2 ▲／▼で<ファイルを指定して印刷>を選び、を押す



3 印刷したいファイル形式を選び、**OK** を押す



4 印刷したいファイルを選び、**OK** を押す

- 複数のファイルを選択できます。

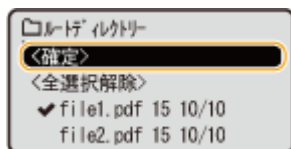


- 選択を解除するには、選択済みのファイル（✓）を選び、**OK** を押します。すべての選択をまとめて解除したいときは、<全選択解除>を選び、**OK** を押します。
- フォルダーを選んで **OK** または ▶ を押すと、その内容が表示されます。1つ上の階層に移動するときは ◀ または ◀ を押します。



- フォルダーやファイルが深い階層にあったり、フォルダー名やファイル名が長かったりすると、そのフォルダーやファイルは表示されないことがあります。
- 別のフォルダーへ移動すると、ファイルの選択は解除されます。

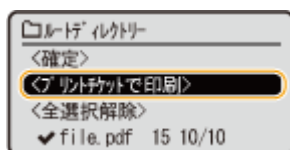
5 <確定>を選び、**OK** を押す



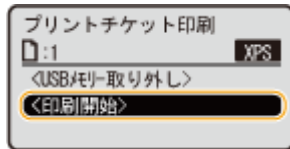
■ XPS ファイルをプリントチケットで印刷するとき

印刷するファイルのファイル形式が XPS の場合、ファイルに埋め込まれているプリントチケット（印刷設定）に従って印刷することができます。

1 <プリントチケットで印刷>を選び、**OK** を押す



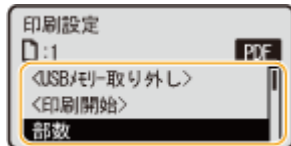
2 <印刷開始>を選び、**OK** を押す



印刷が開始されます。印刷が終了したら、USB メモリーを取り外してください。▶**USB メモリーを取り外す(P. 91)**

6 必要に応じて印刷設定をする

- 項目を選び、**OK** を押して、設定します。



説明で使用されているアイコン*について

PDF	PDF ファイル印刷時の設定項目
XPS	XPS ファイル印刷時の設定項目
JPEG	JPEG ファイル印刷時の設定項目
TIFF	TIFF ファイル印刷時の設定項目

*どのファイル形式でも表示される設定項目はアイコンを省略しています。

<部数>

印刷する部数を設定します。テンキーで入力し、**OK** を押します。



<印刷範囲> / <印刷範囲 (TIFF) >

PDF **XPS** **TIFF**

印刷する範囲（ページ）を設定します。▲ / ▼ で<指定方法> ▶ **OK** ▶ 印刷範囲の指定方法を選択 ▶ **OK** を押します。



a <すべて>

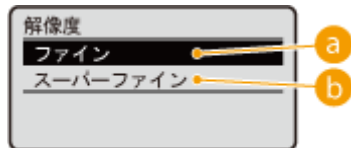
すべてのページを印刷します。

b <ページ指定>

指定したページ範囲のみを印刷します。ページ範囲は、<ページ範囲> ▶  ▶ <開始ページ>と<終了ページ>をテンキーで入力 ▶ <確定> ▶  で指定します。

<解像度>

印刷データを処理するときの解像度を設定します。▲／▼で解像度を選び、 を押します。



a <ファイン>

高速で印刷する場合に適したモードです。

b <スーパーファイン>

高い解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータを印刷するのに適したモードです。

<両面印刷>

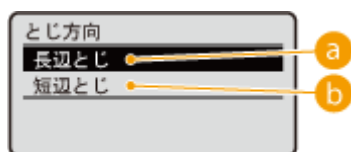
用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。▲／▼で設定を選び、 を押します。



- 用紙サイズや種類によっては両面印刷できないことがあります。▶ [用紙について\(P. 539\)](#)

<とじ方向>

両面印刷時に、印刷文書をホチキスなどとする場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。▲／▼でとじ位置を選び、 を押します。



a <長辺とじ>

とじ位置を用紙の長辺にします。

印刷する



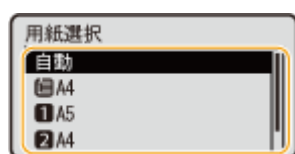
b <短辺とじ>

とじ位置を用紙の短辺にします。



<用紙選択>

印刷する用紙がセットされている給紙部を選びます。▲／▼で給紙部を選び、**OK**を押します。



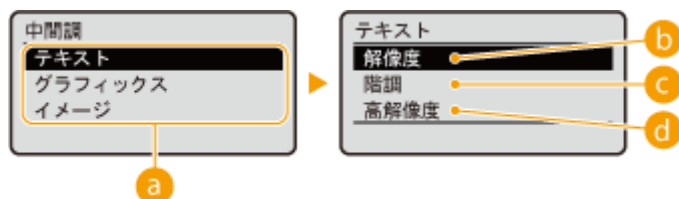
- PDF ファイルまたは XPS ファイルを印刷するときは、<自動>に設定すると最適な給紙部が自動選択されます。
- 非定型サイズ of 用紙（ユーザー設定用紙）がセットされている給紙部は選択できません。

<中間調>

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

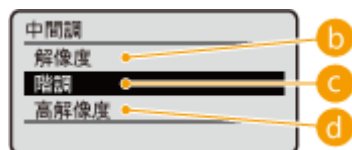
■PDF/XPS の場合

1 つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。▲／▼で画像の種類を選択 ▶ **OK** ▶ 中間調の再現方法を選択 ▶ **OK** を押します。



■JPEG/TIFF の場合

▲／▼で中間調の再現方法を選び、**OK**を押します。



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。＜テキスト＞は文字、＜グラフィックス＞は線や図形、＜イメージ＞は写真などの画像が対象となります。

b ＜解像度＞

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

c ＜階調＞

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

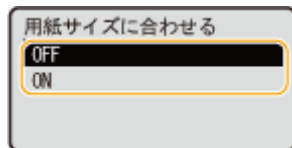
d ＜高解像度＞

＜解像度＞よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

＜用紙サイズに合わせる＞

PDF XPS

用紙の印刷範囲に合わせて自動的に拡大／縮小印刷されます。なお、原稿のタテヨコ比は固定したまま拡大／縮小されます。▲／▼で設定を選び、**OK**を押します。



- ＜用紙選択＞で＜自動＞が設定されている場合は表示されません。

＜拡大/縮小＞

JPEG TIFF

画像の拡大／縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定したまま拡大／縮小されます。▲／▼で設定を選び、**OK**を押します。



a ＜ OFF ＞

画像が用紙の印刷範囲に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズのときは縮小して印刷されます。

b ＜自動＞

用紙の印刷範囲に合わせて拡大／縮小印刷されます。

<印字領域拡大>

印刷範囲を用紙サイズいっぱいに広げて印刷するかどうかを設定します。▲／▼で設定を選び、**OK**を押します。



- ＜ON＞に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

<ページ集約>

PDF XPS

複数のページを縮小して、1枚の用紙に左上から並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、＜4 in 1＞とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。▲／▼で設定を選び、**OK**を押します。



- ＜用紙選択＞で＜自動＞が設定されている場合は表示されません。

<仕上げ>

PDF XPS

複数ページからなる文書を何部か印刷するときの仕分け方法を設定します。▲／▼で仕分けするかどうかを選び、**OK**を押します。

**a** ＜指定しない＞

仕分けは行われません。設定された部数だけページ単位で印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「111」「222」「333」「444」というように印刷されます。



b <ソート>

文書のページ順どおりに 1 部ずつ印刷されます。たとえば、4 ページの文書を 3 部印刷すると、「1234」「1234」「1234」というように仕分けて印刷されます。



<画像の向き>

JPEG TIFF

画像の印刷方向を設定します。▲／▼で印刷方向を選び、OK を押します。



a <自動>

画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。

b <縦>

タテ長の画像のときに指定します。

c <横>

ヨコ長の画像のときに指定します。



- <縦>または<横>の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小印刷されます。

<印字位置>

JPEG TIFF

画像を印刷する位置を設定します。▲／▼で印刷位置を選び、OK を押します。



a <自動>

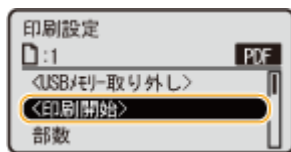
TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。

b <中央>

画像を中央に印刷します。

c <左上>

画像を左上に印刷します。

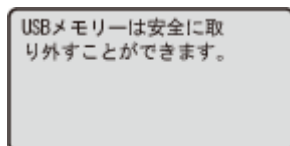
7 <印刷開始>を選び、を押す

⇒ 印刷が開始されます。

- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶印刷を中止する(P. 79)

8 USB メモリーを取り外す**1** <USB メモリー取り外し>を選び、を押す**2** <はい>を選び、を押す

⇒ 次のメッセージが表示されるまで待ちます。

**3** USB メモリーを取り外す

- 手順 1 の画面で<ファイルソート>を選ぶと、印刷するファイルを選ぶときの表示順を変更できます。

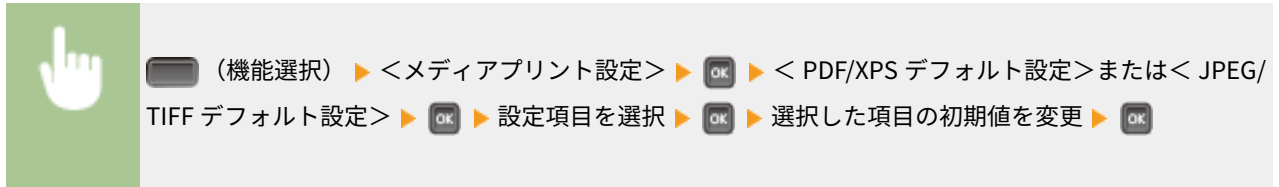
**便利な機能**

- いつも同じ設定で印刷したい ▶よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）(P. 92)

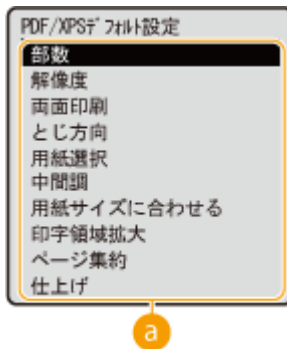
よく使うメディアプリント設定にする（初期値の変更）

4L33-01F

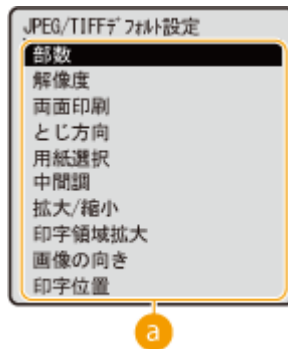
印刷設定をするときに最初に表示される設定を初期値といいます。この初期値を、ひんばんに使用する操作内容に合わせて変更しておけば、印刷するたびに同じ設定をする手間が省けます。



PDF/XPS の場合



JPEG/TIFF の場合

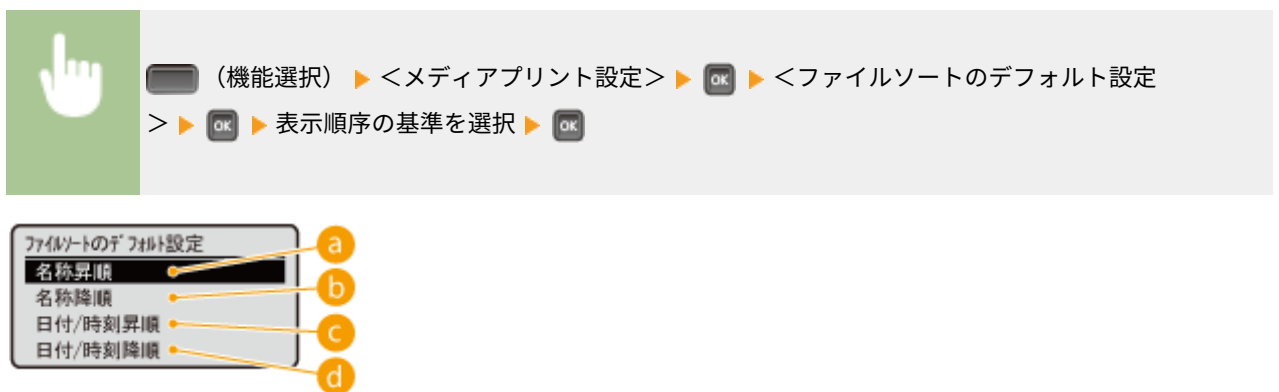


a 設定項目

設定したい項目を選び、初期値を変更します。

■印刷ファイルの表示順を設定する

USB メモリーから印刷するファイルを選ぶときの表示順を設定できます。



a ＜名称昇順＞

ファイル名で昇順に並べて表示します。

b ＜名称降順＞

ファイル名で降順に並べて表示します。

c <日付/時刻昇順>

日時に昇順に並べて表示します。

d <日付/時刻降順>

日時に降順に並べて表示します。



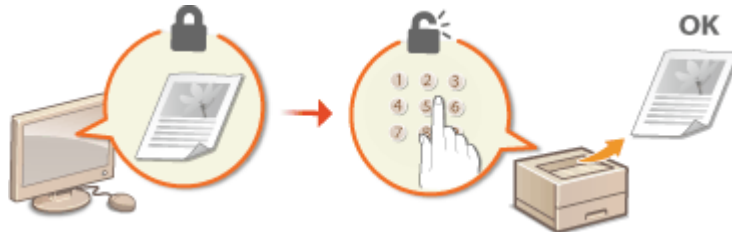
関連項目

▶ USB メモリーから印刷する（メディアプリント） (P. 83)

暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）

4L33-01H

アプリケーションから文書を印刷するとき暗証番号を付けて印刷操作をすると、その文書はすぐには印刷されずいったんオプションの SD カードにとどまります。暗証番号を知っている人が本体の操作パネルからその番号を入力しないかぎり、文書は印刷されません。これをセキュアプリントといい、暗証番号を付けた文書のことをセキュア文書といいます。セキュアプリントを使うと、機密性の高い文書を印刷したまま放置するといったリスクを防止できます。この機能を使うためには、SD カードの装着が必要です（[SD カードを取り付ける\(P. 565\)](#)）。



- セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る(P. 94)
- セキュア文書を本機から取り出す(P. 95)
- セキュア文書の保存時間を変更する(P. 96)

セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る

セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る操作です。文書に暗証番号を付けて送ります。

1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる

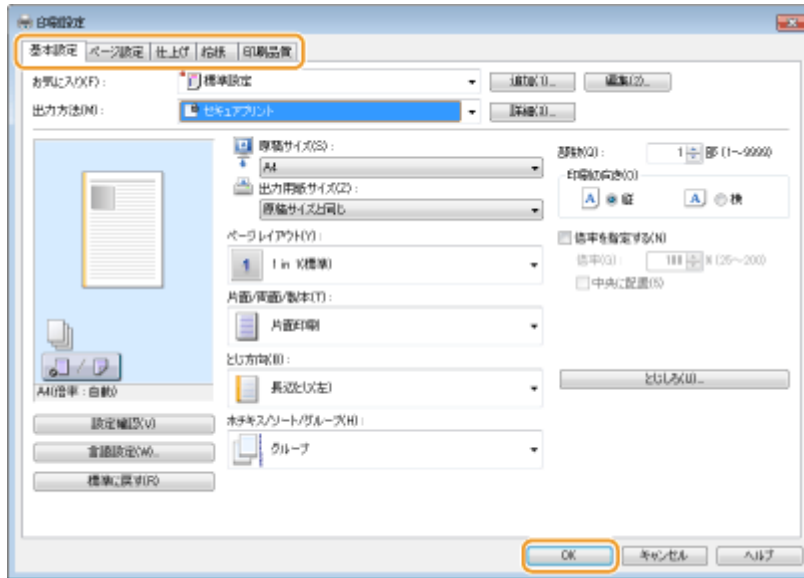
2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする

3 [出力方法] で [セキュアプリント] を選ぶ

⇒ [情報] ポップアップ画面が表示されます。メッセージを確認し、[はい] または [いいえ] をクリックしてください。

4 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする

- 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。



5 [印刷] または [OK] をクリックする

■ セキュア文書の印刷データが本機に送られ、印刷待ち文書として SD カードに保存されます。



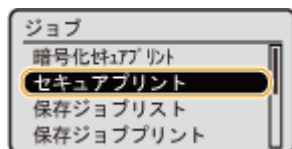
- セキュリティーをより強化した暗号化セキュアプリントを使うこともできます。▶[暗号化セキュアプリントを使う\(P. 97\)](#)

セキュア文書を本機から取り出す

本機に送ったセキュア文書を印刷します。セキュア文書は設定されている保存時間（ **セキュア文書の保存時間を変更する (P.96)**）を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。

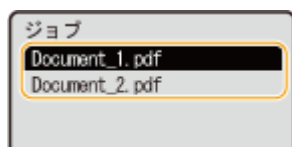
1 ▲ (ジョブ) を押す

2 ▲／▼で<セキュアプリント>を選び、を押す



3 印刷するセキュア文書を選び、 を押す

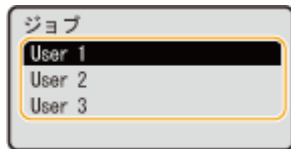
- SD カードに保存されているセキュア文書が1つのときは、この画面は表示されません。



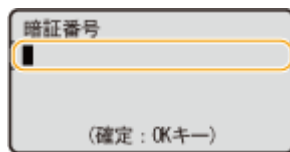


ユーザー名が表示されたときは

- 複数ユーザーのセキュア文書がSDカードに保存されている場合は、上の画面の前に、ユーザーを選択する下の画面が表示されます。自分のユーザー名を選び、**OK**を押します。



4 暗証番号をテンキーで入力し、**OK**を押す



⇒ 印刷が開始されます。

- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶ **印刷を中止する(P. 79)**

セキュア文書の保存時間を変更する

セキュア文書データを本機に送信してから消去されるまでの保存期間を一定の範囲内で変更できます。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<拡張機能>を選び、**OK**を押す

3 <セキュアプリント消去時間>を選び、**OK**を押す

4 セキュア文書がSDカードに保存される時間を選び、**OK**を押す

- ここで選択した時間が経過すると、セキュア文書は消去されます。



関連項目

- ▶ 暗号化セキュアプリントを使う(P. 97)
- ▶ SDカードを取り付ける(P. 565)

暗号化セキュアプリントを使う

4L33-01J

印刷データを暗号化して本機に送るため、通常のセキュアプリントよりセキュリティを強化することができます。

■暗号化セキュアプリントを有効にする

暗号化セキュアプリントを使用するには、あらかじめ以下の操作をする必要があります。



プリンターフォルダーを開く (**プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)**) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [デバイスの設定] タブ ▶ [詳細設定] ▶ [その他の設定] タブ ▶ [暗号化セキュアプリント] を有効にする ▶ [OK] ▶ [OK]

■暗号化セキュア文書の印刷データをパソコンから本機に送る

ヘルプを参照してください。ヘルプはプリンタードライバーから表示することができます。



プリンターフォルダーを開く (**プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)**) ▶ 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリック ▶ [プリンターのプロパティ] または [プロパティ] ▶ [Encrypted-P] タブ ▶ [ヘルプ]

■暗号化セキュア文書を本機から取り出す

本機に送った暗号化セキュア文書を印刷します。暗号化セキュア文書は設定されている保存時間 (**セキュア文書の保存時間を変更する(P. 96)**) を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。保存時間の設定方法は、セキュア文書と共通です。



▲ (ジョブ) ▶ <暗号化セキュアプリント> ▶ ▶ 印刷する暗号化セキュア文書を選ぶ ▶ ▶ テンキーで暗証番号を入力 ▶



MEMO

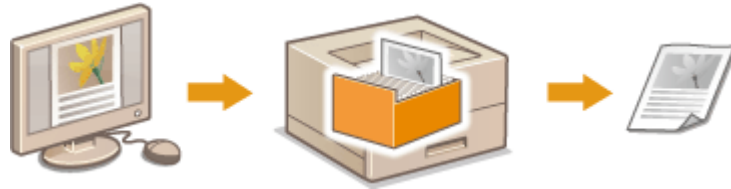
暗証番号に英文字や記号を設定しているとき

- 暗号化セキュアプリントを使うと、プリンタードライバーで暗証番号を指定するときに、数字以外に英文字や記号を使うこともできます。ただし、英文字や記号を使った場合、本体の操作パネルから暗号化セキュア文書を印刷することはできません。リモート UI の [ジョブ状況] から印刷してください。 **印刷文書の状況を確認する(P. 324)**

文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）

4L33-01K

アプリケーションから印刷したデータを本機に取り付けた SD カードに保存することができます。保存したデータは、本機から直接印刷できるため、印刷のたびにパソコンを操作する手間を省くことができます。ファクスの送付状など繰り返し印刷するような文書を保存しておく便利です。▶SD カードを取り付ける(P. 565)



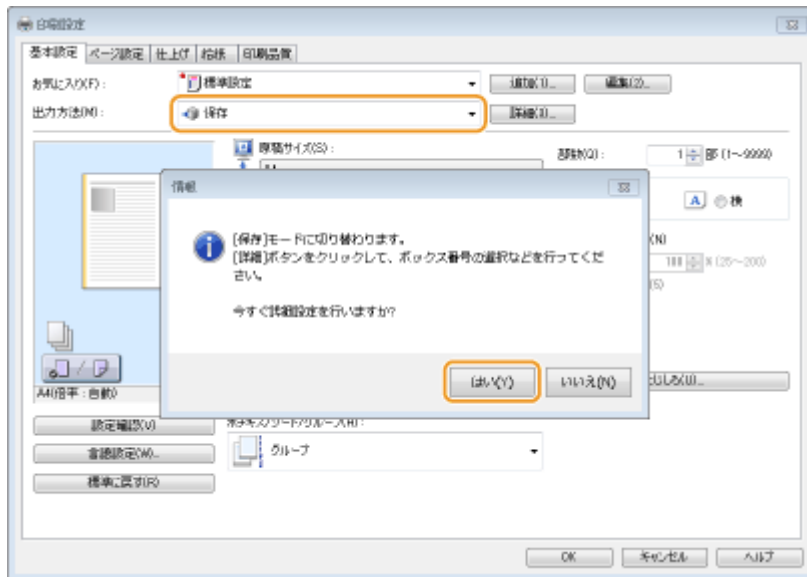
- ▶文書の印刷データを本機に保存する(P. 98)
- ▶本機に保存した文書を印刷する(P. 100)



- SD カードに保存したデータは電源を切っても削除されませんが、設定されている保存時間を経過すると自動的に削除され印刷できなくなります。保存時間を変更したり、自動的に削除されないようにしたりする場合はリモート UI で設定を変更してください（▶文書の保存時間を変更する(P. 102)）。なお、手動で削除することもできます（▶手動で文書を削除する(P. 103)）。

文書の印刷データを本機に保存する

- 1 アプリケーションで文書を開いて、印刷画面を表示させる
- 2 本機を選び、[詳細設定] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [出力方法] で [保存] を選び、[はい] をクリックする



4 保存時の設定をして、[OK] をクリックする



a [保存するデータの名称]

印刷データを SD カードに保存するときの名称を設定します。

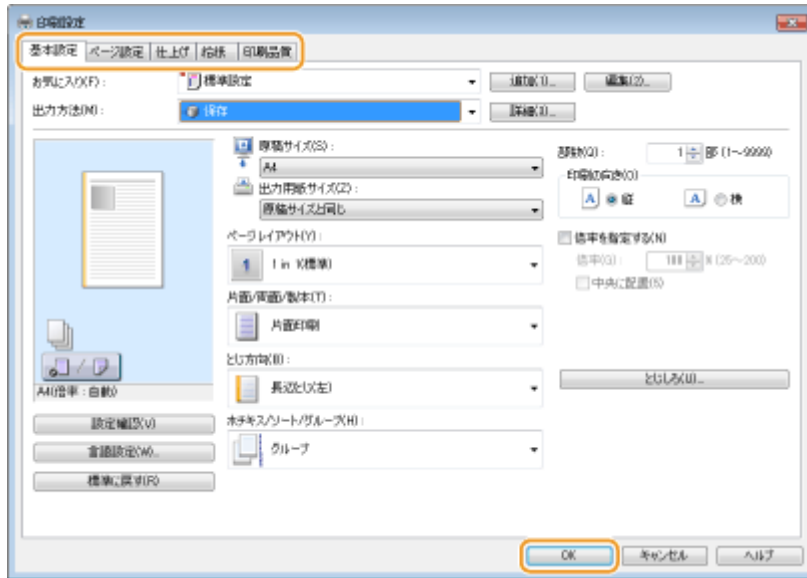
[手入力で指定]	手入力で名称を設定します。本機のディスプレイ上で区別が付くようにわかりやすい名称を付けてください。
[ファイル名を使用]	印刷データのファイル名やアプリケーションの情報をもとに自動的に名称が設定されます。

b [ボックス]

印刷データを SD カードに保存するときの格納場所のことをボックスといいます。ここでは保存先のボックスの番号を選択します。ボックスを区別しやすくするために、ボックスに名前を付けることができます。▶**ボックスに名前や暗証番号を設定する(P. 106)**

5 必要に応じて印刷設定をし、[OK] をクリックする

- 設定内容に応じて、タブを切り替えてください。
- ここで変更した印刷設定は文書といっしょに保存されます。次回文書を印刷するときは、保存したときの設定で印刷されます。



6 [印刷] または [OK] をクリックする

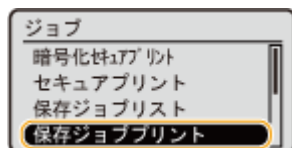
■ 文書の印刷データが本機に送られ、指定したボックスに保存されます。

本機に保存した文書を印刷する

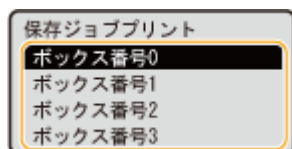
1 ▲ (ジョブ) を押す

- オフラインのときは ▲ (ジョブ) を押しても動作しません。オンラインにしてください。▶ **[オンライン] キー**
(P. 26)

2 ▲／▼で<保存ジョブプリント>を選び、**OK**を押す

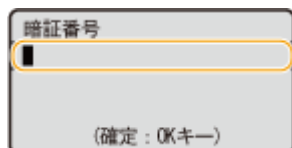


3 印刷したい文書が保存されているボックス番号を選び、 を押す

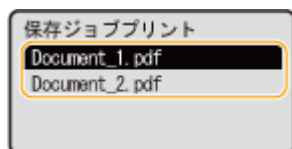


ボックスに暗証番号を設定している場合

- 暗証番号の入力画面が表示されますので、暗証番号を入力し、 を押します。暗証番号がわからないときは、本機の管理者にお問い合わせください。



4 印刷したい文書を選び、を押す



⇒印刷が開始されます。

- 印刷を中止したいときは、操作パネルから中止します。▶[印刷を中止する\(P. 79\)](#)

MEMO

- SD カードに保存した文書は、リモート UI の [ボックス] ページからも印刷することができます (▶[\[ボックス\] ページ\(P. 321\)](#))。文書を保存したボックスを開き、印刷したい文書にチェックマークを付けて [プリント] をクリックします。



関連項目

- ▶[本機に保存した文書を削除する\(P. 102\)](#)
- ▶[ボックスに名前や暗証番号を設定する\(P. 106\)](#)
- ▶[SD カードを取り付ける\(P. 565\)](#)

本機に保存した文書を削除する

4L33-01L

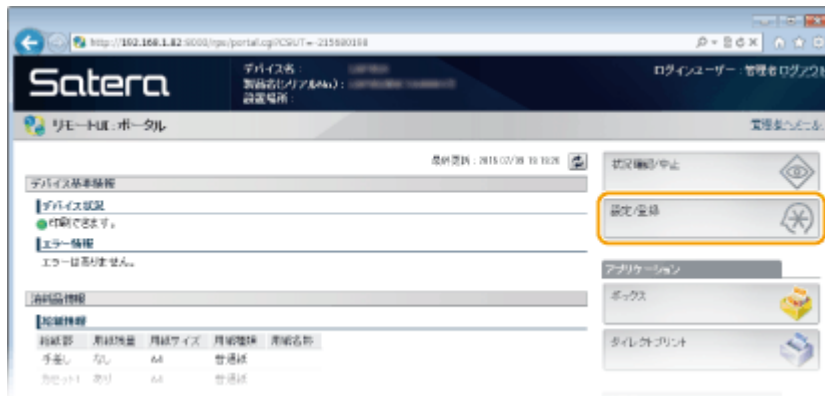
SD カードに保存したデータは、お買い上げ時の設定では一定時間を経過すると自動的に消去され印刷できなくなります。保存時間を変更したり、自動的に削除されないようにしたりする場合は、リモート UI で設定を変更してください。なお、手動で削除することもできます。

- ▶ 文書の保存時間を変更する(P. 102)
- ▶ 手動で文書を削除する(P. 103)

文書の保存時間を変更する

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする

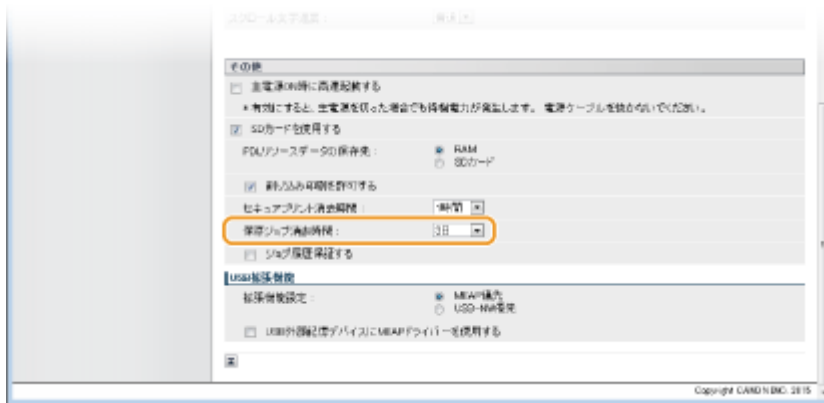


3 [拡張機能] ▶ [編集] をクリックする



4 保存時間を変更する

- 自動的に削除されないようにするには、[なし] を選択します。



5 [OK] をクリックする



手動で文書を削除する

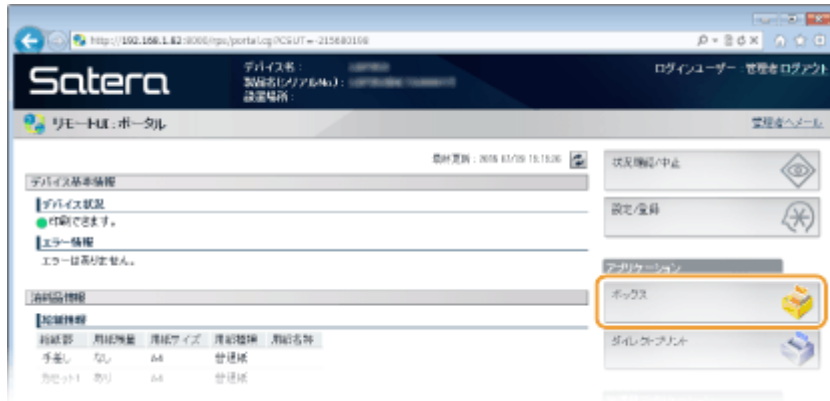
1 リモート UI を起動し、ログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)



一般ユーザーモードでログインしたとき

- お買い上げ時は、管理者以外のユーザー（一般ユーザー）が文書を削除できない設定になっています。一般ユーザーが文書进行操作できるようにするには、設定を変更する必要があります。▶ **一般ユーザーが文書进行操作できるようにする(P. 330)**
- リモート UI にログインしたときのユーザー名と印刷データのユーザー名が一致する文書のみを削除できます。

2 [ボックス] をクリックする



3 削除したい文書が保存されているボックス番号をクリックする



ボックスに暗証番号を設定している場合

- 次の画面が表示されますので、暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

暗証番号の入力

このボックスは、暗証番号で保護されています。暗証番号を入力して[OK]をクリックしてください。

2 OK キャンセル

暗証番号の入力

ボックス番号: 00

名称:

暗証番号: 1

4 削除したい文書にチェックマークを付けて、[削除] をクリックする



⇒ 指定した文書が削除されます。



- [ファイル名] のリンクをクリックすると、その文書の詳細情報を確認できます。



- 保存データの消去はバックグラウンドで行われるため、空き容量が増えるまでに時間がかかる場合があります。

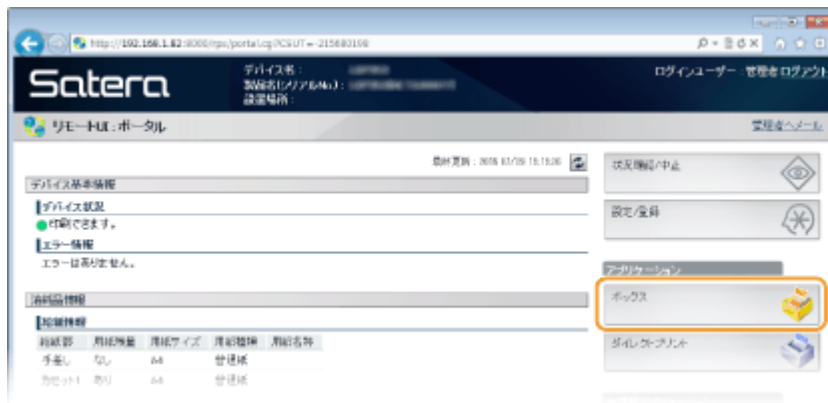
ボックスに名前や暗証番号を設定する

4L33-01R

ボックスに名前を設定したり、ボックスを開くための暗証番号を設定したりすることができます。ボックスにわかりやすい名前を設定することで、プリンタードライバーで文書の保存先を選ぶときに区別が付きやすくなります。また、暗証番号を設定することで、限られたユーザーだけが保存された文書にアクセスできるようになるため、セキュリティ効果が高まります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [ボックス] をクリックする



3 設定したいボックス番号をクリックする



ボックスに暗証番号を設定している場合

- 次の画面が表示されますので、暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

暗証番号の入力

このボックスは、暗証番号で保護されています。暗証番号を入力して[OK]をクリックしてください。

2 OK キャンセル

暗証番号の入力

ボックス番号: 00

名称:

暗証番号: ●●●●●● 1

4 [設定] をクリックする



5 名前や暗証番号を設定する



[ボックス名]

ボックスに名前を設定したい場合に入力します。

[暗証番号を設定する]

暗証番号を設定したい場合は、チェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ暗証番号を入力します。



- 暗証番号の先頭の数字に「0」は設定できません。先頭に入力した「0」を取り除いた数字が暗証番号として設定されます。

6 [OK] をクリックする



ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）

4L33-01S

ファイルを開かずに、ウェブブラウザ（リモート UI）を使って直接印刷することができます。また、ウェブ上にある PDF ファイルを URL 指定するだけで直接印刷することもできます。



1 リモート UI を起動し、ログインする **▶** リモート UI を起動する(P. 315)

2 [ダイレクトプリント] をクリックする



3 印刷するファイルの種類をクリックする



[PDF ファイル]

PDF ファイルを印刷するときにクリックします。

【画像ファイル】

JPEG/TIFF ファイルを印刷するときにクリックします。

【XPS ファイル】

XPS ファイルを印刷するときにクリックします。

4 【参照】をクリックする

- ファイルを選択するダイアログボックスが表示されるので、印刷するファイルを選んで「開く」をクリックします。
- PDF ファイルを印刷するときは、「ファイルのパス」を選びます。



ウェブ上の PDF ファイルを印刷するとき

- 「URL」を選び、PDF ファイルの URL を入力します。ユーザー認証が必要な場合は、「ユーザー名」と「パスワード」も入力します。

PDF ファイルにパスワードがかかっているとき

- 「文書パスワード」にパスワードを入力します。

ポリシーサーバーと連携している PDF ファイルを印刷するとき

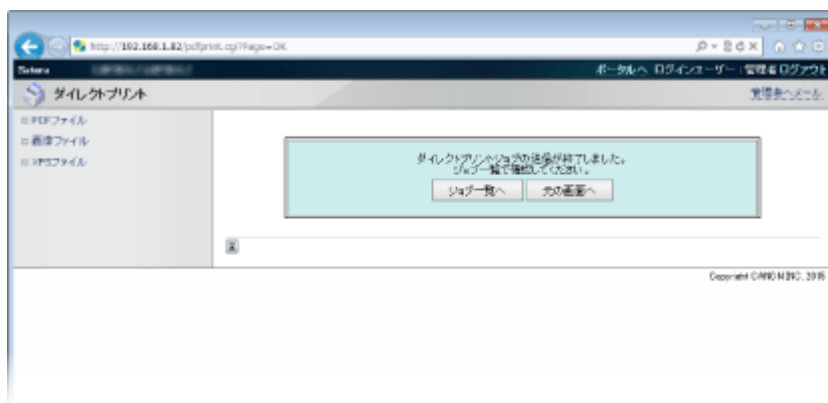
- 「ポリシーサーバーのユーザー名」と「ポリシーサーバーのパスワード」に入力が必要です。

5 必要に応じて印刷設定をする ▶ダイレクトプリントの印刷設定(P. 112)

6 【プリント開始】をクリックする



⇒ 次のような画面が表示され、印刷が開始されます。



- [ジョブ一覧へ] をクリックすると、[ジョブ状況] ページが表示され、印刷状況を確認できます。▶印刷文書の状況を確認する(P. 324)



- 印刷が開始されるまで時間がかかることがあります。



関連項目

- ▶リモート UI を使う(P. 314)

ダイレクトプリントの印刷設定

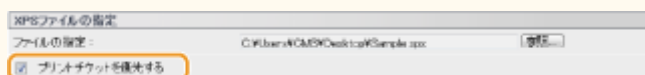
4L33-01U

印刷する文書に応じてダイレクトプリントの設定を変更したいときは、以下の項目を設定します。



XPS ファイルの印刷設定をするとき

- [プリントチケットを優先する]のチェックマークを外してください。チェックマークが付いていると一部の項目を設定することができません。



説明で使用されているアイコン*について

- PDF** PDF ファイル印刷時の設定項目
- JPEG** JPEG ファイル印刷時の設定項目
- TIFF** TIFF ファイル印刷時の設定項目
- XPS** XPS ファイル印刷時の設定項目

*どのファイル形式でも表示される設定項目はアイコンを省略しています。

[プリント範囲の指定]



a [プリント範囲]

印刷する範囲（ページ）を指定します。

[すべて]	すべてのページを印刷するときに選びます。
[ページ指定]	印刷範囲を指定するときに選びます。JPEG ファイルは指定できません。

[プリント品質設定]



a [解像度]

印刷するときのデータの解像度を設定します。

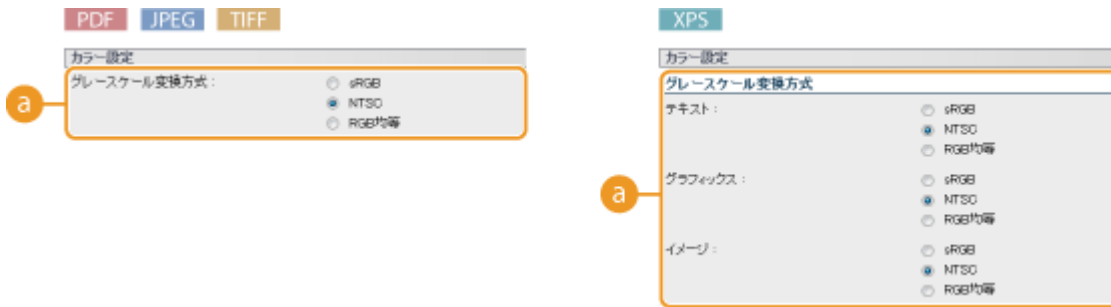
[スーパーファイン]	高い解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータを印刷するのに適したモードです。
[ファイン]	高速で印刷する場合に適したモードです。

b [中間調選択]

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。PDF ファイルや XPS ファイルの場合は、1つの文書に対して [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[解像度]	テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。
[階調]	階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。
[高解像度]	[解像度] よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

[カラー設定]



a [グレースケール変換方式]

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。XPS ファイルの場合は [テキスト]、[グラフィックス]、[イメージ] という画像の種類別に設定できます。

[sRGB]	色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。
[NTSC]	テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。
[RGB 均等]	明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。

[プリント設定]



a [部数]

印刷部数を設定します。

b [用紙サイズ]

印刷する用紙のサイズを設定します。



- PDF ファイルまたは XPS ファイルを印刷するときは、[自動] に設定すると最適な用紙サイズが自動選択されます。最適サイズがない場合は、＜デフォルト用紙サイズ＞で設定した用紙サイズで印刷されます（[▶デフォルト用紙サイズ\(P. 469\)](#)）。

c [用紙種類]

印刷する用紙の種類を設定します。

d [手差し固定] PDF XPS

チェックマークを付けると、手差しトレイにセットされている用紙からしか印刷されません。

e [用紙サイズに拡大/縮小する] PDF XPS

チェックマークを付けると、用紙の印刷範囲に合わせて拡大／縮小印刷されます。なお、原稿のタテヨコ比は固定されたまま拡大／縮小されます。



- [用紙サイズ] が [自動] のときは、この項目は設定できません。

f [画像の向き] JPEG TIFF

画像の印刷方向を設定します。

[自動]	画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。
[縦]	タテ長の画像のときに指定します。
[横]	ヨコ長の画像のときに指定します。



- [縦] または [横] の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小印刷されます。

g [印字位置] JPEG TIFF

画像を印刷する位置を設定します。

[自動]	TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。
[中央]	画像を中央に印刷します。
[左上]	画像を左上に印刷します。

h [拡大/縮小] JPEG TIFF

画像の拡大／縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定されたまま拡大／縮小されます。

[しない]	画像が用紙の印刷範囲に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズのときは縮小して印刷されます。
[自動]	用紙の印刷範囲に合わせて拡大／縮小印刷されます。

i [印字領域拡大する]

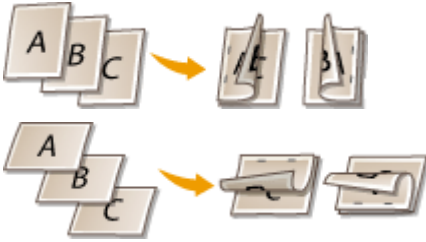
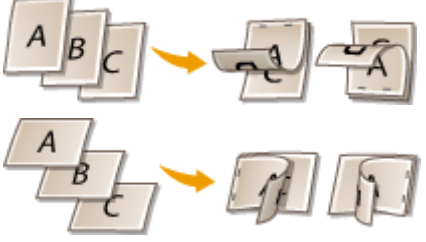
チェックマークを付けると、印刷範囲を用紙サイズいっぱいに広げて印刷します。ただし、原稿によっては、用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

j [両面プリントする]

チェックマークを付けると、用紙の両面に印刷します。

k [とじ方向]

印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。とじ位置によって印刷方向も変化します。また、とじ位置の余白を設定することもできます（▶とじしろ(P. 381)）。

[長辺とじ]	とじ位置を用紙の長辺にします。 
[短辺とじ]	とじ位置を用紙の短辺にします。 

l [警告表示] JPEG TIFF

エラーが生じたときの動作を設定します。

[印刷]	エラー内容を印刷し、画像は印刷しません。
[パネル]	画像を印刷せず、操作パネルにエラーメッセージを表示します。
[しない]	画像を印刷せず、エラーも表示しません。

m [ページ集約] PDF XPS

複数のページを縮小して、1枚の用紙に並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、[4 in 1] とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。



- [用紙サイズ] が [自動] のときは、この項目は設定できません。

n [配置順] PDF XPS

各ページをどのような配置で1枚の用紙に収めるかを設定することができます。



o [仕上げ] PDF XPS

複数ページからなる文書を何部か印刷するときの仕分け方法を設定します。この項目はSDカード装着時に表示されます。

[しない]	仕分けは行われません。設定された部数だけページ単位で印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「111」「222」「333」「444」というように印刷されます。 
[ソート]	文書のページ順どおりに1部ずつ印刷されます。たとえば、4ページの文書を3部印刷すると、「1234」「1234」「1234」というように仕分けて印刷されます。 

p [注釈印刷] PDF

注釈を印刷するかどうかを設定します。

[自動]	PDF ファイルの注釈を印刷します。
[しない]	注釈を印刷しません。

q [ボックスに保管する] PDF XPS

文書を印刷せずに、本機のSDカードに保存することができます。チェックマークを付けると [ボックス番号 (00～99)] で指定したボックスに文書が保存されます。ボックス内の文書は本体の操作パネルから何度でも印刷するこ

とができます。文書を印刷する方法は  **本機に保存した文書を印刷する(P. 100)** を参照してください。この項目は SD カード装着時に表示されます。



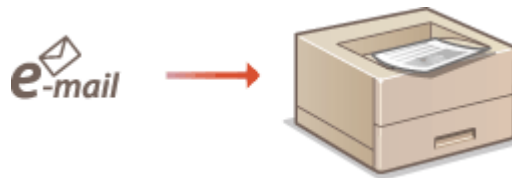
関連項目

-  **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）(P. 109)**

E メールを受信して印刷する（E メール印刷）

4L33-01W

E メール印刷とは、POP3 メールサーバーから受信した E メールの本文や添付された画像ファイルを、パソコンを介さずに直接印刷する機能です。一定間隔の自動受信のほか、手動で受信することもできます。SMTP プロトコルを使うと、メールサーバーを介さず本機に直接送信された E メールを印刷します。



▶ E メール印刷の設定をする(P. 119)

▶ E メールを手動で受信する(P. 123)



- セットアップメニューの＜ TIFF スプール機能＞を＜ ON ＞にすると、受信データを本機または SD カード内に一時的に保管してから印刷するため、エラー発生を減らすことができます。▶ TIFF スプール機能(P. 439)

E メール印刷の設定をする

本機で E メールを受信し印刷するための設定について説明します。メール受信に関する設定はパソコンから、印刷に関する設定は本機の操作パネルから行います。

パソコンから

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [E メール印刷設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 Eメール印刷機能の各項目を設定する

■POP3 メールサーバーから E メール印刷するときは

Eメールの受信動作をした時点で、サーバーのメールボックスに保存されている E メールをすべて印刷します。印刷したい E メールを本機宛に送っておくと、一定時間ごとに自動的に印刷したり、任意のタイミングにまとめて印刷したりすることができます。



- 本機で受信した E メールはすべてサーバーから削除されますので、E メール印刷専用のメールアドレスのご利用をおすすめします。

POP3 プロトコルの使用条件

- POP3 メールサーバーは UIDL コマンドをサポートしている必要があります。詳しくは、ネットワーク管理者またはサーバー管理者にお問い合わせください。

POP3サーバー名:

POP3ユーザー名:

☐ パスワードを設定/変更する

パスワード: (32文字まで)

確認入力: (32文字まで)

POP3受信間隔: 0 分(0~90)

☐ POP3受信する

POP3サーバーのポート番号: 110 (0~65535)

[POP3 サーバー名]

E メールを受信するサーバー名または IP アドレスを入力します。

[POP3 ユーザー名]

メールサーバーに接続するためのユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを設定/変更する]

メールサーバーに接続するためのパスワードを設定するときは、チェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

[POP3 受信間隔]

メールサーバーへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、自動受信して印刷します。操作パネルの設定メニューにある＜POP3 受信間隔＞でも設定できます（**POP3 受信間隔(P. 376)**）。



自動受信を行わないようにする

- [POP3 受信間隔] を [0] に設定します。[0] に設定したときは手動で E メールを受信してください。**POP3 E メールを手動で受信する(P. 123)**

[POP3 受信する]

チェックマークを付けると、POP3 メールサーバーからの E メール印刷ができるようになります。操作パネルの設定メニューにある＜POP3 受信＞でも設定できます（**POP3 受信(P. 376)**）。

[POP3 サーバーのポート番号]

E メールを受信するサーバーのポート番号を設定します。

■SMTP プロトコルで E メール印刷をするときは

本機に SMTP プロトコルで E メールを送信すると、受信した時点ですぐに印刷します。キヤノン製複合機からファクス文書を転送して本機で印刷したいときは、この機能を有効にしてください（**キヤノン製複合機からファクス文書を転送するには(P. 124)**）。



☐ SMTP受信する

SMTPサーバーのポート番号:

[SMTP 受信する]

チェックマークを付けると、SMTP プロトコルでの E メール印刷ができるようになります。操作パネルの設定メニューにある< SMTP 受信>でも設定できます ([▶SMTP 受信\(P. 377\)](#))。

[SMTP サーバーのポート番号]

E メールを受信するときのポート番号を設定します。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルから

8 必要に応じて E メール印刷に関するその他の設定をする

■ Eメールの本文を印刷するかどうかを設定する

▶ Eメール本文印刷(P. 440)

■ Eメール本文の印刷ページ数を制限する

▶ E メール本文印刷制限(P. 441)

■ 添付画像の印刷設定をする

- ▶ 画像の向き(P. 437)
- ▶ 拡大/縮小(P. 438)
- ▶ 印字位置(P. 438)
- ▶ TIFF スプール機能(P. 439)
- ▶ 警告表示(P. 440)
- ▶ 印字領域拡大(P. 441)
- ▶ 中間調選択(P. 441)
- ▶ グレースケール変換方式(P. 442)

■ E メール印刷のエラーを表示するかどうかを設定する

- ▶ 警告表示(P. 347)

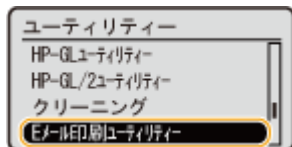
E メールを手動で受信する

POP3 メールサーバーから E メール印刷するように設定されているときは、手動で E メールを受信して印刷することもできます。自動受信する前にサーバーへ接続したい場合や、自動受信を行わないように設定している場合は、以下の方法で手動受信してください。

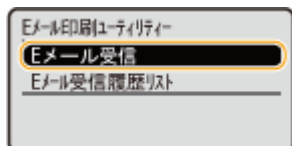
1 ◀ (ユーティリティ) を押す

- オフラインのときは ◀ (ユーティリティ) を押しても動作しません。オンラインにしてください。▶ [オンライン] キー(P. 26)

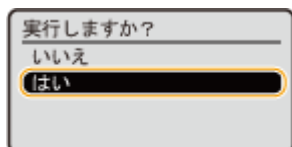
2 ▲ / ▼ で< E メール印刷ユーティリティ>を選び、 を押す



3 < E メール受信>を選び、 を押す



4 <はい>を選び、 を押す



➡ メールサーバーへ接続します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、E メール印刷が開始されます。



キヤノン製複合機からファクス文書を転送するには

本機の SMTP 受信を有効にしてから、転送元の複合機でインターネットファクス（I ファクス）アドレスに本機の IP アドレスを指定してください。転送されたファクス文書はすぐに印刷されます。

- 印刷可能な添付ファイルの形式は TIFF のみです。TIFF ファイルはファクス文書ごとに 1 つのみを印刷できます。
- トナーカートリッジが寿命に近づくと、ファクス文書を受信できなくなります。受信できなかったファクス文書は、複合機側で印刷されます。
- オプションの SD カード装着時は、印刷可能な TIFF ファイルのサイズが最大 100 MB までに制限されます。



関連項目

- ▶ 文書の履歴を確認する(P. 325)
- ▶ E メール受信履歴リスト(P. 501)

メーカー共通のドライバーを使用して印刷する（BMLinkS）

4L33-01X

本機は BMLinkS に標準で対応しています。BMLinkS とは、メーカーや機種によって接続の仕様が異なるプリンターや複合機、スキャナーを共通の仕様を用いて接続する技術です。BMLinkS を使用すれば、メーカーや機種が異なっても、1つのプリンタードライバーから共通の操作や設定で印刷することができます。たとえば、お得意先や出張先などに BMLinkS に対応したプリンターがあった場合、専用のプリンタードライバーをインストールすることなく、自分のノートパソコンからすぐに印刷できます。また、BMLinkS 対応のスキャナーとプリンターが同一ネットワーク上にある場合、スキャナーで読み込んだ画像をプリンターへ直接送って印刷するといったこともできます。



- BMLinkS プリンタードライバーの入手方法や使用環境、本製品が対応している機能などについては、BMLinkS のホームページ（<http://bmlinks-committee.jbmia.or.jp>）をご確認ください。

本機で BMLinkS を使うための準備をする

BMLinkS プリンタードライバーから印刷できるようにするために、本機の BMLinkS の設定をしてください。BMLinkS の設定はリモート UI から行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 「設定/登録」をクリックする



3 「ネットワーク」▶「TCP/IP 設定」をクリックする



4 [BMLinkS 設定] にある [編集] をクリックする



5 [BMLinkS を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を設定したあと、[OK] をクリックする



[BMLinkS を使用する]

チェックマークを付けると BMLinkS が有効になります。BMLinkS を使用しないときはチェックマークを外してください。

[TLS を使用する]

BMLinkS で印刷するときに TLS を使用する場合はチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。



- TLS を使用するときは、TLS 暗号化通信機能を有効にしてください。▶**TLS で暗号化通信をする(P. 268)**

[Discovery 送信間隔]

本機がネットワーク上で動作していることを示す情報を送信する間隔を設定します。

[受け付けるジョブの種類]

本機で受信する印刷データの種類を設定します。文書に暗証番号を設定する機密印刷のみを受け付けたいときは、[機密印刷のみ] を選択します。

[組織名] / [支店名] / [ビル名] / [階数] / [ブロック名]

必要に応じて本機の設置場所の情報を設定します。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



▶▶▶ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから BMLinkS を有効／無効に切り替えることもできます。▶**BMLinkS(P. 363)**

モバイル機器と便利に連携

モバイル機器と便利に連携	129
モバイル機器と接続する	130
アプリを使って本機を活用する	131
AirPrint を使う	133
AirPrint で印刷する	137
AirPrint を使用できないときは	140
Google Cloud Print を使う	141
本機を遠隔管理する	145

モバイル機器と便利に連携

4L33-01Y

スマートフォンやタブレットなどのモバイル機器と本機を連携させることで、アプリを使って印刷が手軽に行えます。また、モバイル機器から本機を遠隔操作し、印刷状況を確認したり、本機の設定を変更したりすることもできます。



- ▶ モバイル機器と接続する(P. 130)
- ▶ アプリを使って本機を活用する(P. 131)
- ▶ 本機を遠隔管理する(P. 145)

モバイル機器と接続する

4L33-020

無線 LAN ルーターを介して、モバイル機器と本機を接続します。無線 LAN ルーターやモバイル機器の設定方法、操作手順に関しては機器付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。



MEMO

- 本機には無線 LAN ルーターは付属していません。別途ご用意ください。

アプリを使って本機を活用する

4L33-021

本機と接続したモバイル機器からアプリを使って印刷などを行います。キヤノンの専用アプリをはじめ、さまざまなアプリに対応しています。お使いの機器や用途、利用シーンなどに応じて使い分けてください。

■Canon PRINT Business を使う

iOS/Android 対応モバイル機器から印刷などをするアプリです。印刷するときは、本機での操作は不要です。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関してはアプリのヘルプや、キヤノンホームページ (<https://global.canon/gomp/>) をご覧ください。



- Canon PRINT Business は無料でダウンロードできますが、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。

■Canon Print Service で印刷する

Android の印刷サブシステムをサポートしているアプリのメニューから簡単に印刷できます。対応 OS や詳しい設定方法、操作手順に関しては、キヤノンホームページ (<https://global.canon/>) をご覧ください。

■Mopria®で印刷する

本機は Mopria®にも対応しています。Mopria®を使用すれば、メーカーや機種が異なっても共通の操作や設定で Android 対応モバイル機器から印刷することができます。たとえば、複数のメーカーの Mopria®対応プリンターをお使いの場合や、外出先に Mopria®対応プリンターがあった場合などに、メーカーや機種ごとの専用アプリをインストールすることなく印刷できます。対応機種や動作環境の詳細は、<http://www.mopria.org> をご覧ください。



Mopria®の設定を確認する



リモート UI に管理者モードでログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 315)**) ▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [Mopria 設定] ▶ [編集] ▶ [Mopria を使用する] にチェックマークが付いていることを確認 ▶ [OK]

■Google Cloud Print で印刷する

Google Cloud Print に対応しているアプリケーションやサービスを使って、パソコンやモバイル機器からプリンタードライバーを介さずに印刷できます。▶[Google Cloud Print を使う \(P. 141\)](#)

AirPrint を使う

4L33-022

Apple 製機器からプリンタードライバーを介さずに印刷が行えます。



AirPrint の設定

- ▶ AirPrint の設定をする(P. 133)
- ▶ AirPrint 専用ページを表示する(P. 135)

AirPrint でできること

- ▶ AirPrint で印刷する(P. 137)

困ったときは

- ▶ AirPrint を使用できないときは(P. 140)

AirPrint の設定をする

本機を識別するための名称や設置場所を登録できます。AirPrint を使用できないように設定することもできます。設定はリモート UI を使って行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする

- iPad や iPhone、iPod touch などのモバイル機器を使う場合、以降の「クリック」という指示は「タップ」と読み替えてください。



3 [ネットワーク] ▶ [AirPrint 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



【AirPrint を使用する】

AirPrint を使用するときはチェックマークを付けます。AirPrint を使用できないようにする場合は、チェックマークを外してください。

【プリンター名】／【設置場所】／【緯度】／【経度】

お使いの Apple 製機器から本機を識別するための名称や設置場所を入力します。AirPrint 対応プリンターが複数台あるときは入力しておくとも便利です。



【AirPrint を使用する】 にチェックマークを付けると

以下の設定も自動的に < ON > となります。

- IPv4 と IPv6 の < mDNS 設定 > ➡ **DNS の設定をする(P. 187)**
- < HTTP > ➡ **HTTP 通信を無効にする(P. 261)**
- < IPP 印刷 > ➡ **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)**

【プリンター名】 を変更すると

- 一度設定した【プリンター名】を変更すると今まで印刷できていた Mac から印刷できなくなることがあります。これは IPv4 の < mDNS 名 > (➡ **DNS の設定をする(P. 187)**) も変更されるために起きる現象です。この場合は Mac に本機を追加しなおしてください。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから AirPrint を有効／無効に切り替えることもできます。



▶ (セットアップ) ▶ < ネットワーク > ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < AirPrint > ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶

AirPrint 専用ページを表示する

AirPrint 専用ページから AirPrint の設定画面を表示したり、用紙やトナーカートリッジなどの消耗品の状態を確認したりすることができます。また、セキュリティ機能の設定 (➡ **TLS で暗号化通信をする(P. 268)**) も行うことができます。

- 1** デスクトップの Dock で【システム環境設定】 ▶【プリンタとスキャナ】をクリックする
- 2** 本機を選び、【オプションとサプライ】をクリックする
- 3**【プリンタの Web ページを表示】をクリックする
- 4** リモート UI にログインする

- AirPrint の設定を変更する場合は、管理者モードでログインしてください。

⇒ AirPrint 専用ページが表示されます。



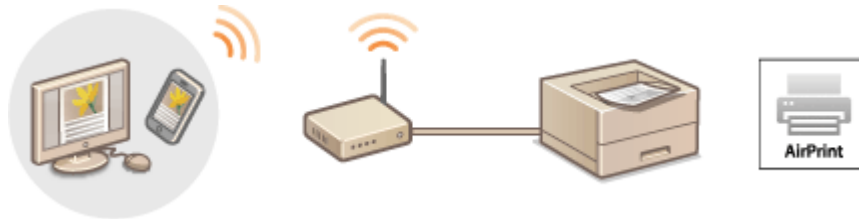
商標について

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Mac、macOS、OS X および Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。AirPrint および AirPrint ロゴは、Apple Inc.の商標です。

AirPrint で印刷する

4L33-023

Eメール、写真、ウェブページなどを印刷できるのはパソコンだけではありません。AirPrint を使えば、iPad、iPhone、iPod touch から直接印刷することができます。



▶ iPad、iPhone または iPod touch から印刷する(P. 137)

▶ Mac から印刷する(P. 138)

動作環境

AirPrint で印刷するには、次のいずれかの Apple 製機器が必要です。

- iPad（すべてのモデル）
- iPhone（3GS 以降）
- iPod touch（第3世代以降）
- Mac（Mac OS X 10.7 以降）*

*USB 接続でお使いの場合は OS X 10.9 以降

ネットワーク環境

次のいずれかの環境が必要です。

- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されている。
- Mac と本機が USB 接続されている。



USB 接続で使用する時

- < USB 接続する PC の OS >を< Mac OS >に設定してください。▶USB 接続する PC の OS(P. 351)

iPad、iPhone または iPod touch から印刷する

1 本機の電源が入っていて、お使いの Apple 製機器と接続されていることを確認する

- 確認方法については「はじめにお読みください」を参照してください。▶マニュアルの種類と内容(P. 570)

2 お使いの Apple 製機器のアプリケーションで、 をタップしてメニューオプションを表示する

3 プルダウンメニューから [プリント] をタップする

4 [プリンタオプション] の [プリンタ] で本機を選ぶ

- ネットワーク内で接続されているプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。



- アプリケーションが AirPrint に対応していないと [プリンタオプション] は表示されません。この場合は印刷できません。

5 必要に応じて印刷の設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 [プリント] をタップする

⇒ 印刷が開始されます。



印刷の進行状況を確認するには

- 印刷中に Apple 製機器のホームボタンを 2 回押す ▶ [プリント] をタップ

Mac から印刷する

1 本機の電源が入っていて、Mac と接続されていることを確認する

- 確認方法については「はじめにお読みください」を参照してください。▶ **マニュアルの種類と内容(P. 570)**

2 [システム環境設定] ▶ [プリンタとスキャナ] でお使いの Mac に本機を追加する

3 アプリケーションで文書を開き、印刷ダイアログボックスを表示させる

- 印刷ダイアログボックスの表示方法はアプリケーションによって異なります。お使いのアプリケーションの取扱説明書を参照してください。

4 印刷ダイアログボックスで本機を選ぶ

- Mac に接続されたプリンターが表示されます。ここでは本機を選びます。

5 必要に応じて印刷設定をする



- 設定できる項目や使用できる用紙サイズは、お使いのアプリケーションにより異なります。

6 【プリント】をクリックする

⇒ 印刷が開始されます。

AirPrint を使用できないときは

4L33-024

AirPrint を使用できないときは、こちらの対処方法をお試しく下さい。

- 本機の電源が入っていることを確認します。すでに電源が入っている場合はいったん電源を切り、10 秒待って再び電源を入れて、問題が解決するか確認してください。
- 本機のディスプレイにエラーメッセージが表示されていないことを確認します。
- Apple 製機器と本機が同一の LAN に接続されていることを確認します。なお、本機の電源を入れてから、通信の準備が完了するまで数分かかる場合があります。
- お使いの Apple 製機器で、Bonjour が有効に設定されていることを確認します。
- 部門 ID や暗証番号を入力しなくてもパソコンから印刷できるように設定されていることを確認します。▶**部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 231)**
- 本機に用紙がセットされていて、トナーカートリッジの残量が十分あることを確認します。▶**AirPrint 専用ページを表示する(P. 135)**

Google Cloud Print を使う

4L33-025

Google Cloud Print とは、Google アカウントをもったユーザーが、インターネットに接続されたスマートフォン、タブレット、パソコンなどから Google Cloud Print に対応したアプリケーション経由で印刷できるサービスです。従来のパソコンからの印刷とは異なり、印刷のためのドライバーは不要です。



- 本機の設定を確認する(P. 141)
- クラウドプリントの設定を変更する(P. 141)
- Google Cloud Print に本機を登録する(P. 142)



- 本機を登録するときや Google Cloud Print を使って印刷するときは、インターネットに接続できる環境が必要です。また、インターネットへの接続料金はおお客様のご負担となります。
- 国と地域によっては、Google Cloud Print をお使いになれない場合があります。
- Google Cloud Print は IPv6 アドレスからの印刷に対応していません。



- Google Cloud Print を使うには Google アカウントが必要です。Google アカウントをお持ちでない場合は、Google のウェブサイトで作成してください。

本機の設定を確認する

クラウドプリントの設定を行う前に、次のことを確認してください。

- 本機に IPv4 アドレスが設定され、ネットワーク上のパソコンと通信できる状態か確認してください。▶ **有線 LAN に接続する(P. 150)**
- 日付／時刻の設定が正しいか確認してください。▶ **日付/時刻設定(P. 348)**
- 部門別 ID 管理中は、部門 ID や暗証番号を入力しなくてもパソコンから印刷できる状態か確認してください。▶ **部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 231)**

クラウドプリントの設定を変更する

本機のクラウドプリント機能を有効にします。クラウドプリント機能を使用できないように設定することもできます。

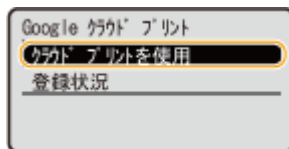
1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、**OK**を押す

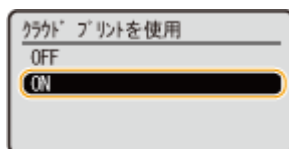
- メッセージが表示されたら、**OK**を押します。

3 <Google クラウド プリント>を選び、**OK**を押す

4 <クラウド プリントを使用>を選び、**OK**を押す



5 <OFF>または<ON>を選び、**OK**を押す



Google Cloud Print に本機を登録する

Google Cloud Print に本機を登録すると、どこからでも Google Cloud Print を使った印刷ができるようになります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [Google クラウド プリント設定] をクリックする



4 [登録状況] にある [登録] をクリックする



[登録] が表示されないとき

- クラウドプリントを有効にしてください。[編集] をクリックして [Google クラウド プリントを使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックします。

本機を登録しなおすとき

- 所有者が変わるなどの理由で本機を登録しなおしたいときは、いったん本機の登録を解除してから再登録してください。

5 [登録用 URL] に表示されている URL のリンクをクリックする



6 画面の指示に従って本機を登録する

Google Chrome™などの Google Cloud Print に対応したアプリケーションから印刷が可能となります。



- Google Cloud Print に対応した最新のアプリケーションについては、Google Cloud Print のホームページで確認してください。



モバイル機器や Google Chrome から登録する

モバイル機器や Google Chrome から本機を登録することもできます。登録完了前に本機のディスプレイに以下の確認画面が表示されますので  ▶ <はい> ▶  で登録を完了してください。



- 登録するには、基本画面が表示されている必要があります。  (オンライン) を押し、基本画面を表示させてから登録してください。
- 登録方法については、お使いの機器の取扱説明書や Google Cloud Print のホームページを参照してください。

本機を遠隔管理する

4L33-026

スマートフォンやタブレットのウェブブラウザからリモート UI を使うことができます。本体状況の確認や、各種設定をモバイル機器から行うことができます。お使いの機器やその環境によっては、リモート UI の画面がうまく表示されない場合があります。



モバイル機器からリモート UI を起動する

ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動します。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[🔴 ネットワークステータスプリント\(P. 499\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 モバイル機器のウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力する

- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



関連項目

[🔴 リモート UI を使う\(P. 314\)](#)

ネットワーク

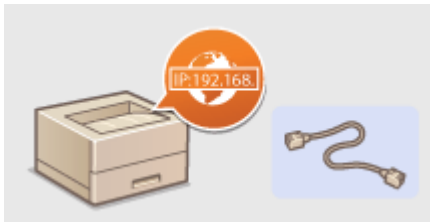
ネットワーク	147
ネットワークに接続する	148
有線 LAN に接続する	150
IP アドレスを設定する	152
IPv4 アドレスを設定する	153
IPv6 アドレスを設定する	158
パソコンから印刷するための設定をする	162
印刷プロトコルや Web サービスの設定をする	163
IPP/IPPS を使用する	169
印刷ポートの設定をする	176
プリントサーバーを設定する	179
使用するネットワーク環境に合わせる	183
イーサネットの設定をする	184
ネットワーク接続時の待機時間を設定する	186
DNS の設定をする	187
WINS の設定をする	193
SNTP の設定をする	196
SNMP で監視／制御する	199
デバイス管理ソフトウェアの設定をする	205
SMB の設定をする	209
印刷を行うパソコンの設定をする	213

ネットワーク

4L33-027

本機は多様な環境に柔軟に対応できるよう、基本的なネットワーク機能に加えて、先進的な技術も採用しています。お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。「ネットワークは少しニガテ...」という方のためにも便利でかんたんに使うためのさまざまな工夫を取り入れています。肩ひじを張らずひとつひとつ、着実にネットワークの設定を進めてください。

■ ネットワークに接続する／本機の設定を確認する



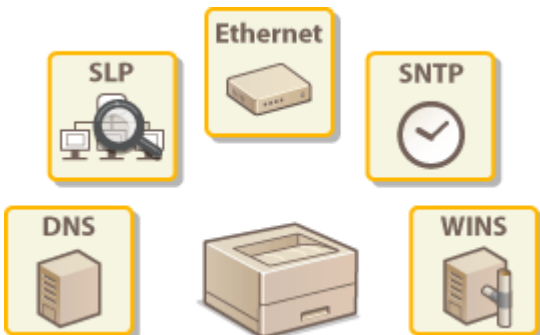
🔴 ネットワークに接続する(P. 148)

■ 印刷するための設定をする



🔴 パソコンから印刷するための設定をする(P. 162)

■ お使いの環境に合わせてさらに便利に使う

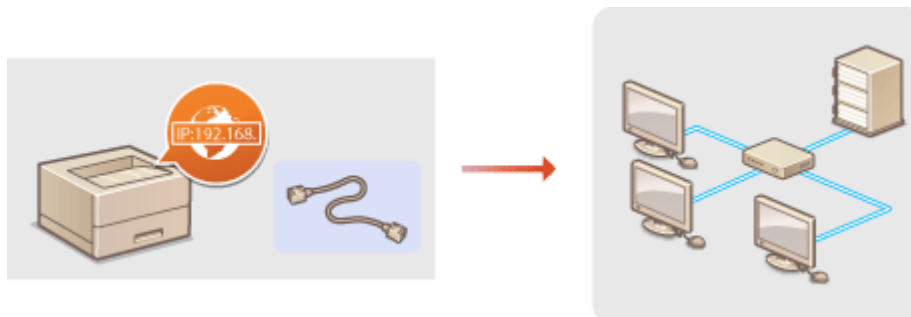


🔴 使用するネットワーク環境に合わせる(P. 183)

ネットワークに接続する

4L33-028

本機は有線 LAN でネットワークに接続することができ、ネットワーク内で固有の IP アドレスを使用します。設定する IP アドレスについては、お使いのプロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。



- 十分なセキュリティ対策が行われていないネットワークに接続すると、個人情報などのデータが第三者に漏えいする恐れがあります。



- 本機にはルーターや LAN ケーブルは付属していません。別途ご用意ください。

■作業の前に確認してください

次の順序でネットワークへの接続作業を行います。



はじめに確認する

- パソコンとルーターは正しくつながっていますか？詳しくはそれぞれの機器に付属の取扱説明書を参照するか、メーカーにお問い合わせください。
- パソコン側のネットワーク設定は完了していますか？設定が正しく完了していないと、以降の手順を行ってもネットワークでお使いいただくことができません。



- お使いの環境によっては、ネットワークの通信方式（半二重／全二重）やイーサネットの種類（10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T）の設定を変更する必要があります（**▶イーサネットの設定をする(P. 184)**）。詳しくは、プロバイダーやネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 本機の MAC アドレスを確認するとき
▶MAC アドレス(P. 376)
- IEEE 802.1X を導入したネットワークに接続するとき
▶IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 284)

2



有線 LAN に接続する

🔴有線 LAN に接続する(P. 150)

3



IP アドレスを設定する

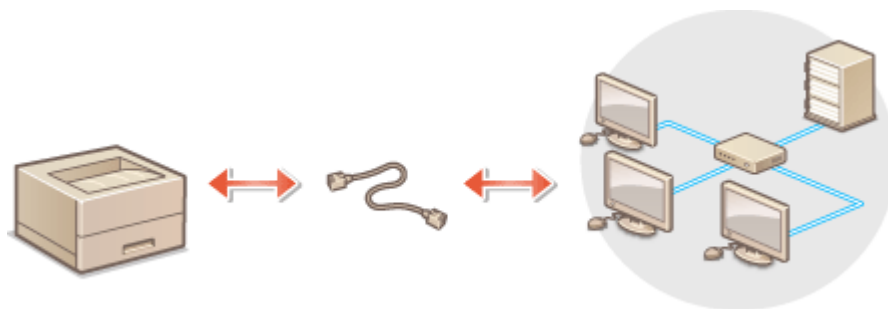
- お買い上げ時、IP アドレスは Auto IP で自動取得するように設定されていますが、一部のネットワーク環境ではお使いいただけない場合があります。IP アドレスを自分で入力して設定するか、DHCP などのプロトコルで自動取得するように設定してください。

🔴IP アドレスを設定する(P. 152)

有線 LAN に接続する

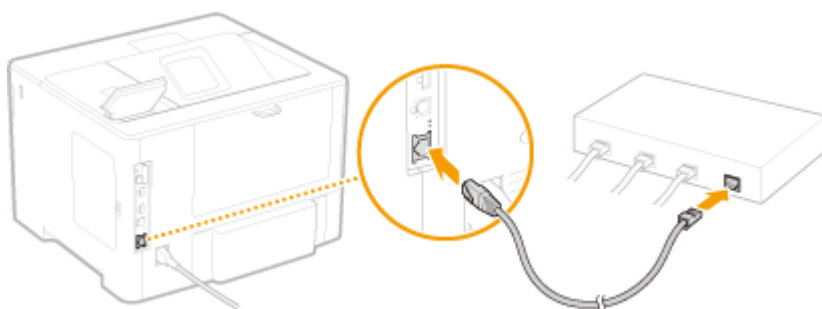
4L33-029

ルーターを介して本機とパソコンを接続します。接続には LAN ケーブルを使用します。

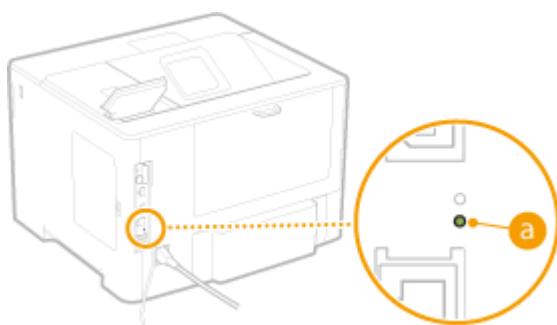


1 LAN ケーブルを接続する

- LAN ケーブルを使って、本機をルーターに接続します。
- コネクタがきちんとポートに収まるよう、カチッと音がするまで押し込んでください。



2 LNK ランプ (a) が点灯していることを確認する



- LNK ランプが点灯しないときは、LAN 接続のトラブルが発生している可能性があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

3 IP アドレスを設定する ▶ IP アドレスを設定する(P. 152)

- お買い上げ時、IP アドレスは Auto IP で自動取得するように設定されていますが、一部のネットワーク環境ではお使いいただけない場合があります。IP アドレスを自分で入力して設定するか、DHCP などのプロトコルで自動取得するように設定してください。



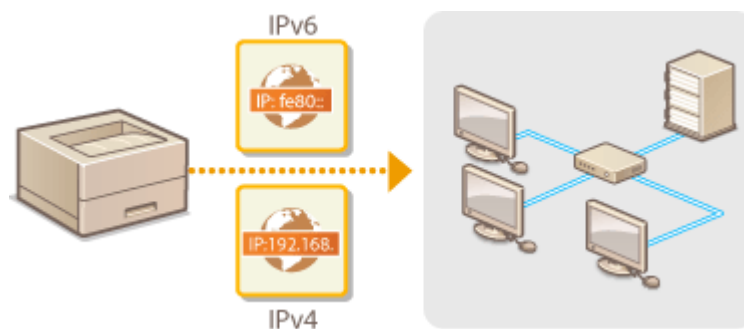
関連項目

▶ **ネットワークに接続する(P. 148)**

IP アドレスを設定する

4L33-02A

本機をネットワークに接続するには、そのネットワーク内で固有の IP アドレスが必要です。IP アドレスには「IPv4」と「IPv6」という 2 つのバージョンがありますので、お使いの環境に合わせて設定してください。なお、IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要があります。



IPv4 アドレスを設定する

4L33-02C



IPv4 アドレスの設定方法には、DHCP などを使って自動で割り当てる方法と、自分で入力する方法がありますのでいずれかを選択してください。作業を始める前にまず LAN ケーブルのコネクタがポートにしっかり差し込まれているか再確認してください(**有線 LAN** に接続するP. 150))。

IPv4 アドレスを設定する

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

3 <TCP/IP 設定> ▶ <IPv4 設定> ▶ <IP モード>の順に進む

4 IP アドレスを設定する



a <自動>

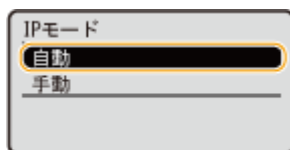
DHCP などによって IP アドレスを自動的に割り当てるときに選びます。

b <手動>

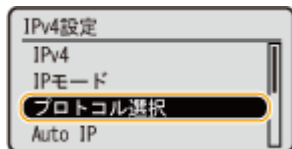
IP アドレスを自分で入力して設定するときを選びます。

■DHCP などによって自動的に割り当てる

1 <自動>を選び、**OK** を押す

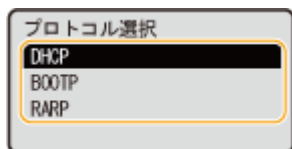


2 <プロトコル選択>を選び、**OK** を押す



- 3 < DHCP >、< BOOTP >、< RARP >のうちいずれか1つを選び、**OK**を押す

- DHCP、BOOTP、RARPのうち1つのみを使用することができます。選んだ項目の設定を< ON >にすると、残り2つの設定は自動的に< OFF >になります。

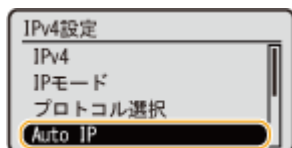


- 4 < ON >を選び、**OK**を押す



- 5 **戻る**を押す

- 6 < Auto IP >を選び、**OK**を押す



- 7 < ON >を選び、**OK**を押す



MEMO

DHCPを使うとき

本機の電源を入れなおすと、印刷できなくなることがあります。これは、今まで使用していたIPアドレスとは異なるIPアドレスが割り当てられたためです。DHCPを使用するときは、ネットワーク管理者にお問い合わせのうえ、次のいずれかの設定を行ってください。

- DNS 動的更新機能の設定をする **▶ DNS の設定をする(P. 187)**
- DHCP サーバーで、本機に常に同じ IP アドレスを割り当てるように設定する

IP アドレスの自動割り当てに DHCP/BOOTP/RARP を使わないとき

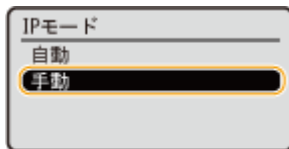
- すべてのプロトコルを< OFF >に設定してください。DHCP/BOOTP/RARP サーバーを使用できないときにいずれかのプロトコルを< ON >に設定すると、本機はネットワーク内でサービスが提供されているか確認しつづけるので、無駄な通信が発生します。

優先される IP アドレス

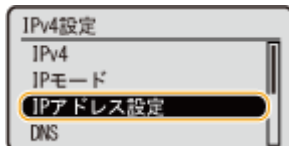
- Auto IP が有効でも、DHCP や BOOTP、RARP で取得された IP アドレスが優先されます。

■自分で入力して設定する

- 1 <手動>を選び、**OK** を押す

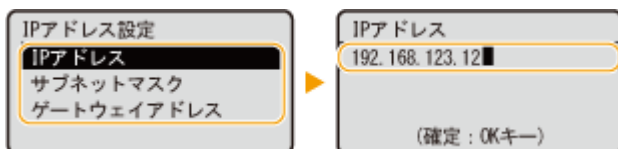


- 2 <IP アドレス設定>を選び、**OK** を押す



- 3 IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスを設定する

- 設定する項目を選んで **OK** を押したあと、アドレスを入力して **OK** を押します。



アドレスの入力方法

- ◀ / ▶ で入力したいフィールド（ピリオドで区切られた入力箇所）に移動し、テンキーで数値を入力します。

入力する IP アドレスがわからないとき

- ネットワークのルーターの設定から IP アドレスを決めることができます。🔴**本機に割り当てる IP アドレスを決める(P. 155)**

5 ハードリセットする 🔴ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



正しく設定できたか確認するには

- パソコンでリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください（🔴**リモート UI を起動する(P. 315)**）。

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 新しいポートを追加する必要があります。🔴**印刷ポートの設定をする(P. 176)**

本機に割り当てる IP アドレスを決める

本機の IP アドレスを固定して使うときは、以下に紹介する方法で IP アドレスを決めることができます。

■ IP アドレスを決めるには

IP アドレスは「192.168.1.45」のように「.」（ピリオド）で区切られた 4 つの数字の組み合わせで表現されます。それぞれの箇所に入れられる数字は、0～255 です。通常、最初の 3 つの数字はネットワーク内で共通なので、ルーターなどと同じ数字にします。最後の「45」に該当する数字を他の接続機器と重複しないように決めてください。



■ ルーターの設定を調べる

固定の IP アドレスを使うには、ネットワーク内の IP アドレスの自動割り当て機能である DHCP の設定を調べます。IP アドレスの重複を避けるため、DHCP の割り当て範囲外の IP アドレスにする必要があります。ルーターが DHCP サーバーの役割をしていることが多いので、ルーターの設定を確認します。



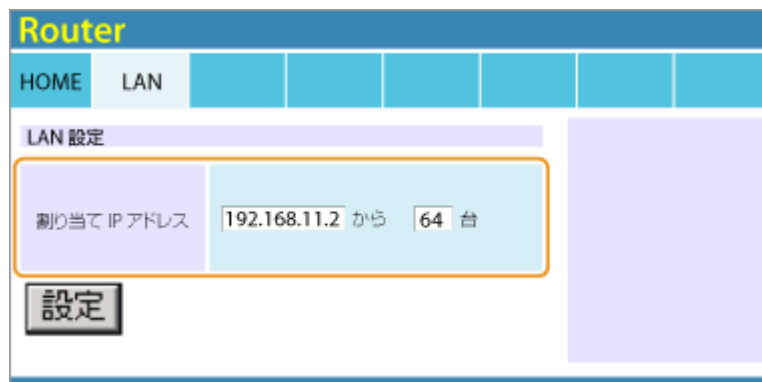
- ルーターの設定画面の表示方法は、お使いのルーターの取扱説明書を参照してください。

1 ルーターの設定画面を表示する

2 DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲を確認する

- お使いのルーターによって、DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲が設定されています。

ルーターの DHCP 設定画面例：



3 本機の IP アドレスを決める

- 手順 2 の画面例では、ルーターが DHCP で割り当てる IP アドレスの範囲は 192.168.11.2～192.168.11.65 なので、本機には 192.168.11.66～192.168.11.254 の範囲の IP アドレスを割り当てます。



関連項目

- 🔴 IPv6 アドレスを設定する(P. 158)
- 🔴 ネットワークステータスプリント(P. 499)
- 🔴 WINS の設定をする(P. 193)

IPv6 アドレスを設定する

4L33-02E



IPv6 アドレスはリモート UI を使って設定します。IPv6 アドレスを使うためには、IPv4 アドレスが適切に設定されている必要がありますのであらかじめ確認しておいてください（**▶IPv4 アドレスを設定する(P. 153)**）。IPv6 は、次のような複数のアドレスを登録できます。

種類	解説
リンクローカルアドレス	同一リンク内でのみ使用できるアドレスです（ルーターを越える範囲の通信には使用できません）。IPv6 アドレスを使用するときは自動的に設定されます。
手動アドレス	手動で入力するアドレスです。プレフィックス長およびデフォルトルーターアドレスを指定します。
ステートレスアドレス	ルーターから通知されるプレフィックスと本機の MAC アドレスから自動生成されるアドレスです。本機の再起動（または電源 ON）時に破棄されます。
ステートフルアドレス	DHCPv6 を使って DHCP サーバーから取得します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶リモート UI を起動する(P. 315)**

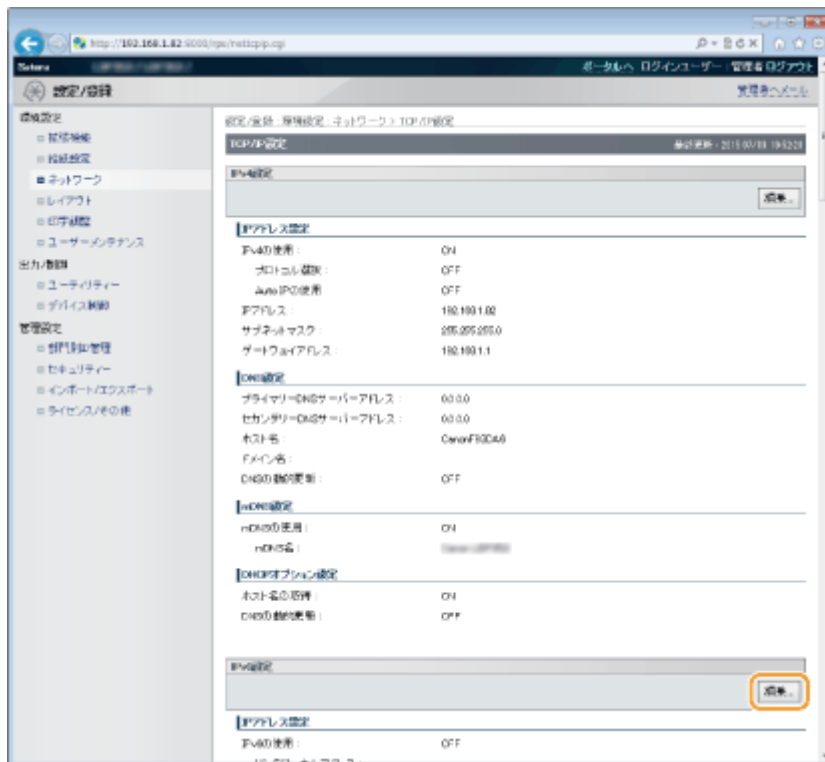
2 **【設定/登録】** をクリックする



3 **【ネットワーク】 ▶ 【TCP/IP 設定】** をクリックする



4 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



5 [IPv6 を使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[IPv6 を使用する]

本機で IPv6 を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ステートレスアドレスを使用する]

ステートレスアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[手動アドレスを使用する]

アドレスを入力して設定するときはチェックマークを付け、[IP アドレス]、[プレフィックス長]、[デフォルトルーターアドレス] を入力します。

[IP アドレス]

IPv6 アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[プレフィックス長]

ネットワークアドレス部の長さを入力します。

[デフォルトルーターアドレス]

必要に応じてデフォルトルーターをアドレスで指定します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[DHCPv6 を使用する]

ステートフルアドレスを使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



正しく設定できたか確認するには

- 本機の IPv6 アドレスを使ってリモート UI のログイン画面を表示できるか確認してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 315)**

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IPv6 アドレスを有効／無効に切り替えることもできます。▶ **IPv6 設定(P. 360)**

プリンタードライバーをインストールしたあとに IP アドレスを変更したとき

- 新しいポートを追加する必要があります。▶ **印刷ポートの設定をする(P. 176)**



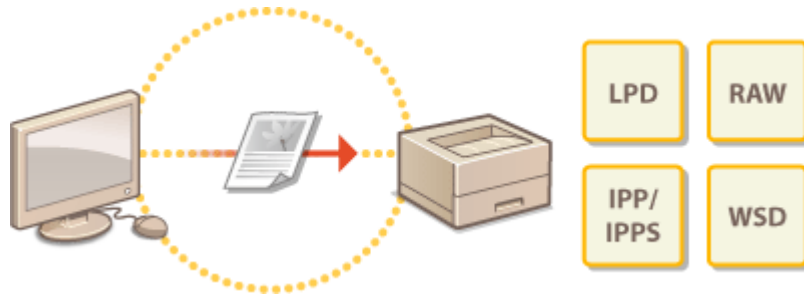
関連項目

- ▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 153)**
- ▶ **ネットワークステータスプリント(P. 499)**

パソコンから印刷するための設定をする

4L33-02F

本機をネットワークプリンターとして使用する場合、印刷プロトコルや印刷ポートの設定を行うことができます。また、ネットワーク内にプリントサーバーを設けることも可能です。ただし、基本的な準備作業はあらかじめ済ませておいてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバーのマニュアルを参照してください。



MEMO

- 印刷プロトコルは、パソコンから本機に文書データを届けるための方法で、用途やネットワーク環境に応じて使い分けます。
- 印刷ポートとは、パソコンからプリンターへ文書データを受け渡しするいわば出入口に相当する部分です。ネットワーク接続で印刷できないときは、このポートの設定に原因がある場合があります。

印刷プロトコルや Web サービスの設定をする

4L33-02H

パソコンから文書を印刷するときに使用する印刷プロトコルの設定をします。本機が対応している印刷プロトコルについては、**▶ネットワーク環境(P. 554)** を参照してください。ここでは LPD、RAW、IPP/IPPS、および WSD の設定を説明します。



MEMO

FTP や BMLinkS を使うときは

- 設定方法については、以下の各項目を参照してください。
 - ▶FTP クライアントを使用する(P. 578)
 - ▶メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 125)

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 印刷プロトコルの設定をする

■LPD の設定をする

1 [LPD 設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



[LPD 印刷を使用する]

LPD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[LPD バナーページを印刷する]

ユーザー名やファイル名などの情報も印刷するときはチェックマークを付けます。印刷しない場合はチェックマークを外してください。

[受信タイムアウト]

通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。

3 [OK] をクリックする

■RAW の設定をする

1 [RAW 設定] にある [編集] をクリックする



2 必要に応じて設定する



【RAW 印刷を使用する】

RAW を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【双方向通信を使用する】

本機の状態や印刷終了をパソコン側へ通知するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【受信タイムアウト】

通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。

3 【OK】 をクリックする

■IPP/IPPS の設定をする

1 【IPP 印刷の設定】にある【編集】をクリックする



2 必要に応じて設定する



【IPP 印刷を使用する】

IPP/IPPS を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【TLS を使用する】

IPPS（TLS 暗号化通信を使った IPP 印刷）を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。



- IPPS を使用するときは、TLS 暗号化通信機能を有効にしてください。▶ **TLS で暗号化通信をする(P. 268)**



- 暗号化通信用の鍵を生成するときに、[鍵のアルゴリズム] で [RSA] を選択する場合は、鍵の長さを [1024 bit] 以上に設定してください。お使いの OS によっては、鍵の長さが [512 bit] では正常に IPPS 印刷できない場合があります。

【IPP 認証を使用する】

IPP 印刷のユーザー認証機能を使用するときはチェックマークを付け、ユーザー名とパスワードを設定します。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【ユーザー名】

IPP 認証で使用するユーザー名を半角英数字で入力します。

【パスワードを設定/変更する】

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

3 【OK】をクリックする

■WSD の設定をする

1 【WSD 印刷の設定】にある【編集】をクリックする



2 必要に応じて設定する



【WSD 印刷を使用する】

WSD を使用して印刷するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

【WSD 参照を使用する】

WSD を使用してパソコンから本機の情報を取得するときはチェックマークを付けます。【WSD 印刷を使用する】にチェックマークが付いているときは必ずチェックマークが付きます。

【マルチキャスト探索を使用する】

マルチキャストによる本機の探索に対して応答するときは、チェックマークを付けます。チェックマークを外すと、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

3 [OK] をクリックする

5 ハードリセットする

- 【デバイス制御】 をクリックし、【ハードリセット】 を選んだあと、【実行】 をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

MEMO

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから LPD 印刷、RAW 印刷、IPP 印刷を有効／無効に切り替えることもできます。
 - ▶ LPD 設定(P. 362)
 - ▶ RAW 設定(P. 362)
 - ▶ IPP 印刷(P. 363)
- 操作パネルの設定メニューで WSD の設定を行うこともできます。 ▶ WSD(P. 364)



お使いのパソコンで行う作業

本機側の設定が完了すると、お使いのパソコンにも設定やパソコンのインストールが必要な場合があります。必要に応じてパソコンを設定してください。

- 印刷ポートの設定をする**
本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、エラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバに設定した印刷ポートの種類が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、印刷ポートを設定する必要があります。 ▶ 印刷ポートの設定をする(P. 176)
- Windows Vista/7/8/10 で WSD ネットワークデバイスを追加する**
WSD ポートを使用してプリンタードライバをインストールします。詳しくは、オンラインマニュアルサイトからドライバのマニュアルを参照してください。
- IPP/IPPS を使用する**
IPP 用のポートを指定してプリンタードライバをインストールします。
▶ IPP/IPPS を使用する(P. 169)



関連項目

- ▶ プリントサーバーを設定する(P. 179)

IPP/IPPS を使用する

4L33-02J

印刷プロトコルを IPP または IPPS にするには、お使いの OS に応じて以下の手順でプリンタードライバーをインストールする必要があります。プリンタードライバーは付属のユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM に収録されています。作業を始める前に、ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM をパソコンにセットしてください。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。

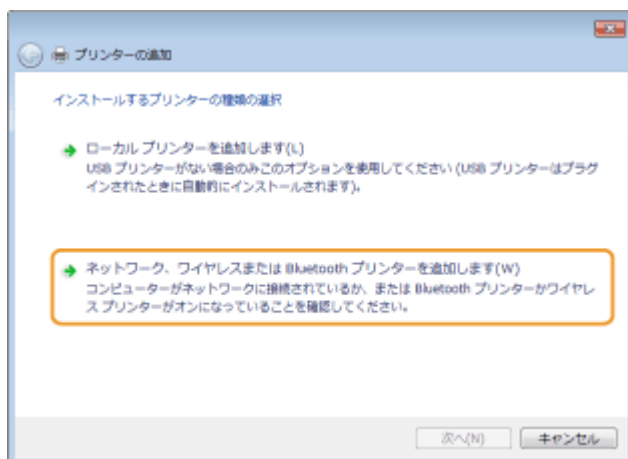


- あらかじめリモート UI で IPP 印刷の設定を済ませておいてください。
▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)
- CD-ROM/DVD-ROM をセットしたときに表示されるトップ画面は、終了してください。

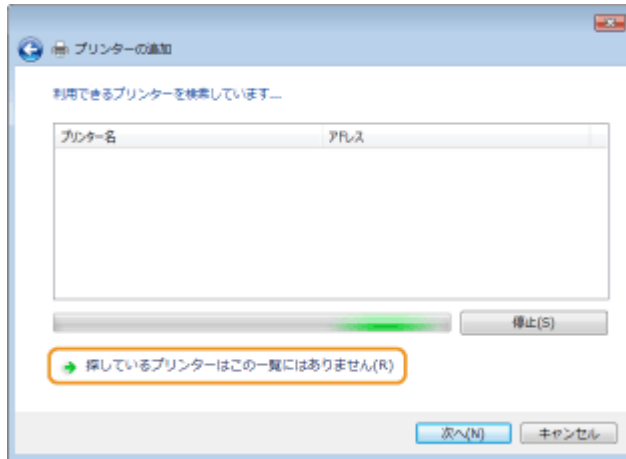
1 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)

2 [プリンターの追加] をクリックする

3 Windows 7/Server 2008 の場合、[ネットワーク、ワイヤレスまたは Bluetooth プリンターを追加します] をクリックする



4 [探しているプリンターはこの一覧にはありません] または [プリンターが一覧にない場合] をクリックする



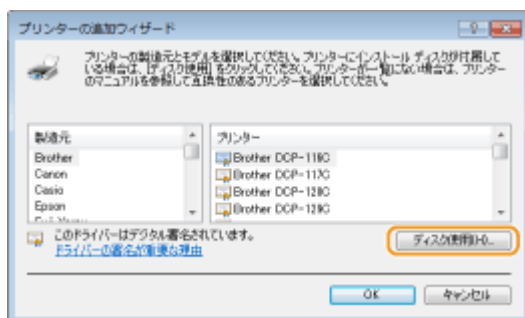
5 [共有プリンターを名前で選択する] を選び、接続先を入力して、[次へ] をクリックする

- IPP を使用するとき、接続先に「http://<本機の IP アドレス>/ipp」を入力します。
入力例：「http://192.168.1.82/ipp」
- IPPS を使用するとき、接続先に「https://<本機の IP アドレス>/ipp」を入力します。
入力例：「https://192.168.1.82/ipp」

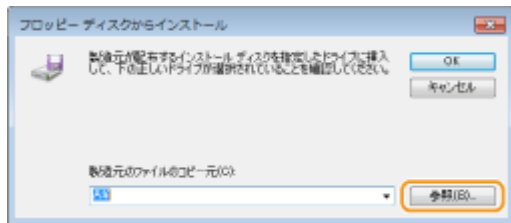


- DNS サーバーを使用しているときは、<本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力してください（入力例：「https://my_printer.example.com/ipp」）。

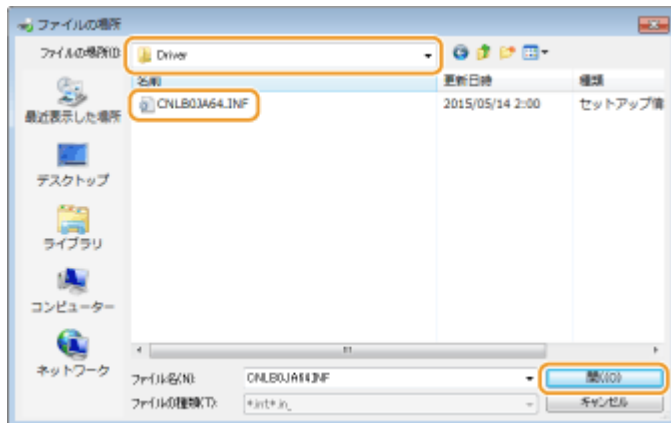
6 [ディスク使用] をクリックする



7 [参照] をクリックする



8 プリンタードライバーが収録されているフォルダーを指定し、INF ファイルを選んだあと、[開く] をクリックする



- フォルダーはお使いの OS に応じて、次のように指定してください。お使いの OS が 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかわからないときは、[▶ プロセッサバージョンの確認方法\(P. 596\)](#) を参照してください。

32 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM の [LIPSV] — [LIPSLX] または [LIPS4] — [32BIT] — [Driver] フォルダーを指定します。

64 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] — [LIPSLX] または [LIPS4] — [x64] — [Driver] フォルダーを指定します。



IPP 認証機能を使用しているとき

- パスワードの入力を求められたら、ユーザー名とパスワードを入力し、[OK] をクリックします。[▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする\(P. 163\)](#)

9 画面の指示に従って設定を進める

- ▶ プリンタードライバーがインストールされます。IPPS を使うときは、パソコンに本機の公開鍵をインストールしてください。

■ 本機の公開鍵をインストールする

IPPS を使用する場合は、さらに本機の公開鍵をパソコンにインストールする必要があります。



- 鍵ペアの [共通名] には、本機に接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」をあらかじめ設定しておく必要があります。▶**鍵ペアを生成する(P. 291)**

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「https://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す

- 入力例：「https://192.168.1.82/」

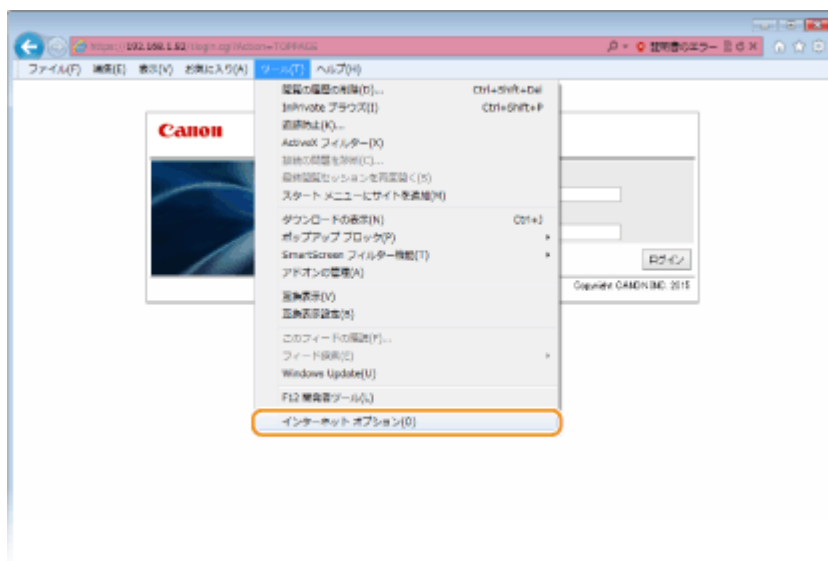


- DNS サーバーを使用しているときは、<本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力してください（入力例：「https://my_printer.example.com/」）。

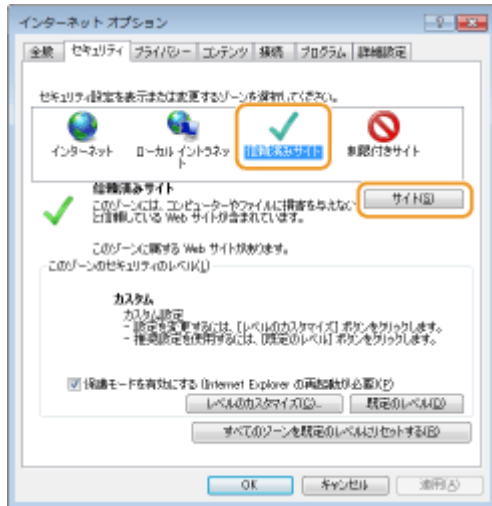
3 [このサイトの閲覧を続行する（推奨されません）。] をクリックする

▶▶ リモート UI のログイン画面が表示されます。

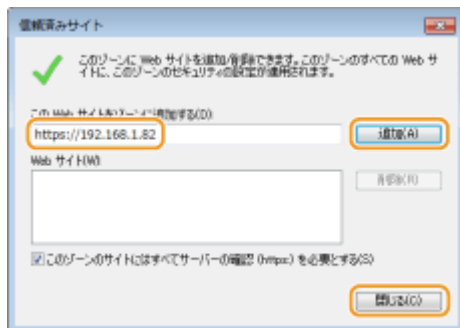
4 [ツール] メニュー ▶ [インターネットオプション] をクリックする



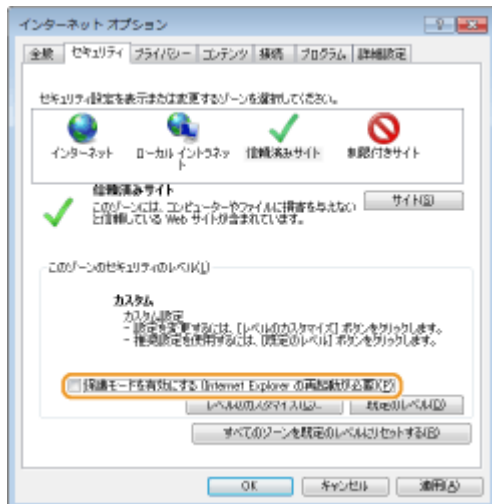
5 [セキュリティ] タブで [信頼済みサイト] を選び、[サイト] をクリックする



- 6 「https://<本機の IP アドレスまたはホスト名.ドメイン名>/」が表示されていることを確認し、
[追加] ▶ [閉じる] をクリックする



- 7 [保護モードを有効にする] にチェックマークが付いているときは、チェックマークを外す



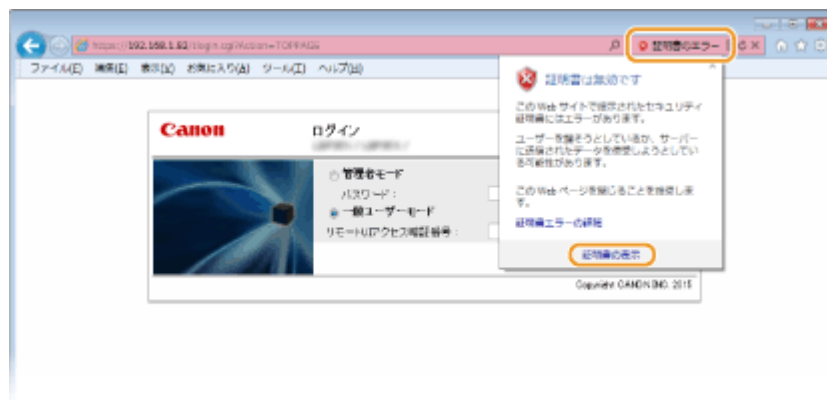
- 8 [OK] をクリックする

⇒ リモート UI の画面に戻ります。

- 9 ウェブブラウザをいったん終了させる

10 手順 1～3 と同じ操作をし、リモート UI を起動する

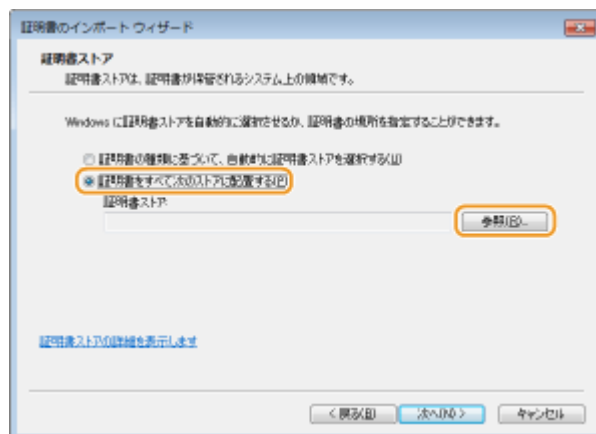
11 アドレス入力欄の右にある [証明書のエラー] ▶ [証明書の表示] をクリックする



12 [証明書のインストール] をクリックする

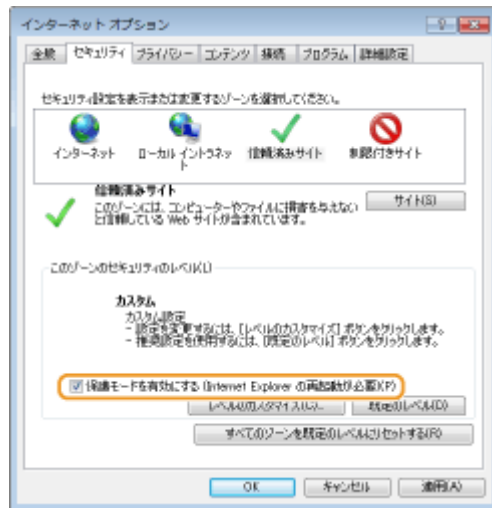
13 [次へ] をクリックする

14 [証明書をすべて次のストアに配置する] を選び、[参照] をクリックする



15 [信頼されたルート証明機関] を選び、画面の指示に従って証明書のインポートウィザードを完了させる

16 手順 7 で [保護モードを有効にする] のチェックマークを外したときは、チェックマークを付けなおす



関連項目

- プリントサーバーを設定する(P. 179)

印刷ポートの設定をする

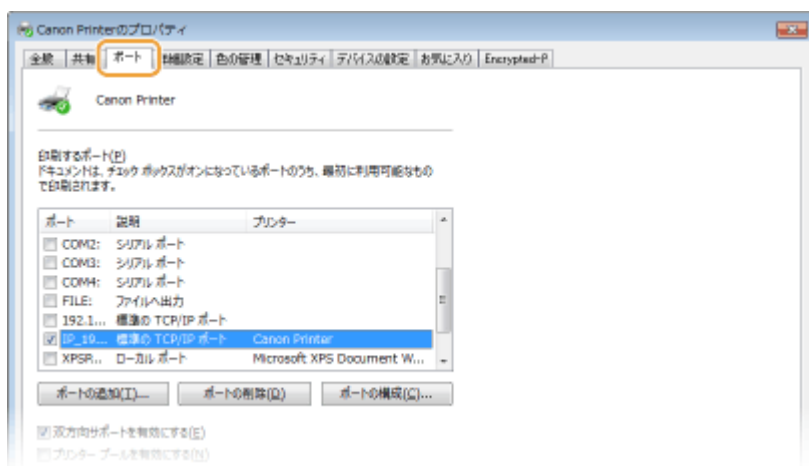
4L33-08R

本機の IP アドレスが変更されたり、Windows のプリンターフォルダーでプリンターを追加したりすると、パソコンから文書を印刷しようとしてもエラーが発生して印刷できないことがあります。これは「パソコン側でプリンタードライバーに設定した印刷ポートの種類が間違っている」など、印刷ポートの設定に問題がある場合に発生するトラブルです。このような場合は、パソコンから印刷ポートの設定を行ってください。



- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログオンしている必要があります。

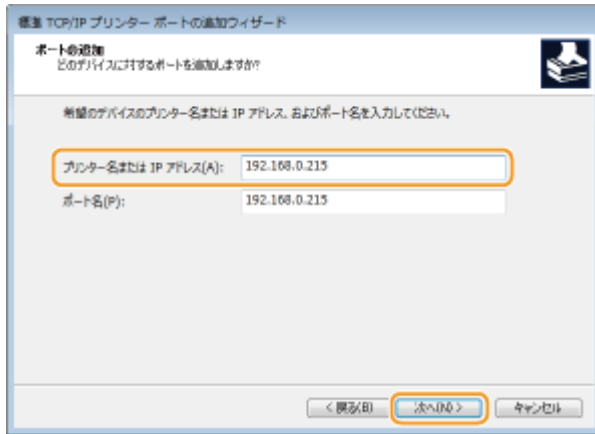
- 1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)
- 2 本機のドライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする
- 3 [ポート] タブをクリックし、必要な設定をする



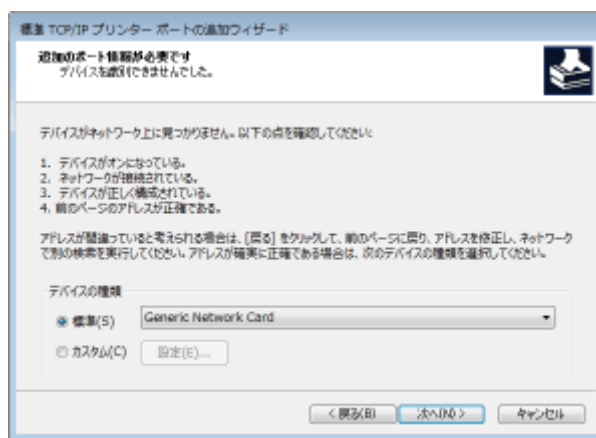
■ポートを追加する

本機の IP アドレスを変更した場合や、ドライバーをインストールした際に正しいポートを選択しなかった場合などは、新しいポートを追加します。

- 1 [ポートの追加] をクリックする
- 2 [利用可能なポートの種類] で [Standard TCP/IP Port] を選び、[新しいポート] をクリックする
- 3 [次へ] をクリックする
- 4 本機の IP アドレスまたは DNS 名を入力し、[次へ] をクリックする
 - [ポート名] は自動的に入力されます。必要に応じて変更してください。



- 次の画面が表示されたときは、画面の指示に従ってください。



* [デバイスの種類] を設定する場合は、[標準] の [Canon Network Printing Device with P9100] を選んでください。

5 [完了] をクリックする

6 [閉じる] をクリックする

■ポートの種類を変更する

本機側で印刷プロトコル（LPD または RAW）の設定を変更した場合やポート番号を変更した場合は、パソコン側の設定も同じ内容に変更します。なお、WSD ポートの場合、この操作は不要です。

1 [ポートの構成] をクリックする

2 [プロトコル] で [Raw] または [LPR] を選ぶ

- [Raw] を選んだときは [ポート番号] を変更します。
- [LPR] を選んだときは [キュー名] に「lp」と入力します。

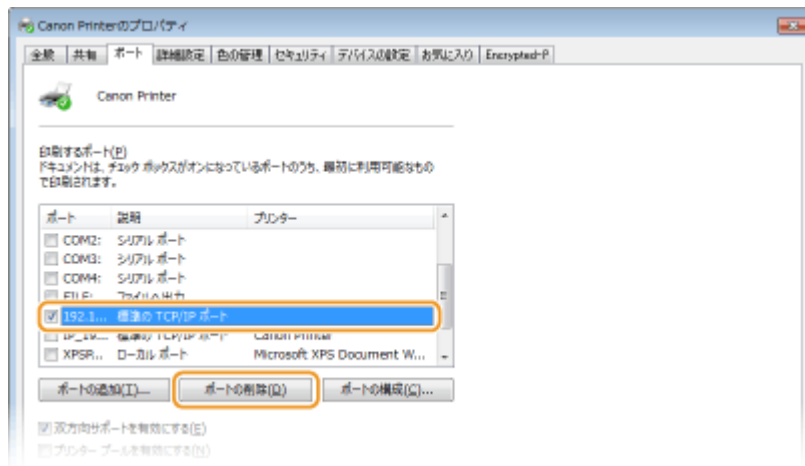
3 [OK] をクリックする



- 印刷プロトコルを IPP または IPPS にするには、IPP 用のポートを指定してプリンタードライバをインストールする必要があります。▶IPP/IPPS を使用する(P. 169)
- 本機側の印刷プロトコルの設定を変更する ▶印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)

■ポートを削除する

1 削除したいポートを選び、[ポートの削除] をクリックする



- 使用中のポートは削除できません。本機で使用するポートを選択 ▶ [適用] をクリックし、使用するポートを別のポートに変更してから削除してください。

2 [OK] をクリックする

4 [閉じる] をクリックする



関連項目

- プリントサーバーを設定する(P. 179)

プリントサーバーを設定する

4L33-02K

プリントサーバーを設定すると、印刷を行うパソコンにかかる負荷を軽減できます。ネットワークを介して他のパソコンにもプリンタードライバーをインストールできるようになりますので、パソコンごとに CD-ROM/DVD-ROM からプリンタードライバーをインストールする手間も省けます。プリントサーバーにするパソコンをネットワーク内から選び、そのパソコンに対してプリンターの共有設定を行います。



● ご注意

- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。
- プリントサーバーの OS とパソコンの OS が 32 ビット版と 64 ビット版とで異なる場合、ネットワークを介したプリンタードライバーのインストールができないことがあります。
- ドメイン環境でプリントサーバーを設定する場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。



MEMO

プリントサーバー利用時に部門別 ID 管理をするには

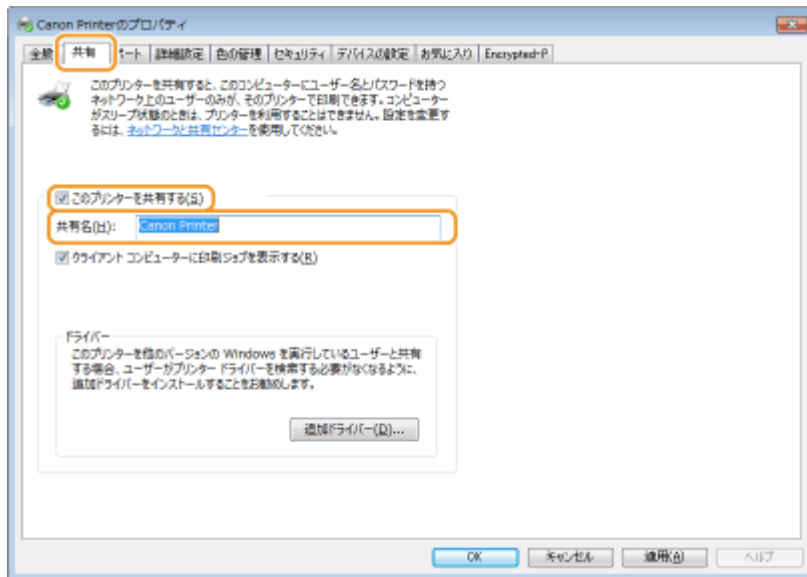
- プリンタードライバーをインストールする際に、Canon Driver Information Assist Service を追加する必要があります。詳しくは、オンラインマニュアルサイトの各種ドライバーから、マニュアルを参照してください。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [共有] タブをクリックし、[このプリンターを共有する] を選んだあと、共有名を入力する



【共有オプションの変更】が表示されたとき

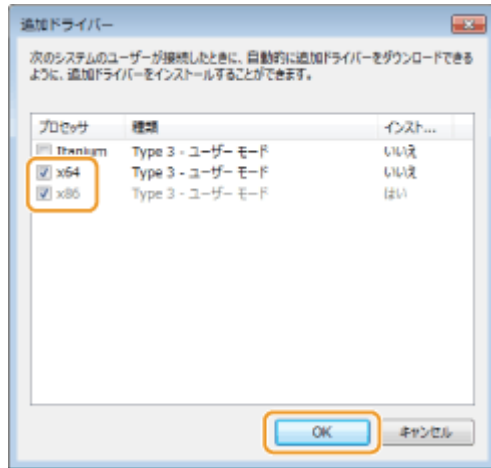
- 【共有オプションの変更】をクリックします。



4 必要に応じて追加ドライバーをインストールする

- この作業は、プリントサーバーとはプロセッサバージョン（32ビット／64ビット）が異なるパソコンに、プリントサーバーを介してプリンタードライバーをインストールしたいときに必要です。

- 1 【追加ドライバー】をクリックする
- 2 追加ドライバーを選び、【OK】をクリックする



- 追加ドライバーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように選択してください。

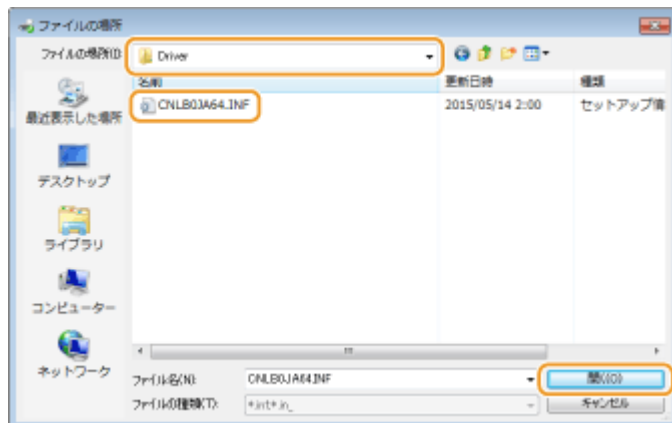
プリントサーバー	選択する追加ドライバー
32 ビット版 OS	[x64] にチェックマークを付けます。
64 ビット版 OS	[プロセッサ] が [x86] の項目にチェックマークを付けます。



- 32 ビット版と 64 ビット版のどちらなのかがわからないときは、**▶ プロセッサバージョンの確認方法 (P. 596)** を参照してください。

3 ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM をセットし、[参照] をクリックする

4 追加ドライバーが収録されているフォルダーを指定し、INF ファイルを選んだあと、[開く] をクリックする



- 追加ドライバーが収録されているフォルダーはプリントサーバーの OS に応じて、次のように指定してください。

プリントサーバーが 32 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] - [LIPSLX] または [LIPS4] - [x64] - [Driver] フォルダーを指定します。

プリントサーバーが 64 ビット版 OS の場合

ユーザーソフトウェア CD-ROM/DVD-ROM 内の [LIPSV] - [LIPSLX] または [LIPS4] - [32BIT] - [Driver] フォルダーを指定します。

5 [OK] をクリックする

⇒ 追加ドライバーのインストールが開始されます。自動的に [共有] タブに戻るまでお待ちください。



【ユーザーアカウント制御】が表示されたとき

- **【はい】** をクリックします。

5 **【OK】** をクリックする

■ **プリントサーバーを介してパソコンにドライバーをインストールする**

- 1** プリントサーバーの共有プリンターを表示する  **プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 594)**
- 2** 共有プリンターをダブルクリックする
- 3** 画面の指示に従ってプリンタードライバーをインストールする



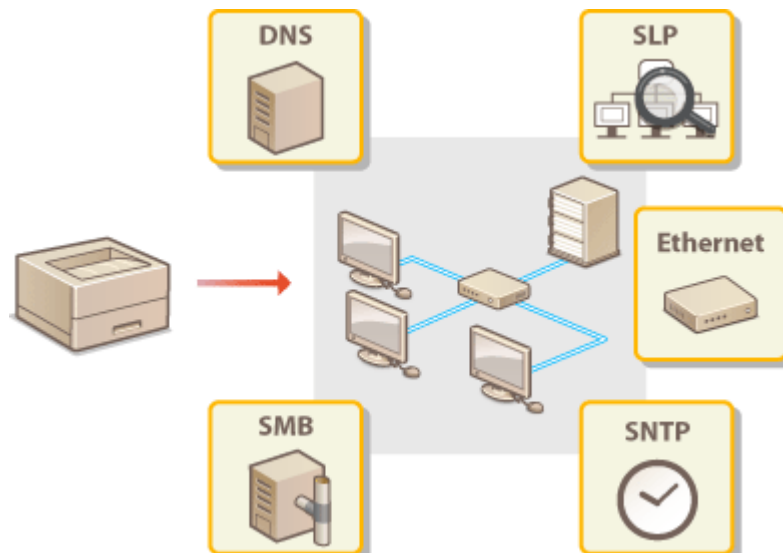
関連項目

-  **パソコンから印刷する(P. 73)**

使用するネットワーク環境に合わせる

4L33-02L

ネットワークの規模や形態は、目的用途によってさまざまです。本機はできるかぎり多くの環境に適合するよう、多様な技術を取り入れています。あらかじめネットワーク管理者にご相談のうえ、お使いの環境に合わせて必要な設定を行ってください。



イーサネットの設定をする



イーサネットは LAN 内の通信方法を定めた規格です。本機では通信方式やイーサネットの種類を設定できます。通常は初期値（▶Ethernet ドライバー(P. 374)）のままで使用できますが、お使いの環境に合うよう、必要に応じて変更してください。

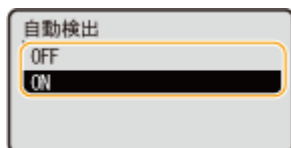
1 ▶（セットアップ）を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、**OK**を押す

- メッセージが表示されたら、**OK**を押します。

3 < Ethernet ドライバー> ▶ <自動検出>の順に進む

4 自動または手動の設定をする



■イーサネットの設定を自動検出する

< ON >を選択し、**OK**を押します。使用できるイーサネットの通信方式や種類が検出されて自動的に設定されます。

■イーサネットの設定を手動でする

1 < OFF >を選び、**OK**を押す

2 通信方式を選ぶ

<通信方式>を選択して **OK** を押したあと、<半二重>または<全二重>を選択して **OK** を押します。



a <半二重>

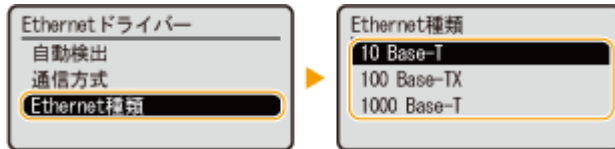
送信／受信を交互に行います。接続するルーターが半二重通信を使うように設定されているときに選びます。

b <全二重>

送信／受信を同時に行います。通常はこちらを選んでください。

3 イーサネットの種類を選ぶ

＜Ethernet 種類＞を選択して  を押したあと、イーサネットの種類を選択して  を押します。



- ＜ 1000 Base-T ＞に設定すると、＜通信方式＞が＜全二重＞に変更されます。

5 ハードリセットする ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

 ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 186)

ネットワーク接続時の待機時間を設定する

4L33-02S

スイッチングハブなどを数台つないでネットワークの冗長化を図った場合、パケットのループを回避するための仕組みが必要となります。そのためにはスイッチポートの役割決めが有効ですが、ネットワークに新しく機器を追加するなどの変更を行った直後はうまく通信できないことがあります。このようなネットワークに本機を接続するときは、通信開始までの待機時間を設定します。

1 ▶ (セッティング) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、を押す

- メッセージが表示されたら、を押します。

3 <起動時の接続待機時間>を選び、を押す

4 ネットワークとの通信を開始するまでの待機時間を入力し、を押す

- テンキーで入力します。



起動時の接続待機時間

0 秒

(0~300)

5 ハードリセットする ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

 イーサネットの設定をする(P. 184)

DNS の設定をする

4L33-02U

DNS (Domain Name System) は、ホスト名 (ドメイン名) と IP アドレスを対応させる名前解決サービスです。お使いのネットワークに応じて DNS や mDNS、DHCP オプションの設定を行います。IPv4 と IPv6 とで設定が分かれていますのでご注意ください。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶** リモート UI を起動する (P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



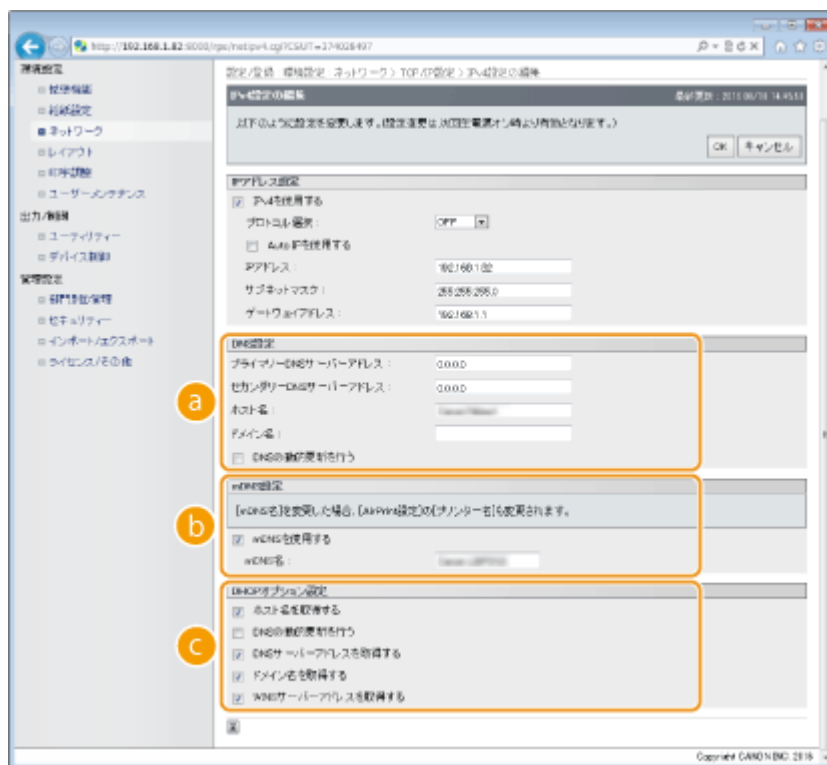
4 DNS の設定をする

■IPv4 の DNS を設定する

1 [IPv4 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv4 の DNS を設定する



a [DNS 設定]

[プライマリ DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。IP アドレスは操作パネルで設定することもできます (▶IPv4 設定(P. 357))。

[セカンダリ DNS サーバーアドレス]

セカンダリ DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。IP アドレスは操作パネルで設定することもできます (▶IPv4 設定(P. 357))。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します (入力例: 「example.com」)。

[DNS の動的更新を行う]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付け、[mDNS 名] を半角英数字で入力します。[IPv4 を使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。

c [DHCP オプション設定]

[ホスト名を取得する]

DHCP サーバーからホスト名を取得する（オプション 12 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。ホスト名を取得するかどうかは操作パネルで設定することもできます（[IPv4 設定\(P. 357\)](#)）。

[DNS の動的更新を行う]

本機に代わって DHCP サーバーにホスト名の対応付けの情報を自動更新させる（オプション 81 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。DNS の動的更新を行うかどうかは操作パネルで設定することもできます（[IPv4 設定\(P. 357\)](#)）。

[DNS サーバーアドレスを取得する]

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得する（オプション 6 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[ドメイン名を取得する]

DHCP サーバーからドメイン名を取得する（オプション 15 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[WINS サーバーアドレスを取得する]

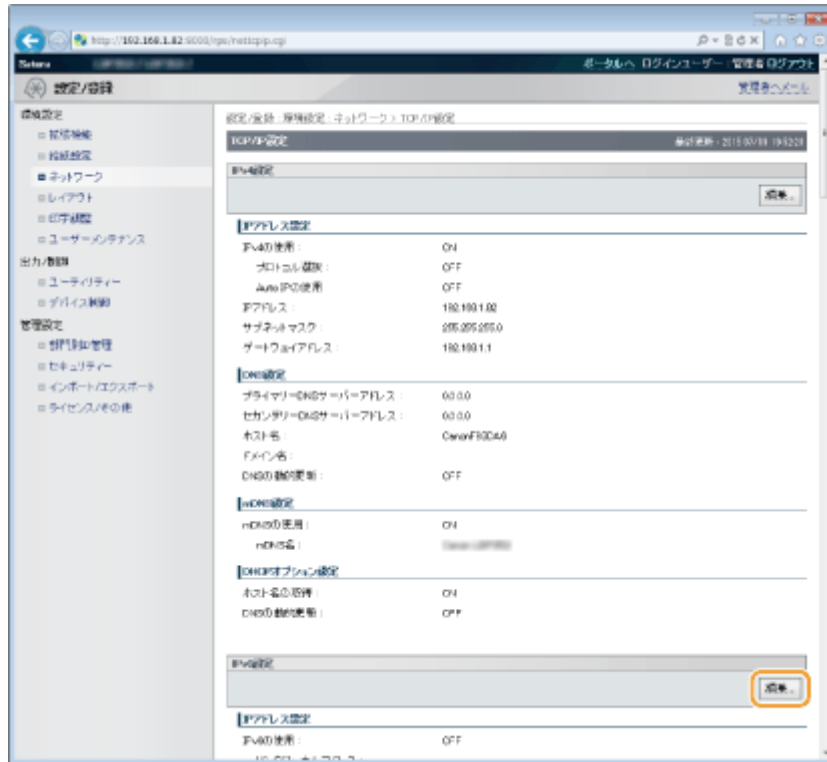
DHCP サーバーから WINS サーバーアドレスを取得する（オプション 44 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



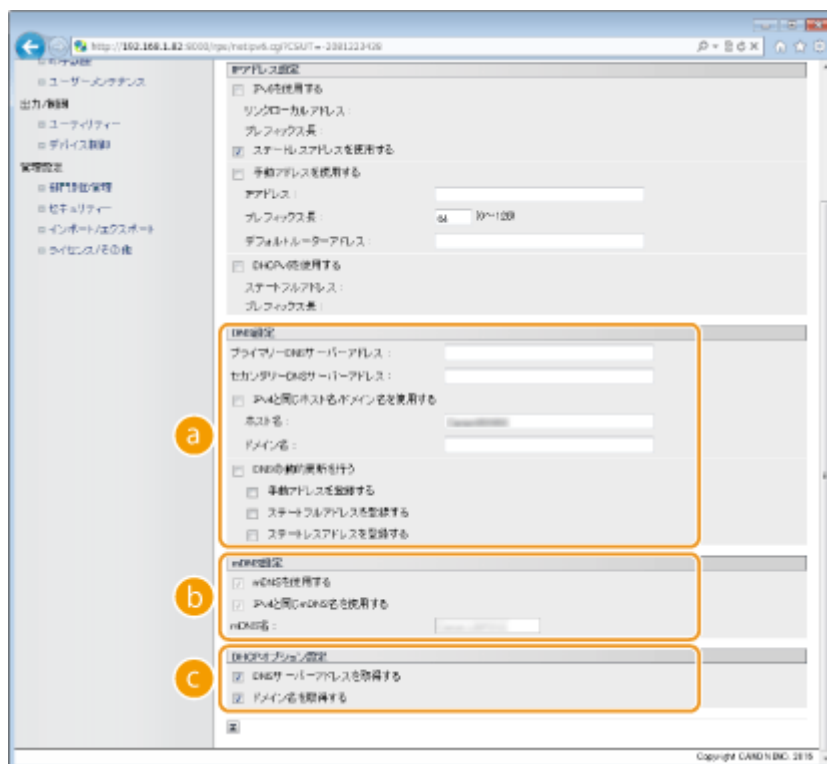
■IPv6 の DNS を設定する

1 [IPv6 設定] にある [編集] をクリックする



2 IPv6 の DNS を設定する

- [IPv6 を使用する] にチェックマークが付いていないときは設定できません。▶IPv6 アドレスを設定する (P. 158)



a [DNS 設定]

[プライマリ DNS サーバーアドレス]

DNS サーバーの IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[セカンダリー DNS サーバーアドレス]

セカンダリー DNS サーバーがあるときは、その IP アドレスを入力します。「ff」で始まるアドレス（マルチキャストアドレス）や「0000::0000」（すべて 0）のアドレス、または「0:0:0:0:ffff」や「0:0:0:0:0:0」で始まるアドレスは入力できません。

[IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。

[ホスト名]

DNS サーバーに登録するホスト名を半角英数字で入力します。

[ドメイン名]

本機が属するドメイン名を半角英数字で入力します（入力例：「example.com」）。

[DNS の動的更新を行う]

DHCP 環境などで、ホスト名と IP アドレスの対応付けが変更されたときに自動更新するにはチェックマークを付けます。DNS サーバーに登録したいアドレスの種類を指定するときは、必要に応じて [手動アドレスを登録する]、[ステートフルアドレスを登録する]、または [ステートレスアドレスを登録する] にチェックマークを付けます。

b [mDNS 設定]

[mDNS を使用する]

mDNS (multicast DNS) は DNS を使わずにホスト名を解決するプロトコルで、Bonjour などに採用されています。使用するときはチェックマークを付けます。[IPv6 を使用する] にチェックマークが付いているときだけチェックマークを付けることができます。

[IPv4 と同じ mDNS 名を使用する]

IPv4 と同じ設定にするとときはチェックマークを付けます。別に設定するときは、チェックマークを外して [mDNS 名] を半角英数字で入力します。

c [DHCP オプション設定]

[DNS サーバーアドレスを取得する]

DHCP サーバーから DNS サーバーアドレスを取得する（オプション 23 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

[ドメイン名を取得する]

DHCP サーバーからドメイン名を取得する（オプション 24 を有効にする）ときはチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



5 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

- IPv4 アドレスを設定する(P. 153)
- IPv6 アドレスを設定する(P. 158)
- ネットワークステータスプリント(P. 499)

WINS の設定をする

4L33-02W

WINS は NetBIOS 名（SMB ネットワークでのコンピュータ名やプリンター名）を IP アドレスに変換する名前解決サービスです。WINS を使用するには、WINS サーバーの指定が必要です。



- IPv6 環境では使用できません。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



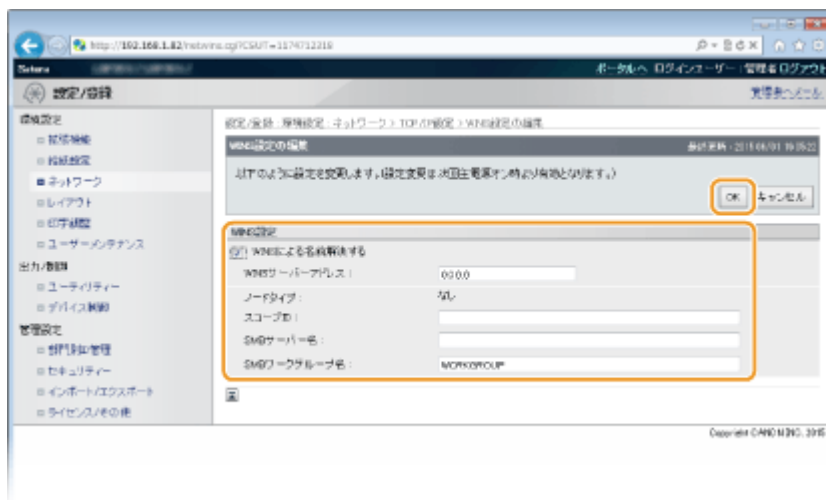
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [WINS 設定] の [編集] をクリックする



5 [WINSによる名前解決する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力したあと、[OK] をクリックする



[WINSによる名前解決する]

チェックマークを付けると WINS で名前解決を行います。WINS を使用しないときはチェックマークを外してください。

[WINS サーバーアドレス]

WINS サーバーの IP アドレス (IPv4) を入力します。



- DHCP サーバーから WINS サーバーの IP アドレスを取得したときは、DHCP サーバーから取得した IP アドレスが優先されます。

[スコープ ID]

お使いのネットワークを分割するときに、分割されたグループの範囲を示す識別子を入力します。パソコン側でスコープ ID を設定していないときは、空欄にしてください。

[SMB サーバー名]

WINS サーバー上に本機を登録するときは、SMB ネットワークでのサーバー名を入力します。



- 半角スペースは入力できません。
- [SMB 設定] の [サーバー名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [SMB 設定] の [サーバー名] にも反映されます。

[SMB ワークグループ名]

WINS サーバー上に本機を登録するときは、SMB ネットワークで本機が属するワークグループ名を入力します。



- 半角スペースは入力できません。
- [SMB 設定] の [ワークグループ名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでワークグループ名を変更すると [SMB 設定] の [ワークグループ名] にも反映されます。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから WINS 設定を有効／無効に切り替えることもできます。▶WINS による名前解決 (P. 361)

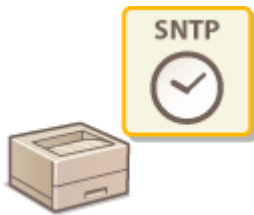


関連項目

- ▶SMB の設定をする(P. 209)

SNTP の設定をする

4L33-02X



SNTP はネットワーク上のタイムサーバーを基準にして時刻を調整するためのプロトコルです。SNTP を使うと一定間隔でタイムサーバーを確認するので、常に正確な時刻を保つことができます。



- NTP サーバー（NTPv3）と SNTP サーバー（SNTPv3 および v4）の両方に対応しています。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **▶** リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



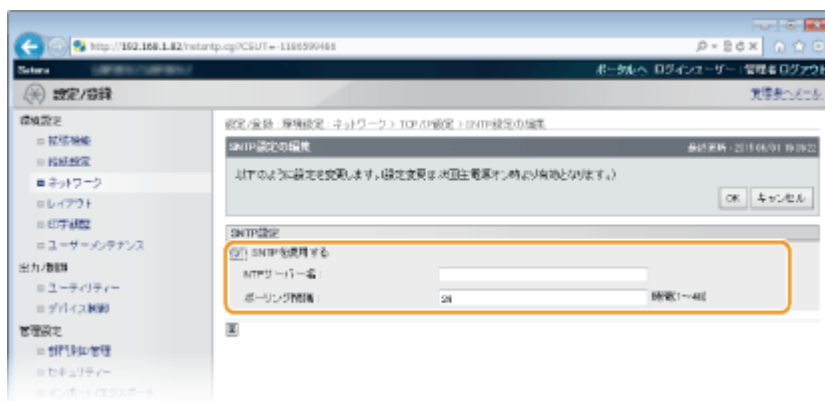
3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [SNTP 設定] にある [編集] をクリックする



5 [SNTP を使用する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[SNTP を使用する]

チェックマークを付けると SNTP を使用して時刻調整を行います。使用しないときはチェックマークを外してください。

[NTP サーバー名]

NTP または SNTP サーバーの IP アドレスを入力します。DNS サーバーを利用できるときは、IP アドレスの代わりに「ホスト名.ドメイン名」(または FQDN) を半角英数字で入力することもできます (入力例: 「ntp.example.com」)。

[ポーリング間隔]

何時間おきに時刻を調整するかを入力します。

6 [OK] をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。

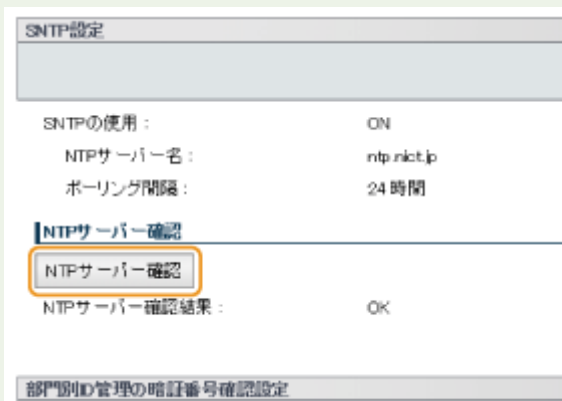


⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



NTP/SNTP サーバーと通信できるか確認するには

- 登録したサーバーとの通信状況を確認するときは、[設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックして表示される [SNTP 設定] の [NTP サーバー確認] をクリックします。正しく接続されているときは下の画面のように表示されます（ただし、このときは通信状況を確認するだけで、時刻合わせは行いません）。



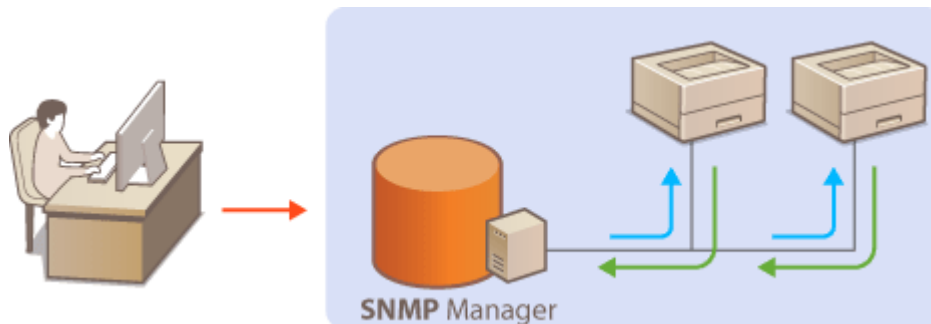
操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから SNTP 設定を有効／無効に切り替えることもできます。▶ **SNTP(P. 367)**

SNMP で監視／制御する

4L33-02Y

Simple Network Management Protocol (SNMP) は、MIB と呼ばれる管理情報データベースをもとに、ネットワーク上の通信機器を監視・制御するためのプロトコルです。本機は SNMPv1 と、セキュリティ機能が強化された SNMPv3 に対応しており、印刷するときやリモート UI を使用するときなどにパソコンから本機の状況を確認できます。SNMPv1 と SNMPv3 はいずれか一方を使用することも、両方を併用することもできます。使用目的や環境に合わせてそれぞれの設定を行ってください。



SNMPv1

SNMPv1 はコミュニティ名と呼ばれる情報で通信範囲を決定しますが、コミュニティ名は平文でネットワークに流されるため、セキュリティ面では脆弱です。安全性を確保したい場合は SNMPv1 を無効にし、SNMPv3 を利用してください。

SNMPv3

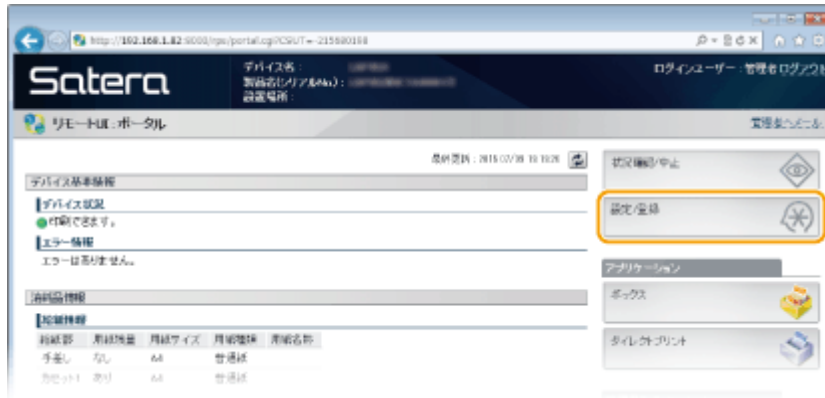
SNMPv3 を使用すると、強固なセキュリティ機能を持つネットワーク機器管理を実現できます。設定はリモート UI から行います。あらかじめ TLS を有効にしておいてください（[●TLS で暗号化通信をする\(P. 268\)](#)）。



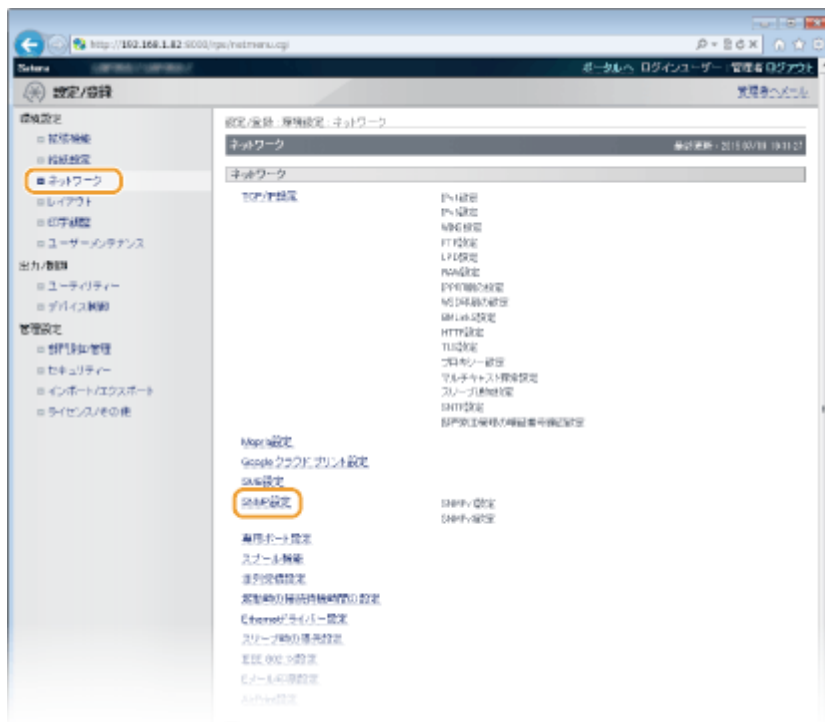
- 本機の SNMP は、Trap 通知には対応していません。
- SNMP 管理ソフトウェアが利用できる場合は、これをインストールしたパソコンから本機の設定や監視、制御ができます。詳しくは、お使いのソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [●リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [SNMP 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 SNMPv1 の設定をする

- SNMPv1 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



【SNMPv1 を使用する】

SNMPv1 を使用するときはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv1 の他の項目は設定できません。

【コミュニティ名 1 を使用する】 / 【コミュニティ名 2 を使用する】

コミュニティ名を指定するときはチェックマークを付けます。指定しないときはチェックマークを外してください。

【コミュニティ名 1】 / 【コミュニティ名 2】

コミュニティ名を半角英数字で入力します。

【MIB アクセス権限】

それぞれのコミュニティについて、MIB のアクセス権限を「読込/書込」または「読込のみ」から選びます。

【読込/書込】	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
【読込のみ】	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

【専用コミュニティ】

専用コミュニティは imageWARE Enterprise Management Console など、キャノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。MIB のアクセス権限を「OFF」、「読込/書込」または「読込のみ」から選びます。

【OFF】	専用コミュニティを使用しません。
【読込/書込】	専用コミュニティを使用して MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
【読込のみ】	専用コミュニティを使用して MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

6 SNMPv3 の設定をする

- SNMPv3 設定を変更しないときは、次の手順に進みます。



【SNMPv3 を使用する】

SNMPv3 を使用するときにはチェックマークを付けます。このチェックマークが付いていないと SNMPv3 の他の項目は設定できません。

【このユーザーを有効にする】

【ユーザー設定 1】～【ユーザー設定 5】を有効にするときはチェックマークを付けます。無効にするときはチェックマークを外してください。

【ユーザー名】

ユーザー名を半角英数字で入力します。

【MIB アクセス権限】

MIB のアクセス権限を、[読込/書込] または [読込のみ] から選びます。

[読込/書込]	MIB のオブジェクトへの読み込みと書き込みの両方を許可します。
[読込のみ]	MIB のオブジェクトへの読み込みだけを許可します。

【セキュリティ設定】

認証と暗号化の有無の組み合わせを、[認証あり/暗号化あり]、[認証あり/暗号化なし] または [認証なし/暗号化なし] から選びます。

【認証アルゴリズム】

【セキュリティ設定】で [認証あり/暗号化あり] または [認証あり/暗号化なし] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた認証アルゴリズムを選択します。

【暗号化アルゴリズム】

【セキュリティ設定】で [認証あり/暗号化あり] を選んだ場合に、お使いの環境に応じた暗号化アルゴリズムを選択します。

【パスワードを設定/変更する】

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[認証パスワード] または [暗号化パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。使用するアルゴリズム（認証／暗号化）ごとに設定します。

[コンテキスト名 1] ～ [コンテキスト名 5]

コンテキスト名を半角英数字で入力します。

7 プリンター管理情報取得の設定をする

- SNMP を使ってネットワーク上のパソコンから、印刷プロトコルやポートなどのプリンター管理情報を定期的に取り得ます。

[ホストからプリンター管理情報を取得する]

SNMP を使って本機のプリンター管理情報を監視するときはチェックマークを付けます。監視しない場合はチェックマークを外してください。

[スリープ時の SNMP パケット受信を拒否する]

スリープモード中に受信した SNMP パケットを破棄するときはチェックマークを付けます。破棄しない場合はチェックマークを外してください。



- [スリープ時の SNMP パケット受信を拒否する] にチェックマークを付けると、キヤノン製ソフトウェア (imageWARE Series) などの SNMP プロトコルを使用するアプリケーションから、本機へアクセスできない場合があります。

8 [OK] をクリックする

9 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



MEMO

SNMPv1 を使用しないとき

- プリンタードライバーによる本機からの情報取得など、一部の機能が使用できなくなります。

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューで SNMP の設定を行うこともできます。▶ **SNMP 設定(P. 370)**



SNMPv1 と SNMPv3 を併用するとき

- SNMPv1 の MIB アクセス権限を「読込み」に設定することをおすすめします。MIB へのアクセス権限は SNMPv1 と SNMPv3 で別々に設定できます（SNMPv3 ではさらにユーザーごとにも設定できます）が、SNMPv1 で「読込/書込」（フルアクセス権限）を設定すると本機のほぼすべての操作ができるため、SNMPv3 の特徴である強固なセキュリティ機能を生かすことができません。



関連項目

- ▶ **TLS で暗号化通信をする(P. 268)**

デバイス管理ソフトウェアの設定をする

4L33-030

imageWARE Enterprise Management Console などのデバイス管理ソフトウェアを導入した環境では、サーバーを介してネットワーク上の機器の設定情報や障害情報など、さまざまな情報を収集・管理できます。このような環境に本機を接続すると、imageWARE Enterprise Management Console は Service Location Protocol (SLP) などのプロトコルを使って本機を探索し、電源状態についての情報などを収集します。このとき使用される SLP 通信の設定は、リモート UI を使って行います。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 SLP の設定をする

■ デバイス探索の設定をする

1 [マルチキャスト探索設定] にある [編集] をクリックする



2 [探索応答する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[探索応答する]

チェックマークを付けるとデバイス管理ソフトウェアからの探索パケットに応答し、管理下に入ります。応答しないようにするときはチェックマークを外してください。

[スコープ名]

本機を特定のスコープに所属させる場合は、スコープ名を半角英数字で入力します。

3 [OK] をクリックする

■電源状態の通知設定をする

1 [スリープ通知設定] にある [編集] をクリックする



2 [通知する] にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



[通知する]

チェックマークを付けると本機の電源状態がデバイス管理ソフトウェアに通知されます。節電状態中における無駄な通信の削減や、総消費電力の抑制などの効果が期待できます。

[ポート番号]

管理ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を入力します。

[通過させるルーター数]

SLP 通信パケットが最大で何台のルーターを通過できるかを指定します。

[通知間隔]

何秒おきに本機の電源状態を通知するかを入力します。

3 [OK] をクリックする

5 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから探索応答を有効／無効に切り替えることもできます。▶探索応答(P. 367)
- 操作パネルの設定メニューで電源状態の通知の設定を行うこともできます。▶スリープ通知設定(P. 368)



関連項目

▶ **スリープモードにする(P. 65)**

SMB の設定をする

4L33-031

SMB は、ネットワーク内の複数デバイス間でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルで、本機を SMB ネットワークの共有プリンターにするとときに使用します。



- SMB は NetBIOS over TCP/IP のみに対応し、NetBEUI には対応していません。SMB の設定をする前に IP アドレスの設定を行ってください。▶ **IP アドレスを設定する(P. 152)**
- SMB はオプションの SD カードが装着されている場合にのみ有効になります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [SMB 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [SMB サーバーを使用する] にチェックマークを付け、必要な設定をする



[SMB サーバーを使用する]

チェックマークを付けると SMB サーバーとして SMB ネットワークに表示されます。

[サーバー名]

SMB ネットワークに表示するサーバー名を入力します。ネットワーク上の他のパソコンやプリンターなどと重複しない名前を入力してください。



- 半角スペースは入力できません。
- [WINS 設定] の [SMB サーバー名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [WINS 設定] の [SMB サーバー名] にも反映されます。

[ワークグループ名]

本機が属するワークグループ名を入力します。お使いの環境にワークグループがないときは、Windows 上でワークグループを作成して、そのワークグループ名を入力してください。



- 半角スペースは入力できません。

- [WINS 設定] の [SMB ワークグループ名] が設定されているときは自動的に同じ名前が設定されています。逆に、ここでサーバー名を変更すると [WINS 設定] の [SMB ワークグループ名] にも反映されます。

[コメント]

必要に応じて、本機に関するコメントを入力します。

[LM アナウンスを使用する]

本機が存在を LAN Manager に通知するときはチェックマークを付けます。通知が不要な場合はチェックマークを外すと、ネットワークの負荷が軽減されます。

[SMB 印刷を使用する]

本機で SMB 印刷を使用するときはチェックマークを付けます。

[プリンター名]

本機の名称を入力します。



- 半角スペースは入力できません。

6 [OK] をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

≫ 続いて、▶印刷を行うパソコンの設定をする(P. 213) に進む



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから SMB サーバーを有効／無効に切り替えることもできます。▶SMB(P. 369)
- 操作パネルの設定メニューから SMB 印刷を有効／無効に切り替えることもできます。▶SMB(P. 369)



関連項目

▶ **WINS の設定をする(P. 193)**

印刷を行うパソコンの設定をする

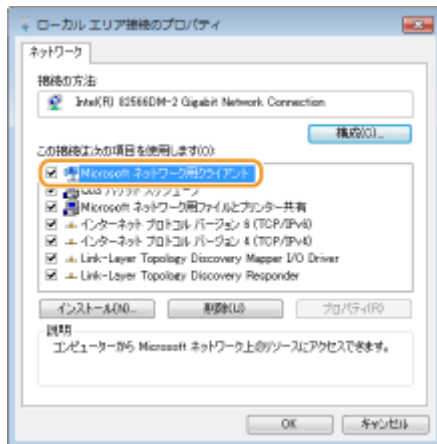
4L33-032

パソコンから SMB ネットワークを通して本機で印刷ができるように、パソコン側の接続設定とプリンタードライバーのインストールを行います。

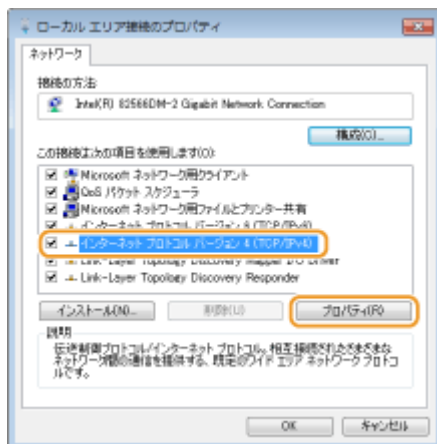
- ▶SMB ネットワークに接続する(P. 213)
- ▶プリンタードライバーをインストールする(P. 214)

SMB ネットワークに接続する

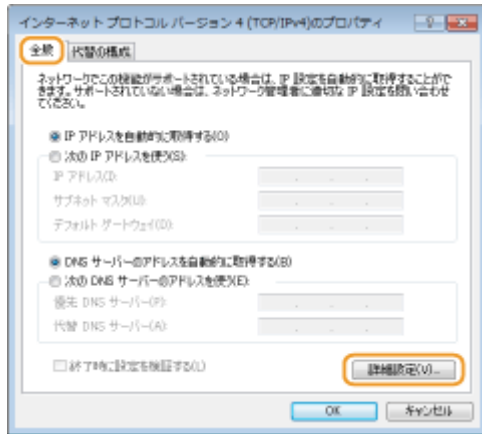
- 1 [ローカルエリア接続のプロパティ] を表示する
- 2 [Microsoft ネットワーク用クライアント] にチェックマークを付ける



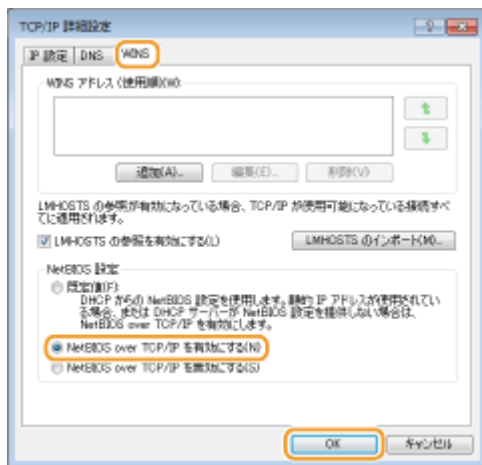
- 3 [インターネットプロトコルバージョン 4] または [インターネットプロトコル] にチェックマークを付け、[プロパティ] をクリックする



- 4 [全般] タブ ▶ [詳細設定] をクリックする



- 5** [WINS] タブをクリックし、[NetBIOS over TCP/IP を有効にする] を選んだあと、[OK] をクリックする



- 6** すべてのダイアログボックスが閉じるまで [OK] をクリックする



- パソコンの再起動を求める画面が表示されたときは、再起動してください。

プリンタードライバをインストールする

プリンタードライバのインストール方法については、オンラインマニュアルサイトからドライバのマニュアルを参照してください。



インストール中にポートを選択する画面が表示されたとき

- 次の操作を行ってください。
 - 1** [ポートの追加] をクリックする
 - 2** [ネットワーク] を選び、[OK] をクリックする

- 3 リストから SMB プロトコルの設定で指定した [ワークグループ名] ▶ [サーバー名] ▶ [プリンター名] を順に選ぶ ▶ SMB の設定をする (P. 209)

セキュリティ

セキュリティ	217
不正な使用を防止する	218
不正アクセス防止対策について	219
アクセス権限を設定する	221
管理者パスワードを設定する	222
部門別 ID 管理をする	225
リモート UI の暗証番号を設定する	233
ファイアウォールで通信制限する	235
IP アドレスでファイアウォールを設定する	236
MAC アドレスでファイアウォールを設定する	242
プロキシを設定する	246
機能を制限する	249
印刷動作を制限する	250
USB の使用を制限する	254
操作パネルの使用を制限する	258
HTTP 通信を無効にする	261
リモート UI を無効にする	262
LAN ポートが無効にする	263
印刷履歴を非表示にする	264
強固なセキュリティ機能を導入する	266
TLS で暗号化通信をする	268
IPSec の設定をする	273
IEEE 802.1X 認証の設定をする	284
鍵ペアと電子証明書の設定をする	290
鍵ペアを生成する	291
認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う	300
鍵ペアと CA 証明書を検証する	304
鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ）	306
証明書の発行要求状況にエラーが表示された（LBP322i のみ）	311

セキュリティ

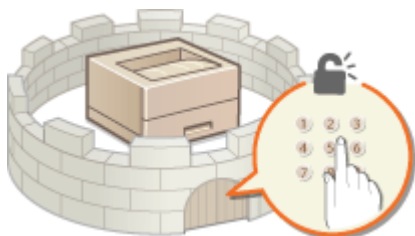
4L33-033

パソコンやプリンターなどの情報機器を通じて扱われる機密情報は、悪意のある第三者の標的となる場合があります。不正アクセスなどによる攻撃だけでなく、不注意や誤操作による情報漏えいが結果的に予想外の損失に結びつく恐れもあります。こうしたリスクに備えて本機にはさまざまなセキュリティ機能が搭載されています。お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。



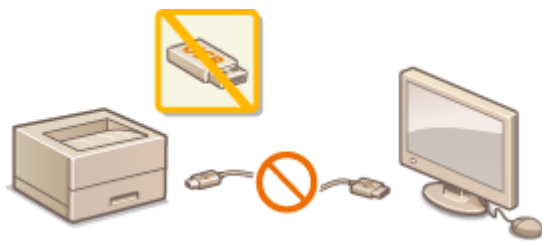
- 本機のセキュリティ機能と併せて、インターネットから社内ネットワーク内のプリンターや複合機にアクセスできないような環境を構築すると、最良のセキュリティ対策を築けます。 **不正アクセス防止対策について (P. 219)**

■ 情報セキュリティ対策の基本を押さえる



- **不正な使用を防止する (P. 218)**

■ 不注意／誤操作／悪用などのリスクに対処する



- **機能を制限する (P. 249)**



- **暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント） (P. 94)**

■ 強固なセキュリティ機能を導入する

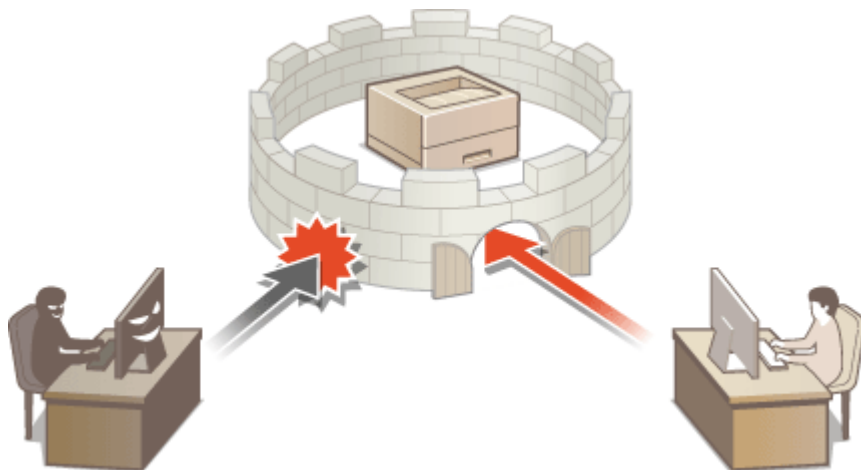


- **強固なセキュリティ機能を導入する (P. 266)**

不正な使用を防止する

4L33-034

第三者が無断で本機を使用する、などの不正使用を制限できます。アクセス権限の設定やファイアウォールによる通信制限など、複数の手段を組み合わせることで外部からの不正侵入に対抗することも可能です。



不正アクセス防止対策について

4L33-035

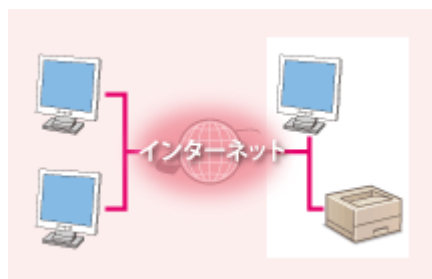
外部ネットワークからの不正アクセス防止対策について記載しています。本機や他のプリンター、複合機をネットワーク環境でお使いの方、管理者の方は、ご利用の前に必ずお読みください。近年のプリンターや複合機は、ネットワークに接続することでコンピューターから印刷やリモート操作をしたり、スキャンした原稿をインターネット経由で送信したりなど、さまざまな機能を利用できるようになっています。その反面、ネットワーク上では外部からの不正アクセスや盗聴による脅威にもさらされるため、情報漏えい等のセキュリティリスクへの対策が不可欠です。以降では、ネットワーク環境でプリンターや複合機を使用する際に必ず行っていただきたい不正アクセス対策のポイントについて説明します。

外部からの不正アクセス対策のポイント

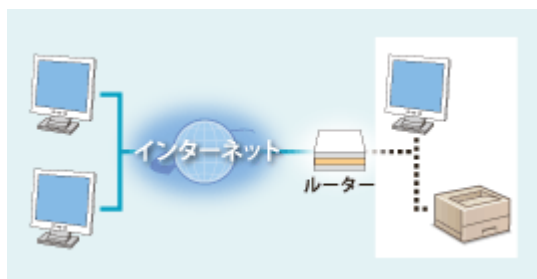
- ▶ **プライベート IP アドレスで運用する(P. 219)**
- ▶ **ファイアウォールで通信を制限する(P. 220)**
- ▶ **TLS 暗号化通信を設定する(P. 220)**
- ▶ **プリンターが持つ情報を暗証番号で管理する(P. 220)**

プライベート IP アドレスで運用する

IP アドレスとは、ネットワーク上の機器に割り当てられる番号のことで、インターネット接続に使われる IP アドレスを「グローバル IP アドレス」、社内 LAN などのローカルエリアネットワークで使われる IP アドレスを「プライベート IP アドレス」と呼びます。プリンター、複合機に設定されている IP アドレスがグローバル IP アドレスの場合は、インターネット上の不特定多数のユーザーからアクセス可能な状態であり、外部からの不正アクセスによる情報漏えいなどのリスクも高まります。一方で、プライベート IP アドレスが設定されているプリンター、複合機なら、社内 LAN などのローカルエリアネットワーク上のユーザーからしかアクセスすることができません。



【グローバル IP アドレス】
外部からアクセス可



【プライベート IP アドレス】
ローカルエリア内でのみアクセス可

基本的には、プリンター、複合機の IP アドレスにはプライベート IP アドレスを設定して運用してください。プライベート IP アドレスには、以下のいずれかの範囲のアドレスが使用されます。お使いのプリンター、複合機に設定されている IP アドレスがプライベート IP アドレスかどうかを確認してください。

■ プライベート IP アドレスの範囲

- 10.0.0.0 ~ 10.255.255.255
- 172.16.0.0 ~ 172.31.255.255
- 192.168.0.0 ~ 192.168.255.255

IP アドレスの確認手順については、▶ **IPv4 アドレスを設定する(P. 153)** を参照してください。



- プリンター、複合機にグローバル IP アドレスが設定されていても、ファイアウォール等で外部からのアクセスを防御する環境を構築すれば、不正アクセスのリスクは軽減されます。プリンター、複合機にグローバル IP アドレスを設定して運用したいときは、ネットワーク管理者にご相談ください。

ファイアウォールで通信を制限する

ファイアウォールとは、外部ネットワークからの不正アクセスを防止し、ローカルエリア内のネットワークへの攻撃や侵入を防ぐシステムです。お使いのネットワーク環境で、特定の外部 IP アドレスからの通信を制限することで、危険と思われる外部からのアクセスをあらかじめ遮断できます。キャノンのプリンター、複合機に搭載された機能でも IP アドレスのフィルタリングができます。IP アドレスのフィルタリングについては、**🔴IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 236)** を参照してください。

TLS 暗号化通信を設定する

TLS 通信については **🔴強固なセキュリティ機能を導入する(P. 266)** を、設定手順については **🔴TLS で暗号化通信をする(P. 268)** を参照してください。

プリンターが持つ情報を暗証番号で管理する

万が一、悪意のある第三者から不正アクセスを受けたとしても、プリンター、複合機が持つさまざまな情報を暗証番号で保護しておけば、情報漏えいによるリスクを大幅に軽減できます。キャノンのプリンター、複合機は、さまざまな情報を暗証番号で保護できるようになっています。

■各機能の暗証番号設定

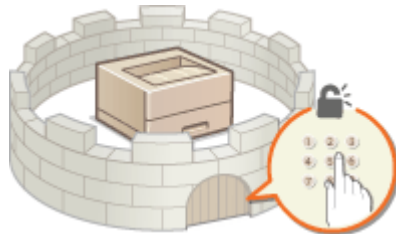
- リモート UI の暗証番号設定
詳細は、**🔴リモート UI の暗証番号を設定する(P. 233)** を参照のうえ、設定してください。
- システム管理者のパスワード設定
詳細は、**🔴管理者パスワードを設定する(P. 222)** を参照のうえ、設定してください。

上記は不正アクセス防止対策の一例です。その他の詳細は **🔴セキュリティ(P. 217)** を参照のうえ、お使いの環境に合わせて必要な対策を行ってください。

アクセス権を設定する

4L33-036

アクセス権を持つユーザーだけが本機を利用できるようにして、第三者の不正使用を防ぎます。アクセス権は管理者パスワードや「部門 ID」と呼ばれるアカウント、リモート UI に対して設定します。アクセス権が設定されていると、印刷や設定変更をするときに、ID やパスワードの入力が必要になります。



管理者パスワードはシステム管理者専用、部門 ID は一般ユーザー用です。両方ともシステム管理者が設定します。また、「リモート UI アクセス暗証番号」を設定することで、リモート UI の使用も制限することができます。

管理者パスワード

リモート UI から本機の設定を行うには管理者パスワードが必要です。お買い上げ時には「7654321」に設定されていますが、このパスワードを変更することで、特定の管理者だけが設定を変更できるようになります。

▶管理者パスワードを設定する(P. 222)

一般ユーザーの部門 ID（部門別 ID 管理）

印刷を管理するためのアカウントです。複数設定することができ、ユーザー（またはグループ）ごとに使い分けることが可能です。部門 ID が有効なときに印刷をしようとすると部門 ID 入力画面が表示されますので、自分の部門 ID を入力します。プリンターの使用状況についても部門 ID 別に集計できますので管理の一助となります。

▶部門別 ID 管理をする(P. 225)

リモート UI の暗証番号（リモート UI アクセス暗証番号）

リモート UI を使うための暗証番号です。暗証番号を知っているユーザーだけがリモート UI にアクセスできるようになります。

▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 233)

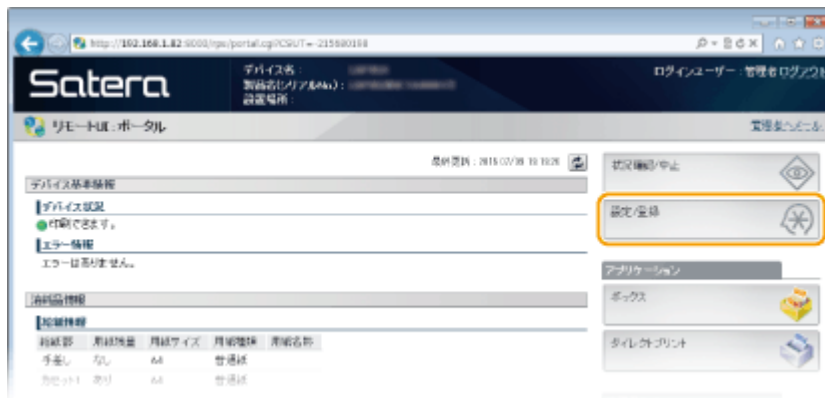
管理者パスワードを設定する

4L33-037

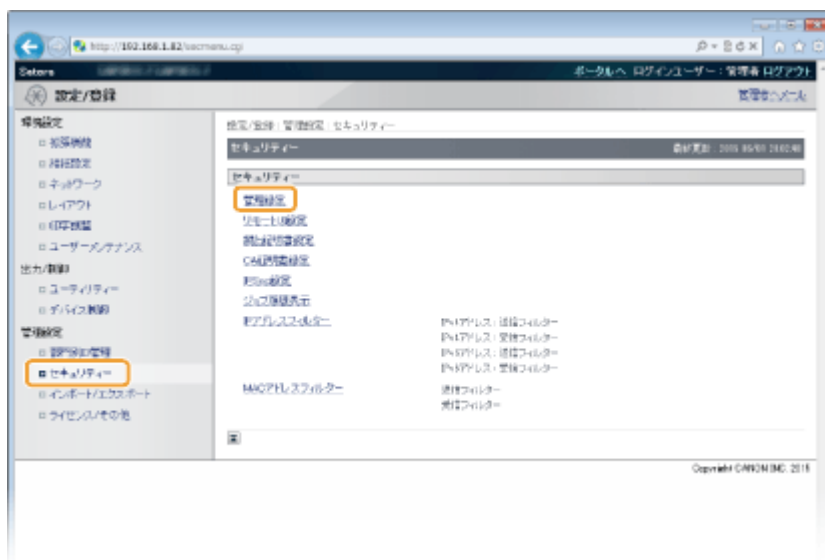
リモート UI から本機の設定を変更する場合には管理者権限が必要です。ここでは管理者権限でログインする場合のパスワード（管理者パスワード）を変更します。管理者パスワードは本機のセキュリティ上、特に重要です。管理者だけが管理者パスワードを知っているような体制にしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする

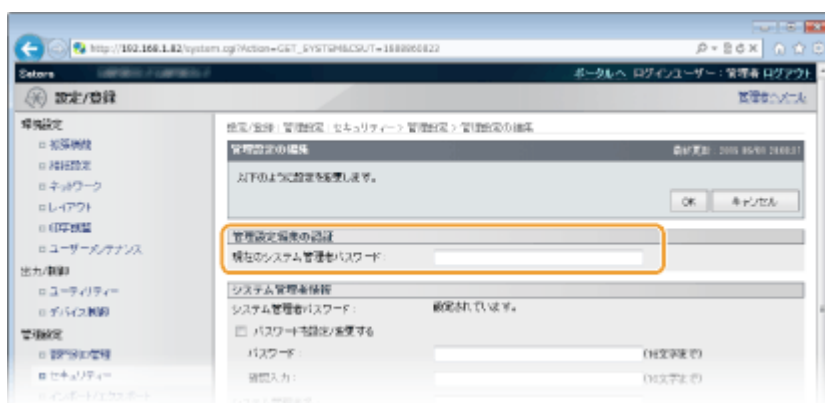


4 [編集] をクリックする

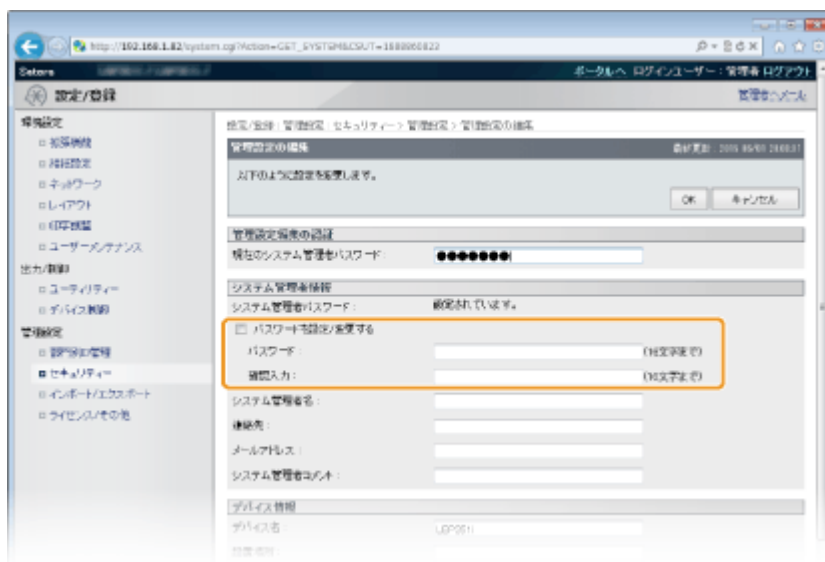


5 「現在のシステム管理者パスワード」に現在設定されているパスワードを入力する

- お買い上げ時は、「7654321」に設定されています。



6 パスワードを入力する



【パスワードを設定/変更する】

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード]と[確認入力]の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。



- [パスワードを設定/変更する] にチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] が空欄の状態ですべて [OK] をクリックすると、パスワードは消去されます。

7 必要に応じて管理者の名前や連絡先を入力し、[OK] をクリックする

[システム管理者名]

管理者の名前を入力します。

[連絡先]

管理者の連絡先を入力します。

[メールアドレス]

管理者のメールアドレスを半角英数字で入力します。

[システム管理者コメント]

管理者のコメントを入力します。



- 設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れた場合は、お買い求めの販売店または弊社お客様相談センターにお問い合わせください（有償）。



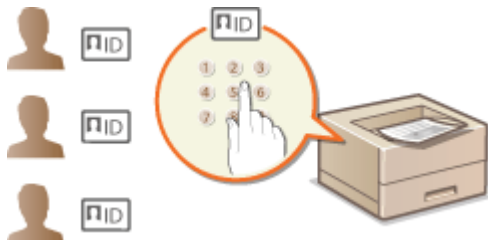
関連項目

- ▶ アクセス権限を設定する(P. 221)
- ▶ 管理者情報を確認する(P. 327)

部門別 ID 管理をする

4L33-038

ユーザー（またはグループ）ごとに複数の部門 ID を使い分けて本機の使用状態を管理することができます。部門別 ID 管理中に本機を操作しようするとログイン画面が表示されますので、各ユーザーは自分の部門 ID を使ってログイン操作を行う必要があります。部門別 ID 管理を行うと、印刷の使用状況が部門 ID 別に記録されます。部門別 ID 管理をするには、まず管理対象とする部門 ID をすべて登録し、そのあとに部門別 ID 管理を有効にします。パソコンからの印刷に対しても部門別 ID 管理を行いたいときは、このほかにもさらに設定が必要です。



- ▶ 部門 ID と暗証番号を登録／編集する (P. 225)
- ▶ 部門別 ID 管理を有効にする (P. 227)
- ▶ パソコンからの印刷で部門別 ID 管理をする (P. 229)
- ▶ 部門 ID が不明な操作を遮断する (P. 231)



部門ごとの印刷状況を管理するには
▶ 部門ごとの印刷ページ数を確認する (P. 510)

部門 ID と暗証番号を登録／編集する

部門 ID を登録し、暗証番号を設定します。管理の対象とする部門 ID をすべて登録してください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する (P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] をクリックし、部門 ID を登録／編集する



■部門 ID を登録する

- 1 [新規部門の登録] をクリックする
- 2 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[部門 ID]

登録する部門 ID を半角数字で入力します。

[暗証番号を設定する]

暗証番号を設定するときはチェックマークを付け、[暗証番号] と [確認入力] の両方に同じ半角数字を入力します。暗証番号を設定しないときは空欄のままにしてください。

■登録した部門 ID の設定を編集する

- 1 編集する部門 ID のリンクをクリックする
- 2 必要に応じて設定を変更し、[OK] をクリックする



部門 ID を削除するには

- 削除したい部門 ID の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。

部門別 ID 管理を有効にする

必要な部門 ID を登録したら、部門別 ID 管理を有効にします。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] ▶ [設定] をクリックする



4 [部門別 ID 管理をする] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



【部門別 ID 管理をする】

チェックマークを付けると部門別 ID 管理が有効になります。部門別 ID 管理をしないときはチェックマークを外してください。

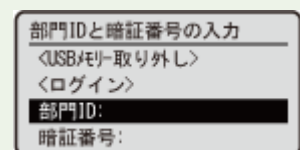


- [ID 不定ジョブをプリントする] については、**部門 ID が不明な操作を遮断する(P. 231)** を参照してください。



部門別 ID 管理を有効にすると

- USB メモリー内のファイル、またはオプションの SD カードに保存した文書进行操作パネルから印刷するときに、認証画面が表示されます。部門 ID と暗証番号を入力したあと、<ログイン>を選択し、**OK** を押してください。
- リモート UI に一般ユーザーモードでログインするときは、[部門 ID] と [暗証番号] の入力が必要になります。
リモート UI を起動する(P. 315)



■ XPS プリンタードライバを使用しているとき

XPS プリンタードライバの使用時に部門別 ID 管理をする場合は、まず TLS 暗号化通信に使用する鍵ペアを設定してください（**TLS で暗号化通信をする(P. 268)**）。鍵ペアの設定が完了したら、次の設定を行ってください。



リモート UI に管理者モードでログインする（**リモート UI を起動する(P. 315)**）▶ [設定/登録] ▶ [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [部門別 ID 管理の暗証番号確認設定] にある [編集] ▶ [部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]



[部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する]

チェックマークを付けると XPS プリンタードライバーを使用した印刷に対して部門別 ID 管理が有効になります。部門別 ID 管理をしないときはチェックマークを外します。



- 本機に鍵ペアが存在しない場合には、[部門別 ID 管理の暗証番号確認を使用する] を有効にできません。▶ **鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 290)**

パソコンからの印刷で部門別 ID 管理をする

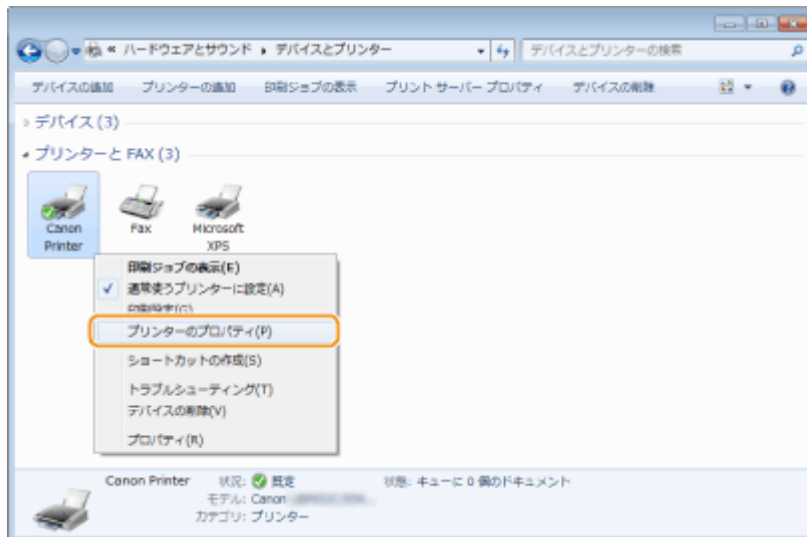
パソコンからの印刷に対して部門別 ID 管理を行うには、あらかじめパソコンにインストールしたプリンタードライバーで準備をします。必要に応じて部門 ID や暗証番号を設定してください。



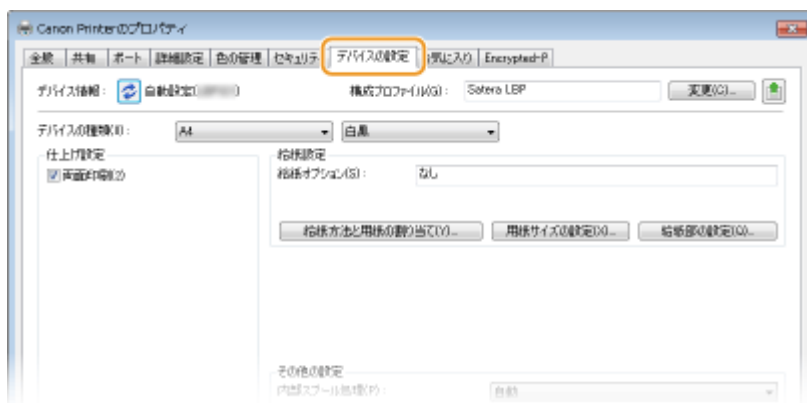
- ここでの操作をするには、管理者のアカウントでパソコンにログインしている必要があります。

1 プリンターフォルダーを開く ▶ **プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)**

2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする

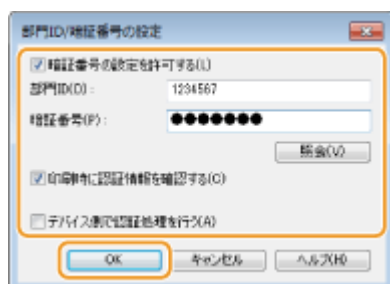


3 [デバイスの設定] タブをクリックし、必要な設定をする



1 [ユーザー管理機能] で [部門別 ID 管理] を選び、下にある [設定] をクリックする

2 必要な情報を入力し、[OK] をクリックする



[暗証番号の設定を許可する]

暗証番号を設定するときにチェックマークを付けます。

[部門 ID]

部門 ID を半角数字で入力します。

[暗証番号]

必要に応じて部門 ID に対応する暗証番号を半角数字で入力します。

[照会]

クリックすると、正しい ID と暗証番号が入力されているか確認できます。ただし、本機とパソコンを USB または WSD (Web Services on Devices) ポートで接続しているときは使用できません。

【印刷時に認証情報を確認する】

チェックマークを付けると、パソコンから印刷する際、毎回ポップアップ画面が表示されます。

【デバイス側で認証処理を行う】

本機とパソコンを USB または WSD ポートで接続しているときにチェックマークを付けます。

3 [OK] をクリックする



正しく設定できたとき

- 部門別 ID 管理中にパソコンから印刷をしようとすると、次のようなポップアップ画面が表示されます（【印刷時に認証情報を確認する】にチェックマークが付いていないときは表示されません）。



部門 ID が不明な操作を遮断する

部門別 ID 管理中でも ID や暗証番号を入力せずにパソコンから印刷できるよう、お買い上げ時に設定されています。ID や暗証番号を入力しなければ印刷できないようにしたい場合は次の操作をしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 【設定/登録】 をクリックする



3 【部門別 ID 管理】 ▶ 【設定】 をクリックする



4 [ID 不定ジョブをプリントする] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



- チェックマークを外した場合、BMLinkS などの部門別 ID 管理に対応していない方法での印刷や、管理者モードでログインしたりモート UI からのダイレクトプリントもできなくなります。



関連項目

- アクセス権を設定する(P. 221)
- 管理者パスワードを設定する(P. 222)

リモート UI の暗証番号を設定する

4L33-039

リモート UI にアクセスするための暗証番号を設定できます。すべてのユーザーが共通の暗証番号を使用します。



- 部門別 ID 管理を実施しているときは、ここでの設定は必要ありません。▶[部門別 ID 管理をする\(P. 225\)](#)

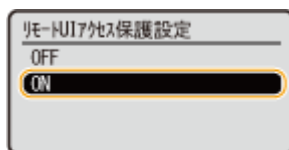
1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、を押す

- メッセージが表示されたら、を押します。

3 <リモート UI 設定>▶<リモート UI アクセス保護設定>の順に進む

4 <ON>を選び、を押す



5 暗証番号を設定する

- 暗証番号を半角数字で入力し、を押します。
- 確認のため、<暗証番号(確認入力)>が表示されますので、再度暗証番号を入力してください。



リモート UI 設定を初期化したとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、暗証番号を設定しなおしてください。▶✕[メニューを初期化する\(P. 516\)](#)

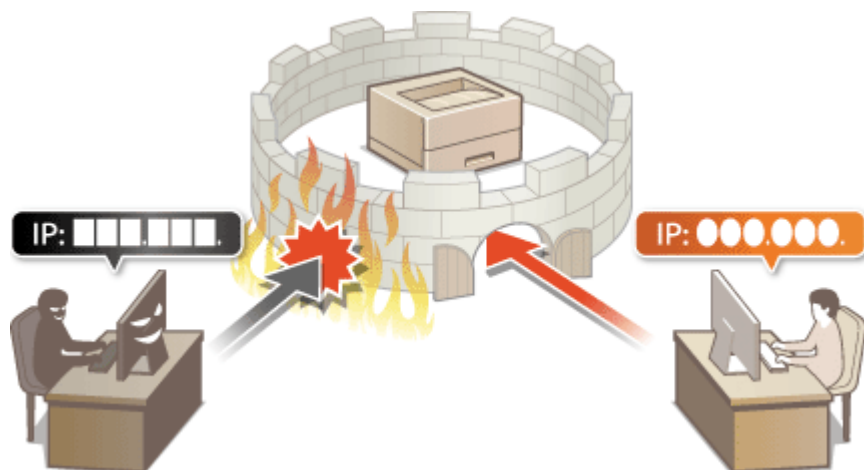
[関連項目](#)

- ▶ アクセス権限を設定する(P. 221)
- ▶ 管理者パスワードを設定する(P. 222)

ファイアウォールで通信制限する

4L33-03A

適切なセキュリティ対策を施さずにパソコンや通信機器をネットワークに接続すると、意図しない第三者から不正にアクセスされる恐れがあります。そこで、特定の IP アドレスや MAC アドレスを持つ機器だけに通信を許可するパケットフィルタリングを設定することで、そうしたリスクを低減させます。



IP アドレスでファイアウォールを設定する

4L33-03C

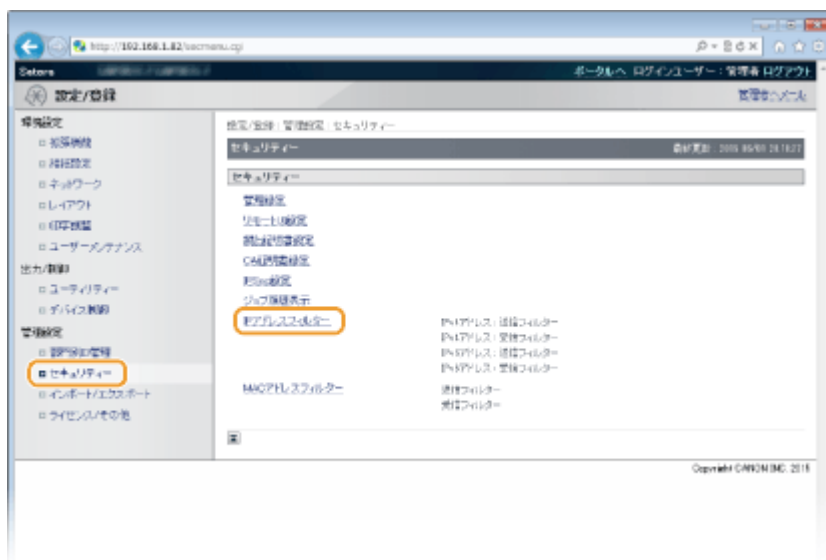
指定した IP アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の IP アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外の通信は許可することもできます。なお、IP アドレスは範囲を指定して設定することも可能です。データ受信の場合は、ポート番号を指定して設定することもできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [IP アドレスフィルター] をクリックする



4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする



[IPv4 アドレス: 送信フィルタ]

IPv4 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

[IPv4 アドレス: 受信フィルタ]

IPv4 アドレスやポート番号を指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

[IPv6 アドレス: 送信フィルタ]

IPv6 アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

[IPv6 アドレス: 受信フィルタ]

IPv6 アドレスやポート番号を指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する

■送信フィルタの場合

まず前提条件として「本機との通信を許可するのか、拒否するのか」のデフォルトポリシーを選択し、次に例外とする通信機器を IP アドレスで指定します。



1 [フィルターを使用する] にチェックマークを付け、[デフォルトポリシー] の [許可] または [拒否] をクリックする

[フィルターを使用する]

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

[デフォルトポリシー]

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するのかを選択します。

[許可]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（送信／受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[拒否]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（送信／受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力し、[追加] をクリックします。



入力内容をよくお確かめください

- IP アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから<アドレスフィルター>を<OFF>にしてください。▶[アドレスフィルター\(P. 375\)](#)

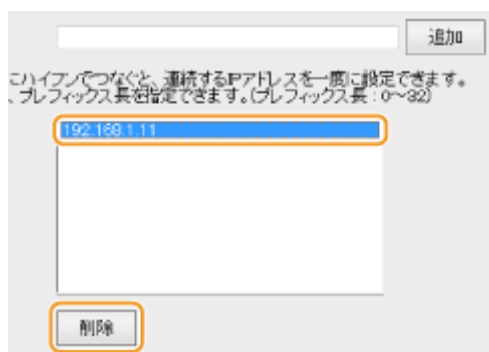


[デフォルトポリシー] の [拒否] を選んだとき

- ループバック／マルチキャスト／ブロードキャストアドレスは制限対象外です。

設定した IP アドレスを削除するとき

- 削除する IP アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする

■受信フィルターの場合

[デフォルトポリシー] の [許可] を選ぶときは、本機との通信を制限する機器の IP アドレスを指定し、[デフォルトポリシー] の [拒否] を選ぶときは、本機と通信する機器の IP アドレスを指定します。



1 [新規登録] をクリックする

2 例外アドレスを設定する

- [登録するアドレス] に IP アドレス（またはその範囲）を入力します。
- ポート番号を設定する場合は、[ポート番号を指定する] にチェックマークを付け、[ポート番号] にポート番号を入力し、[追加] をクリックします。



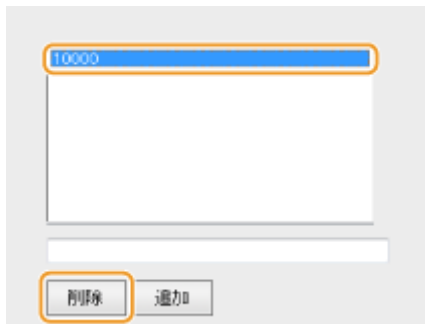
入力内容をよくお確かめください

- IP アドレスやポート番号を間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから＜アドレスフィルター＞を＜OFF＞にしてください。▶[アドレスフィルター \(P. 375\)](#)



設定したポート番号を削除するとき

- 削除するポート番号を選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックする

4 [フィルターを使用する] にチェックマークを付け、[デフォルトポリシー] の [許可] または [拒否] をクリックする



[フィルターを使用する]

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

[デフォルトポリシー]

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するのを選択します。

[許可]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器との通信（送信／受信）を制限します。それ以外の IP アドレスを持つ機器とは通信可能です。
[拒否]	[例外アドレス] に入力した IP アドレスを持つ機器とだけ通信（送信／受信）し、それ以外の IP アドレスを持つ機器との通信は制限します。



設定した IP アドレスを編集するとき

- [例外アドレス] のリンクをクリックし、必要に応じて設定を変更 ▶ [OK] をクリックします。

設定した IP アドレスを削除するとき

- 削除する IP アドレスの [削除] をクリックします。



5 [OK] をクリックする

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IP アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。▶ [アドレスフィルター\(P. 375\)](#)



関連項目

- ▶ [MAC アドレスでファイアウォールを設定する\(P. 242\)](#)

MAC アドレスでファイアウォールを設定する

4L33-03E

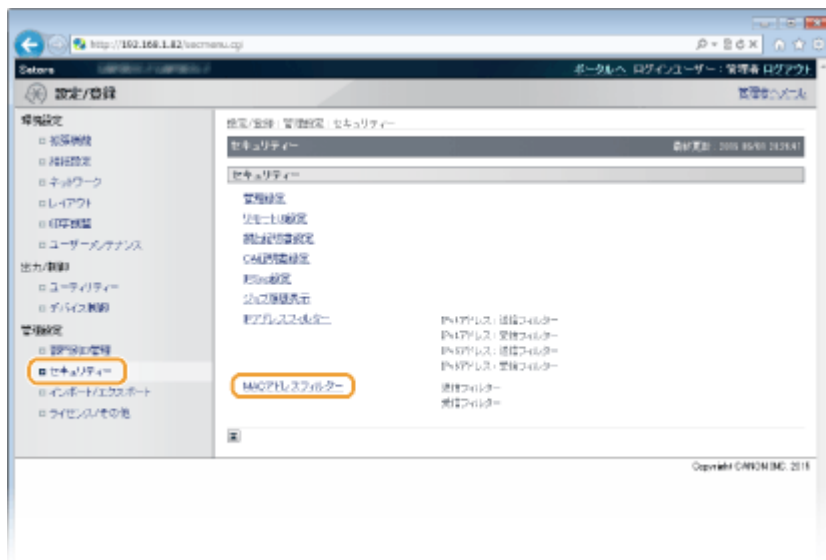
指定した MAC アドレスを持つ機器との通信だけを許可し、それ以外の機器との通信を拒否します。逆に、特定の MAC アドレスを持つ機器との通信だけを拒否し、それ以外は許可することもできます。指定できる MAC アドレスは最大 50 です。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [MAC アドレスフィルター] をクリックする



4 設定したいフィルターの [編集] をクリックする



【送信フィルター】

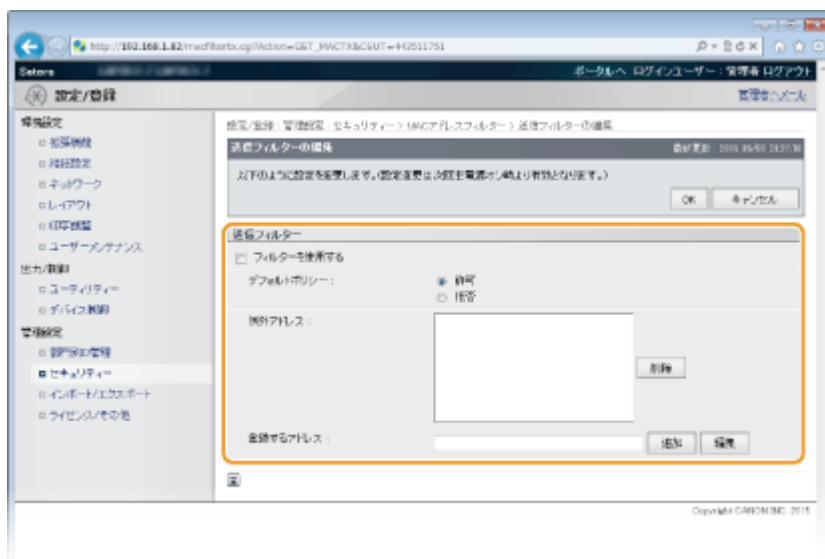
MAC アドレスを指定して本機からパソコンへのデータ送信を制限します。

【受信フィルター】

MAC アドレスを指定してパソコンからのデータ受信を制限します。

5 フィルターを設定する

- まず前提条件として「本機との通信を許可するのか、拒否するのか」のデフォルトポリシーを選択し、次に例外とする通信機器を MAC アドレスで指定します。



- 1 【フィルターを使用する】にチェックマークを付け、【デフォルトポリシー】の【許可】または【拒否】をクリックします。

【フィルターを使用する】

チェックマークを付けると通信制限が有効になります。通信制限をしないときはチェックマークを外してください。

【デフォルトポリシー】

前提条件として本機との通信を許可するのか拒否するのを選択します。

【許可】	【例外アドレス】に入力した MAC アドレスを持つ機器との通信（送信／受信）を制限します。それ以外の MAC アドレスを持つ機器とは通信可能です。
【拒否】	【例外アドレス】に入力した MAC アドレスを持つ機器とだけ通信（送信／受信）し、それ以外の MAC アドレスを持つ機器との通信は制限します。

2 例外アドレスを設定します。

- [登録するアドレス] に MAC アドレスを入力し、[追加] をクリックします。
- アドレスは「-」（ハイフン）や「:」（コロン）で区切らずに入力してください。



入力内容をよくお確かめください

- MAC アドレスを間違えて設定すると、リモート UI からアクセスできなくなることがあります。この場合は、操作パネルから<アドレスフィルター>を<OFF>にしてください。▶[アドレスフィルター\(P. 375\)](#)

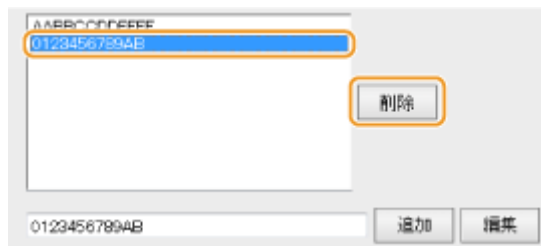


[デフォルトポリシー] の [拒否] を選んだとき

- マルチキャストおよびブロードキャストアドレスは制限対象外です。

設定した MAC アドレスを削除するとき

- 削除する MAC アドレスを選び、[削除] をクリックします。



3 [OK] をクリックします。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから MAC アドレスによる通信制限を有効／無効に切り替えることもできます。▶ **アドレスフィルター(P. 375)**



関連項目

- ▶ **IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 236)**

プロキシを設定する

4L33-03F

プロキシ（HTTP プロキシサーバー）とは、おもにウェブサイトの閲覧などでネットワークの外にある機器との HTTP 通信を代行するパソコンやソフトウェアなどのことです。ネットワーク外部に直接通信するのではなく、プロキシサーバーを中継して外部に接続します。プロキシを設定することで、外部ネットワークとの通信管理がしやすくなるだけでなく、不正アクセスの遮断やウィルス対策の集約化など、セキュリティを強化できます。Google Cloud Print を利用するときは、プロキシを設定しておくことでインターネットを介した印刷における安全性の向上が期待できます。プロキシサーバーのアドレスやポート番号、認証情報などはあらかじめ確認しておいてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [プロキシ設定] にある [編集] をクリックする



5 「プロキシーを使用する」にチェックマークを付け、必要な情報を入力する



「プロキシーを使用する」

チェックマークを付けると、本機が HTTP 通信するときは指定したプロキシーサーバーが使用されます。

「HTTP プロキシーサーバーのアドレス」

使用するプロキシーサーバーのアドレスを入力します。お使いの環境に応じて IP アドレスやホスト名などを設定してください。

「HTTP プロキシーサーバーのポート番号」

使用するプロキシーサーバーのポート番号を入力します。

「同一ドメインにもプロキシーを使用する」

チェックマークを付けると、同じドメインにある機器と通信するときにも指定したプロキシーサーバーが使用されます。

「プロキシー認証を使用する」

プロキシーサーバーの認証機能を使用するときはチェックマークを付け、[ユーザー名] に認証するユーザー名を半角英数字で入力します。

「パスワードを設定/変更する」

プロキシー認証を使用する場合にパスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

6 「OK」をクリックする

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューでプロキシの設定を行うこともできます。▶ [プロキシ設定\(P. 365\)](#)



関連項目

- ▶ [Google Cloud Print を使う\(P. 141\)](#)

機能を制限する

4L33-03H

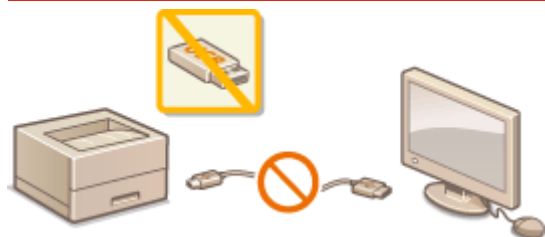
使用頻度が低い機能や悪用される恐れのある機能に対して使用条件を設定し、機能を制限することができます。また、機能自体を完全に使えなくすることもできます。

印刷を制限する



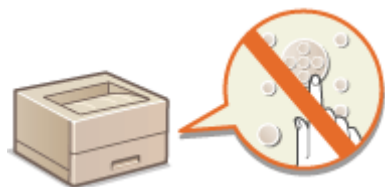
▶印刷動作を制限する(P. 250)

USB の使用を制限する



▶USB の使用を制限する(P. 254)

操作パネルの使用を制限する



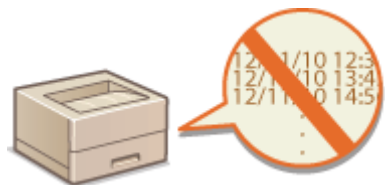
▶操作パネルの使用を制限する(P. 258)

HTTP 通信などのネットワークの使用を制限する



- ▶HTTP 通信を無効にする(P. 261)
- ▶リモート UI を無効にする(P. 262)
- ▶LAN ポートを無効にする(P. 263)

印刷履歴を非表示にする



▶印刷履歴を非表示にする(P. 264)

印刷動作を制限する

4L33-03J

受信した印刷データを自動的に印刷しないように設定することで、用紙の無駄を減らしたり、第三者が使用できないようにしたりできます。この機能を使うためには、オプションの SD カードの装着が必要です。▶SD カードを取り付ける(P. 565)



MEMO

- 印刷動作を制限したときも設定リストやレポートのプリントを行うことはできます。▶レポートとリストをプリントする(P. 499)

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [プリンタージョブを制限する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



【プリンタジョブを制限する】

チェックマークを付けると本機の印刷動作を制限します。制限をしないときはチェックマークを外します。

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



印刷動作を制限したとき

- プリンタードライバーからは保存ジョブプリントのみが可能です。▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）** (P. 98)
- リモート UI からは PDF ファイルまたは XPS ファイルをボックスに保存する印刷のみが可能です。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）** (P. 109)
- USB メモリーからのメディアプリントや E メール印刷はできません。



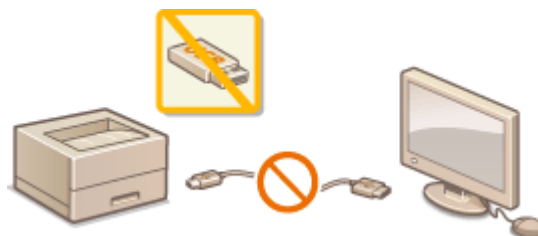
関連項目

▶ 文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 98)

USB の使用を制限する

4L33-03K

USB 接続は、周辺機器とのデータ共有を手軽でかんたんなものにしますが、適切に管理されていない環境下では逆に情報漏えいの手段として悪用される恐れがあります。特に、USB メモリーの運用には注意が必要です。ここでは、本機の USB ポートを使った接続の制限や、USB メモリーの使用を禁止する方法を紹介します。



- ▶ パソコンとの USB 接続を制限する (P. 254)
- ▶ USB メモリーからの印刷を制限する (P. 255)

パソコンとの USB 接続を制限する

本体の背面にあるパソコン接続用の USB ポートを使えないようにします。パソコンとの USB 接続はできなくなりますが、本体右側面の USB ポートに USB メモリーを接続して使うことはできます。

- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲ / ▼ で <インターフェイス> を選び、**OK** を押す
- 3 <インターフェイス選択> を選び、**OK** を押す
 - メッセージが表示されたら、**OK** を押します。
- 4 <USB> を選び、**OK** を押す
- 5 <OFF> を選び、**OK** を押す



a <OFF>

背面の USB ポートを使ったパソコン接続はできません。

b <ON>

背面の USB ポートを使ってパソコン接続できます。

6 ハードリセットする ▶ハードリセットする(P. 465)

▶▶▶ ハードリセット後に設定が有効となります。

USB メモリーからの印刷を制限する

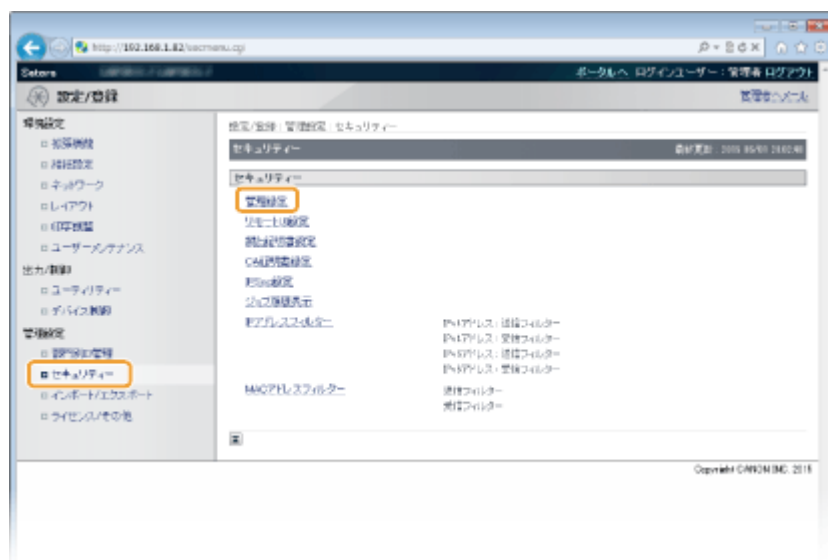
USB メモリーからデータを読み出しできないようにします。USB メモリーにあるデータは印刷できません。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [メディアプリントする] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



[メディアプリントする]

チェックマークを外すと USB メモリーから直接印刷できなくなります。USB メモリーからの印刷を許可するときはチェックマークを付けます。[メディアプリント画面を自動表示する] にもチェックマークを付けると、USB メモリーを本機に取り付けたときにメディアプリントの画面が自動的に表示されるようになります。



関連項目

🔴 USB メモリーから印刷する（メディアプリント） (P. 83)

操作パネルの使用を制限する

4L33-03L

操作パネルのキーの使用を制限し、本機の設定が不用意に変更されるのを防ぎます。

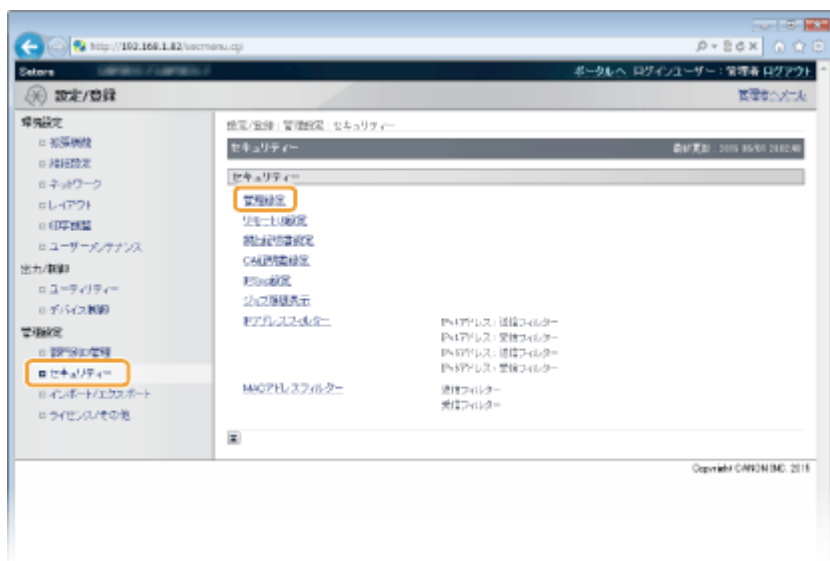


1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 使用を制限したいキーにチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[ロックするキー]

チェックマークを付けたキーは、操作パネルで押しても動作しくなくなります。使用制限を解除するときはチェックマークを外します。セットアップキーのロックは操作パネルで行うこともできます（▶管理設定(P. 352)）。



- 各キーの機能について  操作パネル(P. 25)

HTTP 通信を無効にする

4L33-03R

HTTP はリモート UI から本機を操作するときなどに使われます。ネットワークを使用せず USB 接続で本機をお使いの場合や、HTTP 通信を使用しない場合は、その機能を無効にすることで、悪意のある第三者が未使用ポートから本機に侵入する危険性を減らすことができます。



- HTTP 通信を無効にすると、リモート UI の操作や WSD 印刷、Google Cloud Print での印刷などのネットワークを介した操作ができなくなります。

1 ▶ (セッティング) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、**OK**を押す

- メッセージが表示されたら、**OK**を押します。

3 < TCP/IP 設定 > ▶ < HTTP > の順に進む

4 < OFF > を選び、**OK**を押す



a < OFF >

HTTP 通信を無効にします。

b < ON >

HTTP 通信を有効にします。

5 ハードリセットする ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

- ▶ リモート UI を使う(P. 314)
- ▶ メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 125)
- ▶ 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)
- ▶ Google Cloud Print を使う(P. 141)
- ▶ XPS プリンタードライバーを使用しているとき(P. 228)

リモート UI を無効にする

4L33-03S

リモート UI を使うとパソコンのウェブブラウザから本機の設定を行うことができ便利ですが、そのためには本機とパソコンがネットワーク上で接続されていなければなりません。ネットワークを使わずに USB 接続で本機をお使いの場合はリモート UI を無効にすることができます。また、リモート UI を使う必要がない場合も、機能を無効にすることでネットワークを介した不正な遠隔操作などのリスクを低減し、セキュリティ効果を高めることができます。



1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、**OK**を押す

- メッセージが表示されたら、**OK**を押します。

3 <リモート UI 設定> ▶ <リモート UI >の順に進む

4 <OFF>を選び、**OK**を押す



a <OFF>

リモート UI を無効にします。

b <ON>

リモート UI を有効にします。

5 ハードリセットする ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



関連項目

-  リモート UI を使う(P. 314)
-  HTTP 通信を無効にする(P. 261)

LAN ポートが無効にする

4L33-03U

LAN ポートは、ネットワークを使用するために LAN ケーブルを接続するインターフェイスです。USB 接続で本機をお使いの場合であれば、LAN ポートが無効にすることでネットワークが完全に遮断されるので、悪意のある第三者が本機に侵入する危険性をなくすることができます。



1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲／▼で<インターフェイス>を選び、**OK** を押す

3 <インターフェイス選択>を選び、**OK** を押す

- メッセージが表示されたら、**OK** を押します。

4 <ネットワーク>を選び、**OK** を押す

5 <OFF>を選び、**OK** を押す



a <OFF>

LAN ポートが無効にします。

b <ON>

LAN ポートを有効にします。

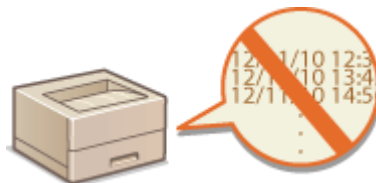
6 ハードリセットする ▶ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

印刷履歴を非表示にする

4L33-03W

ユーザーのプライバシーを守るために、印刷履歴をリモート UI に表示しないようにしたり、印刷履歴リストをプリントできないようにしたりすることができます。非表示に設定しても印刷履歴は保持されているので、必要なときは管理者が履歴を確認することができます。

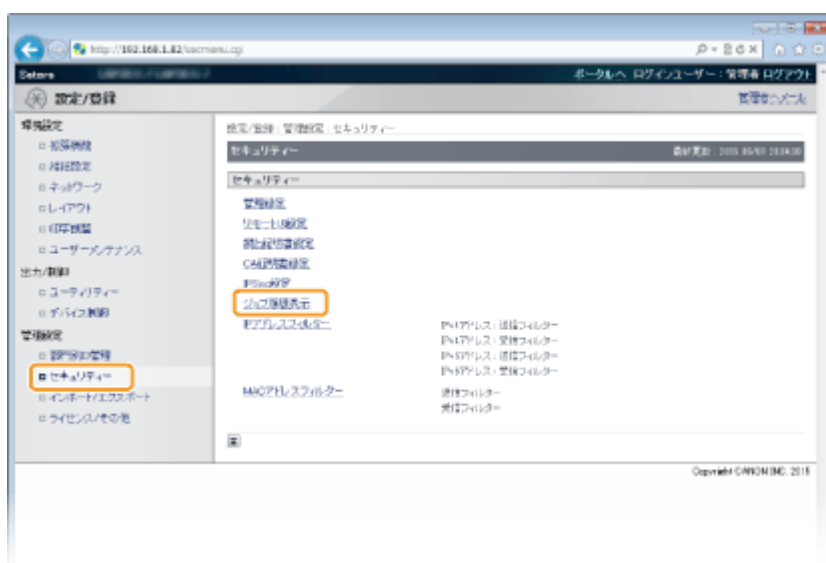


1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



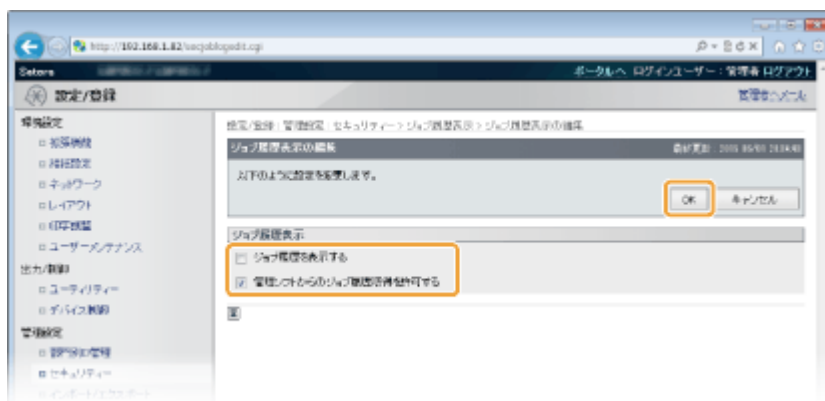
3 [セキュリティ] ▶ [ジョブ履歴表示] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [ジョブ履歴を表示する] のチェックマークを外し、[OK] をクリックする



[ジョブ履歴を表示する]

チェックマークを外すとリモート UI に印刷履歴が表示されなくなり、印刷履歴リストのプリントもできなくなります。印刷履歴を表示するときはチェックマークを付けてください。

[管理ソフトからのジョブ履歴取得を許可する]

チェックマークを付けると imageWARE Enterprise Management Console などのデバイス管理ソフトウェアで印刷履歴を取得することができます。管理ソフトが印刷履歴を取得できないようにするときはチェックマークを外してください。[ジョブ履歴を表示する] にチェックマークを付けた場合は自動的に本機能が有効となります。



関連項目

- 文書の履歴を確認する(P. 325)
- ジョブメニュー(P. 463)

強固なセキュリティ機能を導入する

4L33-03X

悪意のある第三者による通信内容の盗聴や改ざん、なりすまし…。これらは正規ユーザーに想定外の損失をもたらす恐れがあります。大切なデータや情報を守るため、本機にはネットワークのセキュリティを高めるさまざまな対策が用意されています。

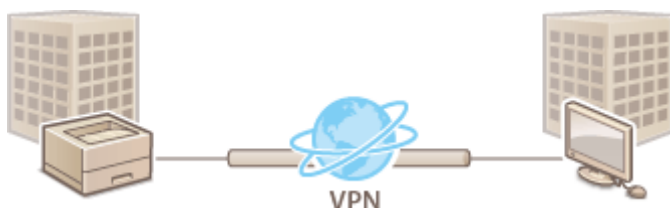
TLS 暗号化通信

ウェブブラウザや電子メールクライアントなどでデータを暗号化してネットワーク上で送受信する方法です。TLS 暗号化を使えば、リモート UI などでもパソコンから本機にアクセスするときも安全に通信できるようになります。▶ **TLS で暗号化通信をする(P. 268)**



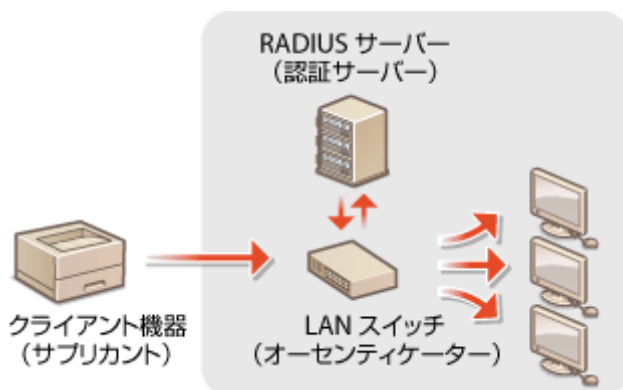
IPSec 通信

TLS 暗号化通信はウェブブラウザや電子メールクライアントなど、特定のアプリケーションで暗号化する技術ですが、IPSec 通信は IP プロトコルのレベルで暗号化を行います。そのため、さらに汎用性の高いセキュリティを実現できます。▶ **IPSec の設定をする(P. 273)**



IEEE 802.1X 認証

IEEE 802.1X を導入したネットワークに機器を接続して通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。このようなネットワークに本機はクライアントとして接続できます。▶ **IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 284)**



関連項目

🔑 鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 290)

TLS で暗号化通信をする

4L33-03Y

リモート UI によるパソコンのウェブブラウザとの通信やインターネットを経由して印刷する IPP 印刷を Transport Layer Security (TLS) を使って暗号化できます。TLS はネットワーク上で情報を暗号化して送受信するための仕組みです。リモート UI を使って IPsec 通信（事前共有鍵方式）の設定をしたり、IEEE 802.1X 認証（TTLS/PEAP）や SNMPv3 の設定をしたりするときは TLS を有効にする必要があります。TLS 暗号化通信を行うには、使用する鍵ペアを指定してから TLS を有効にします。使用する鍵ペアはあらかじめ用意しておいてください（**鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 290)**）。



1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする **リモート UI を起動する(P. 315)**

2 [設定/登録] をクリックする



3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



4 [TLS 設定] にある [編集] をクリックする



5 TLS 設定を編集する



[鍵と証明書設定]

鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選びます。

- 鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選んだあと、[使用鍵設定] をクリックしてください。



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶ **鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)**

【使用鍵設定】が表示されない場合

- すでに [リモート UI 設定] または [IPP 印刷の設定] で TLS が有効になっている場合は表示されません。使用する鍵を変更する場合は手順 6 を参照し、[リモート UI 設定] または [IPP 印刷の設定] の [TLS を使用する] のチェックマークを外してください。

【使用可能なバージョン】

TLS で使用可能なバージョンを選びます。

【使用を制限する暗号化アルゴリズム】

TLS で使用を制限したい暗号化アルゴリズムを選びます。制限しない場合は [なし] を選んでください。

6 TLS を有効にする

■ リモート UI の通信に TLS を使う

- 1 [セキュリティ] ▶ [リモート UI 設定] をクリックする



- 2 [編集] をクリックする



- 3 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[TLS を使用する]

リモート UI の通信に TLS を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

■暗号化通信できる機能に TLS を使う

IPP 印刷するときを使う場合

TLS を使用して IPP 印刷するときには設定します。その他の IPP 印刷の設定については、[印刷プロトコル](#)や [Web サービスの設定をする\(P. 163\)](#) を参照してください。

[ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [IPP 印刷の設定] にある [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

BMLinkS で印刷するときを使う場合

TLS を使用して BMLinkS で印刷するときには設定します。その他の BMLinkS の設定については、[メーカー共通のドライバ](#)を使用して印刷する (BMLinkS) (P. 125) を参照してください。

[ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] ▶ [BMLinkS 設定] にある [編集] ▶ [TLS を使用する] にチェックマークを付ける ▶ [OK]

7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューからリモート UI の TLS 暗号化通信を有効／無効に切り替えることもできます。▶ **リモート UI 設定(P. 373)**

TLS を有効にしてリモート UI を起動したとき

- TLS 有効時にリモート UI を起動すると、セキュリティー証明書に関する警告メッセージが表示されることがあります。この場合はアドレス入力欄に入力した URL に間違いがないか確認してから、操作を続行してください。▶ **リモート UI を起動する(P. 315)**



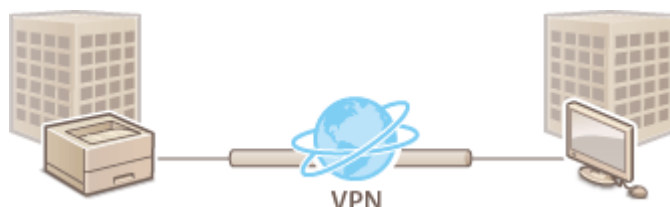
関連項目

- ▶ **鍵ペアを生成する(P. 291)**
- ▶ **認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 300)**
- ▶ **IPSec の設定をする(P. 273)**
- ▶ **IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 284)**
- ▶ **SNMP で監視／制御する(P. 199)**

IPSec の設定をする

4L33-040

IP Security Protocol (IPSec) はインターネットなどのネットワークで暗号化通信をするためのプロトコルです。TLS 暗号化通信がウェブブラウザや電子メールクライアントなど、特定のアプリケーションで暗号化する技術であるのに対し、IPSec 通信は IP プロトコルのレベルで暗号化を行いますので、より汎用性の高いセキュリティを実現できます。本機の IPSec はパケットの IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化するトランスポートモードに対応し、本機と同じ VPN（仮想プライベートネットワーク）を構成するパソコンと直接接続します。動作条件を確認し、あらかじめパソコン側の設定を済ませておいてください。▶**管理機能(P. 549)**



▶**セキュリティポリシーを登録する(P. 273)**

▶**IPSec 通信を有効にする(P. 281)**



IP アドレスフィルターと IPSec を併用するとき

- 受信では IPSec、送信では IP アドレスフィルターの設定が先に適用されます。▶**IP アドレスでファイアウォールを設定する(P. 236)**

セキュリティポリシーを登録する

本機で IPSec を使った暗号化通信を行うには、最初にセキュリティポリシー（SP）を作成してから、IPSec 設定を有効（▶**IPSec 通信を有効にする(P. 281)**）に設定する必要があります。ポリシーはおもに次の内容で構成されます。IP アドレスやポート番号の組み合わせによって、複数のポリシーを登録することができます。複数のポリシーを作成した場合は、優先順位を設定します。

セレクター

どの IP パケットに IPSec 通信を適用するかを設定します。本機や通信相手側の IP アドレスだけでなく、ポート番号も指定できます。

IKE

鍵交換プロトコルとして使用する IKEv1 の設定をします。選択する認証方式によって必要な準備や設定方法が異なりますのでご注意ください。

[事前共有鍵方式]

本機と通信相手とで共有鍵と呼ばれる共通のキーワードを使用する認証方式です。あらかじめリモート UI の通信に TLS を使えるように設定しておいてください（▶**TLS で暗号化通信をする(P. 268)**）。

[電子署名方式]

本機と通信相手側が電子署名を互いに送信／検証し合って相互認証を行います。使用する鍵ペアを用意しておいてください（▶**認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 300)**）。

プロトコルやオプションの設定

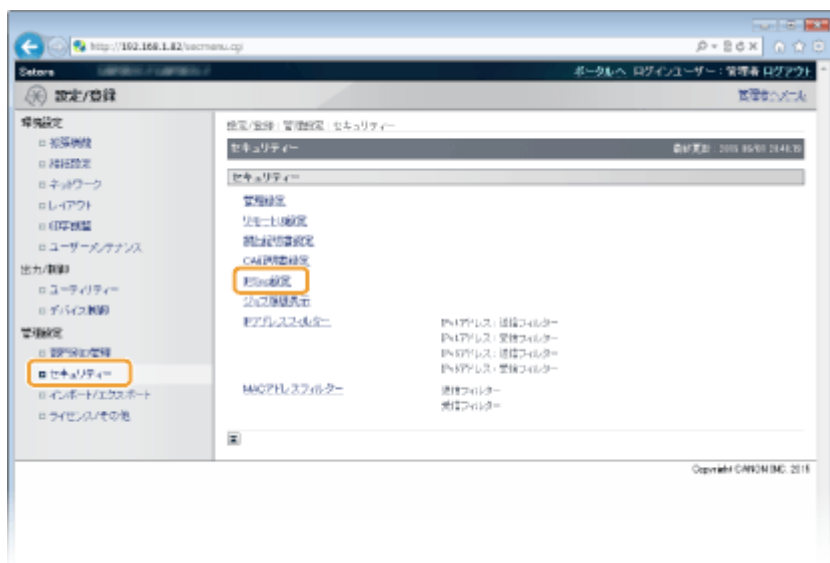
IPSec 通信で使用する ESP と AH という 2 つのプロトコルの設定をします。ESP と AH を併用することはできません。PFS を使用すればセキュリティをさらに強化できます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

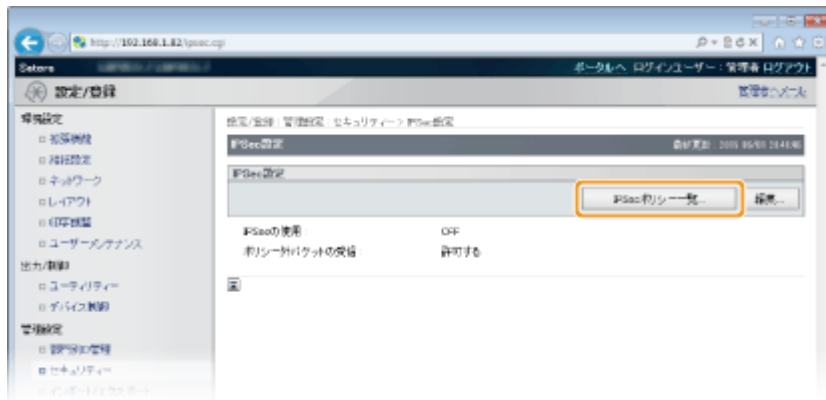
2 [設定/登録] をクリックする



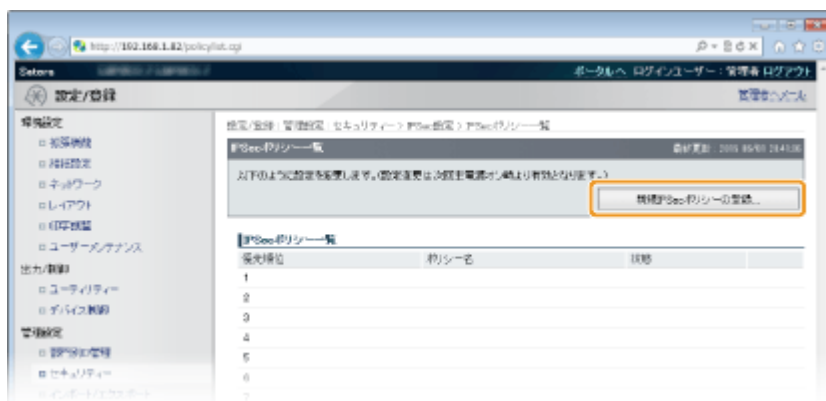
3 [セキュリティ] ▶ [IPSec 設定] をクリックする



4 [IPSec ポリシー一覧] をクリックする



5 [新規 IPsec ポリシーの登録] をクリックする



6 [ポリシー名] を入力し、[ポリシーを有効にする] にチェックマークを付ける



[ポリシー名]

ポリシーを区別するための名称を半角英数字で入力します。

[ポリシーを有効にする]

ポリシーを有効にするときはチェックマークを付けます。このポリシーを使用しない場合はチェックマークを外してください。

7 セレクターの設定をする



【ローカルアドレス】

ポリシーを適用する本機の IP アドレスの種類を、次の中から選びます。

【全 IP アドレス】	すべての IP パケットに IPSec を適用します。
【自 IPv4 アドレス】	本機の IPv4 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
【自 IPv6 アドレス】	本機の IPv6 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
【IPv4 手動指定】	IPSec を適用する IPv4 アドレスを単独または範囲で入力指定します。【手動指定アドレス】に IPv4 アドレス（またはその範囲）を入力してください。
【IPv6 手動指定】	IPSec を適用する IPv6 アドレスを単独または範囲で入力指定します。【手動指定アドレス】に IPv6 アドレス（またはその範囲）を入力してください。

【手動指定アドレス】

【ローカルアドレス】で【IPv4 手動指定】または【IPv6 手動指定】を選んだときは、ポリシーを適用する IP アドレスを入力します。

【サブネット指定】

手動で IPv4 アドレスの範囲を指定する場合、サブネットマスクを使って範囲を設定することもできます。サブネットマスクは「.」（ピリオド）で数字を区切って入力します（入力例：「255.255.255.240」）。

【リモートアドレス】

ポリシーを適用する通信相手側の IP アドレスの種類を、次の中から選びます。

【全 IP アドレス】	すべての IP パケットに IPSec を適用します。
【全 IPv4 アドレス】	IPv4 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
【全 IPv6 アドレス】	IPv6 アドレスを使って送受信するすべての IP パケットに IPSec を適用します。
【IPv4 手動指定】	IPSec を適用する IPv4 アドレスを単独または範囲で入力指定します。【手動指定アドレス】に IPv4 アドレス（またはその範囲）を入力してください。

[IPv6 手動指定]	IPSec を適用する IPv6 アドレスを単独または範囲で入力指定します。[手動指定アドレス] に IPv6 アドレス（またはその範囲）を入力してください。
-------------	---

【手動指定アドレス】

[リモートアドレス] で [IPv4 手動指定] または [IPv6 手動指定] を選んだときは、ポリシーを適用する IP アドレスを入力します。

【サブネット指定】

手動で IPv4 アドレスの範囲を指定する場合、サブネットマスクを使って範囲を設定することもできます。サブネットマスクは「.」（ピリオド）で数字を区切って入力します（入力例：「255.255.255.240」）。

【ローカルポート】 / 【リモートポート】

HTTP や SMTP など、プロトコルごとに IPSec 通信をする／しないを判断するポリシーを作成したいときは、[単一指定] をクリックしてポリシーを適用するプロトコルのポート番号をローカル（本機側）／リモート（通信相手側）で入力します。



- マルチキャスト／ブロードキャストアドレスを指定したパケットは、IPSec が適用されません。

8 IKE の設定をする

**【IKE モード】**

鍵交換プロトコルの動作モードです。通常は「メインモード」を選びます。



- 「アグレッシブモード」は、IP アドレスが固定されていない場合などに設定しますが、「メインモード」よりもセキュリティが低くなります。

【認証方式】

本機の認証方法を [事前共有鍵方式] または [電子署名方式] から選んで設定します。



- [IKE モード] で「アグレッシブモード」を選んでいるときは、[事前共有鍵方式] では共有鍵が暗号化されません。

【認証/暗号化アルゴリズム】

鍵交換で使用するアルゴリズムを自動で設定するときは [自動指定する] にチェックマークを付けます。チェックマークを付けると、アルゴリズムは次のように設定されます。

[認証]	[SHA1 と MD5]
[暗号]	[3DES-CBC と AES-CBC]
[DH グループ]	[Group2(1024)]

手動で設定する場合は「自動指定する」のチェックマークを外し、アルゴリズムを選びます。

[認証]	ハッシュアルゴリズムを選びます。
[暗号]	暗号化アルゴリズムを選びます。
[DH グループ]	鍵の強度を決定する Diffie-Hellman グループを選びます。

■ 「事前共有鍵方式」で認証する

- 1 「[認証方式]」で「事前共有鍵方式」を選び、「共有鍵の設定」をクリックする
- 2 共有鍵として使用する文字列を半角英数字で入力し、「OK」をクリックする



■ 「電子署名方式」で認証する

- 1 「[認証方式]」で「電子署名方式」を選び、「鍵と証明書」をクリックする
- 2 使用する鍵ペアを選び、「使用鍵設定」をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。🔗
鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)

9 IPSec 通信の設定をする



[PFS を使用する]

セッションキーに対して Perfect Forward Secrecy (PFS) を設定するときはチェックマークを付けます。PFS を使用するとより安全ですが、通信に負荷がかかります。通信相手の機器でも PFS が有効であることをあらかじめ確認しておいてください。PFS を使用しない場合はチェックマークを外してください。

[有効期間]

データ用通信路として使用する SA の有効期間を設定します。必要に応じて [時間で指定する] と [サイズで指定する] のどちらか片方または両方にチェックマークを付けます。両方にチェックマークを付けると、設定した値に先に達した方が適用されます。

[時間で指定する]	有効期間を分単位で入力します。IPSec SA および IKE SA の両方に適用されます。
[サイズで指定する]	有効期間をメガバイト単位で入力します。IPSec SA だけに適用されます。



[サイズで指定する] だけにチェックマークを付けたとき

- IKE SA の有効期間はサイズの指定ができないため、[時間で指定する] の初期値（480 分）が適用されます。

[認証/暗号化アルゴリズム]

IPSec 通信で使用するプロトコルとそのアルゴリズムを選びます。

■ 自動で設定するとき

[自動] を選択します。

[ESP 認証]	ESP が有効となり、認証アルゴリズムは [SHA1 と MD5] に設定されます。
[ESP 暗号]	ESP が有効となり、暗号化アルゴリズムは [3DES-CBC と AES-CBC] に設定されます。

■ ESP を使用するとき

[ESP] を選択し、認証および暗号化のアルゴリズムを選びます。

[ESP 認証]	ESP による認証で使用するハッシュアルゴリズムを選びます。
[ESP 暗号]	ESP の暗号化アルゴリズムを選びます。

■AH を使用するとき

[AH] を選択し、[AH 認証] から AH による認証で使用するハッシュアルゴリズムを選びます。

[接続モード]

IPSec の接続モードです。本機は IP ヘッダーを除いた部分だけを暗号化する「トランスポートモード」に対応しますが、IP パケット全体を暗号化する「トンネルモード」には対応していません。

10 [OK] をクリックする

- 他のポリシーを登録するときは、手順 5 に戻ります。

11 [IPSec ポリシー一覧] に一覧表示されているポリシーの優先順位を設定する

- 送受信するパケットに IPSec 通信を適用するかどうかの判断は、上位のポリシーから優先的に行われます。[優先度を上げる] または [優先度を下げる] をクリックしてポリシーの位置を上下してください。



ポリシーを編集するとき

- [ポリシー名] のリンクをクリックすると、設定内容の編集ができます。

ポリシーを削除するとき

- 削除したいポリシーの右側にある [削除] をクリックします。

12 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。

IPSec 通信を有効にする

セキュリティポリシーを登録したら、IPSec 通信を有効にしてください。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

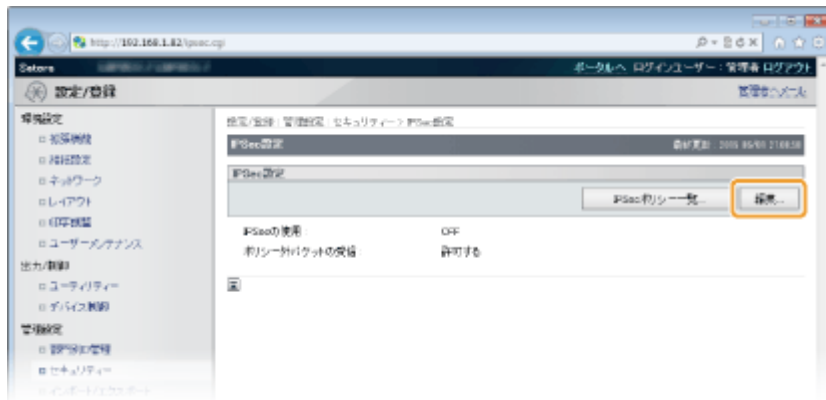
2 [設定/登録] をクリックする



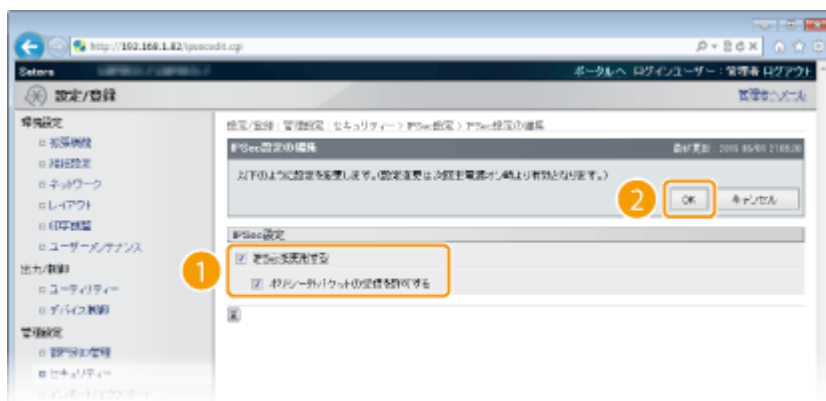
3 [セキュリティ] ▶ [IPSec 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [IPSec を使用する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[IPSec を使用する]

本機で IPSec を使用するときはチェックマークを付けます。使用しない場合はチェックマークを外してください。

[ポリシー外パケットの受信を許可する]

IPSec を使用する場合にチェックマークを付けると、ポリシーに該当しないパケットも送受信します。ポリシーに該当しないパケットを送受信しないようにするときは、チェックマークを外してください。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IPSec 通信を有効／無効に切り替えることもできます。▶[IPSec\(P. 367\)](#)



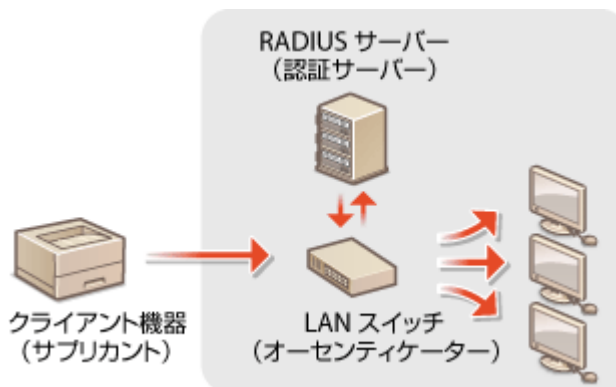
関連項目

- ▶[鍵ペアと電子証明書の設定をする\(P. 290\)](#)
- ▶[IPSec ポリシーリスト\(P. 457\)](#)

IEEE 802.1X 認証の設定をする

4L33-041

IEEE 802.1X 認証を導入したネットワークにクライアントとして本機を接続し、セキュリティを確保することができます。IEEE 802.1X ネットワークは、RADIUS サーバー（認証サーバー）、LAN スイッチ（オーセンティケーター）、クライアント機器（サブリカント）の 3 つの要素で構成されます。IEEE 802.1X ネットワーク上のクライアント機器が通信を始めようとする、まずその機器が正しいユーザーであるかどうか確認されます。確認は RADIUS サーバーに問い合わせることで行われ、正しいユーザーであれば認証されます。認証が下りないかぎり LAN スイッチは機器からの通信要求を遮断します。



認証サーバーに設定してある認証方式を次の中から選び、あらかじめ必要な鍵ペアや CA 証明書を用意しておいてください（[●認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う\(P. 300\)](#)）。

TLS

本機と認証サーバーがそれぞれの証明書を使って互いに認証を行います。本機の認証には認証局発行の鍵ペアが必要です。一方、サーバーの認証にはプリインストールされた CA 証明書またはリモート UI からインストールした CA 証明書が使用されます。

TTLS

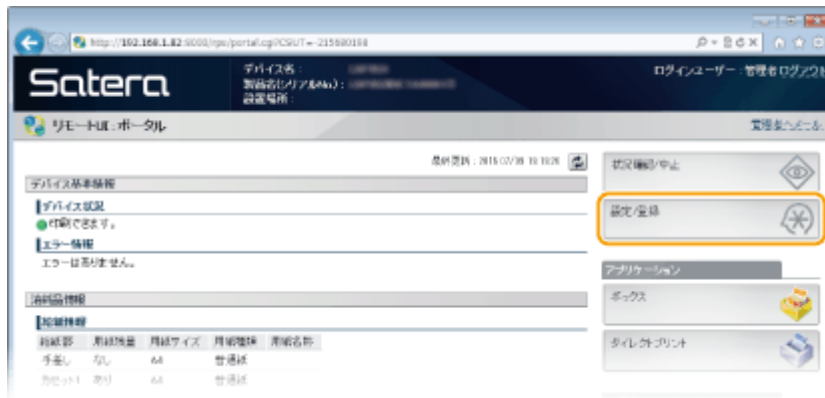
本機の認証にユーザー名とパスワードを使用し、サーバー認証には CA 証明書を使用する認証方式です。内部プロトコルとして MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PEAP との併用も可能です。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[●TLS で暗号化通信をする\(P. 268\)](#)）。

PEAP

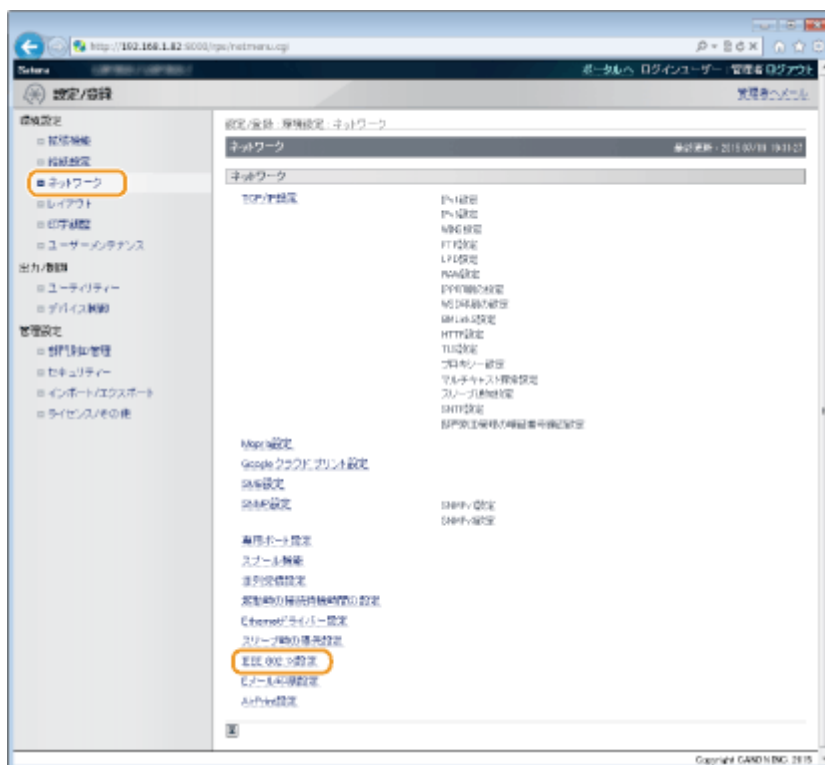
必要な設定は併用できる TTLS とほぼ同じですが、内部プロトコルには MSCHAPv2 を使用します。あらかじめリモート UI 通信に対して TLS を設定しておいてください（[●TLS で暗号化通信をする\(P. 268\)](#)）。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする [●リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)

2 [設定/登録] をクリックする



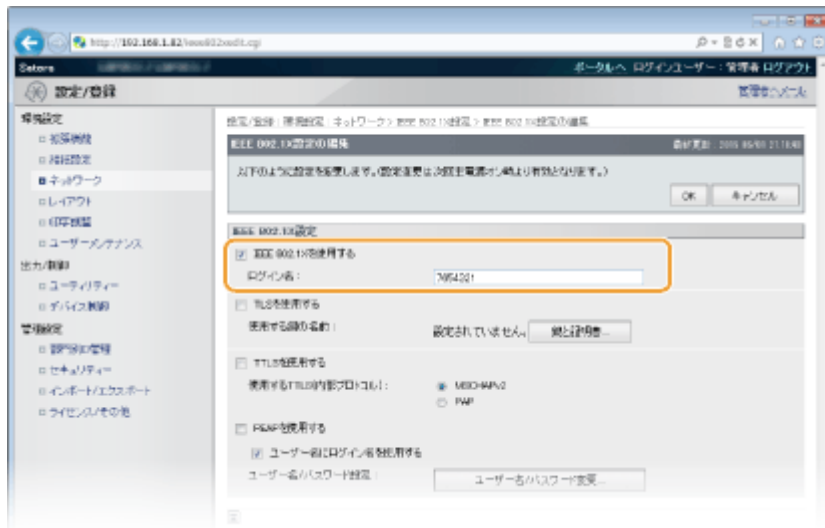
3 [ネットワーク] ▶ [IEEE 802.1X 設定] をクリックする



4 [編集] をクリックする



5 [IEEE 802.1X を使用する] にチェックマークを付け、[ログイン名] を入力したあと、必要な設定をする



[IEEE 802.1X を使用する]

IEEE 802.1X 認証を使用するときはチェックマークを付けます。

[ログイン名]

ユーザーを識別するための名称（EAP Identity）を半角英数字で入力します。

■TLS を設定する

- 1 [TLS を使用する] にチェックマークを付け、[鍵と証明書] をクリックする
 - TLS を使用する場合は、TTLS と PEAP を併用することはできません。
- 2 鍵と証明書の一覧から使用する鍵を選び、[使用鍵設定] をクリックする



証明書の内容を確認するには

- [鍵の名前] のリンクが証明書のアイコンをクリックすると、証明書の詳細情報確認や検証ができます。▶
鍵ペアと CA 証明書を検証する(P. 304)

■TTLS/PEAP を設定する

- 1 [TTLS を使用する] または [PEAP を使用する] にチェックマークを付ける



TTLS を使用する場合の内部プロトコル

- MSCHAPv2 または PAP を選択できます。PAP を使用したいときは、[PAP] をクリックしてください。

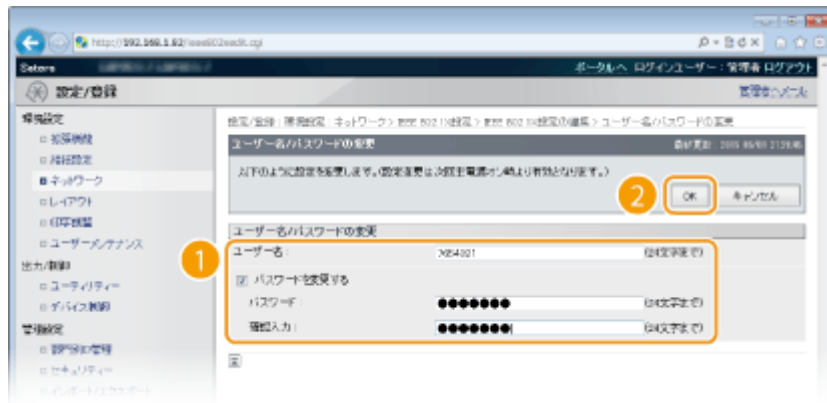


2 [ユーザー名/パスワード変更] をクリックする

- IEEE 802.1X 認証のログイン名とは違うユーザー名を設定するときは、[ユーザー名にログイン名を使用する] のチェックマークを外します。IEEE 802.1X 認証のログイン名と同じユーザー名にするときは、チェックマークを付けた状態にしてください。



3 ユーザー名やパスワードを設定し、[OK] をクリックする



[ユーザー名]

ユーザー名を半角英数字で入力します。

[パスワードを変更する]

パスワードを設定または変更するときはチェックマークを付け、[パスワード] と [確認入力] の両方に同じパスワードを半角英数字で入力します。

6 [OK] をクリックする



7 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



MEMO

操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから IEEE 802.1X 認証を有効／無効に切り替えることもできます。▶
IEEE802.1X(P. 375)



関連項目

- ▶ **鍵ペアと電子証明書の設定をする(P. 290)**

鍵ペアと電子証明書の設定をする

4L33-042

離れた場所にいる相手と暗号化通信を行うには、あらかじめ暗号化に使う鍵を保護されていないネットワーク上で送受信しなければなりません。この問題を解決するのが公開鍵暗号方式です。公開鍵暗号方式では、鍵ペアや電子証明書を使って盗聴、改ざん、なりすましなどの攻撃から大切なデータを保護し、通信の安全性を高めることができます。

鍵ペア



鍵ペアとは、データを暗号化したり元に戻したりするときに使う「公開鍵」と「秘密鍵」という一対の鍵のことです。暗号化したデータはペアのもう一方の鍵がないと元に戻せないため、安全にデータをやりとりできます。鍵ペアは TLS 暗号化通信や IEEE 802.1X 認証の TLS 方式、IPSec 通信の電子署名方式などで使用します。登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて最大 8 つです（[👉 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う \(P. 300\)](#)）。TLS 暗号化通信用であれば、本機で自己生成することもできます（[👉 鍵ペアを生成する \(P. 291\)](#)）。

CA 証明書



CA 証明書などの電子証明書は、本人認証に必要な運転免許証などの身分証明書に例えることができます。電子証明書には電子署名が含まれており、通信中に改ざんやなりすましがあった場合はこれらを検出できます。また、電子証明書を第三者が不正利用することは非常に困難です。認証局（CA）の公開鍵を含む電子証明書を特に CA 証明書と呼び、Google Cloud Print での印刷や IEEE 802.1X 認証などで本機の通信相手となる機器を認証するときに使用します。プリインストールされている 72 の証明書と合わせて最大 150 の CA 証明書を登録できます（[👉 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う \(P. 300\)](#)）。

自己生成した鍵に SCEP サーバーから取得した証明書を登録する（LBP322i のみ）



本機で鍵を生成するときに、SCEP（Simple Certificate Enrollment Protocol）サーバーに証明書の発行を要求し、SCEP サーバーから取得した証明書を登録します。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

[👉 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ） \(P. 306\)](#)

鍵ペアを生成する

4L33-043

Transport Layer Security (TLS) を使った暗号化通信に必要な鍵ペアを生成できます。TLS は、リモート UI を使って本機にアクセスするときや、IPP 印刷するときなどに使用できます。本機に登録できる鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて8つまでです。「ネットワーク通信用」に生成した鍵ペアでは自己署名証明書が使われます。「鍵と証明書署名要求 (CSR)」では、本機で生成した鍵ペアに対して認証局発行の電子証明書を申請することができます。

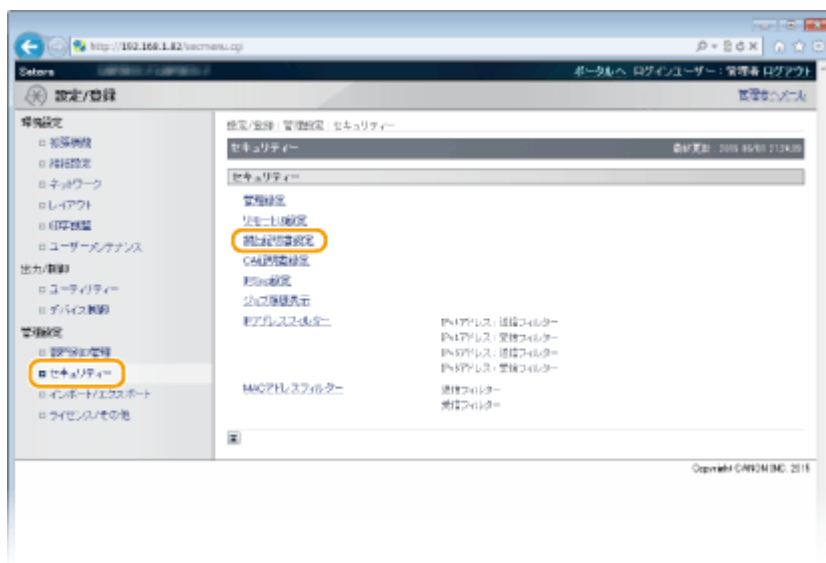
- ネットワーク通信用の鍵生成(P. 291)
- 鍵と証明書署名要求 (CSR) による鍵生成(P. 294)

ネットワーク通信用の鍵生成

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ● リモート UI を起動する(P. 315)
- 2 [設定/登録] をクリックする



- 3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある「削除」▶「OK」をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [ネットワーク通信用] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする

a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

[鍵のアルゴリズム]

鍵の生成アルゴリズムは RSA または ECDSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、RSA の鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書の設定]

[有効期限開始日(yyyy mm/dd)]

証明書の有効期間の開始日を入力します。

[有効期限終了日(yyyy mm/dd)]

証明書の有効期間の終了日を入力します。[有効期限開始日(yyyy mm/dd)] より前に設定することはできません。

[国/地域名]

インターネット国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。



IPPS 印刷を使用するときは、[共通名] に IPPS で接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」を入力する必要があります。

- IP アドレス固定のときは「IP アドレス」を入力します。
- DNS サーバーを使用しているときは「ホスト名.ドメイン名」を入力します。▶IPP/IPPS を使用する(P. 169)

7 [OK] をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分 ～ 15 分程度かかることがあります。
- 生成した鍵ペアは本機に自動的に登録されます。

鍵と証明書署名要求 (CSR) による鍵生成

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする



4 [鍵生成] をクリックする



登録されている鍵ペアを削除するとき

- 削除したい鍵ペアの右側にある「削除」▶「OK」をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [鍵と証明書署名要求(CSR)] を選び、[OK] をクリックする



6 鍵と証明書の設定をする

[illegible]

a [鍵の設定]

[鍵の名前]

鍵に付ける名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

[署名アルゴリズム]

プルダウンメニューから署名アルゴリズムを選びます。

「鍵」のアルゴリズム

鍵の生成アルゴリズムは RSA または ECDSA です。鍵長をプルダウンメニューから選びます。鍵長は数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。



- [署名アルゴリズム] で [SHA384] または [SHA512] を選んだときは、RSA の鍵の長さを [512 bit] に設定することはできません。

b [証明書署名要求(CSR)の設定]

[国/地域名]

インターネット国コード（日本の場合は「JP」）を入力します。

[都道府県] / [市町村]

必要に応じて所在地を半角英数字で入力します。

[組織] / [組織単位]

必要に応じて組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

必要に応じて証明書の主体者の名称を半角英数字で入力します。「Common Name」や「CN」、「一般名」と呼ぶこともあります。



IPPS 印刷を使用するときは、[共通名] に IPPS で接続するときの「IP アドレス」または「ホスト名.ドメイン名」を入力する必要があります。

- IP アドレス固定のときは「IP アドレス」を入力します。
- DNS サーバーを使用しているときは「ホスト名.ドメイン名」を入力します。▶IPP/IPPS を使用する(P. 169)

7 [OK] をクリックする

- 鍵ペアの生成には 10 分 ～ 15 分程度かかることがあります。

8 [ファイルに保存] をクリックする

- ファイルを保存するダイアログボックスが表示されるので、保存先を選んで [保存] をクリックします。



▶▶▶ 証明書署名要求 (CSR) のファイルがパソコンに保存されます。

9 保存したファイルを添付して認証局に申請する

■ 認証局から発行された電子証明書を登録する

証明書署名要求 (CSR) で生成した鍵ペアは証明書を登録するまで使うことができません。認証局から電子証明書が発行されたら、次の手順で登録します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

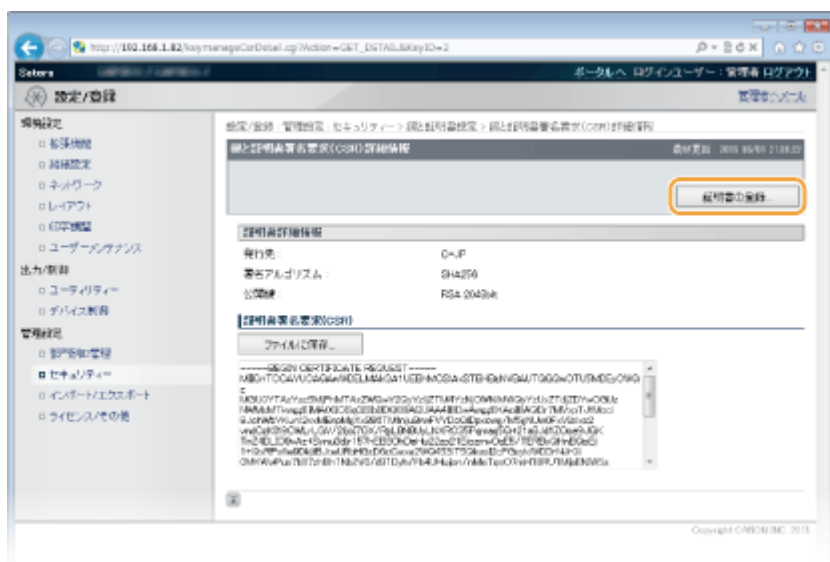
2 [設定/登録] をクリックする

3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] をクリックする

4 登録する証明書の「鍵の名前」または「証明書」をクリックする



5 「証明書の登録」をクリックする



6 「ファイルのパス」の「参照」をクリックし、証明要求した証明書のファイルを指定したあと、「登録」をクリックする





関連項目

- ▶ 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う (P. 300)
- ▶ 鍵ペアと CA 証明書を検証する (P. 304)
- ▶ TLS で暗号化通信をする (P. 268)
- ▶ IPSec の設定をする (P. 273)

認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う

4L33-044

鍵ペアや電子証明書を発行機関から入手して使用することができます。入手した鍵ペアや CA 証明書のファイルはリモート UI を使って本機にインストール／登録します。本機で利用できる鍵ペアと証明書の条件をあらかじめ確認しておいてください（**鍵と証明書の登録について(P. 550)**）。鍵ペアはプリインストールされている鍵ペアと合わせて 8 つまで、CA 証明書はプリインストールされている 72 の証明書と合わせて 150 まで登録できます。



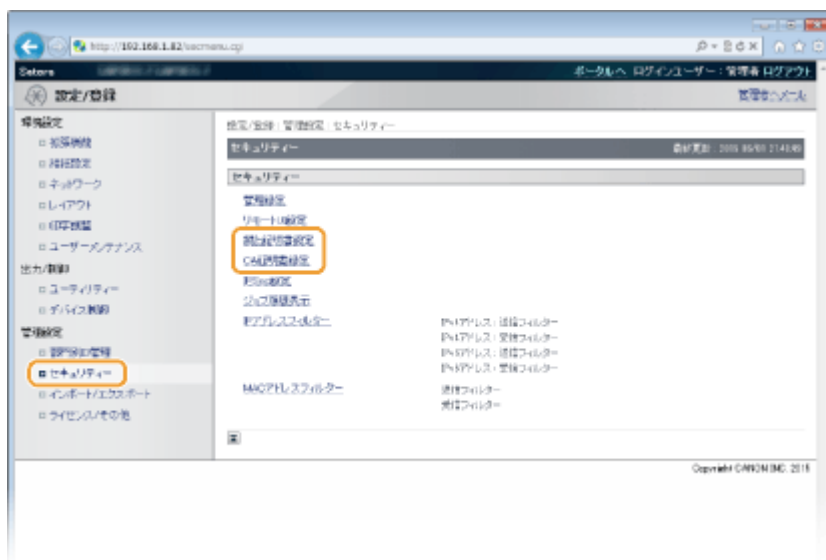
1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアをインストールするときは「鍵と証明書設定」を、CA 証明書をインストールするときは「CA 証明書設定」をクリックします。



4 [鍵と証明書の登録] または [CA 証明書登録] をクリックする



登録されている鍵ペアや CA 証明書を削除するとき

- 削除したい鍵ペアまたは CA 証明書の右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。
- 使用中の鍵ペアには「TLS」や「IEEE 802.1X」などの使用目的が表示され、この状態では削除できません。目的の機能を解除するか、別の鍵ペアに変更してから削除してください。

5 [インストール] をクリックする



鍵ペアや CA 証明書のファイルを削除するには

- 削除したいファイルの右側にある [削除] ▶ [OK] をクリックします。

6 [参照] をクリックし、インストールするファイルを指定したあと、[インストール開始] をクリックする



- パソコンから本機に鍵ペアまたは CA 証明書がインストールされます。

7 鍵ペアまたは CA 証明書を登録する

■ 鍵ペアを登録する

- 1 登録したい鍵ペアの右側にある「登録」をクリックする
- 2 鍵の名前とパスワードを入力し、[OK] をクリックする



【鍵の名前】

本機に登録するときの鍵の名称を半角英数字で入力します。一覧表示されたときに探しやすい名称を付けてください。

【パスワード】

登録するファイルに設定されている秘密鍵のパスワードを半角英数字で入力します。

■ CA 証明書を登録する

登録したい CA 証明書の右側にある「登録」をクリックします。





関連項目

- ▶ [鍵ペアを生成する\(P. 291\)](#)
- ▶ [鍵ペアと CA 証明書を検証する\(P. 304\)](#)
- ▶ [TLS で暗号化通信をする\(P. 268\)](#)
- ▶ [IPSec の設定をする\(P. 273\)](#)
- ▶ [IEEE 802.1X 認証の設定をする\(P. 284\)](#)

鍵ペアと CA 証明書を検証する

4L33-045

登録した鍵ペアや CA 証明書は、詳細情報を確認したり、有効期限や署名などを検証したりできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする

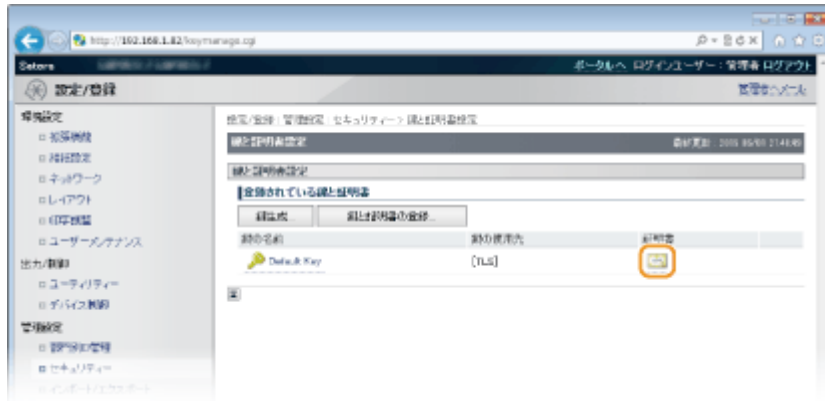


3 [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] または [CA 証明書設定] をクリックする

- 鍵ペアを検証するときは [鍵と証明書設定] を、CA 証明書を検証するときは [CA 証明書設定] をクリックします。



4 検証したい鍵ペアや証明書のアイコンをクリックする



- 証明書の詳細情報が表示されます。

5 証明書の詳細情報を確認し、[証明書の検証] をクリックする



- 検証結果が表示されます。



関連項目

- 鍵ペアを生成する(P. 291)
- 認証局発行の鍵ペアと電子証明書を使う(P. 300)

鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (LBP322i のみ)

4L33-08X

本機で鍵を生成するときに、証明書を管理する SCEP (Simple Certificate Enrollment Protocol) サーバーに証明書の発行を要求することができます。SCEP サーバーから取得した証明書は、本機に自動的に登録されます。

本機で生成可能な鍵と発行要求可能な証明書のアルゴリズムについては、自己生成鍵と CSR (Certificate Signing Request : 証明書署名要求) の仕様を参照してください。 **鍵と証明書の登録について(P. 550)**

本機が対応している SCEP は、Windows Server 2008 R2/2012 R2/2016 のネットワークデバイス登録サービス (NDES) です。HTTPS による通信はサポートしていません。

SCEP サーバーから証明書を取得／登録するには、SCEP サーバーとの通信設定をしてから、鍵の生成と証明書の発行要求を行います。証明書の発行要求を、指定した日時に行うように設定することもできます。

- SCEP サーバーの通信設定をする (P. 306)
- 鍵の生成と証明書の発行要求を行う (P. 307)
- 指定した日時に証明書の発行要求を行う (P. 308)

SCEP サーバーの通信設定をする

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

必要な準備

- SCEP サーバーの URL とポート番号を手元に用意します。
- HTTPS による通信はサポートしていません。

- 1 リモート UI に管理者モードでログインする ● リモート UI を起動する (P. 315)
- 2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ● リモート UI の画面 (P. 318)
- 3 [セキュリティ] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] をクリックする
⇒ [証明書発行要求設定(SCEP)] 画面が表示されます。
- 4 [通信設定] の [編集] をクリックする
⇒ [通信設定の編集] 画面が表示されます。
- 5 SCEP サーバーの情報を設定する

[SCEP サーバーの URL]

接続する SCEP サーバーの URL を入力します。

[ポート番号]

SCEP サーバーとの通信で使用するポート番号を入力します。

[通信タイムアウト]

通信開始からタイムアウトするまでの時間を秒単位で入力します。

6 [OK] をクリックする

⇒ 設定が反映されます。

7 リモート UI からログアウトする

鍵の生成と証明書の発行要求を行う

鍵の生成と証明書の発行要求は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して行うことはできません。

管理者権限が必要です。証明書を取得したあとは、本機の再起動が必要となります。

※指定した日時に証明書を発行するように設定している場合は、この方法での証明書の発行要求はできません。▶指定した日時に証明書の発行要求を行う(P. 308)

1 リモート UI に管理者モードでログインする ▶リモート UI を起動する(P. 315)

2 リモート UI のポータル画面で、[設定/登録] をクリックする ▶リモート UI の画面(P. 318)

3 [セキュリティ] ▶ [証明書発行要求設定(SCEP)] ▶ [証明書発行要求] をクリックする

⇒ [証明書発行要求] 画面が表示されます。

4 鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

【鍵の使用先】

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。

5 【発行要求】 ▶ 【OK】 をクリックする

⇒ 証明書の発行要求が SCEP サーバーに送信されます。

6 【証明書を取得しました。[再起動] をクリックして、デバイスを再起動してください。】 と表示されたら、[再起動] をクリックする

⇒ 本機が再起動し、鍵と証明書が登録されます。

7 リモート UI からログアウトする



発行要求の状況やエラー情報を確認する

- 【証明書発行要求設定(SCEP)】画面で、詳細情報を確認できます。
証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。
● **証明書の発行要求状況にエラーが表示された (LBP322i のみ) (P. 311)**

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- 【設定/登録】 ▶ 【セキュリティ】 ▶ 【鍵と証明書設定】の【登録されている鍵と証明書】で、鍵の名称（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、【証明書の検証】をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

指定した日時に証明書の発行要求を行う

証明書の発行要求を、指定した日時にを行います。定期的に発行要求するように設定することもできます。

この設定は、パソコンからリモート UI を使用して行います。操作パネルを使用して設定することはできません。管理者権限が必要です。

1 リモート UI に管理者モードでログインする ● リモート UI を起動する(P. 315)

2 リモート UI のポータル画面で、【設定/登録】 をクリックする ● リモート UI の画面(P. 318)

3 【セキュリティ】 ▶ 【証明書発行要求設定(SCEP)】 をクリックする

⇒ [証明書発行要求設定(SCEP)] 画面が表示されます。

4 [証明書自動発行要求設定] の [編集] をクリックする

⇒ [証明書自動発行要求設定の編集] 画面が表示されます。

5 [証明書自動発行要求タイマーを有効にする] にチェックマークを付け、発行要求の開始日と開始時刻を入力する

6 必要に応じて、自動発行要求時の設定をする

[発行要求時刻を自動調整する]

発行要求時刻を調整したい場合は、チェックマークを付けます。

発行要求開始時刻からランダムに 1 ～ 10 分時刻をずらし、SCEP サーバーの負荷を軽減します。

[通信エラー発生時、または証明書の発行要求を保留時にポーリングを行う]

証明書の発行が保留になっている場合などに、SCEP サーバーの状態を確認します。チェックマークを付け、ポーリングの回数と間隔を入力します。

※以下の場合は、ポーリングは行われず、エラーになります。

- 本機に登録可能な鍵と証明書の上限を超えた場合
- 取得したレスポンスデータにエラーがあった場合
- SCEP サーバー側でエラーが発生した場合

[定期的に発行要求を送信する]

証明書の発行要求を自動で定期的に行います。チェックマークを付け、発行要求の間隔をプルダウンメニューから選択します。

この設定を有効にした場合、発行要求開始日と開始時刻が再設定されます。

[証明書を取得後、自動的に本体を再起動する]

証明書を取得したあとに本機を再起動させる場合は、チェックマークを付けます。

[古い鍵と証明書を削除する]

鍵の使用先が同一の鍵と証明書を上書きする場合は、チェックをつけます。

7 [発行要求対象の鍵と証明書設定] で、鍵や証明書の情報を設定する

[鍵の名前]

鍵の名前を半角英数字で入力します。

[署名アルゴリズム]

署名アルゴリズムをプルダウンメニューから選択します。

[鍵の長さ(bit)]

鍵長をプルダウンメニューから選択します。数値が大きいほど安全性が高まる一方、通信時の処理が遅くなります。

[組織]

必要に応じて、組織名を半角英数字で入力します。

[共通名]

証明書の主体者の名前を半角英数字で入力します。「Common Name」(CN) または「一般名」に該当します。

[チャレンジパスワード]

SCEP サーバーにパスワードが設定されている場合は、発行要求時に使用するパスワードを半角英数字で入力します。

[鍵の使用先]

生成した鍵の使用先を選択します。使用先が決まっていない場合は、[用途なし] を選択します。

8 [OK] をクリックする

⇒ 設定が反映されます。

9 リモート UI からログアウトする



発行要求の状況やエラー情報を確認する

- [証明書発行要求設定(SCEP)] 画面で、詳細情報を確認できます。
証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。表示されるメッセージと対処方法については、以下を参照してください。
- **証明書の発行要求状況にエラーが表示された (LBP322i のみ) (P. 311)**

登録された証明書の詳細情報を確認／検証する

- [設定/登録] ▶ [セキュリティ] ▶ [鍵と証明書設定] の [登録されている鍵と証明書] で、鍵の名称（または証明書のアイコン）をクリックすると、証明書の詳細情報を確認できます。
- 証明書詳細情報の画面で、[証明書の検証] をクリックすると、証明書が有効かどうかを検証できます。

鍵と証明書を削除できない場合

- 使用中の鍵と証明書は削除できません。使用している機能を解除するか、別の鍵と証明書に変更してから削除します。

証明書の発行要求状況にエラーが表示された（LBP322i のみ）

4L33-08W

証明書が発行されなかった場合は、証明書発行要求状況にエラーが表示されます。以下の一覧からメッセージを選択して、対処方法を確認します。

- 鍵と証明書の登録上限エラー(P. 311)
- 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート)(P. 311)
- 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー)(P. 311)
- 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート)(P. 311)
- 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ)(P. 312)
- 通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし)(P. 312)
- 通信エラー(TCP ERROR)(P. 312)
- 通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>)(P. 312)
- 保留(P. 312)



- 対処方法を試してもトラブルが解消しない場合は、SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

鍵と証明書の登録上限エラー

本機に登録可能な鍵と証明書が上限に達しました。
使用していない鍵と証明書を削除します。

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 0 - アルゴリズム不明または非サポート)

証明書のアルゴリズムが不明、またはサポートされていません。

証明書発行要求の[署名アルゴリズム]と[鍵の長さ(bit)]を正しく設定しなおします

- 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ）(P. 306)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 1 - CMS メッセージの完全性チェックエラー)

証明書の完全性チェック（CMS メッセージの署名検証）に失敗しました。

証明書の発行要求をしなおします

- 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ）(P. 306)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 2 - トランザクション不許可または非サポート)

SCEP サーバーとの通信が許可されていない、またはサポートされていません。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定しなおします

- 鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する（LBP322i のみ）(P. 306)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 3 - CMS の signingTime 属性の時刻とシステム時刻のずれ)

CMS (PKCS#7) の authenticated 属性にある signingTime 属性の時刻が、SCEP サーバーの時刻からずれています。

本機の日付／時刻の設定を確認します

正しく設定されていない場合は、タイムゾーンを設定したあとに、現在日時を設定します。
証明書の発行要求をします。

▶日付/時刻設定(P. 348)

▶鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (LBP322i のみ) (P. 306)

通信エラー(SCEP ERROR Fail Info 4 - 基準と一致する証明書なし)

基準と一致する証明書かどうかを識別できません。

SCEP サーバーの管理者にお問い合わせください。

通信エラー(TCP ERROR)

SCEP サーバーへの接続が失敗／通信タイムアウトが発生しました。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定します

▶鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (LBP322i のみ) (P. 306)

通信エラー(HTTP ERROR<HTTP ステータスコード>)

HTTP エラーが発生しました。

SCEP サーバーの通信設定を正しく設定します

▶鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (LBP322i のみ) (P. 306)

保留

SCEP サーバーから保留のステータスが返ってきました。

しばらく待ってから、証明書の発行要求を行います。

▶鍵を生成して SCEP サーバーから証明書を取得／登録する (LBP322i のみ) (P. 306)

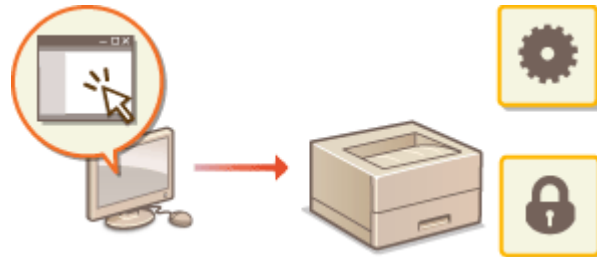
リモート UI を使う

リモート UI を使う	314
リモート UI を起動する	315
リモート UI の画面	318
待機中の文書や本機の状態を確認する	324
一般ユーザーが文書を操作できるようにする	330
本機の設定を変更する	333
設定データの保存／読み込みをする	335
設定データを保存する	336
設定データを読み込む	338

リモート UI を使う

4L33-046

パソコンのウェブブラウザを使って本機を遠隔操作し、待機中の文書を確認したり、本体状況を確認したりすることができます。本機の各種設定を行うことも可能です。ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力すると「リモート UI」が起動しますので、これを使って遠隔操作します。デスクに居ながらにして本機を操作できますので大変便利です。リモート UI の動作環境については、**▶サポート環境(P. 553)** を参照してください。



リモート UI でできること

- ▶待機中の文書や本機の状態を確認する(P. 324)
- ▶本機の設定を変更する(P. 333)
- ▶設定データの保存／読み込みをする(P. 335)

リモート UI の使いかた

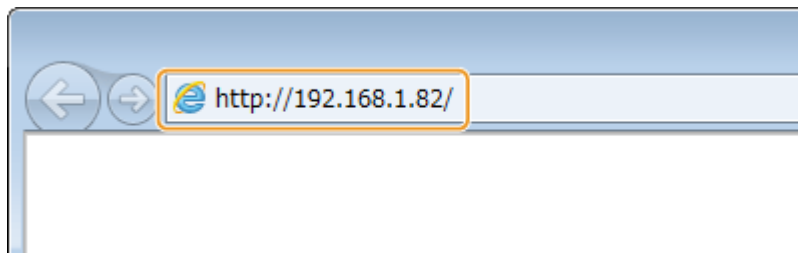
- ▶リモート UI を起動する(P. 315)
- ▶リモート UI の画面(P. 318)

リモート UI を起動する

遠隔操作は、ウェブブラウザに本機の IP アドレスを入力し、リモート UI を起動させて行います。操作の前に、あらかじめ本機に設定されている IP アドレスを確認しておいてください（[●ネットワークステータスプリント\(P. 457\)](#)）。わからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ウェブブラウザを起動する

2 アドレス入力欄に「http://<本機の IP アドレス>/」と入力し、キーボードの [ENTER] を押す



- IPv6 アドレスを使用している場合は、IP アドレスを [] で囲み、次のような形式で入力してください：http://[fe80:2e9e:fcff:fe4e:dbce]/



DNS サーバーを使用しているときは

- <本機の IP アドレス>の代わりに<本機のホスト名.ドメイン名>を入力することもできます（入力例：「http://my_printer.example.com」）。

セキュリティに関するメッセージが表示されたときは

- リモート UI の通信が暗号化されている場合（[●TLS で暗号化通信をする\(P. 268\)](#)）に、エラーメッセージが表示されることがあります。証明書や TLS の設定に問題がないときは、ウェブサイトの閲覧を続行してください。

3 リモート UI にログインする

■部門別 ID 管理が設定されていない場合

「管理者モード」または「一般ユーザーモード」をクリックします。



a 「管理者モード」

リモート UI のすべての操作および設定ができます。[パスワード] に管理者パスワードを入力してください。



- お買い上げ時の管理者パスワードは「7654321」に設定されています。 **▶管理者パスワードを設定する(P. 222)**

b [一般ユーザーモード]

印刷文書の確認、本機状態の確認、各種設定内容の確認ができます。待機中の印刷文書を確認したり、待機をやめて印刷を中止したりしたいときは、[ユーザー名] に文書のユーザー名を入力してください（文書のユーザー名には、パソコンのログオンユーザー名などが、印刷時に自動的に設定されています）。



[ユーザー名] について

- お買い上げ時は、一般ユーザーは文書の操作ができないように設定されているため [ユーザー名] は表示されません。一般ユーザーモードで文書进行操作したいときは、管理者モードでログインし [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] を有効にしてください。 **▶一般ユーザーが文書进行操作できるようにする(P. 330)**

c [リモート UI アクセス暗証番号]

[リモート UI アクセス暗証番号] が表示されている場合は、暗証番号を入力してください（ **▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 233)** ）。

■部門別 ID 管理が設定されている場合

登録されている [部門 ID] と [暗証番号] を入力します（ **▶部門別 ID 管理をする(P. 225)** ）。



4 [ログイン] をクリックする

⇒ リモート UI のメイン画面（ポータルページ）が表示されます。 **▶リモート UI の画面(P. 318)**



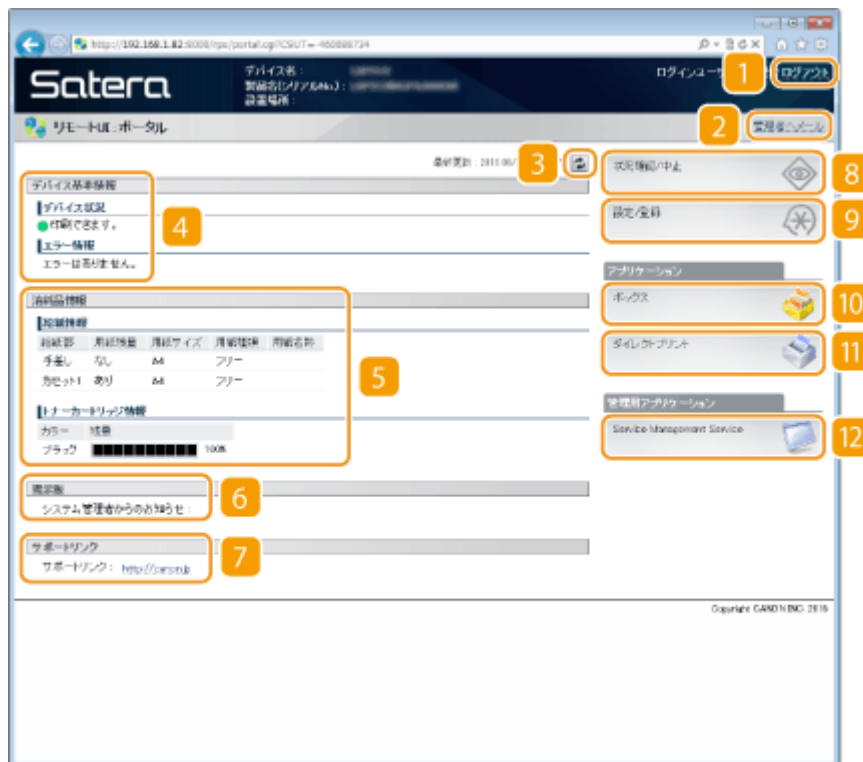
リモート UI の画面

4L33-048

リモート UI のおもな画面について説明します。

- ▶ ポータルページ（メイン画面）(P. 318)
- ▶ [状況確認/中止] ページ(P. 319)
- ▶ [設定/登録] ページ(P. 320)
- ▶ [ボックス] ページ(P. 321)
- ▶ [ダイレクトプリント] ページ(P. 322)

ポータルページ（メイン画面）



1 [ログアウト]

リモート UI をログアウトして、ログインページに戻ります。

2 [管理者へメール]

[セキュリティ] の [管理設定] に設定されている管理者宛にメールを作成します。

3 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

4 デバイス基本情報

本機の現在の状況と、エラー情報が表示されます。エラーが発生している場合は、エラー情報ページへのリンクが表示されます。

5 消耗品情報

用紙についての情報（残量やサイズなど）やトナーカートリッジの状態が表示されます。

6 掲示板

〔設定/登録〕 ▶ 〔ライセンス/その他〕 の 〔掲示板/サポートリンク〕 に設定されている管理者からのお知らせが表示されます。▶ **本機の設定を変更する(P. 333)**

7 サポートリンク

〔設定/登録〕 ▶ 〔ライセンス/その他〕 の 〔掲示板/サポートリンク〕 に設定されている本機をサポート情報へのリンクが表示されます。▶ **本機の設定を変更する(P. 333)**

8 〔状況確認/中止〕

〔状況確認/中止〕 ページが開きます。印刷状況の確認、履歴の確認、処理の中止ができます。

9 〔設定/登録〕

〔設定/登録〕 ページが開きます。管理者モードでログインしているときは、設定内容を変更したり、設定データの保存／読み込みをしたりなどの操作ができます。▶ **本機の設定を変更する(P. 333)**

10 〔ボックス〕（オプションの SD カード装着時のみ）

〔ボックス〕 ページが開きます。本機に保存した文書の印刷や削除ができます。▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 98)**

11 〔ダイレクトプリント〕

パソコンに保存されているファイルを開かずにそのまま本機で印刷できます。▶ **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）(P. 109)**

12 〔Service Management Service〕（LBP322i のみ）

MEAP アプリケーション（機能拡張ソフトウェア）を管理するときに使う Service Management Service（SMS）を起動します。 **MEAP アプリケーション管理機能ガイド**

〔状況確認/中止〕 ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶**待機中の文書や本機の状態を確認する (P. 324)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

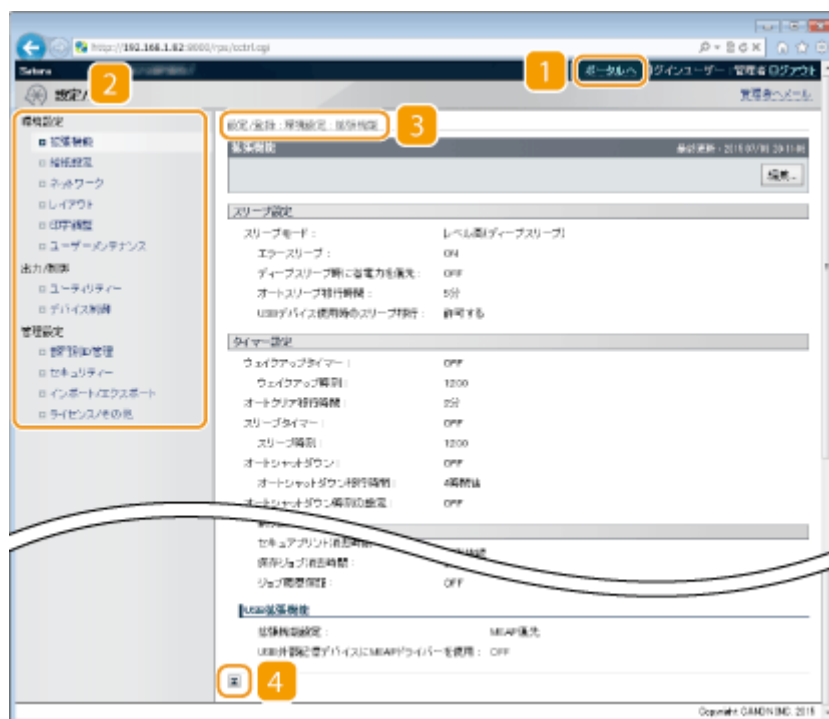
4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

[設定/登録] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

項目をクリックすると、その内容が右側のページに表示されます。▶**本機の設定を変更する (P. 333)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 上へアイコン

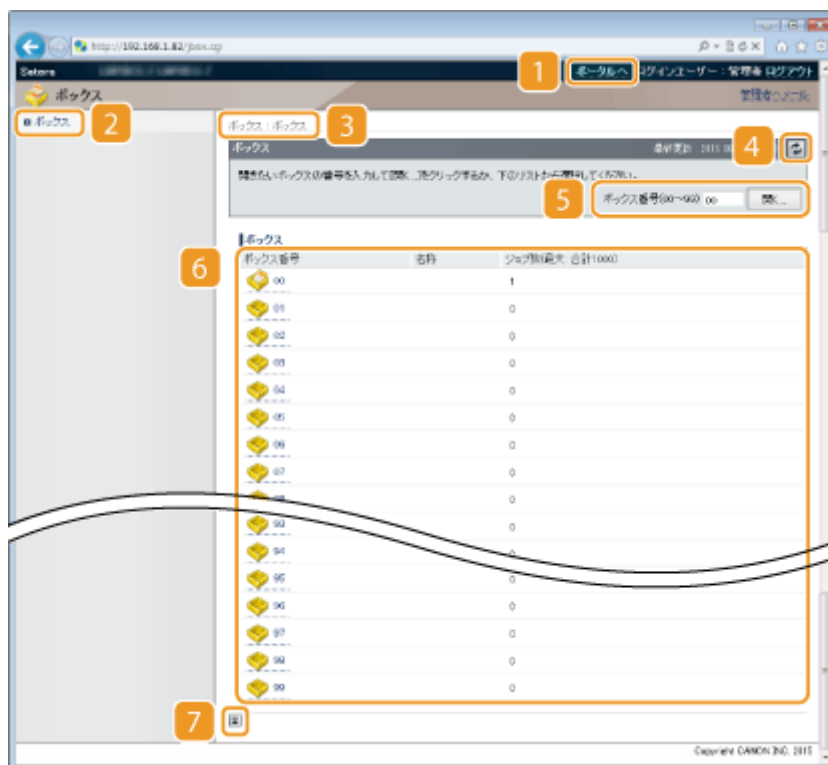
ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。



「設定/登録」ページのメニューについて

- 管理者モードでログインした場合にのみ、設定内容を変更できます。
- 一般ユーザーモードでログインした場合は、[ユーティリティ]、[デバイス制御]、[部門別 ID 管理] および [インポート/エクスポート] は表示されません。

「ボックス」ページ



1 「ポータルへ」

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 「ボックス」

ボックスの一覧を表示します。各ボックスを開いて、保存した文書の詳細情報の確認や印刷、削除ができます。▶
文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 98)

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 更新アイコン

表示中のページを最新の情報に更新します。

5 ボックス番号

ボックス番号を入力し、[開く] をクリックすると、入力した番号のボックスを開くことができます。

6 ボックス一覧

[ボックス番号] のリンクをクリックすると、ボックスを開くことができます。

7 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

[ダイレクトプリント] ページ



1 [ポータルへ]

ポータルページ（メイン画面）に戻ります。

2 メニュー

ダイレクトプリントするファイル形式の設定ページを表示します。🔴 **ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント） (P. 109)**

3 階層表示

表示中のページ階層が表示され、現在どのページを表示しているかを確認できます。

4 上へアイコン

ページの下の方を見ているときにこのボタンをクリックすると、ページの最上部に戻ることができます。

待機中の文書や本機の状態を確認する

4L33-049

- ▶印刷文書の状況を確認する(P. 324)
- ▶文書の履歴を確認する(P. 325)
- ▶エラー情報を確認する(P. 326)
- ▶最大印刷速度などを確認する(P. 326)
- ▶管理者情報を確認する(P. 327)
- ▶印刷ページ数を確認する(P. 328)
- ▶トナーカートリッジの履歴を確認する(P. 328)



- 文書のファイル名は途中までしか表示されないことがあります。また、印刷したアプリケーション名がファイル名に付加されることがあります。

印刷文書の状況を確認する

パソコンから印刷した文書の印刷状況（印刷中／印刷待機中）を確認したり、文書の削除や割り込みをしたりすることができます。



リモート UI にログインする（▶**リモート UI を起動する(P. 315)**）▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ状況]



a [中止]

印刷中や待機中の文書を削除できます。

b [割り込み] *

現在印刷中の文書を一時停止し、操作した文書を先に印刷します。印刷中に割り込まれた文書は、割り込んだ文書の印刷が終わると、残りのページの印刷が再開されます。

c [追い越し] *

待機中の文書の印刷順番を 1 つ繰り上げます。

d [一時停止] * / [再開] *

[一時停止] を押すと印刷を停止します。[再開] を押すと印刷を再開します。



- セキュア文書や暗号化セキュア文書は、[再開] をクリックすると暗証番号を入力する画面が表示されます。暗証番号を入力し、[OK] をクリックします。

*操作パネルの設定メニューにある<割り込み印刷>が<許可しない>のときは表示されません (▶[割り込み印刷\(P. 350\)](#))。



- 部門別 ID 管理の設定に関係なく、すべての印刷文書の状況が表示されます。
- お買い上げ時は、一般ユーザーモードでは印刷文書の削除や割り込みなどの操作ができないように設定されています。文書の操作を行いたいときは、管理者モードでログインし [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] を有効にしてください。▶[一般ユーザーが文書进行操作できるようにする\(P. 330\)](#)
- 一般ユーザーモードで、[ユーザー名] を入力してログインした場合、そのユーザーが印刷した文書だけが表示されます。
- 一時停止中の文書とセキュア文書で [受付番号] をクリックすると、文書の詳細情報が表示されます。ユーザー名や印刷枚数などの情報を確認できます。

文書の履歴を確認する

印刷履歴や Eメールの受信履歴が一覧表示されます。



リモート UI にログインする (▶[リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)) ▶ [状況確認/中止] ▶ [ジョブ履歴]



a [ジョブ履歴] (プリント)

印刷の種類ごとに印刷履歴を表示できます。▶**ジョブ履歴の表示上限数(P. 550)**

b [ジョブ履歴] (E メール受信)

Eメールの受信履歴が表示されます。受信時にエラーが発生したときは[受信結果]にエラーコードが表示されます。▶**Eメール受信のエラーコードについて(P. 550)**

c [表示切替] (印刷履歴のみ)

プルダウンメニューから印刷の種類を選び、[表示切替]をクリックすると、それぞれの履歴の一覧に切り替わります。



- オプションのSDカードを装着していないときは、シャットダウンするか、ハードリセットをすると履歴は消去されます。
- 一般ユーザーモードでログインしていて、[一般ユーザーによるジョブ操作を許可する]を有効にしている場合、ログインしているユーザー以外のジョブは、ドキュメント名が「*****」のように伏せ字で表示されます。▶**一般ユーザーが文書进行操作できるようにする(P. 330)**

エラー情報を確認する

エラーが発生しているとき、ポータルページ（メイン画面）の[エラー情報]に表示されているメッセージをクリックすると、このページが表示されます。▶**ポータルページ（メイン画面）(P. 318)**



リモート UI にログインする (▶**リモート UI を起動する(P. 315)**) ▶ [状況確認/中止] ▶ [エラー情報]



最大印刷速度などを確認する

最大印刷速度や本機の装備などの情報が表示されます。



リモート UI にログインする（[リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)）▶ [\[状況確認/中止\]](#) ▶ [\[デバイス
装備\]](#)



管理者情報を確認する

本体とシステム管理者についての情報が表示されます。ここに表示されている情報は、[\[設定/登録\]](#) ページの [\[セキュリ
ティー\]](#) ▶ [\[管理設定\]](#) で設定したものです（[リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)）。



リモート UI にログインする（[リモート UI を起動する\(P. 315\)](#)）▶ [\[状況確認/中止\]](#) ▶ [\[デバイス
情報\]](#)



印刷ページ数を確認する

今までに印刷された文書の合計ページ数が表示されます。



リモート UI にログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 315)**) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カウンター確認]



トナーカートリッジの履歴を確認する

トナーカートリッジの利用実績などを確認できます。



リモート UI にログインする (▶ **リモート UI を起動する(P. 315)**) ▶ [状況確認/中止] ▶ [カートリッジログ]



関連項目

▶リモート UI の画面(P. 318)

一般ユーザーが文書を操作できるようにする

4L33-04A

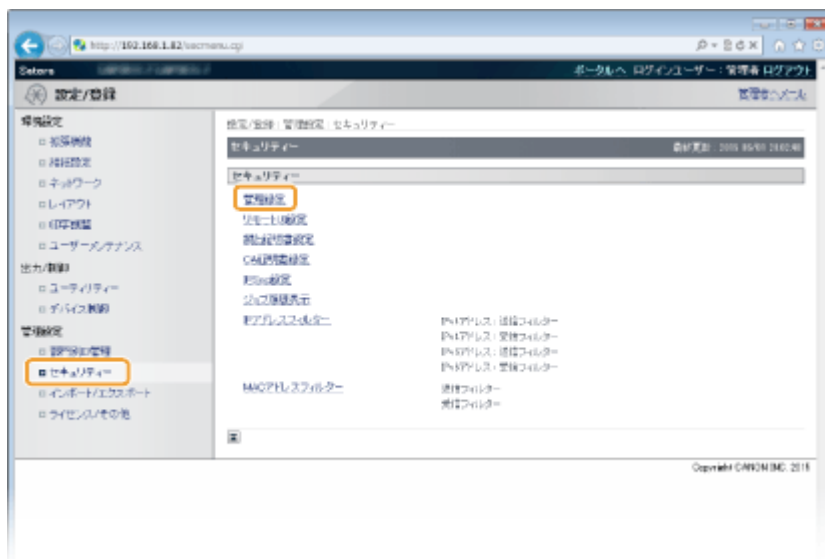
リモート UI に一般ユーザーモードでログインしたときにも、文書の削除や割り込みなどの操作ができるように設定します。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [セキュリティ] ▶ [管理設定] をクリックする



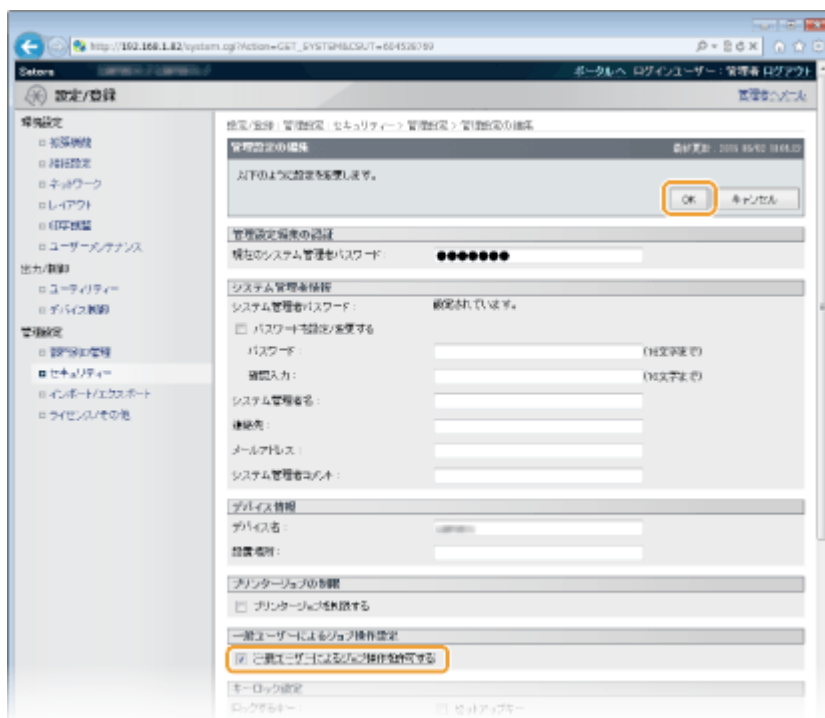
4 [編集] をクリックする



5 [現在のシステム管理者パスワード] に管理者パスワードを入力する



6 [一般ユーザーによるジョブ操作を許可する] にチェックマークを付け、[OK] をクリックする



[一般ユーザーによるジョブ操作を許可する]

チェックマークを付けるとユーザー名が一致する文書に対して、一般ユーザーが文書进行操作できるようになります。一般ユーザーによる文書の操作を許可しないときはチェックマークを外してください。



関連項目

▶ **リモート UI の画面(P. 318)**

本機の設定を変更する

4L33-04C

リモート UI を使って、パソコン側から本機のさまざまな設定を登録／変更できます。ほとんどの項目は本機の操作パネルで設定できますが、リモート UI でしか設定できない項目もあります。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

2 「設定/登録」をクリックする



3 設定したい項目をクリックして表示し、「編集」をクリックする



- 設定メニューの詳細については、以下の各項目を参照してください。

メニュー項目	参照先
環境設定	
拡張機能	▶ 拡張機能(P. 343)
給紙設定	▶ 給紙選択メニュー(P. 468)
ネットワーク	▶ ネットワーク(P. 357)

メニュー項目	参照先
レイアウト	▶ レイアウト(P. 379)
印字調整	▶ 印字調整(P. 383)
ユーザーメンテナンス	▶ ユーザーメンテナンス(P. 390)
出力/制御	
ユーティリティ	▶ レポートとリストをプリントする(P. 499) ▶ ジョブメニュー(P. 463)
デバイス制御	本機の状態を制御することができます。 ▶ [オンライン] キー(P. 26) ▶ ソフトリセット(P. 465) ▶ スリープモードにする(P. 65)
管理設定	
部門別 ID 管理	▶ 部門別 ID 管理をする(P. 225)
セキュリティー	▶ セキュリティー(P. 217)
インポート/エクスポート	▶ 設定データの保存／読み込みをする(P. 335)
ライセンス/その他*	ポータルページ（メイン画面）に表示される掲示板のお知らせやサポートページへのリンクを変更できます。

*LBP321 では、[掲示板/サポートリンク] と表示されます。



関連項目

- ▶ [リモート UI の画面\(P. 318\)](#)
- ▶ [設定メニュー一覧\(P. 341\)](#)

設定データの保存／読み込みをする

4L33-04E

本機の各種設定値を書き出して（エクスポート）、パソコンに保存できます。また、パソコンに保存したデータを読み込む（インポート）ことも可能です。同一機種間であれば、本機からエクスポートしたデータは他機にもインポート可能ですので、各種設定値を複数のマシンにかんたんにコピーすることができます。なお、この機能を使うためには管理者モードでログインしている必要があります。

▶設定データを保存する(P. 336)

▶設定データを読み込む(P. 338)



ご注意

インポートやエクスポートが完了するまでは電源を切らない

- 処理が完了するまで数分かかることがあります。処理中に電源を切ると、データが破損したり、本機が故障したりする恐れがあります。

インポート中やエクスポート中は本機の操作をしない

- インポートやエクスポートをする前に、本機が印刷などの処理中でないことを確認してください。



MEMO

操作パネルでインポート／エクスポートするとき

- 本機の操作パネルから USB メモリーを介して設定データの保存／読み込みをすることもできます。▶**設定のインポート/エクスポート(P. 401)**

設定データを保存する

4L33-04F

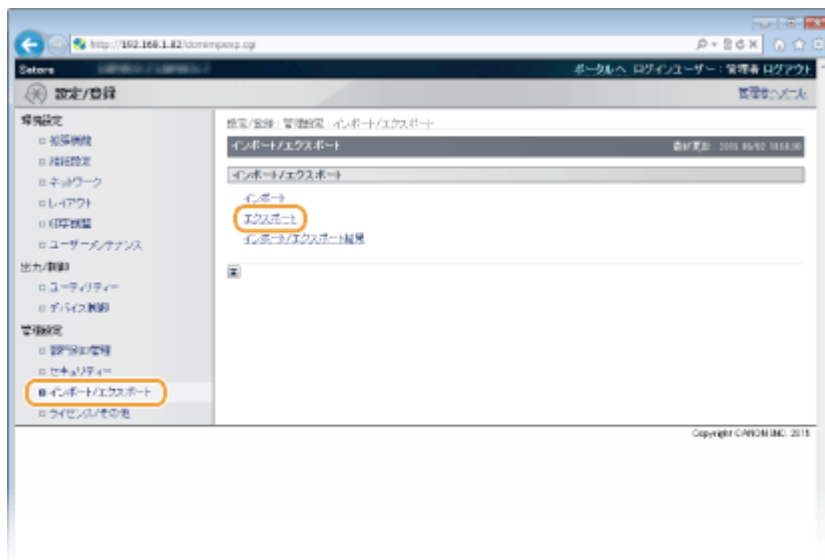
本機の各種設定値を書き出して（エクスポート）、パソコンに保存できます。大切な設定データは定期的にバックアップをしておくことをおすすめします。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

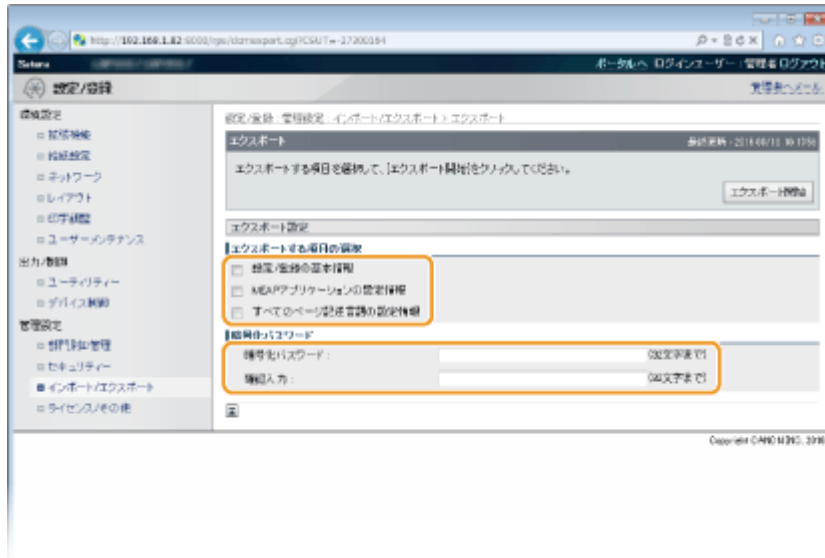
2 「設定/登録」 をクリックする



3 「インポート/エクスポート」 ▶ 「エクスポート」 をクリックする



4 エクスポートする項目を選び、暗号化パスワードを設定する



【設定/登録の基本情報】

【設定/登録】 から設定できる項目の設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

【MEAP アプリケーションの設定情報】（LBP322i のみ）

MEAP アプリケーションの設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

【すべてのページ記述言語の設定情報】

🔴動作モード専用の設定(P. 407) から設定できる項目の設定値をエクスポートするときは、チェックマークを付けます。

【暗号化パスワード】

エクスポートデータを暗号化するパスワードを半角英数字で入力します。同じパスワードを「確認入力」に入力してください。パスワードを設定しないと、データのエクスポートはできません。



- パスワードはエクスポートしたデータをインポートする際に必要となります。🔴設定データを読み込む(P. 338)

5 【エクスポート開始】 をクリックする

6 画面の指示に従って、データを保存する場所を指定する

⇒ 本機の設定値や登録内容のデータが保存されます。



- 🔴リモート UI の画面(P. 318)
- 🔴設定メニュー一覧(P. 341)

設定データを読み込む

4L33-04H

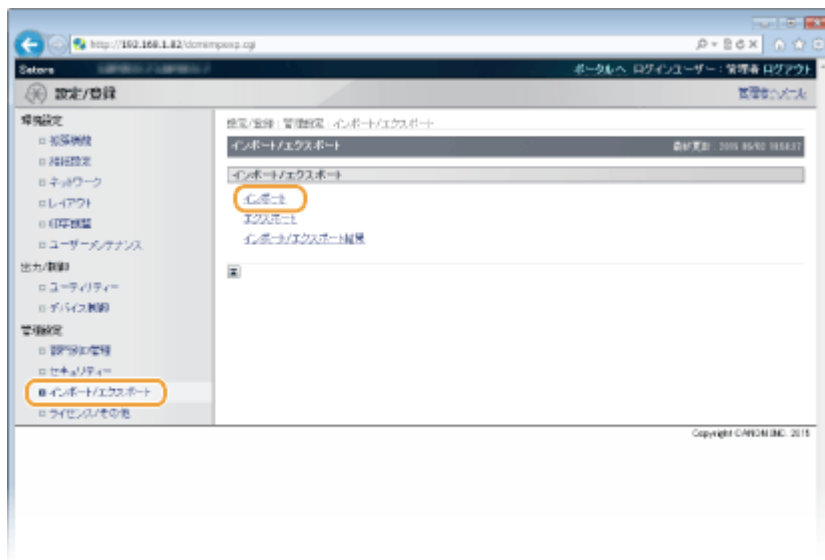
本機から書き出したデータを読み込みます（インポート）。また、同一機種間であれば、他機の各種設定値を本機で読み込むこともできます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ▶ リモート UI を起動する(P. 315)

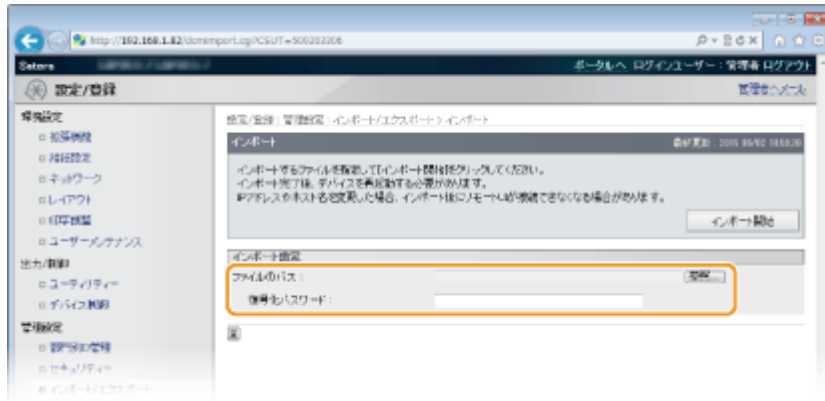
2 「設定/登録」 をクリックする



3 「インポート/エクスポート」 ▶ 「インポート」 をクリックする



4 インポートするファイルを指定し、パスワードを入力する



[ファイルのパス]

[参照] をクリックしてファイルを選択します。

[復号化パスワード]

エクスポートしたときに設定したパスワードを入力します。

5 [インポート開始] をクリックする

6 [OK] をクリックする

⇒ 選択した設定ファイルのデータが本機に読み込まれます。

7 [再起動] をクリックする



⇒ 再起動後に設定が有効となります。



関連項目

- ▶ リモート UI の画面(P. 318)
- ▶ 設定メニュー一覧(P. 341)

設定メニュー一覧

設定メニュー一覧	341
セットアップメニュー	342
拡張機能	343
給紙	356
ネットワーク	357
レイアウト	379
印字調整	383
インターフェイス	387
ユーザーメンテナンス	390
動作モード	404
動作モード専用の設定	407
LIPSLX 設定	408
LIPS4 設定	409
ESC/P 設定	424
Imaging 設定	437
XPS 設定	444
PDF 設定	448
MEAP 設定	452
カウンター確認	454
パネル設定初期化	455
ユーティリティーメニュー	456
ジョブメニュー	463
リセットメニュー	465
給紙選択メニュー	468

設定メニュー一覧

4L33-04J

本機にはさまざまな設定項目があり、それぞれについて詳細な調整を行うことができます。各項目は操作パネルのメニュー画面で操作します。



設定項目を一覧で確認するには

- このマニュアルには、設定メニューをまとめた PDF も付属しています。あわせて参考にしてください。▶
メニュールートマップ(P. 602)

設定の優先順位

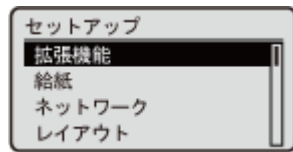
- 同じ設定項目であれば、プリンタードライバーの設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。
- メディアプリントやダイレクトプリントでは、印刷時の設定や TIFF データ内に保存されている設定が、操作パネルの設定よりも優先されます。



- 現在の設定内容をプリントして確認することができます。
 - ▶共通ステータスプリント(P. 456)
 - ▶ネットワークステータスプリント(P. 457)

セットアップメニュー

4L33-04K

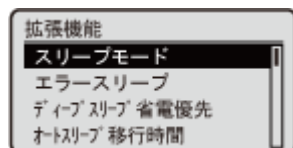


本機の動作環境や印刷に関する各種設定を変更することができます。操作パネルで ► (セットアップ) を押すと、設定項目が機能別にまとめられたセットアップメニューが表示されます。

- ▶ 拡張機能(P. 343)
- ▶ 給紙(P. 356)
- ▶ ネットワーク(P. 357)
- ▶ レイアウト(P. 379)
- ▶ 印字調整(P. 383)
- ▶ インターフェイス(P. 387)
- ▶ ユーザーメンテナンス(P. 390)
- ▶ 動作モード(P. 404)
- ▶ 動作モード専用の設定(P. 407)
- ▶ MEAP 設定(P. 452)
- ▶ カウンター確認(P. 454)
- ▶ パネル設定初期化(P. 455)

拡張機能

4L33-04L



スリープモードやエラー時の動作に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|-------------------------|-----------------------------|
| ▶スリープモード(P. 343) | ▶PDL リソースデータ保存先(P. 349) |
| ▶エラースリープ(P. 344) | ▶割り込み印刷(P. 350) |
| ▶ディープスリープ省電優先(P. 344) | ▶セキュアプリント消去時間(P. 350) |
| ▶オートスリープ移行時間(P. 344) | ▶ジョブ履歴保証(P. 350) |
| ▶USB 使用時のスリープ移行(P. 345) | ▶USB 接続する PC の OS(P. 351) |
| ▶タイマー設定(P. 345) | ▶ページ記述言語(PnP)(P. 351) |
| ▶自動エラースキップ(P. 346) | ▶管理設定(P. 352) |
| ▶表示言語(P. 346) | ▶RMT-SW(P. 352) |
| ▶ブザー(P. 347) | ▶画面調整(P. 352) |
| ▶警告表示(P. 347) | ▶アニメーション表示(P. 353) |
| ▶警告処理(P. 348) | ▶トナー残量アイコン表示(P. 353) |
| ▶日付/時刻設定(P. 348) | ▶設定完了通知(P. 354) |
| ▶主電源 ON 時の高速起動(P. 349) | ▶用紙設定の確認表示(P. 354) |
| ▶SD カードの使用(P. 349) | ▶スクロール文字速度(P. 354) |
| | ▶Canon Genuine Mode(P. 355) |

スリープモード

スリープモードは本体内部の動作を一部休止して消費電力量を抑える機能です。スリープモードの段階を設定します。▶スリープモードにする(P. 65)

レベル高 (ディープスリープ)
レベル中 (プリンタースリープ)



スリープモードのレベルについて

- 節電効果は<レベル中 (プリンタースリープ)>が低く、<レベル高 (ディープスリープ)>が高くなります。

ネットワーク関連のユーティリティソフトウェアをお使いの場合

- スリープモードを<レベル高 (ディープスリープ)>に設定した場合、ソフトウェアによっては通信に失敗することがあります。

エラースリープ

エラー発生時に自動的にスリープモードになるかどうかを設定します。

OFF
ON



ディープスリープ省電優先

本機とパソコンを USB で接続しているときの消費電力を、より抑えるかどうか設定することができます。

OFF
ON



- < ON > に設定して印刷を実行するとスリープモードが解除されないことがあります。その場合は操作パネルの  を押してスリープモードを解除してください。

オートスリープ移行時間

キー操作もなく、印刷もしない状態が一定時間続くと、自動的に節電状態（オートスリープ）になります。オートスリープになるまでの時間を指定します。お買い上げ時の設定でお使いになることをおすすめします。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

5 分
10 分
15 分
30 分
60 分
120 分

USB 使用時のスリープ移行 *

ネットワークを介してパソコンから USB 機器にアクセスする USB over NW を使用しているときに、スリープモードへの移行を許可するかどうかを設定します。▶ **拡張機能設定(P. 387)**

許可しない
許可する



タイマー設定

スリープモードに関する動作や時間と、一定時間操作が行われないと基本画面に戻る機能（オートクリア）の設定を行います。

ウェイクアップタイマー

指定した時刻にスリープモードを解除するかどうかを設定します。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

OFF
ON

ウェイクアップ時刻

<ウェイクアップタイマー>を< ON >に設定したときに、スリープモードを解除する時刻を設定します。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

00:00～**12:00**～23:59

オートクリア移行時間

一定時間キー操作をしないと、自動的に各メニュー画面などから基本画面に戻ったり、オフラインからオンラインに戻ったりします（オートクリア）。オートクリアされるまでの時間を指定します。オートクリアさせたくないときは<なし>に設定してください。

なし
10 秒
20 秒
30 秒
40 秒
50 秒
1 分
2 分
3 分
4 分
5 分
6 分
7 分

8 分
9 分



スリープタイマー

指定した時刻に自動的にスリープモードにするかどうかを設定します。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

OFF
ON

スリープ時刻

<スリープタイマー>を< ON >に設定したときに、スリープモードにする時刻を設定します。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

00:00~12:00~23:59

自動エラースキップ

印刷中にエラーが発生すると印刷は止まりますが、< ON >に設定しておくともエラーが発生しても印刷を継続することができます。この設定によって印刷が継続できるエラーについて、詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。

OFF
ON



表示言語

操作パネルの画面や設定リストに表示される言語を切り替えるときに設定します。

English
日本語



ブザー

紙づまりや誤操作など、トラブルを知らせる音を鳴らすかどうかを設定します。

OFF
ON



警告表示

本機が警告状態になったときにメッセージでお知らせするかどうかを設定します。

トナーカートリッジ交換予告

トナーカートリッジの寿命が近づいたときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



カセット用紙なし

給紙カセットの用紙がなくなったときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



E メール通信エラー

E メール印刷で通信エラーが発生したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



警告処理

トナーカートリッジ寿命のメッセージが表示されたときの動作について設定します。

トナーカートリッジ交換予告

トナーカートリッジの寿命が近づいたときに、自動的に印刷を停止するかどうかを設定します。

印刷継続
印刷停止



a <印刷継続>

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、<16 トナーカートリッジの寿命が近づいています>が表示されますが、印刷は継続します。

b <印刷停止>

トナーカートリッジの交換時期が近づくと、<トナーカートリッジの寿命が近づいています。>が表示され、一時的に印刷が停止します。印刷を継続するには (オンライン) を押します。

日付/時刻設定

現在の日付と時刻を設定します。

日付

現在の日付を、年月日の順で設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、日付の指定はテンキーで行います。

2001 01/01~2030 12/31



時刻 (24 時間)

現在の時刻を、24 時間表示で設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、時刻の指定はテンキーで行います。

00:00:00~23:59:59



主電源 ON 時の高速起動

高速起動を設定すると、電源スイッチを押してから画面操作できるようになるまでの時間を短縮できます。▶ **本機を高速起動する(P. 38)**

OFF
ON

SD カードの使用 *

SD カードを使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



PDL リソースデータ保存先 *

SD カードを装着しているときに、PDL リソースデータ（フォントやパターンデータ）の保存先を設定します。リソースデータを高速で登録したいときは < RAM > に、リソースデータの容量が多いときは < SD カード > に設定します。

RAM
SD カード



MEMO

保存先を<SD カード>から<RAM >に切り替えたとき

- SD カードに保存されているリソースデータは自動的に削除されます。

割り込み印刷*

割り込み印刷機能の使用を許可するかどうかを設定します。

許可しない
許可する



セキュアプリント消去時間*

セキュア文書の印刷データが自動的に消去されるまでの時間を設定します。▶セキュア文書の保存時間を変更する(P. 96)

1 時間
2 時間
3 時間
6 時間
12 時間
24 時間

ジョブ履歴保証*

シャットダウンのタイミングによっては、印刷履歴が残らなかったり、総印刷ページ数がカウントされなかったりすることがあります。この機能を<ON >に設定すると、印刷履歴や総印刷ページ数のカウントが保証されます。ただし、印刷速度が遅くなります。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <ジョブ履歴保証> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

USB 接続する PC の OS

本機と USB 接続するとき使用するパソコンの OS を選択します。

Mac OS
Windows
その他



- お使いのパソコンの OS と本機の設定を一致させてください。一致していないと、パソコンで本機が正しく検出されません。
- OS X 10.10 以前のバージョンで、USB 接続によるプリンタードライバーからの印刷を行う場合は、<その他> に設定してください。



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ < USB 接続する PC の OS > ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ 接続するパソコンの OS を選択 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

ページ記述言語(PnP)

本機とパソコンを USB で接続したときや、WSD ネットワーク上で本機を検索したときに、どのプリンタードライバーをインストールするかを設定します。

LIPSLX
LIPSLX (V4)
LIPS4*
XPS (Direct)



▶ (セットアップ) ▶ <拡張機能> ▶  ▶ <ページ記述言語(PnP)> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ ページ記述言語を選択 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

管理設定

不用意な設定の変更を防ぐために、操作パネルの （セットアップ）キーをロックすることができます。

セットアップキーのロック

< ON >に設定すると、操作パネルで （セットアップ）を押しても動作しなくなります。

OFF
ON

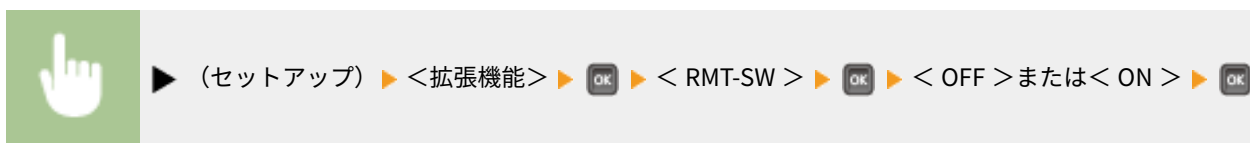


- < ON >に設定した場合、セットアップキーのロックはリモート UI からのみ解除できます。  **操作パネルの使用を制限する(P. 258)**

RMT-SW

< OFF >に設定したままお使いください。サービス担当が遠隔から機器メンテナンスする場合に< ON >にさせていただく場合があります。

OFF
ON



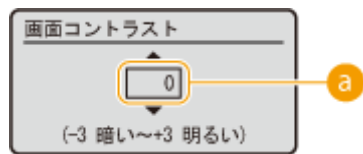
画面調整

ディスプレイのコントラストや明るさを調整します。

画面コントラスト

設置場所に応じて、ディスプレイのコントラスト（明暗の差）を調整します。

-3~0~+3



a コントラストの調整

明るくするときは「+」に設定します。暗くするときは「-」に設定してください。

バックライトの明るさ

ディスプレイのバックライトの明るさを3段階の中から選びます。バックライトを点灯させたくないときは< OFF >に設定してください。



アニメーション表示

紙づまりが発生したときやトナーカートリッジを交換するときに、ディスプレイに手順を示すアニメーションを表示するかどうかを設定します。



トナー残量アイコン表示

ディスプレイの右下にトナーカートリッジの状態を示すアイコンを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



設定完了通知

設定変更時に表示されるメッセージの表示秒数を設定します。< OFF >に設定すると、メッセージは表示されなくなります。

設定しました。

OFF
1 秒
2 秒
3 秒



用紙設定の確認表示

給紙カセットをセットしたときに、用紙設定の確認を促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



スクロール文字速度 *

ディスプレイに表示される文字が右から左へスクロールする場合の速度を 3 種類の中から選びます。

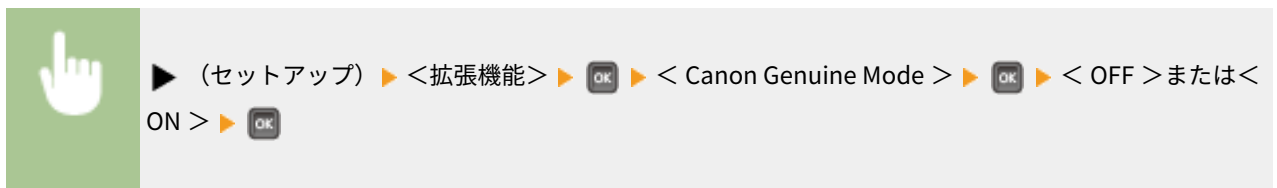
遅い
普通
速い



Canon Genuine Mode

純正カートリッジ向けのモードです。

OFF
ON

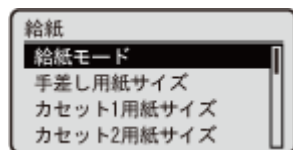


MEMO

- サービス担当が設定を変更させていただく場合があります。メニューが表示されていない場合は、本機の管理者にお問い合わせください。

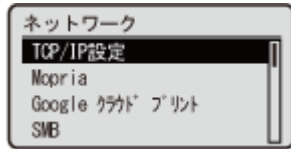
給紙

4L33-04R



▶ 給紙選択メニュー(P. 468) を参照してください。

ネットワーク



ネットワークに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



<ネットワーク>が表示されない場合

- <インターフェイス選択>の<ネットワーク>が< OFF >に設定されているときは、セットアップメニューに<ネットワーク>は表示されません。▶**インターフェイス選択(P. 387)**

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| ▶ TCP/IP 設定(P. 357) | ▶ソフトウェアの登録/更新(P. 373) |
| ▶ Mopria(P. 369) | ▶ Ethernet ドライバー(P. 374) |
| ▶ Google クラウド プリント(P. 369) | ▶スリープ時の優先設定(P. 374) |
| ▶ SMB(P. 369) | ▶IEEE802.1X(P. 375) |
| ▶ SNMP 設定(P. 370) | ▶アドレスフィルター(P. 375) |
| ▶ スプール機能(P. 372) | ▶ MAC アドレス(P. 376) |
| ▶ 並列受信(P. 372) | ▶ E メール印刷設定(P. 376) |
| ▶ 起動時の接続待機時間(P. 373) | ▶ NetEye(P. 377) |
| ▶ リモート UI 設定(P. 373) | ▶ ネットワーク設定初期化(P. 378) |

TCP/IP 設定

IP アドレスの設定など、本機を TCP/IP ネットワークで使用するための設定をします。

IPv4 設定

IPv4 を使ったネットワークで本機を使用するための各種設定を行います。

IPv4

本機で IPv4 を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ **OK** ▶ メッセージを確認 ▶ **OK** ▶ < TCP/IP 設定 > ▶ **OK** ▶ < IPv4 設定> ▶ **OK** ▶ < IPv4 > ▶ **OK** ▶ < OFF > または < ON > ▶ **OK** ▶ ハードリセット (▶**ハードリセットする(P. 465)**)

IP モード

IP アドレスの設定方法を選びます。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 153)

自動
手動

プロトコル選択 *

＜ IP モード＞が＜自動＞に設定されているときに選択します。選択したプロトコルを＜ ON ＞に設定すると、残り 2 つの設定は自動的に＜ OFF ＞になります。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 153)

DHCP

OFF
ON

BOOTP

OFF
ON

RARP

OFF
ON

Auto IP *

自動的に IP アドレスを取得するかどうかを設定します。＜ IP モード＞が＜自動＞に設定されているときは＜ ON ＞に設定します。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 153)

OFF
ON

IP アドレス設定

TCP/IP ネットワークでパソコンやプリンターなどの通信機器を特定するための IP アドレスを設定します。▶IPv4 アドレスを設定する(P. 153)

IP アドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

サブネットマスク

0.0.0.0～255.255.255.255

ゲートウェイアドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

DNS

ホスト名を IP アドレスに変換する Domain Name System (DNS) のサーバーアドレスを設定します。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、アドレスの指定はテンキーで行います。その他の DNS に関する設定はリモート UI から行う必要があります。▶DNS の設定をする(P. 187)

プライマリー DNS サーバーアドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

セカンダリー DNS サーバーアドレス

0.0.0.0～255.255.255.255

▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < TCP/IP 設定

> ▶ ▶ < IPv4 設定> ▶ ▶ < DNS > ▶ ▶ 設定するサーバーを選択 ▶ ▶ アドレスを設定 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 465)**)

mDNS 設定 *

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。 **DNS の設定をする(P. 187)**

mDNS

OFF
ON

▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < TCP/IP 設定

> ▶ ▶ < IPv4 設定> ▶ ▶ < mDNS 設定> ▶ ▶ < mDNS > ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 465)**)

mDNS 名 *

< mDNS > が < ON > の場合に設定します。

▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < TCP/IP 設定

> ▶ ▶ < IPv4 設定> ▶ ▶ < mDNS 設定> ▶ ▶ < mDNS 名> ▶ ▶ 名前を設定 ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 465)**)

DHCP オプション

DHCP が有効な場合に、DHCP オプション機能を使ってホスト名の取得や動的更新をするかどうかを設定します。

ホスト名の取得

OFF
ON

DNS の動的更新

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv4 設定> ▶  ▶ <DHCP オプション> ▶  ▶ <ホスト名の取得>または<DNS の動的更新> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

IPv6 設定

IPv6 を導入したネットワークで本機を使用するかどうかを設定します。IPv6 のアドレス設定はリモート UI から行う必要があります。  **IPv6 アドレスを設定する (P. 158)**

IPv6

本機で IPv6 を使用するかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv6 設定> ▶  ▶ <IPv6> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

mDNS 設定 *

DNS サーバーがない環境で DNS の機能を使うための設定をします。  **DNS の設定をする (P. 187)**

mDNS

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPv6 設定> ▶  ▶ <mDNS 設定> ▶  ▶ <mDNS> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

IPv4 と同じ mDNS 名使用 *

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < IPv6 設定 > ▶  ▶ < mDNS 設定 > ▶  ▶ < IPv4 と同じ mDNS 名使用 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

mDNS 名 *

< IPv4 と同じ mDNS 名使用 > が < OFF > の場合に設定します。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < IPv6 設定 > ▶  ▶ < mDNS 設定 > ▶  ▶ < mDNS 名 > ▶  ▶ 名前を設定 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

WINS による名前解決

ネットワークで NetBIOS と TCP/IP を併用しているときに、NetBIOS 名を IP アドレスに変換する Windows Internet Name Service (WINS) を使用するかどうかを設定します。WINS を使用するときに適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。  **WINS の設定をする(P. 193)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < WINS による名前解決 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

FTP

FTP から印刷や本機の設定変更をするかどうかを設定します。

FTP 印刷

FTP から印刷するかどうかを設定します。FTP 印刷をするときのユーザー名やパスワードの設定はリモート UI から行う必要があります。  **FTP サーバーの準備をする(P. 579)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < FTP > ▶  ▶ < FTP 印刷 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

FTP 経由の設定を許可

FTP から本機の設定を変更するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < FTP > ▶  ▶ < FTP 経由の設定を許可 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

LPD 設定

ハードウェアや OS などのプラットフォームに依存しない印刷プロトコルである LPD を使用するかどうかを設定します。また、通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。LPD 使用時のバナーページ印刷に関する設定は、リモート UI から行う必要があります。  **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)**

LPD 印刷

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < LPD 設定 > ▶  ▶ < LPD 印刷 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

受信タイムアウト *

1 ～ 60 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < LPD 設定 > ▶  ▶ < 受信タイムアウト > ▶  ▶ タイムアウト時間を設定 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

RAW 設定

Windows 独自の印刷データ形式である RAW を使用するかどうかを設定します。また、通信エラーなどで印刷データが受信できない場合に、自動的にジョブを終了させるまでの時間を設定します。双方向通信についての設定は、リモート UI から行う必要があります。  **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)**

RAW 印刷

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <RAW 設定> ▶ ▶ <RAW 印刷> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

受信タイムアウト *

1 ~ 60 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <RAW 設定> ▶ ▶ <受信タイムアウト> ▶ ▶ タイムアウト時間を設定 ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

BMLinkS

メーカー共通のドライバーで印刷が可能な BMLinkS を使用するかどうかを設定します。本機の設置場所の情報など、その他の BMLinkS に関する設定はリモート UI から行う必要があります。 メーカー共通のドライバーを使用して印刷する (BMLinkS) (P. 125)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <BMLinkS> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

IPP 印刷

外部のネットワークからインターネットを経由して印刷が可能な IPP を使用するかどうかを設定します。通信データの TLS による暗号化やユーザー認証機能の設定はリモート UI から行う必要があります。 印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <IPP 印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

WSD

WSD プロトコルを使った自動検索や情報取得の対象にするかどうかを設定します。  **印刷プロトコルや Web サービスの設定をする(P. 163)**

WSD 印刷

WSD を使って本機で印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <WSD> ▶  ▶ <WSD 印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

WSD 参照 *

WSD を使ってパソコンから本機の情報取得するかどうかを設定します。<WSD 印刷>を<ON>に設定していると、<WSD 参照>は<ON>に固定され、設定メニューに項目は表示されません。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <TCP/IP 設定> ▶  ▶ <WSD> ▶  ▶ <WSD 参照> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

マルチキャスト探索

マルチキャストによる本機の探索に応答するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < WSD > ▶  ▶ < マルチキャスト探索 > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))



- < OFF > に設定すると、本機がスリープ中にマルチキャスト探索パケットを受信してもスリープ状態を維持します。

HTTP

HTTP を使用するかどうかを設定します。HTTP はリモート UI や WSD 印刷などでパソコンとの通信をするときに必要です。  HTTP 通信を無効にする(P. 261)

OFF
ON

プロキシ設定

HTTP 通信を中継するプロキシサーバーを使うための設定をします。  プロキシを設定する(P. 246)

プロキシ

本機が HTTP 通信をするときにプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < プロキシ設定 > ▶  ▶ < プロキシ > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

サーバーアドレス *

使用するプロキシサーバーのアドレスを設定します。お使いの環境に応じて IP アドレスやドメイン名などを設定してください。カーソルは ◀ / ▶ で移動し、アドレスの入力はテンキーで行います ( 文字を入力する(P. 33))。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < プロキシ設定 > ▶  ▶ < サーバーアドレス > ▶  ▶ サーバーアドレスを入力 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

ポート番号 *

使用するプロキシサーバーのポート番号を設定します。

1～80～65535



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <ポート番号> ▶ ▶ ポート番号を入力 ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

同ドメイン *

同じドメインを構成する機器と HTTP 通信する場合でもプロキシサーバーを使用するかどうかを設定します。

プロキシを使用
プロキシを使用しない



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <同ドメイン> ▶ ▶ <プロキシを使用>または<プロキシを使用しない> ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

プロキシ認証 *

プロキシサーバーの認証機能を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <プロキシ認証> ▶ ▶ <OFF>または<ON> ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

ユーザー名 *

プロキシ認証を使用するときは、認証するユーザー名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。ユーザー名の入力はテンキーで行います (文字を入力する(P. 33))。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <TCP/IP 設定> ▶ ▶ <プロキシ設定> ▶ ▶ <ユーザー名> ▶ ▶ ユーザー名を入力 ▶ ▶ ハードリセット (ハードリセットする(P. 465))

パスワード*

プロキシ認証を使用するときは、認証するユーザー名を 24 文字以内の半角英数字で入力します。パスワードの入力はテンキーで行います（▶**文字を入力する(P. 33)**）。



▶（セットアップ）▶<ネットワーク>▶**OK**▶メッセージを確認▶**OK**▶<TCP/IP 設定>▶**OK**▶<プロキシ設定>▶**OK**▶<パスワード>▶**OK**▶パスワードを入力▶**OK**▶ハードリセット（▶**ハードリセットする(P. 465)**）

SNTP

ネットワーク上のタイムサーバーから時刻を取得するかどうかを設定します。サーバーのアドレス設定はリモート UI から行う必要があります。▶**SNTP の設定をする(P. 196)**

OFF
ON



▶（セットアップ）▶<ネットワーク>▶**OK**▶メッセージを確認▶**OK**▶<TCP/IP 設定>▶**OK**▶<SNTP>▶**OK**▶<OFF>または<ON>▶**OK**▶ハードリセット（▶**ハードリセットする(P. 465)**）

探索応答

ネットワーク上でマルチキャスト探索が行われたときに、探索パケットに応答するかどうかを設定します。本機を特定のスコープに所属させるためのスコープ名の設定はリモート UI から行う必要があります。▶**デバイス管理ソフトウェアの設定をする(P. 205)**

OFF
ON



▶（セットアップ）▶<ネットワーク>▶**OK**▶メッセージを確認▶**OK**▶<TCP/IP 設定>▶**OK**▶<探索応答>▶**OK**▶<OFF>または<ON>▶**OK**▶ハードリセット（▶**ハードリセットする(P. 465)**）

IPSec*

IPSec で構築した VPN（仮想プライベートネットワーク）を介してパソコンと暗号化通信を使用するかしないかを設定します。セキュリティポリシーの登録や設定はリモート UI から行う必要があります。▶**IPSec の設定をする(P. 273)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ < IPSec > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

スリープ通知設定

本機の電源状態を imageWARE に通知する SLP 通信の設定をします。節電状態中における無駄な通信の削減や、総消費電力の抑制などの効果が期待できます。  デバイス管理ソフトウェアの設定をする(P. 205)

スリープ通知

SLP 通信を使用するかどうかを設定します。< ON > に設定すると本機の電源状態が imageWARE に通知されます。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ <スリープ通知設定> ▶  ▶ <スリープ通知> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

ポート番号 *

管理ソフトウェアとの SLP 通信で使用するポート番号を入力します。

1~11427~65535



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ <スリープ通知設定> ▶  ▶ <ポート番号> ▶  ▶ テンキーでポート番号を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

通過させるルーター数 *

SLP 通信パケットが最大で何台のルーターを通過できるかを指定します。

0~3~254



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ <スリープ通知設定> ▶  ▶ <通過させるルーター数> ▶  ▶ テンキーで通過させるルーター数を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

通知間隔 *

何秒おきに本機の電源状態を通知するかを入力します。

60～600～65535



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < TCP/IP 設定 > ▶  ▶ <スリープ通知設定> ▶  ▶ <通知間隔> ▶  ▶ テンキーで通知間隔を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

Mopria

Mopria®を使用するかどうかを設定します。  Mopria®で印刷する(P. 131)

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ < Mopria > ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶  ▶ ハードリセット ( ハードリセットする(P. 465))

Google クラウド プリント

クラウドプリントを使用するかどうかを設定します。  クラウドプリントの設定を変更する(P. 141)

- クラウド プリントを使用
OFF
ON
- 登録状況

SMB *

本機を SMB ネットワークの共有プリンターとして使用するかどうかを設定します。サーバー名やワークグループ名など、その他の SMB に関する設定はリモート UI から行う必要があります。  SMB の設定をする(P. 209)

SMB サーバー

本機を SMB サーバーとして SMB ネットワークに表示するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SMB> ▶  ▶ <SMBサーバー> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

SMB 印刷*

SMB 印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SMB> ▶  ▶ <SMB印刷> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

SNMP 設定

SNMP 対応ソフトウェアで本機を監視／制御するための設定をします。  **SNMP で監視／制御する (P. 199)**

SNMPv1 設定

SNMPv1 を使うための設定をします。所属するコミュニティ名および管理情報データベース (MIB) へのアクセス権限の設定はリモート UI から行う必要があります。

SNMPv1

SNMPv1 を使用するかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv1 設定> ▶  ▶ <SNMPv1> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする (P. 465)**)

専用コミュニティ設定

専用コミュニティは imageWARE Enterprise Management Console など、キヤノンのソフトウェアを使用する管理者用に用意されたコミュニティです。管理情報データベース (MIB) のアクセス権限を選びます。

専用コミュニティ

OFF

読込/書込

読込のみ



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv1 設定> ▶  ▶ <専用コミュニティ設定> ▶  ▶ <専用コミュニティ> ▶  ▶ アクセス権限を選択 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

SNMPv3 設定

SNMPv3 を使うための設定をします。SNMPv3 を使用するときに応用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。

SNMPv3

SNMPv3 を使用するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv3 設定> ▶  ▶ <SNMPv3> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

ユーザー設定 1～5 *

SNMPv3 で使用するユーザー情報の認証パスワードと暗号化パスワードを設定します。ユーザー情報はリモート UI で登録しておく必要があります。  **SNMP で監視／制御する(P. 199)**

認証パスワード／暗号化パスワード

パスワードは 6 ～ 16 文字の半角英数字で入力します。パスワードの入力はテンキーで行います ( **文字を入力する(P. 33)**)。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <SNMPv3 設定> ▶  ▶ ユーザー設定番号を選択 ▶  ▶ ユーザー名を確認 ▶  ▶ <認証パスワード>または<暗号化パスワード> ▶  ▶ パスワードを入力 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

スリープ時パケット受信拒否

スリープモード中に受信した SNMP パケットを破棄するかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <SNMP 設定> ▶  ▶ <スリープ時パケット受信拒否> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)



MEMO

- <ON>に設定すると、キャノン製ソフトウェア（imageWARE Series）などの SNMP プロトコルを使用するアプリケーションから、本機へアクセスできない場合があります。

スプール機能*

受信した印刷データの格納場所を SD カードの領域まで広げるかどうかを設定します。<ON>に設定すると、より多くの印刷データを受信することができます。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <スプール機能> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

並列受信

複数の印刷データを本機に送信したときに、効率的に処理するかどうかを設定します。<OFF>に設定すると、受信した順番どおりに印刷されますが、印刷速度が遅くなる場合があります。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <並列受信> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)



MEMO

- <OFF>に設定しても、保存ジョブプリントを行っているときなど、状況によっては受信した順番どおりに保存されない場合があります。

起動時の接続待機時間

通信開始までの待ち時間を設定します。本機を接続したネットワーク環境に合わせて設定してください。▶ネットワーク接続時の待機時間を設定する(P. 186)

0 ～ 300 (秒)

リモート UI 設定

リモート UI を使うための設定をします。リモート UI を使うとウェブブラウザから本機の設定ができます。

リモート UI

リモート UI を使うかどうかを設定します。▶リモート UI を無効にする(P. 262)

OFF
ON

リモート UI アクセス保護設定

リモート UI にアクセスするときに暗証番号を使用するかどうかを設定します。▶リモート UI の暗証番号を設定する(P. 233)

OFF
ON

TLS の使用 *

リモート UI の通信に TLS を使用するかどうかを設定します。TLS による暗号化通信を行うには、リモート UI で TLS に使用する鍵ペアを指定しておく必要があります (▶TLS で暗号化通信をする(P. 268))。

OFF
ON



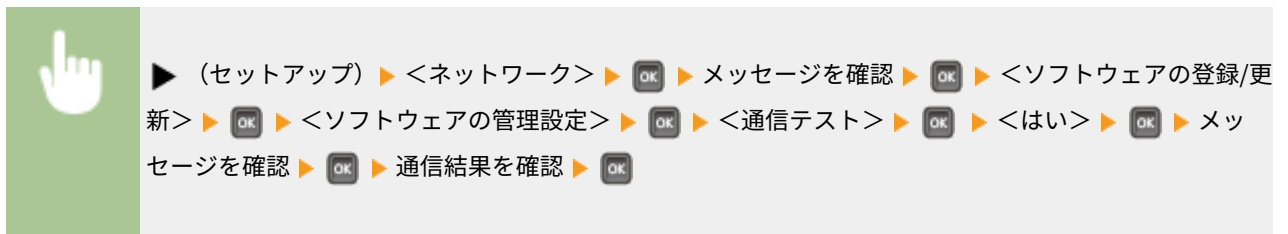
▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <リモート UI 設定> ▶ ▶ <TLS の使用> ▶ ▶ <OFF> または <ON> ▶ ▶ ハードリセット (▶ハードリセットする(P. 465))

ソフトウェアの登録/更新 *

MEAP アプリケーションの登録や更新時に接続する配信サーバーへの通信確認を行います。

ソフトウェアの管理設定

通信テスト



Ethernet ドライバー

イーサネットの通信方式（半二重／全二重）や種類（10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T）を設定します。▶ **イーサネットの設定をする(P. 184)**

自動検出

通信方式と種類を自動検出するかどうかを設定します。

OFF
ON

通信方式 *

手動で設定する場合にイーサネットの通信方式を選びます。

半二重
全二重

Ethernet 種類 *

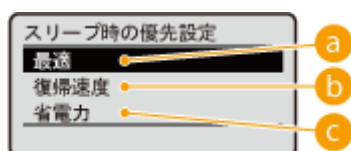
手動で設定する場合にイーサネットの種類を選びます。

10 Base-T
100 Base-TX
1000 Base-T

スリープ時の優先設定

スリープモードから復帰するときの速度を優先するか、スリープ中の省電力を優先するかを設定します。

最適
復帰速度
省電力



a 最適

スリープモードからの復帰が速くなります。ハブやルーターなど、本機と直接接続されている機器が EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能に対応しているときは、消費電力をより抑えることができます。通常はこの設定でお使いください。

b 復帰速度

スリープモードからの復帰が速くなります。

c 省電力

スリープ中の通信速度を抑えることにより、電力の消費をより小さくします。



- 本項目は、＜スリープモード＞を＜レベル高（ディープスリープ）＞に設定しているときに有効です。▶ **スリープモードにする(P. 65)**

IEEE802.1X

IEEE 802.1X 認証を使用するかどうかを設定します。IEEE 802.1X 認証を使用するときに適用される詳細な設定はリモート UI から行う必要があります。▶ **IEEE 802.1X 認証の設定をする(P. 284)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < IEEE802.1X > ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶ ▶ ハードリセット (▶ **ハードリセットする(P. 465)**)

アドレスフィルター

IP アドレスや MAC アドレスを使った通信制限を有効にするかどうかを設定します。制限するアドレスの設定はリモート UI から行う必要があります。▶ **ファイアウォールで通信制限する(P. 235)**

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <アドレスフィルター> ▶  ▶ <OFF>または<ON> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

MAC アドレス

通信機器固有の番号である MAC アドレスを確認します。

(表示のみ)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <MAC アドレス> ▶ 

E メール印刷設定

E メール印刷機能を使うための設定をします。メールサーバーの設定など、その他の E メール印刷に関する設定はリモート UI から行う必要があります。  **E メールを受信して印刷する (E メール印刷) (P. 119)**

POP3 受信間隔

メールサーバーへ自動的に接続する間隔を分単位で設定します。サーバーのメールボックスに新着メールがあれば、自動受信して印刷します。

0 ～ 90 (分)



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <E メール印刷設定> ▶  ▶ <POP3 受信間隔> ▶  ▶ テンキーで自動受信する間隔を入力 ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)



- 「0」に設定したときは自動受信を行いませんので、手動で E メールを受信してください。  **E メールを手動で受信する(P. 123)**

POP3 受信

POP3 メールサーバーからの E メール印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF

ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <Eメール印刷設定> ▶ ▶ <POP3 受信> ▶ ▶ <OFF> または <ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 465)**)

SMTP 受信

SMTP プロトコルでの E メール印刷を有効にするかどうかを設定します。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <Eメール印刷設定> ▶ ▶ <SMTP 受信> ▶ ▶ <OFF> または <ON> ▶ ▶ ハードリセット (**ハードリセットする(P. 465)**)

NetEye

遠隔監視サーバーへの通信を行ったり、通信履歴を表示したりします。

通信テスト

遠隔監視サーバーへの通信確認を行います。この項目を実行すると、本機の情報定期的に遠隔監視サーバーへ送信されるようになります。ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。詳しい設定内容については **本機を準備する(P. 524)** を参照してください。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <NetEye> ▶ ▶ <通信テスト> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <はい> ▶

通信ログ

<通信テスト> で発生したエラー情報などの通信履歴を表示します。

(表示のみ)



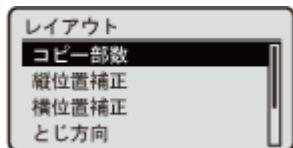
▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶ ▶ メッセージを確認 ▶ ▶ <NetEye> ▶ ▶ <通信ログ> ▶ ▶ ログを選択 ▶ ▶ 時刻を選択 ▶

ネットワーク設定初期化

ネットワーク設定をお買い上げ時の状態に戻します。  **ネットワーク設定を初期化する(P. 517)**

レイアウト

4L33-04U



とじしろの余白や印字位置など、印刷するときの体裁に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶ コピー部数(P. 379)
- ▶ 縦位置補正／横位置補正(P. 379)
- ▶ とじ方向(P. 380)
- ▶ とじしろ(P. 381)
- ▶ 特殊両面処理(P. 382)

コピー部数

印刷部数を設定します。

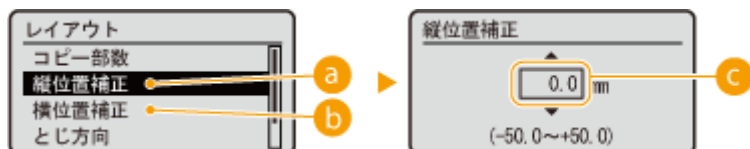
1～9999



縦位置補正／横位置補正

給紙部にかかわらず、すべての印刷における印字位置を 0.5 mm 単位でずらすように設定できます。

-50.0 ～ **0.0** ～ +50.0 (mm)



a <縦位置補正>

タテ方向に印字位置をずらします。

b <横位置補正>

ヨコ方向に印字位置をずらしします。

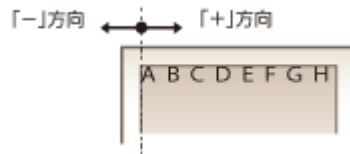
c 設定値の入力

<縦位置補正>の場合、用紙の上から下方向へずらすときは「+」に設定します。<横位置補正>の場合、用紙の左から右方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。

<縦位置補正>



<横位置補正>



より細かく印字位置を設定する

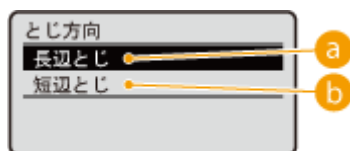
- <ユーザーメンテナンス>の<印字位置調整>で、給紙部ごとに細かく印字位置を設定することができます。ただし、設定できる範囲は -50.0 mm ~ +50.0 mm の間になります。▶[印字位置調整\(P. 390\)](#)

とじ方向

印刷文書をホチキスなどでとじる場合、とじ位置を用紙の長辺と短辺のどちらにするのかを設定します。とじ位置の余白調整をする<とじしろ>と組み合わせて設定します。

長辺とじ

短辺とじ



a <長辺とじ>

用紙の長辺をとじたいときに設定します。



b <短辺とじ>

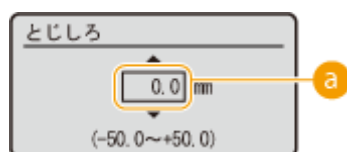
用紙の短辺をとじたいときに設定します。



とじしろ

印刷データをずらすことで、<とじ方向>で設定した辺の余白幅を調整します。「0.0」に設定しているときは余白に変化はありません。

-50.0 ~ 0.0 ~ +50.0 (mm)



a 設定値の入力

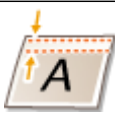
印刷データをずらす方向と幅を設定します。設定値が「+」の数値か「-」の数値かによって、余白を広げる辺が変わります。余白幅の調整は0.5 mm単位で設定することができます。

■タテ向きの文書のとき

設定値	長辺とじ	短辺とじ
「+」の数値に設定	用紙の左端（左とじ用） 	用紙の上端（上とじ用）
「-」の数値に設定	用紙の右端（右とじ用） 	用紙の下端（下とじ用）

■ヨコ向きの文書のとき

設定値	長辺とじ	短辺とじ
「+」の数値に設定	用紙の左端（上とじ用）	用紙の上端（右とじ用）

設定値	長辺とじ	短辺とじ
		
「一」の数値に設定	用紙の右端（下とじ用） 	用紙の下端（左とじ用） 

特殊両面処理

奇数のページ数の文書を両面印刷するときに、最後のページを片面印刷で処理するかどうかを設定します。＜ON＞に設定すると、通常の両面印刷よりも早く印刷が完了します。

OFF
ON



MEMO

文書が偶数ページ数でも片面処理で終わるとき

最後のページが以下のような場合は、偶数ページ数でも片面印刷で処理されます。

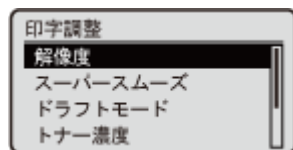
- 白紙ページの場合
- 両面印刷できない用紙サイズなどの理由で、印刷できないページの場合

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うとき

- ＜ON＞に設定して最後のページを片面印刷で処理すると、ページの向きやプリントする面が他のページと異なってしまうことがあります。そのような場合は＜OFF＞に設定してください。

印字調整

4L33-04W



解像度やトナー濃度など、印刷の品質に関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

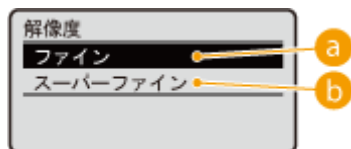
- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ 解像度(P. 383)
- ▶ スーパースムーズ(P. 384)
- ▶ ドラフトモード(P. 384)
- ▶ トナー濃度(P. 384)
- ▶ トナー濃度 (微調整) (P. 384)
- ▶ 中間調選択(P. 385)
- ▶ 画質警告(P. 386)
- ▶ 印字幅調整(P. 386)

解像度

印刷データを処理するときの解像度を設定します。

ファイン
スーパーファイン



a <ファイン>

高速で印刷する場合に適したモードです。

b <スーパーファイン>

高い解像力で文字や図形輪郭をリアルに再現できます。特に小さい文字が多く含まれるデータを印刷するのに適したモードです。

スーパースムーズ *

文字や図形の輪郭をなめらかに印刷するスムージング処理を使うかどうかを設定します。＜解像度＞が＜スーパーファイン＞のときは表示されません。

OFF
ON



ドラフトモード

大量に印刷するときなど、レイアウトなどの仕上がりを事前に確認してから印刷したいときに設定します。トナーを節約して印刷するため、細い線や濃度の薄い部分が不鮮明になることがあります。

OFF
ON



トナー濃度 *

印刷時のトナー濃度を調整します。＜ドラフトモード＞が＜ON＞のときは表示されません。▶印刷濃度を調整する (P. 492)

-8～0～+8

トナー濃度（微調整） *

印刷時のトナー濃度を3段階に分かれた濃度域別に微調整します。＜ドラフトモード＞が＜ON＞のときは表示されません。▶印刷濃度を調整する (P. 492)

• 高濃度

- 8～0～+8
- 中濃度
 - 8～0～+8
- 低濃度
 - 8～0～+8

中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 解像度**
 - 階調
 - 色調
 - 高解像度
- グラフィックス
 - 解像度
 - 階調
 - 色調**
 - 高解像度
- イメージ
 - 解像度
 - 階調
 - 色調**
 - 高解像度



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。＜テキスト＞は文字、＜グラフィックス＞は線や図形、＜イメージ＞は写真などの画像が対象となります。

b <解像度>

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

c <階調>

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

d <色調>

明暗のコントラストを効かせたメリハリある印刷をします。写真画像などのイメージデータを印刷するのに適しています。

e <高解像度>

<解像度>よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

画質警告

処理に必要なメモリーが不足したときに、自動的に画質を落として印刷を継続するかどうかを設定します。

印刷継続
印刷停止



- <印刷停止>に設定すると、メモリーが不足した場合にエラーメッセージを表示して印刷が停止します。☐ (オンライン) を押すと画質を落として印刷を再開することができます。

印字幅調整

印刷された文字や細線がかすれる場合に調整します。

-7~0~+8



インターフェイス

4L33-04X

インターフェイス
インターフェイス選択
タイムアウト
コネクション認識
拡張受信バッファ

パソコンや USB とのインターフェイスに関するすべての設定項目を一覧で説明します。
太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ インターフェイス選択(P. 387)
- ▶ タイムアウト(P. 388)
- ▶ コネクション認識(P. 389)
- ▶ 拡張受信バッファ(P. 389)

インターフェイス選択

本機に使用するインターフェイスを選択します。

USB

USB ポートを使用するかどうかを設定します。 ▶ パソコンとの USB 接続を制限する(P. 254)

OFF
ON

ネットワーク

LAN ポートを使用するかどうかを設定します。 ▶ LAN ポートを無効にする(P. 263)

OFF
ON

USB 拡張機能 *

USB 機器を使用する機能の選択や、使用するドライバーの選択の設定を行います。

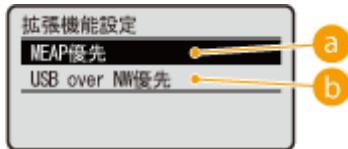
拡張機能設定

USB 機器を接続したときに、MEAP アプリケーションと USB over NW のどちらを優先するかを設定します。

MEAP 優先
USB over NW 優先



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <インターフェイス選択> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <USB 拡張機能> ▶  ▶ <拡張機能設定> ▶  ▶ <MEAP 優先>または<USB over NW 優先> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)



a < MEAP 優先 >

MEAP アプリケーションを優先する場合に設定します。

b < USB over NW 優先 >

USB over NW を優先する場合に設定します。本機の USB ポートに接続した USB 機器を、パソコンから使用することができる機能です。

USB 外部記憶デバイス

USB メモリーを使用するときのデバイスドライバーについて設定します。

MEAP ドライバー

USB メモリーを本機に取り付けたときに、MEAP 専用のデバイスドライバーを使うかどうかを設定します。USB メモリーからパソコンを介さずに直接印刷（メディアプリント）をするような場合は、< OFF >に設定しておきます。

OFF
ON



▶ (セットアップ) ▶ <インターフェイス> ▶  ▶ <インターフェイス選択> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <USB 拡張機能> ▶  ▶ <USB 外部記憶デバイス> ▶  ▶ <MEAP ドライバー> ▶  ▶ < OFF >または< ON > ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

タイムアウト

LIPS モード以外で動作中に、印刷データの受信が中断されたときの動作を設定します。

タイムアウト

印刷データの受信が一定時間中断された場合に、印刷をキャンセルするかどうかを設定します。

OFF
ON



タイムアウト時間 *

タイムアウトするまでの時間を設定します。

5 ～ 15 ～ 300 (秒)



コネクション認識

LAN 接続での印刷時に、「オーバーレイプリントが正しくできない」などの問題や文字化けが発生することがあります。そのような場合は、この項目を< OFF >に設定してください。

OFF
ON



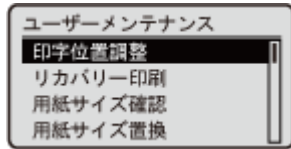
拡張受信バッファ

本機に搭載されたメモリーに対し、パソコンからの印刷データを受け取る領域の容量を増やすかどうかを設定します。< ON >に設定すると、大量のデータや複雑なデータを送るときに、パソコンが印刷データの処理や送信から開放されるまでの時間を早めることができます。

OFF
ON



ユーザーメンテナンス



給紙部ごとの印字位置の補正や印刷品質を改善させる設定など、本機の調整に関する設定項目を一覧で説明します。ここでの設定項目は、本機がオフラインのときに変更することができます。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|----------------------|---------------------------|
| ▶ 印字位置調整(P. 390) | ▶ SD カードメンテナンス(P. 396) |
| ▶ リカバリー印刷(P. 391) | ▶ 特殊印字処理(P. 396) |
| ▶ 用紙サイズ確認(P. 391) | ▶ 特殊印字モード C(P. 398) |
| ▶ 用紙サイズ置換(P. 391) | ▶ ファームウェア更新(P. 398) |
| ▶ 縦送り印字優先モード(P. 392) | ▶ 給紙方法切替(P. 399) |
| ▶ 転写特殊処理(P. 392) | ▶ ジョブ一覧表示(P. 400) |
| ▶ 特殊印字モード A(P. 393) | ▶ 薄紙カール軽減モード(P. 400) |
| ▶ 二次転写微調整(P. 393) | ▶ 設定のインポート/エクスポート(P. 401) |
| ▶ 用紙しわ補正(P. 394) | ▶ クリーニング予告(P. 401) |
| ▶ 残像補正(P. 394) | ▶ クリーニング予告時期(P. 402) |
| ▶ 転写特殊処理 2(P. 394) | ▶ トナー交換予告時期(P. 402) |
| ▶ 搬送特殊処理(P. 395) | ▶ トナー交換予告時期指定(P. 402) |
| ▶ 転写不良改善(P. 395) | ▶ 結露対策モード(P. 403) |
| | ▶ カートリッジ交換後の補正(P. 403) |

印字位置調整

給紙部ごとに印字位置を調整します。▶ 印字位置を調整する(P. 494)

共通

両面印刷の 1 ページ目（オモテ面）に印刷するときのタテ／ヨコ方向の印字位置を調整します。2 ページ目（ウラ面）の印字位置は、印刷時の給紙部の設定に従います。

- 縦位置補正(両面)／横位置補正(両面)
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0 (mm)

手差し

手差しトレイから印刷するときのタテ／ヨコ方向の印字位置を調整します。

- 縦位置補正(手差し)／横位置補正(手差し)
-5.0 ～ **0.0** ～ +5.0 (mm)

カセット 1～4 *

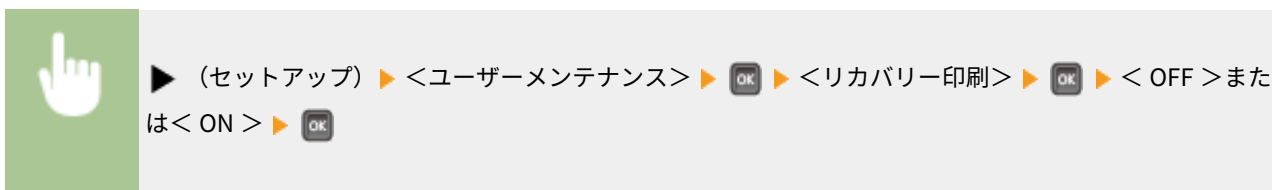
給紙カセットから印刷するときのタテ／ヨコ方向の印字位置を調整します。

- 縦位置補正(カセット 1～4)／横位置補正(カセット 1～4)
-5.0 ～ 0.0 ～ +5.0 (mm)

リカバリー印刷

紙づまりが起きたときやエラーが発生したときに、印刷が中断したページを再度印刷するかどうかを設定します。

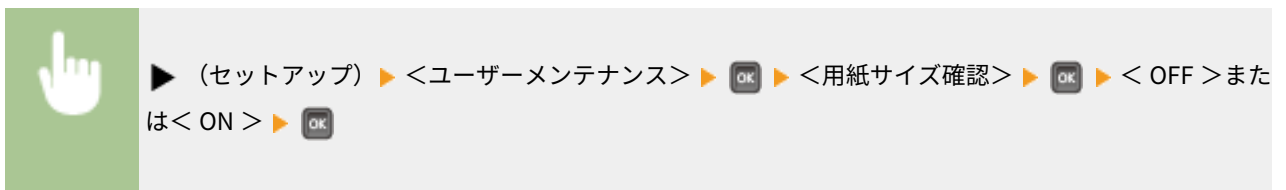
OFF
ON



用紙サイズ確認

用紙サイズが<フリーサイズ>に設定されている給紙部から印刷したときに、給紙された用紙のサイズを確認するかどうかを設定します。< ON >に設定すると、給紙された用紙のサイズが印刷データと異なる場合、用紙サイズを確認するメッセージを表示して印刷が停止します。

OFF
ON



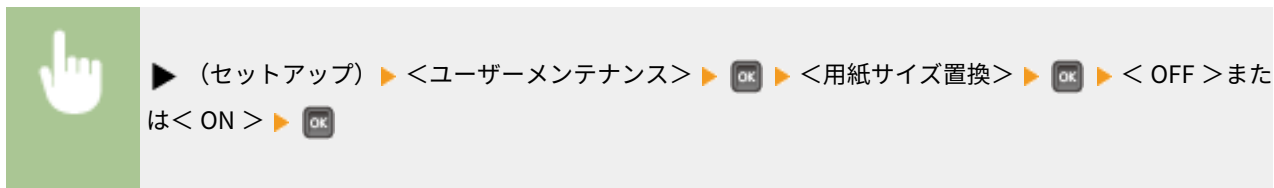
- 給紙された用紙と印刷データのサイズにあまり差がないときは、設定が< ON >であってもメッセージは表示されず印刷を継続することがあります。

用紙サイズ置換

A4 とレターサイズ of 用紙を互いに代用して印刷するかどうかを設定します。< ON >を選ぶと、「パソコンから印刷しようと A4 用紙を指定したがセットされていないかった」というとき、代わりにレターサイズの用紙に印刷されます。

OFF

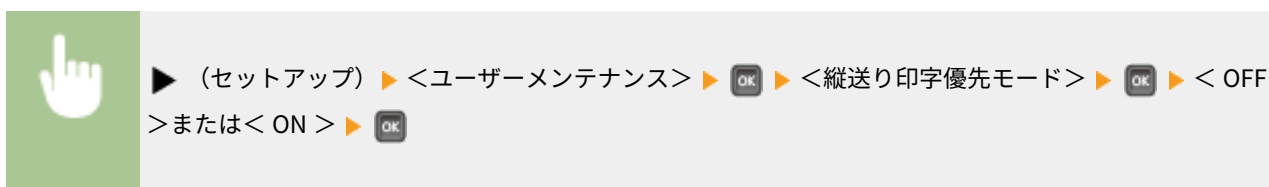
ON



縦送り印字優先モード

タテとヨコ両方のセットができる用紙サイズを印刷するときに、タテ向きの用紙を優先して給紙したい場合、この項目を< ON >に設定してください。この設定は<給紙モード>が<自動>の場合にのみ適用されます。

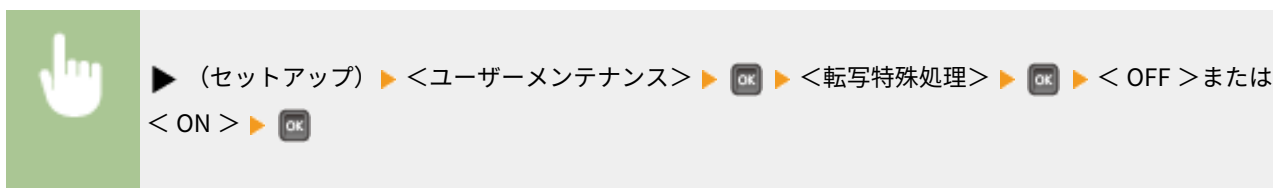
OFF
ON



転写特殊処理

低湿度環境で使用しているときに、画像や文字がにじむことがあります。その場合は、< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



MEMO

- < ON >に設定すると、高湿度環境で使用しているときに濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

特殊印字モード A

用紙の種類や使用環境によっては、印刷された用紙に、にじんだような汚れが付くことがあります。その場合は、この項目を設定すると改善されることがあります。改善効果は＜モード 1＞が最も弱く、＜モード 4＞が最も強くなります。

OFF
モード 1
 モード 2
 モード 3
 モード 4



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <特殊印字モード A> ▶ ▶ モードを選択 ▶



- 改善効果を強くすると、印刷濃度は薄くなります。また、輪郭がはっきりしなくなったり、粗さが少し目立ったりする場合があります。
- <モード 3>または<モード 4>に設定すると、印刷速度が遅くなります。

二次転写微調整

高湿度環境で使用しているときに、濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。その場合は、＜ON＞に設定すると改善されることがあります。

OFF
 ON



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶ ▶ <二次転写微調整> ▶ ▶ < OFF > または < ON > ▶



- < ON >に設定すると、低湿度環境で使用しているときに画像や文字がにじむことがあります。

用紙しわ補正

印刷された用紙にしわが発生する場合には、この項目を＜ ON ＞に設定してください。

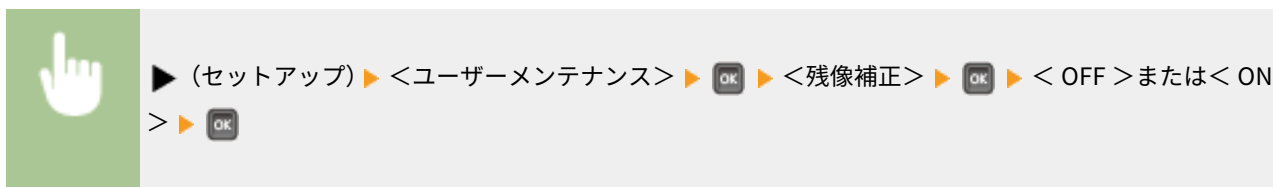
OFF
ON



残像補正

小さいサイズの下紙に印刷してから、続けて大きなサイズの下紙に印刷する場合、印刷しない部分に残像が現れることがあります。その場合は、この項目を＜ ON ＞に設定すると、改善されることがあります。

OFF
ON

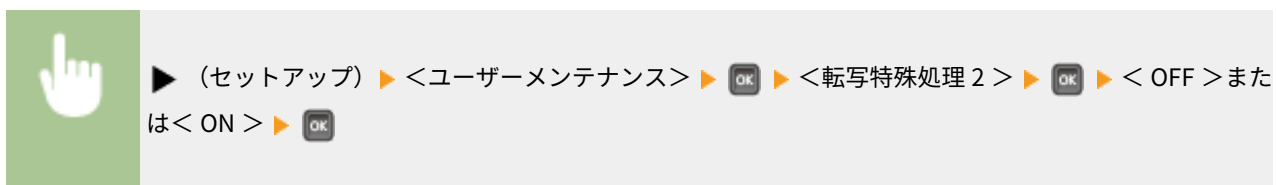


- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなる場合があります。

転写特殊処理 2

<転写特殊処理>を設定しても画像や文字がにじむ場合は、この項目を＜ ON ＞に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



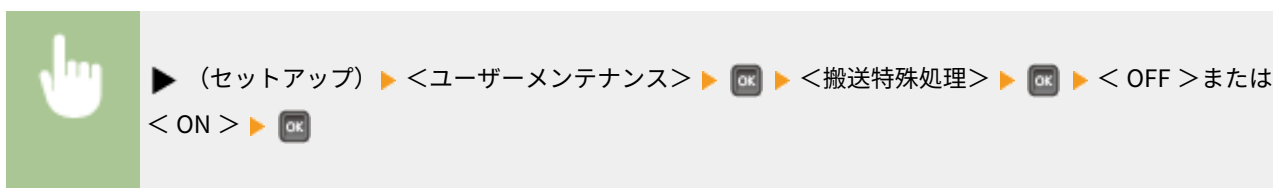


- < ON >に設定すると、高湿度環境で使用しているときに濃度が薄くなったりムラが発生したりすることがあります。

搬送特殊処理

用紙の種類や使用環境によっては、印刷された用紙にしわがでたり、用紙の先端部分に黒い横すじが現れることがあります。その場合は、この項目を設定すると改善されることがあります。

OFF
ON

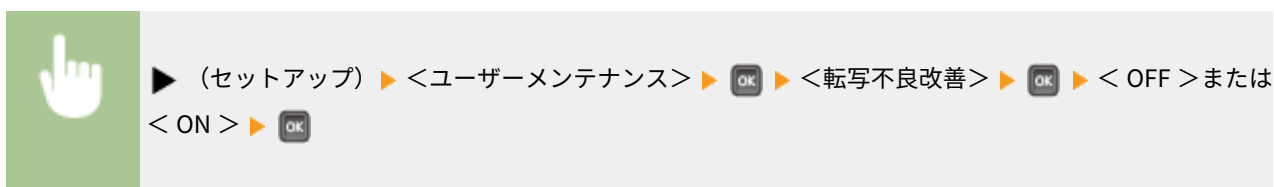


- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。

転写不良改善

本機を長時間使用していないときなどに両面印刷を行うと、画像が部分的に白く抜けることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。

SD カードメンテナンス *

SD カードにエラーが発生したり、SD カードを廃棄したりする場合に、データをすべて消去することができます。

フォーマット

SD カードの初期化を行います。SD カードに保存されているデータはすべて消去されます。



廃棄時消去

SD カードのデータを消去します。通常では消すことができないデータの断片をすべて消去してから廃棄したいときに、必要に応じて行ってください。▶SD カードのデータをすべて消去する(P. 568)

特殊印字処理

正しく印刷できないときに設定する項目がまとめられています。

用紙カール補正

印刷された用紙がカールするときは、この項目を< ON >に設定してください。

OFF
ON

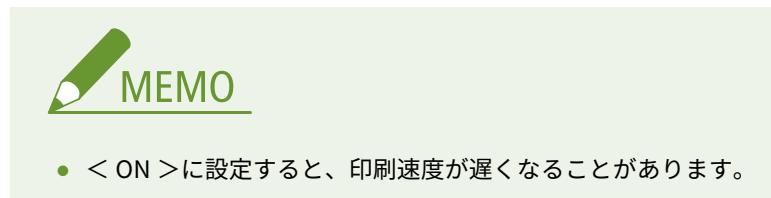
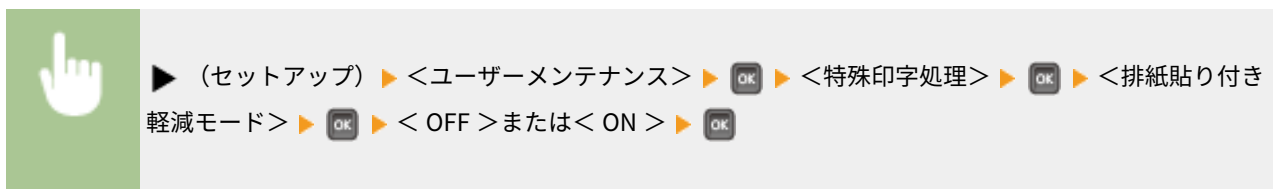


- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなることがあります。また、印刷がかすれることがあります。

排紙貼り付き軽減モード

印刷データの画像濃度によっては、両面印刷時に用紙同士が貼り付いてしまうことがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON

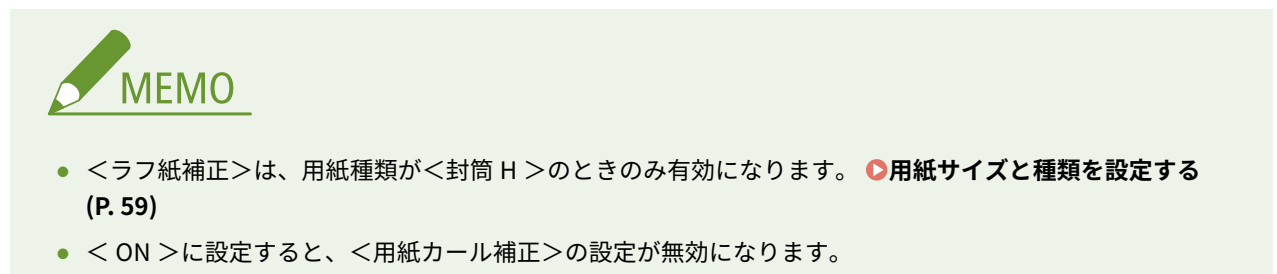
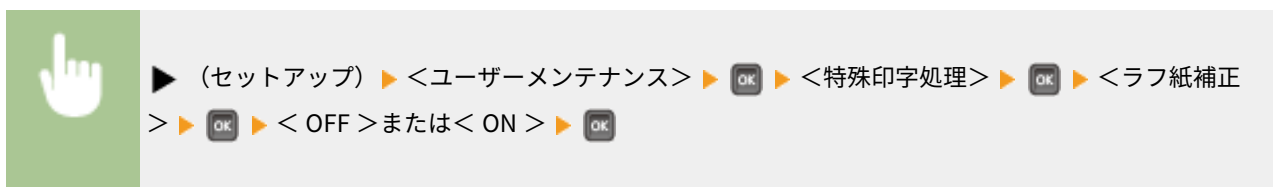


ラフ紙補正

封筒に印刷する場合、使用環境によっては、印刷された画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、この項目を<ON>に設定すると改善されることがあります。ただし、印刷速度が遅くなります。

OFF

ON

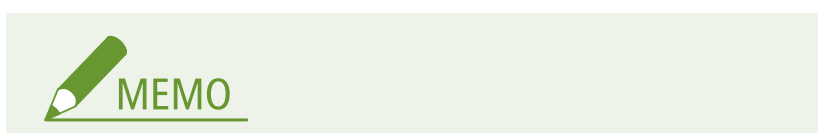


両面プリント時速度優先

両面印刷時に、印刷速度が遅くなることがあります。印刷速度の低下を防ぐには、<ON>に設定します。

OFF

ON



- < ON >に設定すると、すじ状の汚れが発生する場合があります。

はがき定着性改善

はがきに印刷する場合、使用環境によっては、印刷された画像のトナーがはがれることがあります。その場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

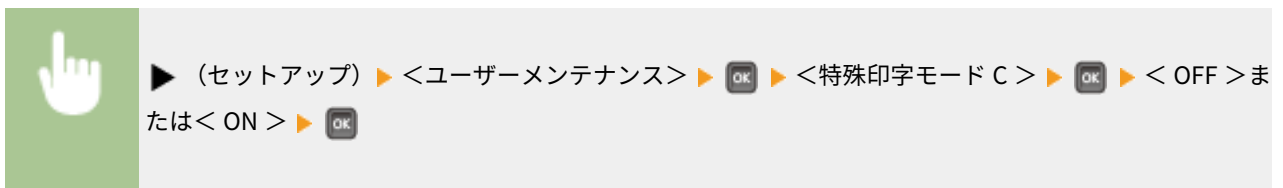
OFF
ON



特殊印字モード C

印刷音が気になるときは、この項目を< ON >に設定してください。

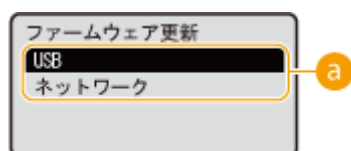
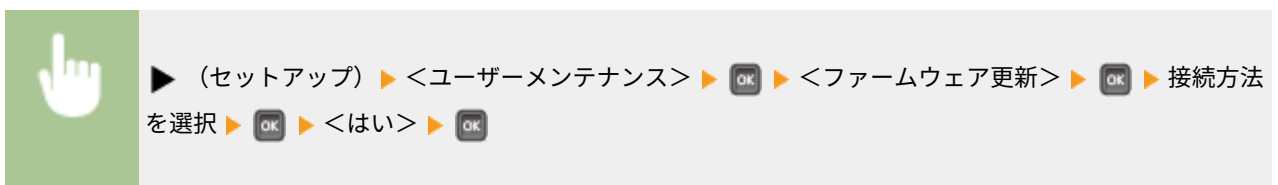
OFF
ON



- < ON >に設定すると、印刷速度が遅くなります。

ファームウェア更新

本機のファームウェアをバージョンアップします。



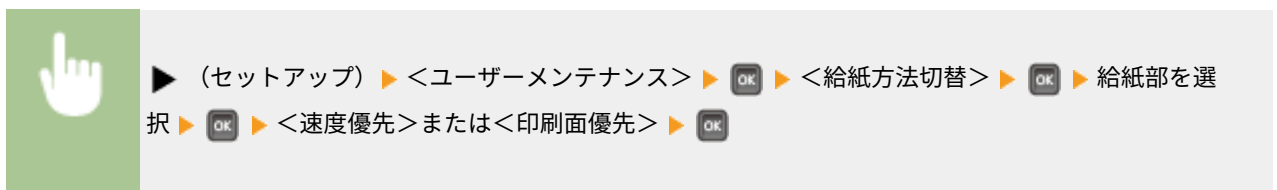
a 接続方法の選択

ファームウェア更新を実行するパソコンとの接続方法を選びます。

給紙方法切替

ロゴマーク付きの用紙に印刷するときに設定します。通常、ロゴマーク付きの用紙を印刷するときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙のオモテ／ウラを変更しなければなりませんが、＜印刷面優先＞に設定すれば、いずれの場合もロゴマーク面がウラになるようにセットするだけで済みます。詳細については、**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)** を参照してください。

速度優先
印刷面優先



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

b ＜速度優先＞

ロゴマークなどが印刷されている用紙を使うときは、片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要があります。



- オモテ／ウラ面を考慮する必要のない用紙に印刷する場合は、＜速度優先＞に設定しておくことをおすすめします。

c ＜印刷面優先＞

片面印刷と両面印刷でセットする用紙の面を変更する必要がありません。



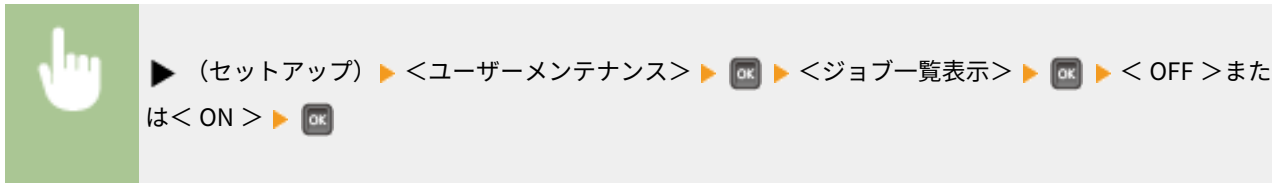
- 両面印刷できないサイズや種類の用紙（**▶用紙について(P. 539)**）をセットしている給紙部に対して＜印刷面優先＞を設定しても無効となり、＜速度優先＞の動作となります。この場合、用紙は＜速度優先＞の向きでセットしてください（**▶ロゴなどが印刷された用紙をセットする(P. 55)**）。

- <印刷面優先>に設定すると、片面印刷の速度が遅くなります。

ジョブ一覧表示

操作パネルの （ジョブ確認/中止）を押したときに、印刷中や印刷待ちのデータを一覧表示するかどうかを設定します。

OFF
ON

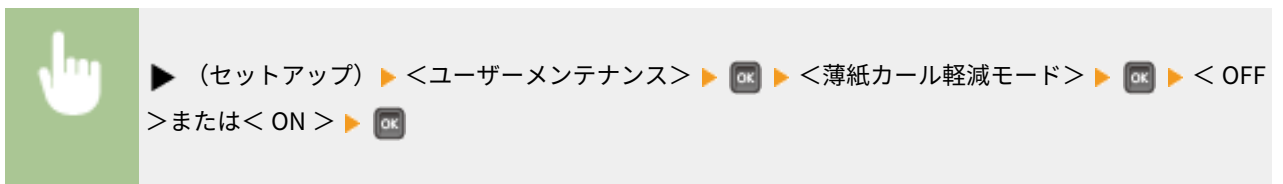


- < OFF >に設定した場合に、（ジョブ確認/中止）を押すと、現在印刷中の文書を中止します。

薄紙カール軽減モード

薄紙に印刷したときに用紙がカールする場合は、この項目を< ON >に設定すると改善されることがあります。

OFF
ON



- <薄紙カール軽減モード>は、用紙種類が<薄紙 1>のときのみ有効になります。▶**用紙サイズと種類を設定する(P. 59)**
- < ON >に設定すると、<薄紙 1>での自動両面印刷ができなくなります。また、十分にトナーが定着されずに印字がかすれる場合があります。

設定のインポート/エクスポート

本機に登録されているデータや各種設定値などを書き出して（エクスポート）、USB メモリーに保存できます。もちろん、書き出したデータは読み込む（インポート）ことができます。また、同一機種間であれば、本機から書き出したデータを他機で読み込んだり、他機のデータを本機で読み込んだりすることができます。

インポート

本機から USB メモリーに書き出したデータを読み込みます。



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <設定のインポート/エクスポート> ▶  ▶ <インポート> ▶  ▶ <はい> ▶  ▶ インポートするファイルを選択 ▶  ▶ パスワードを入力 ▶  ▶ メッセージを確認 ▶ 

エクスポート

本機に登録されているデータや各種設定値などを USB メモリーに保存します。



▶ (セットアップ) ▶ <ユーザーメンテナンス> ▶  ▶ <設定のインポート/エクスポート> ▶  ▶ <エクスポート> ▶  ▶ パスワードを入力 ▶  ▶ パスワード（確認入力）▶  ▶ メッセージを確認

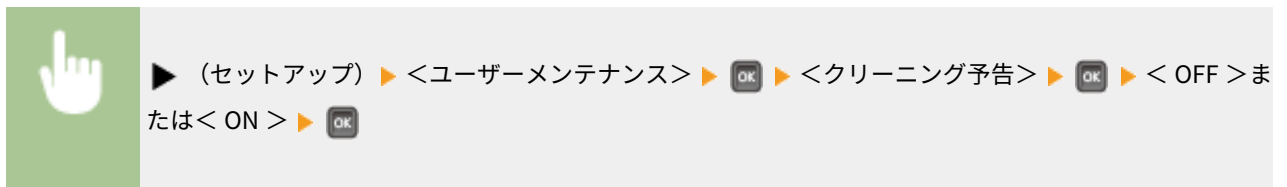


- 本体右側面の USB ポートのみ使用できます。
- USB メモリーを接続したときに、< USB メモリーから印刷できます。>の画面が表示された場合は、（機能選択）を押してください。
- 設定のインポート/エクスポートの詳細は、 **設定データの保存／読み込みをする(P. 335)** を参照してください。

クリーニング予告

定着器のクリーニングを促すメッセージを表示するかどうかを設定します。

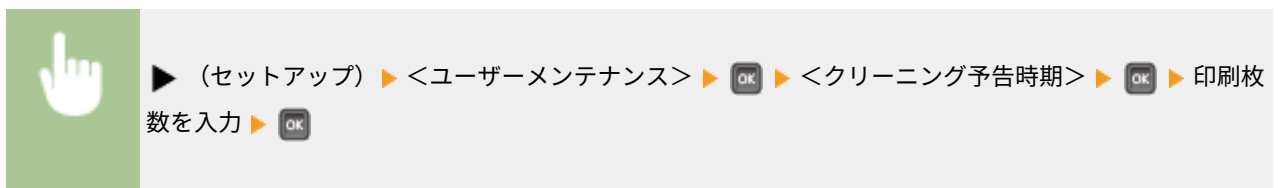
OFF
ON



クリーニング予告時期*

<クリーニング予告>を<ON>に設定したときに、定着器のクリーニングを促すメッセージを表示するタイミングを1,000ページ単位で設定できます。共通ステータスプリントではメッセージが表示されるまでの残りページ数を確認することができます（[共通ステータスプリント\(P. 499\)](#)）。

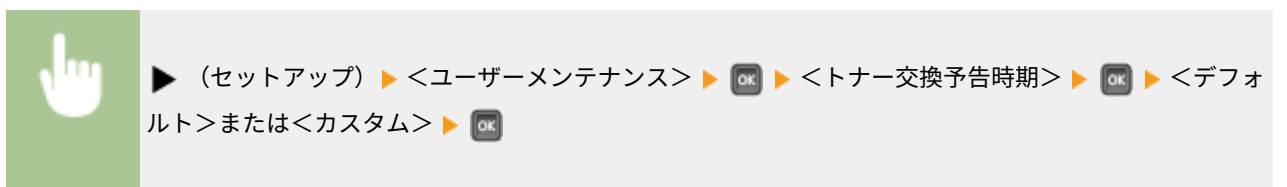
1000 ～ 50000（ページ）



トナー交換予告時期

トナーカートリッジ残量が少なくなったときのメッセージの表示タイミングを変更する場合に<カスタム>に設定します。

デフォルト
カスタム



トナー交換予告時期指定*

<トナー交換予告時期>を<カスタム>に設定したときに、メッセージを表示するタイミングを設定します。



結露対策モード

本機の設置環境に急激な温度変化があると、結露が発生して画像や文字が薄くなったりにじんだりすることがあります。本体内の結露を除去するときは、＜ON＞に設定します。

OFF
ON

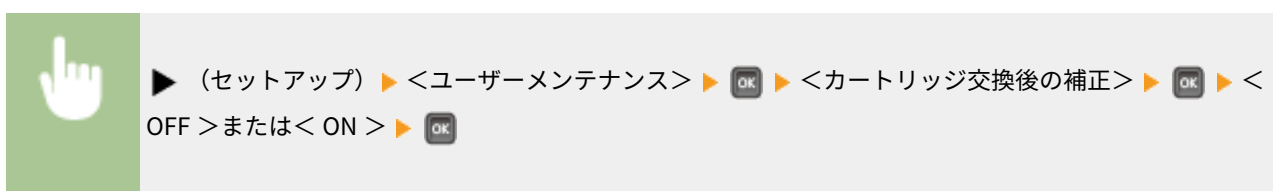


- 結露除去を実行中は、正しく印刷されずに白紙が出力される可能性があります。
- <ON>に設定したときに結露除去の効果を持続させるためには、常に本体の電源を入れておく必要があります。

カートリッジ交換後の補正

新しいトナーカートリッジに交換した直後に黒いすじが現れる場合や、厚紙に印刷したときに印字が全体的に黒ずむ場合があります。この項目を＜ON＞に設定すると改善されることがあります。

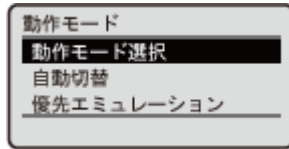
OFF
ON



- <ON>に設定したときは、次回トナーカートリッジ交換時から有効になります。
- トナーカートリッジ交換直後にトナーを均一にならす時間が必要になります。

動作モード

4L33-051



動作モード（LIPS モードやエミュレーションモードなど）の切り替えに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク（*）が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ **動作モード選択**(P. 405)
- ▶ **自動切替**(P. 405)
- ▶ **優先エミュレーション**(P. 405)

■動作モードの種類

動作モードの詳細については、▶ **動作モードについて**(P. 603) も参照してください。

自動切り替えモード	＜動作モード選択＞で＜自動選択＞に設定したときのモードです。パソコンから送信されたデータが、LIPS コマンド、ESC/P エミュレーションコマンド、オプションのエミュレーションコマンドのいずれを使用しているのかを自動的に判別して、動作モードを切り替えます。アプリケーションから印刷する場合、通常はこのモードでお使いください。
＜ LIPS ＞ *	キヤノンが独自に開発したページプリンターをコントロールするためのモードです。付属のプリンタードライバーや対応アプリケーションから印刷するときに有効です。
＜ N201 ＞ *	PC-PR201/80A プリンターをエミュレートする（まねをする）モードです。
＜ ESC/P ＞ *	IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンターの動作をエミュレートするモードです。
＜ I5577 ＞ *	IBM5577 プリンターをエミュレートするモードです。
＜ HP-GL ＞ *	HP-7550B（HP-GL）プロッタをエミュレートするモードです。
＜ HP-GL/2 ＞ *	HP Designjet 800（HP-GL/2）プリンターをエミュレートするモードです。
＜ HEX-DUMP ＞ *	パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16 進コードで印刷するヘキサダンプモードです。自動切り替えモードの対象外です。
＜ LIPS-DUMP ＞ *	パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷する LIPS ダンプモードです。コントロールコマンドで LIPS II ⁺ 、LIPS III、LIPS4 を使用しているときのみ有効です。自動切り替えモードの対象外です。
＜ PDF ＞ *	ダイレクトプリントやメディアプリントで PDF ファイルを印刷するときに有効なモードです。
＜ XPS ＞ *	ダイレクトプリントやメディアプリントで XPS ファイルを印刷するときに有効なモードです。

動作モード選択 *

本機が動作するモードを設定します。▶動作モードを固定する(P. 608)

自動選択

LIPS
N201
ESC/P
I5577
HP-GL
HP-GL/2
HEX-DUMP
LIPS-DUMP
PDF
XPS

自動切替 *

自動切り替えモードのときに、動作モードごとに自動切り替えの対象とするかどうかを設定します。▶不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す(P. 606)

OFF
ON



- すべてのモードを＜ OFF ＞に設定したときは、＜優先エミュレーション＞で設定しているモードで動作します。

優先エミュレーション *

自動切り替えモードのときに、本機がコントロールコマンドを識別できなかった場合は、優先的に切り替えるモードを設定します。▶優先的に切り替える動作モードを設定する(P. 606)

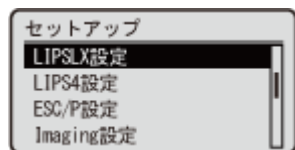
なし
LIPS
N201
ESC/P
I5577
HP-GL
HP-GL/2
PDF
XPS



- <なし>に設定していて、コントロールコマンドを識別できなかったときは、本機が自動的に動作モードを決定します。

動作モード専用の設定

4L33-052



セットアップメニューで、各動作モード専用の設定を行うことができます。動作モード専用の設定項目は各モード別にまとめられています。

- ▶ LIPSLX 設定(P. 408)
- ▶ LIPS4 設定(P. 409)
- ▶ ESC/P 設定(P. 424)
- ▶ Imaging 設定(P. 437)
- ▶ XPS 設定(P. 444)
- ▶ PDF 設定(P. 448)

LIPSLX 設定

4L33-053



コントロールコマンドで LIPSLX を使用しているときに有効となる設定項目について説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

白紙節約

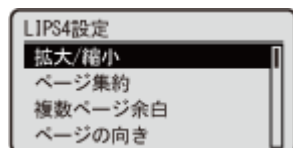
印刷データの中に白紙ページがあるときに、そのページを排出しないようにするかどうかを設定します。

OFF
ON



LIPS4 設定 LBP322i

4L33-054



コントロールコマンドの LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| ▶ 拡大/縮小(P. 409) | ▶ 行数(P. 418) |
| ▶ ページ集約(P. 410) | ▶ 桁数(P. 419) |
| ▶ 複数ページ余白(P. 411) | ▶ 自動改ページ(P. 420) |
| ▶ ページの向き(P. 413) | ▶ 自動改行(P. 420) |
| ▶ オーバーレイ 1/オーバーレイ 2(P. 413) | ▶ CR 機能(P. 421) |
| ▶ スタートアップマクロ(P. 414) | ▶ LF 機能(P. 421) |
| ▶ 漢字コード(P. 414) | ▶ 網かけ解像度(P. 422) |
| ▶ 文字サイズ(P. 416) | ▶ ジョブタイムアウト(P. 422) |
| ▶ 漢字書体(P. 416) | ▶ 白紙節約(P. 423) |
| ▶ ANK 書体(P. 417) | ▶ グレースケール変換方式(P. 423) |
| ▶ 漢字グラフィックセット(P. 417) | |

拡大/縮小

指定したサイズに合わせて、印刷データを自動的に拡大／縮小します。

OFF

- A3
- B4
- A4
- B5
- A5
- はがき
- 往復はがき
- 4 面はがき
- リーガル
- レター



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ OK ▶ < 拡大/縮小 > ▶ OK ▶ 用紙サイズを選択 ▶ OK



MEMO

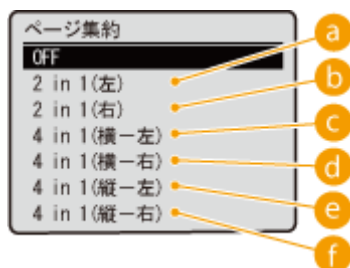
- 本機では A3、B4 の印刷ができません。＜→A3＞、＜→B4＞は選択しないようにしてください。
- 印刷データのサイズが定型サイズ（A4 や B5 など）でない場合は、正しく拡大／縮小されないことがあります。
- 拡大／縮小の処理は、データの左上端を基点として処理します。
- アプリケーションからのコマンドの内容によっては、正しく拡大／縮小して印刷されないことがあります。
- 拡大／縮小率が 25 % ～ 200 % の範囲を超える場合は、拡大／縮小は行われず等倍で印刷されます。

ページ集約

複数のページを縮小して、1 枚の用紙に印刷します。

OFF

2 in 1 (左)
2 in 1 (右)
4 in 1 (横－左)
4 in 1 (横－右)
4 in 1 (縦－左)
4 in 1 (縦－右)



a < 2 in 1 (左) >

2 ページ分のデータを左または上から並べて印刷します。



b < 2 in 1 (右) >

2 ページ分のデータを右または下から並べて印刷します。



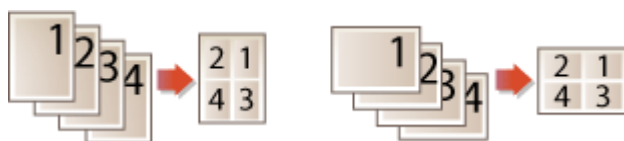
c < 4 in 1 (横－左) >

4 ページ分のデータを、左上からヨコ方向に並べて印刷します。



d < 4 in 1 (横－右) >

4 ページ分のデータを、右上からヨコ方向に並べて印刷します。



e < 4 in 1 (縦－左) >

4 ページ分のデータを、左上からタテ方向に並べて印刷します。



f < 4 in 1 (縦－右) >

4 ページ分のデータを、右上からタテ方向に並べて印刷します。

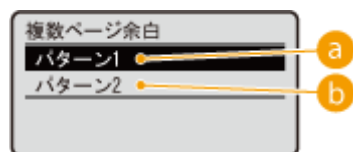


- 異なるサイズのページデータを並べて 1 ページに印刷することはできません。
- 拡大／縮小とページ集約を同時に設定した場合に、縮小率が 25 % より小さくなるときは、ページ集約は行われず正しい印刷結果にはなりません。

複数ページ余白

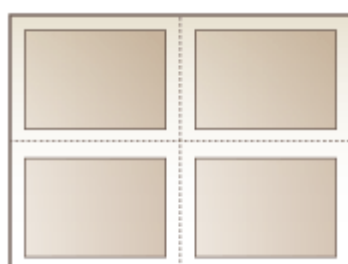
ページ集約で印刷する場合の、並べたページ間の余白を設定します。

パターン 1
パターン 2



a < パターン 1 >

各ページが接する部分に余白を付けてレイアウトします。



b < パターン 2 >

各ページが接する部分に余白を付けずにレイアウトします。



- < パターン 2 > に設定した場合でも、用紙の長辺と短辺の比率によっては、余白が付くことがあります。



- < パターン 1 > と < パターン 2 > とでは余白のとりかたが異なるため、データの縮小率が異なります。< パターン 1 > よりも < パターン 2 > の方が若干データが大きくなります。

ページの向き

印刷する向きを設定します。

縦
横



a < 縦 >

印刷データがタテ向きのときに指定します。

b < 横 >

印刷データがヨコ向きのときに指定します。

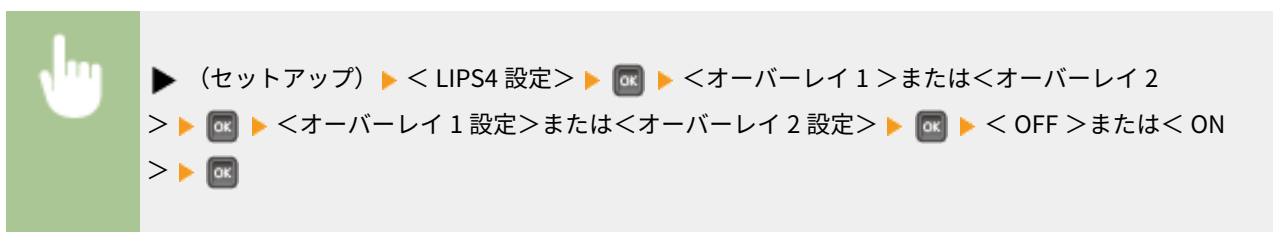
オーバーレイ 1／オーバーレイ 2

あらかじめ本機に登録されたタイトルや表などのフォーマットに、あとから別のデータを重ねて印刷する機能をオーバーレイプリントといいます。フォーマットの作成や登録は、アプリケーション側から LIPS のコントロールコマンドで行います。ページごとにフォーマットデータを送る必要がないため、効率よく印刷することができます。

オーバーレイ 1 設定／オーバーレイ 2 設定

オーバーレイプリントを行うかどうかを設定します。

OFF
ON



オーバーレイ 1 番号 *／オーバーレイ 2 番号 *

< オーバーレイ 1 設定 >／< オーバーレイ 2 設定 >を< ON >に設定した場合に、オーバーレイプリントで使用するフォーマットデータの番号を指定します。

0～32767



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ < オーバーレイ 1 > または < オーバーレイ 2 > ▶ ▶ < オーバーレイ 1 番号 > または < オーバーレイ 2 番号 > ▶ ▶ テンキーで番号を入力 ▶



MEMO

- 本体のメモリーに登録しているフォーマットデータは、電源を切るか、ハードリセット操作を行うと削除されます。
- オーバーレイ領域に登録しているフォーマットデータの内容や番号、サイズは、オーバーレイリストやオーバーレイプリントで確認することができます。▶ **LIPS モード専用のリスト(P. 503)**
- 登録するフォーマットを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルを参照してください。

スタートアップマクロ

スタートアップマクロとは、あらかじめパソコン側で作成した LIPS のコントロールコマンドのプログラムを、本機のマクロ領域に登録しておき、リセットコマンド（ハードリセット、ソフトリセット、パラメータリセット）で実行する機能です。登録は、アプリケーション側から LIPS のコントロールコマンドで行います。本項目では、リセットが行われるたびに実行するマクロ番号を指定します。マクロを使用しない場合は「0」を指定してください。

0～30～32767



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ < スタートアップマクロ > ▶ ▶ テンキーで番号を入力 ▶



MEMO

- 登録したマクロの番号やサイズなどは、マクロリストで確認することができます。▶ **LIPS モード専用のリスト(P. 503)**
- 登録するマクロを LIPS のコントロールコマンドでプログラミングするときは、オプションのプログラマーズマニュアルを参照してください。

漢字コード

パソコンで使用している漢字コード体系に応じて、漢字コードを設定します。

JIS

シフト JIS

EUC

DEC



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ < 漢字コード > ▶ ▶ 漢字コードを選択 ▶

**a < JIS >**

標準的な漢字コードです。通常はこちらに設定します。

b < シフト JIS >

Windows などで行われる漢字コードです。アプリケーションを使わず、MS-DOS の文字データをそのまま印刷するときに設定します。

c < EUC >

UNIX で行われる漢字コードです。UNIX のワークステーションやパソコンを使用するときに設定します。

d < DEC >

DEC 漢字コードを採用しているワークステーションを使用するときに設定します。

文字セットの割り当てについて

漢字コードを変更すると、漢字コード体系に応じて、以下の割り当てテーブルに沿った文字セットが割り当てられます。

	シフト JIS	JIS	EUC	DEC
G0	半角英数字	半角英数字	半角英数字	半角英数字
G1	半角カナ	半角カナ	全角漢字	半角カナ
G2	全角漢字	全角漢字	半角カナ	全角漢字
G3	漢字縮小	漢字縮小	全角漢字	全角漢字
GL	G0	G0	G0	G0
GR	G1	G1	G1	G3
ペア	G0～G1	G0～G1	解除	解除



- <シフト JIS>に設定した場合は、LIPS の C1 制御命令は使用できなくなりますが、ビット長を 7 ビット形式で送信すれば、LIPS のコマンドとして動作します。
- < JIS >以外に設定したときに、JIS で規定されていない拡張文字などは印刷されません。
- 設定値にない漢字コードを使用する場合は、アプリケーション側で文字セットを割り当ててください。
- JIS 漢字コードには「新 JIS」と「旧 JIS」があります。新 JIS と旧 JIS の切り替えは、<漢字グラフィックセット>で設定します。
- UNIX では EUC を採用していますが、中には OS のデバイスドライバーが JIS 漢字コードなどに変換するものもあります。詳しくは、パソコンの取扱説明書を参照してください。

文字サイズ

印刷する文字の大きさを設定します。1 ポイントは約 0.35 mm (1/72 インチ) です。

8 ポイント
10 ポイント
 12 ポイント



▶ (セットアップ) ▶ < LIPS4 設定 > ▶ ▶ <文字サイズ> ▶ ▶ 文字サイズを選択 ▶



- コントロールコマンドで LIPS II⁺を使用しているときは、LIPS III または LIPS4 を使用しているときと比べて、実際に印刷される大きさが次のように異なります。

設定値	LIPS III / LIPS4	LIPS II +
< 8 ポイント >	8 ポイント	7.2 ポイント
< 10 ポイント >	10 ポイント	9.6 ポイント
< 12 ポイント >	12 ポイント	12 ポイント

漢字書体

全角文字の書体を設定します。

明朝
 ゴシック



ANK 書体

半角英数字や半角カナなどの書体を設定します。「ANK」とは、アルファベット (Alphabet)、数字 (Numeric)、カナ (Kana) および記号を含めた半角文字の総称です。

明朝
ゴシック
ラインプリンター



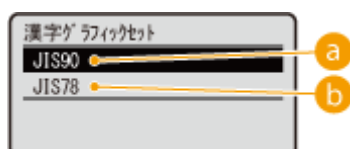
■ 書体見本

明朝	123	ABC	ミンチョウタイ
ゴシック	123	ABC	ゴシックタイ
ラインプリンター	123	ABC	ラインプリンター

漢字グラフィックセット

< 漢字コード > が < JIS > のときに使用する漢字グラフィックセットを設定します。

JIS90
JIS78



a < JIS90 >

JIS 漢字コードを「新 JIS」に設定します。新 JIS コードは、旧 JIS コードに特殊記号や罫線、漢字などを追加、変更したものです。

b < JIS78 >

JIS 漢字コードを「旧 JIS」に設定します。



グラフィックセットとコード表

- グラフィックセットとは、印刷データのコード（符号）に対して、どの文字を割り当てるかという取り決めです。それを示したものがコード表です。新 JIS（JIS90）と旧 JIS（JIS78）の漢字コード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

行数

印刷する行数を設定します。

行数選択

1 インチあたりの行数、または 1 ページあたりの行数を設定します。「lpi」は Line Per Inch の略で、1 インチ（25.4 mm）あたりの行数を表します。

6 lpi
8 lpi
任意設定



a < 6 lpi >

1 インチあたり 6 行印刷します。

b < 8 lpi >

1 インチあたり 8 行印刷します。

c < 任意設定 >

1 ページに<任意設定値>で設定している行数印刷します。

任意設定値 *

<行数選択>で<任意設定>を選んだ場合に、1 ページに印刷する行数を指定します。

10～99



桁数

印刷する文字数を設定します。文字数の設定は半角文字に対してのみ適用されます。全角文字についてはフォント幅に応じて印刷されます。

桁数選択

1 インチあたりの文字数、または 1 行あたりの文字数を設定します。「cpi」は Characters Per Ince の略で、1 インチ (25.4 mm) あたりの文字数を表します。

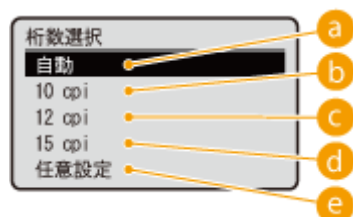
自動

10 cpi

12 cpi

15 cpi

任意設定



a < 自動 >

現在選択しているフォントに応じた文字数で印刷します。

b < 10 cpi >

1 インチあたり 10 文字印刷します。

c < 12 cpi >

1 インチあたり 12 文字印刷します。

d < 15 cpi >

1 インチあたり 15 文字印刷します。

e < 任意設定 >

1 行に < 任意設定値 > で設定している文字数印刷します。

任意設定値 *

< 桁数選択 > で < 任意設定 > を選んだ場合に、1 行に印刷する文字数を指定します。

10~200



自動改ページ

印字位置が印刷範囲の下端を超えようとした場合に、改ページコード（FF）を受信しなくても、自動的に改ページして印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



自動改行

印字位置が右余白または印刷範囲の右端を超えようとした場合に、復帰コード（CR）や改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に次の行の 1 文字目に印字位置を移動して印刷するかどうかを設定します。

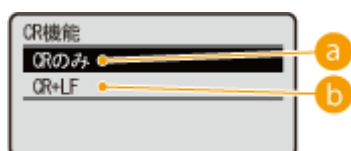
OFF
ON



CR 機能

復帰コード（CR）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

CR のみ
CR+LF



a < CR のみ >

復帰コード（CR）を受信したとき、印字位置をその行の一文字目に移動します。

b < CR+LF >

復帰コード（CR）を受信したとき、印字位置を次の行の一文字目に移動します。

LF 機能

改行コード（LF）を受信したときの、印字位置の移動のしかたを設定します。

LF のみ
LF+CR



a < LF のみ >

改行コード（LF）を受信したとき、印字位置を次の行に移動します。桁位置（左右の位置）はそのままです。

b < LF+CR >

改行コード（LF）を受信したとき、印字位置を次の行の一文字目に移動します。

網かけ解像度

網かけや飾り罫線のパターンの解像度を設定します。

クイック
ファイン



a < クイック >

解像度 300 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。LIPS III 従来機とのデザイン上の互換性を保てます。

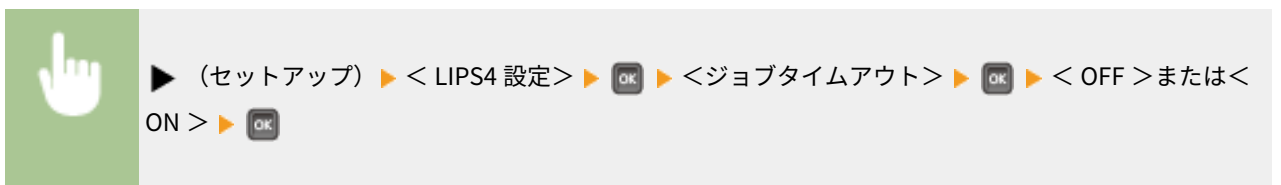
b < ファイン >

解像度 600 dpi 用にデザインされたパターンを使用します。< クイック > よりも高品位に印刷できます。

ジョブタイムアウト

印刷データの受信が中断されたときに、< インターフェイス > の < タイムアウト > の設定を LIPS モードでも有効にするかどうかを設定します（▶ **タイムアウト (P. 388)**）。LIPS モードからほかのエミュレーションモードへの自動切り替えがうまく行われないような場合に、この項目を < ON > に設定してください。

OFF
ON



白紙節約

印刷データの中に白紙ページがあるときに、そのページを排出しないようにするかどうかを設定します。

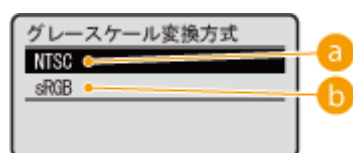
OFF
ON



グレースケール変換方式

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

NTSC
sRGB



a < NTSC >

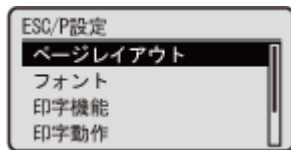
テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

b < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

ESC/P 設定 LBP322i

4L33-055



ESC/P エミュレーションモードに関する設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



拡張 ESC/P について

- オプションのコントロール ROM を装着すると、＜ESC/P 設定＞に設定項目が追加されます。追加される項目については、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ ページレイアウト(P. 424)
- ▶ フォント(P. 429)
- ▶ 印字機能(P. 431)
- ▶ 印字動作(P. 432)
- ▶ VFC(P. 433)
- ▶ その他(P. 435)

ページレイアウト

用紙サイズや印字領域などを設定します。

ページフォーマット

ESC/P 準拠プリンター用の用紙サイズで作成されたデータを、本機用の用紙サイズに変換します。

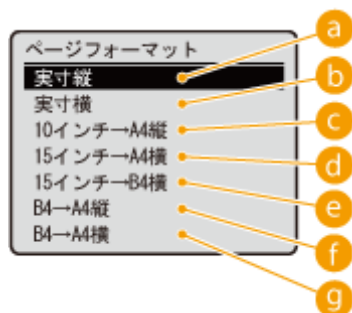
実寸縦

実寸横

10 インチ→A4 縦
15 インチ→A4 横
15 インチ→B4 横
B4→A4 縦
B4→A4 横



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > OK ▶ < ページレイアウト > OK ▶ < ページフォーマット > OK ▶ ページフォーマットを選択 OK



a <実寸縦>

元のサイズのまま、用紙をタテに使って印刷します。



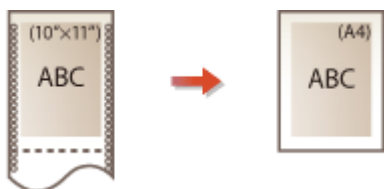
b <実寸横>

元のサイズのまま、用紙をヨコに使って印刷します。



c <10 インチ→A4 縦>

10 インチ×11 インチの連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します。



d <15 インチ→A4 横>

15 インチ×11 インチの連続用紙用に作成したデータを A4 に縮小して印刷します。



e <15 インチ→B4 横>

本機では B4 の印刷ができません。この項目は選択しないようにしてください。

f < B4→A4 縦 >

B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙をタテにを使って印刷します。



g < B4→A4 横 >

B4 サイズ用のデータを A4 に縮小し、用紙をヨコにを使って印刷します。

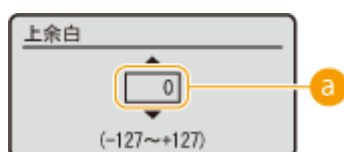


- ページフォーマットの設定によって、レイアウトなどの印刷結果が異なります。それぞれの設定によって、どのように印刷されるかは、▶ESC/P エミュレーションのページフォーマット(P. 609) を参照してください。
- < 10 インチ→A4 縦>、< 15 インチ→A4 横>、< B4→A4 縦>、< B4→A4 横>では、用紙の余白を有効にを使って印刷できるワイド領域モードが使えます。

上余白

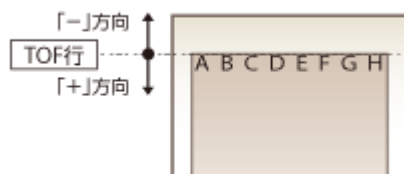
それぞれのページフォーマットで設定されている 1 行目 (TOF) の上端を基準に、印字開始位置を上下方向にずらします。

-127~0~+127



a 設定値の入力

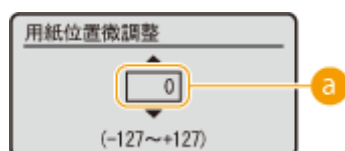
印字開始位置を用紙の上から下方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。設定値が 1 増えるごとに印字開始位置が約 0.35 mm (1/72 インチ) 移動します。



用紙位置微調整

用紙の左マージンを基準として、ページフォーマットで設定されている印字開始位置を左右方向にずらします。

-127～0～+127



a 設定値の入力

印字開始位置を用紙の右から左方向へずらすときは「+」に設定します。反対の方向へずらすときは「-」に設定してください。設定値が1増えるごとに印字開始位置が約 0.35 mm (1/72 インチ) 移動します。



領域

印字領域を設定します。

標準
ワイド





a <標準>

ページフォーマットの設定に従ったレイアウトで印刷します。

b <ワイド>

印刷範囲いっぱいに印刷します。<実寸縦>/<実寸横>以外のページフォーマットで有効です。

右マージン既定値

ページフォーマットが<実寸縦>または<実寸横>のときの右マージンの位置を設定します。

136 桁
右端



a <136 桁>

136 桁目の位置を右マージンとします。

b <右端>

印刷範囲の右端を右マージンとします。

用紙サイズ

ページフォーマットが<実寸縦>または<実寸横>のときの印刷する用紙サイズを設定します。ほかのページフォーマットのときは<A4>に設定してください。

A4
B5
A5
はがき



フォント

フォントに関する設定をします。

漢字書体

漢字などの全角文字の書体を設定します。

明朝
 ゴシック
 丸ゴシック
 フォント ID



a <明朝>

全角文字の書体を明朝体に設定します。

b <ゴシック>

全角文字の書体をゴシック体に設定します。

c <丸ゴシック>

全角文字の書体を丸ゴシック体に設定します。

d <フォント ID >

全角文字を<フォント ID >で指定している書体に設定します。

フォント ID *

<漢字書体>を<フォント ID >に設定した場合に、書体の ID 番号を指定します。

1~2~999



MEMO

- 本機に内蔵の標準フォントの ID 番号は、明朝体が「2」で、ゴシック体が「4」です。オプションフォント用の ID 番号については、使用するオプションフォントの取扱説明書を参照してください。
- 使用できない ID 番号を指定したときは、明朝体になります。

漢字サイズ

漢字などの全角文字のサイズを設定します。＜システム＞に設定すると、ページフォーマットの設定によって決められている文字サイズになります。

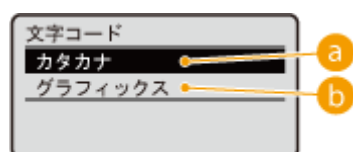
システム
 8 ポイント
 10 ポイント
 12 ポイント



文字コード

印刷データの 1 バイトコードの文字に対して、カタカナまたは拡張グラフィックスのどちらの文字セットを使用するかを設定します。

カタカナ
 グラフィックス



a <カタカナ>

データに 1 バイトコードの文字があったとき、カタカナの 1 バイトコード表に対応した文字で印刷します。

b <グラフィックス>

データに1バイトコードの文字があったとき、拡張グラフィックスの1バイトコード表に対応した文字で印刷します。



- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの文字コード設定機能に対応しています。
- カタカナと拡張グラフィックスの文字セットを表した1バイトコード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

国別文字

1バイトコード表に割り当てられている国別文字対応の部分に、各国の文字セットを指定します。

日本
ノルウェー
デンマーク 2
スペイン 2
ラテンアメリカ
USA
フランス
ドイツ
UK
デンマーク
スウェーデン
イタリア
スペイン



▶ (セットアップ) ▶ < ESC/P 設定 > ▶ ▶ < フォント > ▶ ▶ < 国別文字 > ▶ ▶ 国別文字
セットを選択 ▶



- 国別文字の割り当てを示した1バイトコード表は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

印字機能

イメージデータの補正と文字幅について設定します。

イメージの補正

本機と ESC/P 準拠プリンターの解像度が異なるため、矩形罫線や網かけなどのイメージデータは拡大して印刷されます。このとき、イメージデータを補正するかどうかを設定します。

OFF
ON



イメージデータの補正は、次の現象の改善に有効です。ただし、症状が改善されない場合もあります。

- 罫線が離れる
- 網かけ上にすじ（白い部分）が入る
- 網かけに線が入る

縮小文字

1 バイトコードの文字の横幅を 1/2 程度に縮小して印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの縮小印刷機能に対応しています。

印字動作

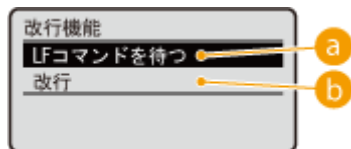
印字位置の制御について設定します。

改行機能

自動的に改行するかどうかを設定します。

LF コマンドを待つ

改行



a < LF コマンドを待つ >

パソコンから改行コード（LF）が送られるまで改行しません。復帰コード（CR）を受信したときは復帰のみ行い、印字位置をその行の一字目目に移動します。

b < 改行 >

印字位置が右マージンまたは印刷範囲の右端を超えようとしたとき、改行コード（LF）を受信しなくても、自動的に次の行の一字目目に移動します。



- この項目は、ESC/P 準拠プリンターの DIP スイッチの自動改行機能に対応しています。

VFC

連続用紙やカット紙のページ長に関する設定をします。

連続用紙長

ページフォーマットが < 10 インチ→A4 縦 > または < 15 インチ→A4 横 > のときの、連続用紙のページ長を設定します。

設定方法

ページ長をページフォーマットで決められている行数にするか、任意の行数にするかを設定します。

システム
任意設定





a <システム>

ページ長をページフォーマットや印字領域の設定によって決められている行数に設定します。▶ **ページフォーマットと印字範囲(P. 622)**

b <任意設定>

ページ長を<任意設定値>で指定している行数に設定します。

任意設定値 *

<設定方法>で<任意設定>を選んだ場合に、ページ長の行数を設定します。

1 ~ 66 ~ 199 (行)



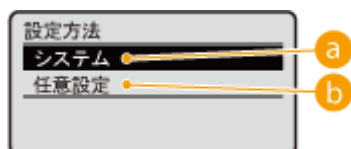
単票用紙長

ページフォーマットが<実寸縦>、<実寸横>、< B4→A4 縦>、または< B4→A4 横>のときの、カット紙のページ長を設定します。

設定方法

ページ長をページフォーマットで決められている行数にするか、任意の行数にするかを設定します。

システム
任意設定



a <システム>

ページ長をページフォーマットや用紙サイズ、印字領域の設定によって決められている行数に設定します。▶ **ページフォーマットと印字範囲(P. 622)**

b <任意設定>

ページ長を<任意設定値>で指定している行数に設定します。

任意設定値 *

<設定方法>で<任意設定>を選んだ場合に、ページ長の行数を設定します。

1 ~ 66 ~ 199 (行)



ミシン目スキップ

ページ長で設定されている行数のうち、下端から印刷しない（ミシン目をスキップする）行数を設定します。

ミシン目スキップ

ミシン目スキップを行うかどうかを設定します。

OFF
ON



スキップ量 *

<ミシン目スキップ>を< ON >に設定した場合に、印刷しない行数を設定します。

1 ~ 31 (行)



その他

印刷に使用する外字の登録方法を設定します。

登録レベル

コントロールコマンドで登録した文字（外字）を、印刷ごとに削除するのか、電源を切るまで保存するのかを設定します。

一時
永久



a < 一時 >

印刷している間だけ外字を保存し、印刷が終了すると削除します。

b < 永久 >

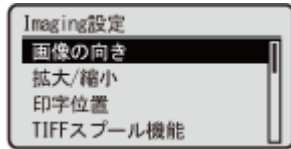
本機の電源を切るまで外字を保存します。登録する文字データと通常の印刷データとを別々に送信するような場合は、< 永久 > に設定してください。



- < 永久 > に設定した場合に登録内容を削除したいときは、ハードリセット（ **ハードリセットする(P. 465)**）してください。

Imaging 設定

4L33-056



メディアプリントやダイレクトプリント、および E メール印刷で印刷できる画像ファイル (JPEG/TIFF ファイル) に関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|------------------------|------------------------|
| ▶ 画像の向き (P. 437) | ▶ E メール本文印刷 (P. 440) |
| ▶ 拡大/縮小 (P. 438) | ▶ E メール本文印刷制限 (P. 441) |
| ▶ 印字位置 (P. 438) | ▶ 印字領域拡大 (P. 441) |
| ▶ TIFF スプール機能 (P. 439) | ▶ 中間調選択 (P. 441) |
| ▶ 警告表示 (P. 440) | ▶ グレースケール変換方式 (P. 442) |

画像の向き

画像の印刷方向を設定します。

自動
縦
横



▶ (セットアップ) ▶ < Imaging 設定 > ▶ ▶ < 画像の向き > ▶ ▶ 向きを選択 ▶



a < 自動 >

画像の幅と高さから、印刷方向を自動的に決定します。

b < 縦 >

タテ長の画像のときに指定します。

C <横>

ヨコ長の画像のときに指定します。

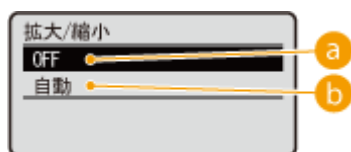


- <縦>または<横>の指定と画像データの向きが違う場合は、画像は縮小して印刷されます。

拡大/縮小

画像の拡大／縮小を設定します。なお、画像のタテヨコ比は固定されたまま拡大／縮小されます。

OFF
自動



a < OFF >

画像が用紙の印刷範囲に収まっているときはそのままのサイズで印刷します。印刷範囲より大きいサイズのときは縮小して印刷されます。

b < 自動 >

用紙の印刷範囲に合わせて拡大／縮小印刷されます。

印字位置

画像を印刷する位置を設定します。

自動
中央
左上



a < 自動 >

TIFF データに印刷位置の指定情報が含まれているときはその位置に印刷し、そうでないときは用紙の中央に印刷します。JPEG データのときは常に用紙の中央に印刷します。

b < 中央 >

画像を中央に印刷します。

c < 左上 >

画像を左上に印刷します。

TIFF スプール機能

TIFF データを印刷するときに、本機または SD カードに格納してから処理するかどうかを設定します。印刷時にエラーが出る場合に、この項目を < ON > に設定してください。

OFF
ON



a < OFF >

TIFF データを受信しながら連続で処理するため、処理時間が短くなります。

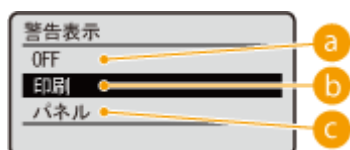
b < ON >

TIFF データをすべて受信してから処理するため、エラー発生を減らすことができます。SD カード装着時は、SD カードにデータが格納されます。

警告表示

エラーが発生したときの動作を設定します。

OFF
印刷
パネル



a < OFF >

画像を印刷せず、エラーも表示しません。

b < 印刷 >

エラー内容を印刷し、画像は印刷しません。

c < パネル >

画像を印刷せず、操作パネルにエラーメッセージを表示します。

E メール本文印刷

E メール印刷をするときに、Eメールの本文を印刷するかどうかを設定します。< OFF >に設定すると、添付画像のみが印刷されるようになります。

OFF
ON



E メール本文印刷制限*

< E メール本文印刷 > が < ON > に設定されているときに、本文の印刷ページ数を制限するかどうかを設定します。< ON > に設定すると、本文の印刷ページ数が 5 ページまでに制限されるようになります。

OFF
ON



印字領域拡大

印刷範囲を用紙サイズいっぱいに広げて印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



- < ON > に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。

解像度
階調
高解像度



a < 解像度 >

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

b < 階調 >

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

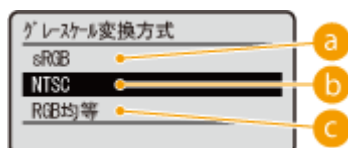
c < 高解像度 >

< 解像度 > よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

グレースケール変換方式

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

sRGB
NTSC
 RGB 均等



a < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

b < NTSC >

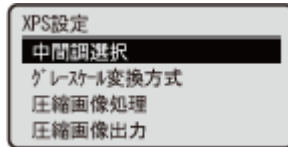
テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

 < RGB 均等 >

明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。

XPS 設定

4L33-057



メディアプリントやダイレクトプリントで印刷できる XPS ファイルに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ 中間調選択(P. 444)
- ▶ グレースケール変換方式(P. 445)
- ▶ 圧縮画像処理(P. 446)
- ▶ 圧縮画像出力(P. 447)

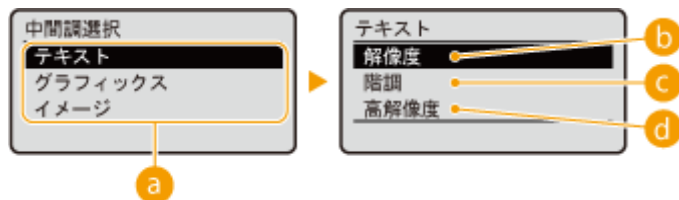
中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 解像度**
 - 階調
 - 高解像度
- グラフィックス
 - 解像度**
 - 階調
 - 高解像度
- イメージ
 - 解像度**
 - 階調
 - 高解像度



▶ (セットアップ) ▶ < XPS 設定 > ▶ ▶ < 中間調選択 > ▶ ▶ 画像の種類を選択 ▶ ▶ 中間調の再現方法を選択 ▶



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。＜テキスト＞は文字、＜グラフィックス＞は線や図形、＜イメージ＞は写真などの画像が対象となります。

b ＜解像度＞

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

c ＜階調＞

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

d ＜高解像度＞

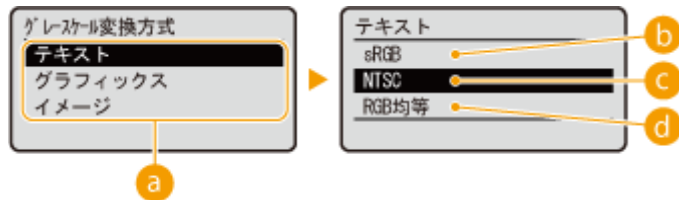
＜解像度＞よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

グレースケール変換方式

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。＜テキスト＞、＜グラフィックス＞、＜イメージ＞という画像の種類別に設定できます。

- テキスト
 - sRGB
 - NTSC**
 - RGB 均等
- グラフィックス
 - sRGB
 - NTSC**
 - RGB 均等
- イメージ
 - sRGB
 - NTSC**
 - RGB 均等





a 対象の選択

設定したいデータの種類を選びます。

b < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

c < NTSC >

テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

d < RGB 均等>

明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。

圧縮画像処理*

XPS ファイルの印刷中にメモリーが不足した場合の本機の動作を設定します。

画質優先
出力優先



a < 画質優先 >

メモリー不足のときは、画質が低下する前に印刷を中止します。

b < 出力優先 >

メモリー不足によって画質が低下しても印刷を継続します。

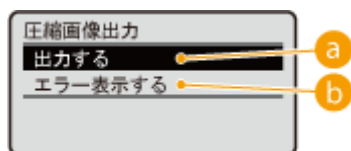


- この項目は SD カードを使わないときに設定可能です。＜SD カードの使用＞が＜ON＞に設定されているときは、常に＜出力優先＞で動作します（**SD カードの使用(P. 349)**）。

圧縮画像出力

＜圧縮画像処理＞が＜出力優先＞で動作している場合、印刷データによっては、時間とともに画質が低下していくことがあります。画質が著しく低下したときの動作を設定します。

出力する
エラー表示する



a <出力する>

画質の低下程度に関係なく、印刷を継続します。

b <エラー表示する>

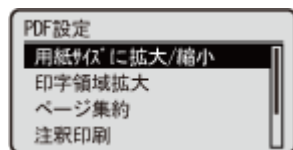
画質が著しく低下すると、エラーメッセージを表示して印刷を中止します。



- この項目の設定は、＜圧縮画像処理＞が＜出力優先＞のとき、または＜SD カードの使用＞（**SD カードの使用(P. 349)**）が＜ON＞のときに有効となります。

PDF 設定

4L33-058



メディアプリントやダイレクトプリントで印刷できる PDF ファイルに関するすべての設定項目を一覧で説明します。太字はお買い上げ時の設定です。

- ▶ 用紙サイズに拡大/縮小(P. 448)
- ▶ 印字領域拡大(P. 448)
- ▶ ページ集約(P. 449)
- ▶ 注釈印刷(P. 449)
- ▶ 中間調選択(P. 449)
- ▶ グレースケール変換方式(P. 450)

用紙サイズに拡大/縮小

用紙の印刷範囲に合わせて、拡大／縮小するかどうかを設定します。なお、原稿のタテヨコ比は固定されたまま拡大／縮小されます。

OFF
ON



印字領域拡大

印刷範囲を用紙サイズいっぱいに広げて印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



- < ON >に設定すると、原稿によっては用紙の端が一部欠けて印刷されたり、用紙が部分的に汚れたりすることがあります。

ページ集約

複数のページを縮小して1枚の用紙に左上から並べて印刷するかどうかを設定します。たとえば、< 4 in 1 >とは「1枚の用紙に4ページを収める」という意味です。

OFF
2 in 1
4 in 1
6 in 1
8 in 1
9 in 1
16 in 1



注釈印刷

注釈を印刷するかどうかを設定します。< 自動 >に設定すると、PDF ファイルの注釈が印刷されます。

OFF
自動



中間調選択

中間調（画像の明るい部分と暗い部分の中間の領域）の再現方法を選びます。1つの文書に対して画像の種類別に設定することができます。

- テキスト
 - 解像度
 - 階調
 - 高解像度
- グラフィックス
 - 解像度
 - 階調
 - 高解像度
- イメージ

解像度

階調

高解像度



a 画像の種類

設定を変更する対象を選びます。＜テキスト＞は文字、＜グラフィックス＞は線や図形、＜イメージ＞は写真などの画像が対象となります。

b ＜解像度＞

テキストの輪郭をくっきりさせて精細な印刷をします。文字や細い線のデータなどを印刷するのに適しています。

c ＜階調＞

階調や輪郭をなめらかに印刷します。グラデーションを使用した図形やグラフなどを印刷するのに適しています。

d ＜高解像度＞

＜解像度＞よりも高精細な印刷を行うことができますが、質感の安定性は若干劣ります。文字や細い線のデータ、CAD データなどの輪郭をシャープに印刷するのに適しています。

グレースケール変換方式

カラーの印刷データをモノクロに変換するときの方式を設定します。

sRGB
NTSC
RGB 均等





a < sRGB >

色の違いを考慮した、なめらかな階調になるようにモノクロ変換されます。

b < NTSC >

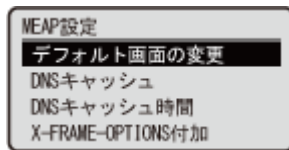
テレビ映像（NTSC 方式）と同等の見た目になるようにモノクロ変換されます。

c < RGB 均等 >

明るさのみを基準にし、RGB がすべて均等になるようにモノクロ変換されます。

MEAP 設定 LBP322i

4L33-059



MEAP を導入しているときの基本画面に関する設定項目を説明します。太字はお買い上げ時の設定です。



項目にアスタリスク（*）が付いているとき

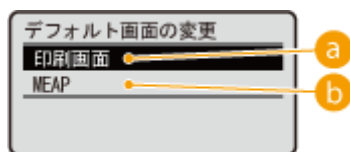
- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- ▶ デフォルト画面の変更(P. 452)
- ▶ DNS キャッシュ(P. 453)
- ▶ DNS キャッシュ時間(P. 453)
- ▶ X-FRAME-OPTIONS 付加(P. 453)

デフォルト画面の変更

本機が起動したときに操作パネルのディスプレイに表示される画面を設定します。

印刷画面
MEAP



a < 印刷画面 >

印刷待機画面（基本画面）が表示されます。

b < MEAP >

MEAP アプリケーションがインストールされているときは、MEAP アプリケーションの画面が表示されます。



- ディスプレイの表示は、操作パネルの （機能選択）を押すことで、画面を切り替えることができます。

DNS キャッシュ

MEAP アプリケーションで検索に成功した DNS 情報をメモリーに保持するかどうか設定できます。＜ON(時間指定)＞を選ぶと、一時的に保持することもでき、その場合は有効期限を設定できます（ **DNS キャッシュ時間(P. 453)**）。

OFF

ON(時間無制限)

ON(時間指定)



▶ (セットアップ) ▶ ＜MEAP 設定＞ ▶  ▶ ＜DNS キャッシュ＞ ▶  ▶ 設定値を選択 ▶ 

DNS キャッシュ時間 *

＜DNS キャッシュ＞が＜ON(時間指定)＞の場合に、DNS 情報をメモリーに保持する時間を設定します。

1 ～ 60 ～ 120 (秒)



▶ (セットアップ) ▶ ＜MEAP 設定＞ ▶  ▶ ＜DNS キャッシュ時間＞ ▶  ▶ テンキーで時間を設定 ▶ 

X-FRAME-OPTIONS 付加

HTTP サーバーがレスポンス返すときに、ヘッダーに X-FRAME-OPTIONS を付加するかどうかを設定します。X-FRAME-OPTIONS を付加すると、他のサーバーが生成したコンテンツに重なることを防ぐことができます。

OFF

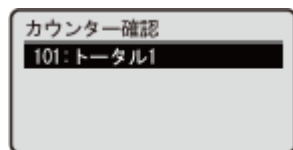
ON



▶ (セットアップ) ▶ ＜MEAP 設定＞ ▶  ▶ ＜X-FRAME-OPTIONS 付加＞ ▶  ▶ ＜OFF＞または＜ON＞ ▶ 

カウンター確認

4L33-05A



これまでに印刷した総ページ数を確認できます。



- この項目と **ユーティリティーメニュー(P. 456)** の＜カウンター確認＞は、いずれも同じ内容です。

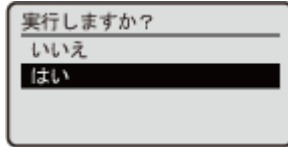
101:トータル 1

印刷の総ページ数を確認できます。

(表示のみ)

パネル設定初期化

4L33-05C



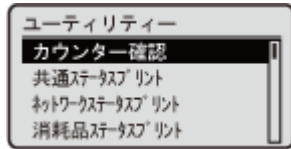
セットアップメニューの設定値をお買い上げ時の値に戻します（初期化）。▶メニューを初期化する(P. 516)



初期化されない設定値について

- <ネットワーク>と<印字位置調整>は初期化されません。<ネットワーク>を初期化したいときは、▶ネットワーク設定を初期化する(P. 517) を参照してください。<印字位置調整>を初期化したいときは、手動でお買い上げ時の値に設定しなおしてください（▶印字位置調整(P. 390)）。

ユーティリティーメニュー



総印刷ページ数の表示や、内部のシステム情報を印刷して確認することができます。操作パネルで ◀（ユーティリティー）を押すと、ユーティリティーメニューが表示されます。ここでの項目は、本機がオンラインのときに表示することができます。



項目にアスタリスク（*）が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|---------------------------|----------------------------|
| ▶ カウンター確認(P. 456) | ▶ HP-GL/2 ユーティリティー(P. 460) |
| ▶ 共通ステータスプリント(P. 456) | ▶ クリーニング(P. 460) |
| ▶ ネットワークステータスプリント(P. 457) | ▶ E メール印刷ユーティリティー(P. 460) |
| ▶ 消耗品ステータスプリント(P. 457) | ▶ 印字位置調整プリント(P. 461) |
| ▶ IPSec ポリシーリスト(P. 457) | ▶ カウント管理レポート(P. 461) |
| ▶ LIPS ユーティリティー(P. 457) | ▶ MEAP システム情報プリント(P. 461) |
| ▶ ESC/P ユーティリティー(P. 457) | ▶ カートリッジログプリント(P. 461) |
| ▶ N201 ユーティリティー(P. 458) | ▶ シリアル No.(P. 461) |
| ▶ I5577 ユーティリティー(P. 459) | ▶ 消耗品情報(P. 461) |
| ▶ HP-GL ユーティリティー(P. 459) | |

カウンター確認

これまでに印刷した総ページ数を確認できます。▶ **すべての印刷ページ数を確認する(P. 510)**



- この項目と ▶ **セットアップメニュー(P. 342)** の<カウンター確認>は、いずれも同じ内容です。

101:トータル 1

印刷の総ページ数を確認できます。

(表示のみ)

共通ステータスプリント

本機の設定項目（▶ **セットアップメニュー(P. 342)**）とその内容などのリストをプリントします。トナーカートリッジの状態や印刷ページ数、本機に搭載されているメモリー（RAM）の容量などの情報も確認できます。▶ **共通ステータスプリント(P. 499)**

ネットワークステータスプリント

本機のネットワークに関する設定項目（[🔴ネットワーク\(P. 357\)](#)）とその内容のリストをプリントします。アドレスフィルターや IPSec の設定状況など、セキュリティに関する情報も確認できます。[🔴ネットワークステータスプリント\(P. 499\)](#)

消耗品ステータスプリント

トナーカートリッジの状態や警告メッセージ、新しいトナーカートリッジの購入先などの情報をプリントします。[🔴消耗品ステータスプリント\(P. 500\)](#)

IPSec ポリシーリスト

本機に登録されている IPSec 設定のポリシー名と設定内容（[🔴IPSec の設定をする\(P. 273\)](#)）のリストをプリントします。[🔴IPSec ポリシーリスト\(P. 500\)](#)

LIPS ユーティリティ^{*}

コントロールコマンドで LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 を使用するときの設定内容や、本機に登録している内部情報のリストをプリントします。[🔴LIPS モード専用のリスト\(P. 503\)](#)

ステータスプリント

本機の設定項目（[🔴LIPS4 設定\(P. 409\)](#)）とその内容のリストをプリントします。

フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントのリストをプリントします。

オーバーレイリスト

オーバーレイのフォーマットデータが登録されている場合に、フォーマットの番号やサイズなどのリストをプリントします。

マクロリスト

マクロデータが登録されている場合に、マクロの番号やサイズなどのリストをプリントします。

フォームリスト

フォームデータが登録されている場合に、フォームの名称とサイズのリストをプリントします。

オーバーレイプリント

＜LIPS4 設定＞（[🔴LIPS4 設定\(P. 409\)](#)）の＜オーバーレイ 1＞／＜オーバーレイ 2＞に登録されているフォーマットデータをプリントします。

ESC/P ユーティリティ^{*}

ESC/P エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。コントロール ROM を装着している場合に、オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

ステータスプリント

本機の設定項目（▶ESC/P 設定(P. 424)）とその内容のリストをプリントします。▶ESC/P ステータスプリント (P. 506)

オーバーレイプリント

＜ESC/P 設定＞の＜ユーザーオーバーレイ 1＞および＜ユーザーオーバーレイ 2＞に登録されているフォーマットデータをプリントします。



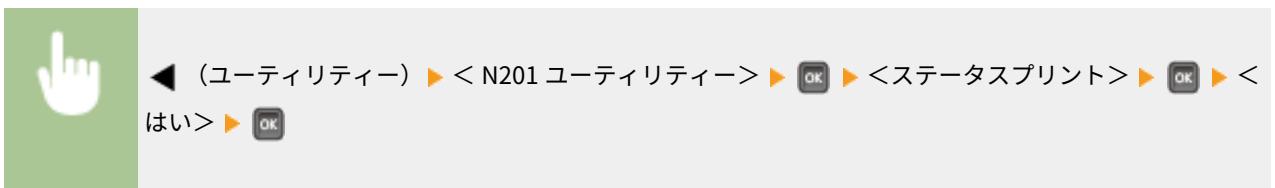
- ＜ユーザーオーバーレイ 1＞および＜ユーザーオーバーレイ 2＞は、コントロール ROM を装着しているときにのみ設定できます。

N201 ユーティリティー *

コントロール ROM を装着している場合に、N201 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

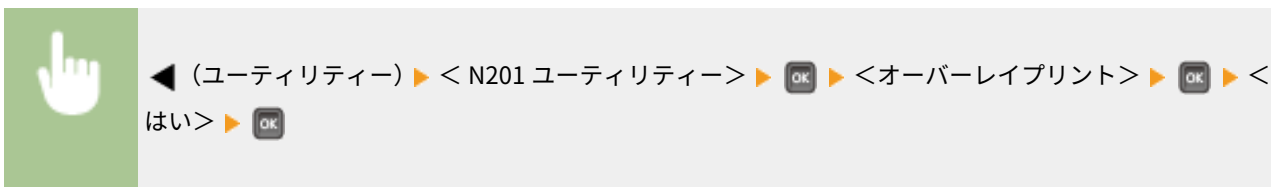
ステータスプリント

本機の N201 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



オーバーレイプリント

N201 エミュレーションモードの設定項目の＜ユーザーオーバーレイ 1＞および＜ユーザーオーバーレイ 2＞に登録されているフォーマットデータをプリントします。



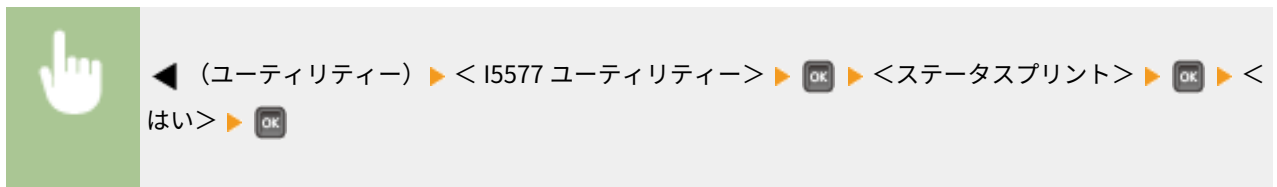
- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

I5577 ユーティリティ *

コントロール ROM を装着している場合に、I5577 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。オーバーレイのフォーマットデータが登録されているときは、フォーマットデータをプリントすることもできます。

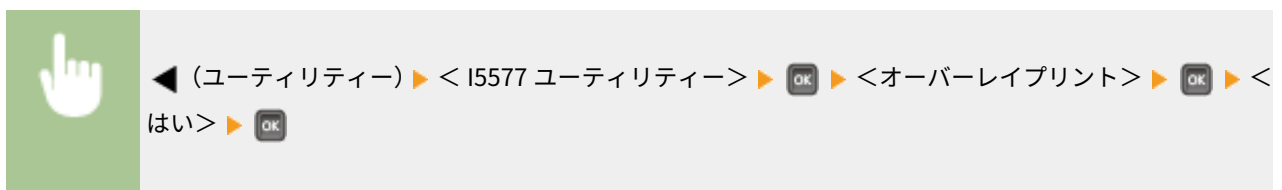
ステータスプリント

本機の I5577 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



オーバーレイプリント

I5577 エミュレーションモードの設定項目の<ユーザーオーバーレイ 1>および<ユーザーオーバーレイ 2>に登録されているフォーマットデータをプリントします。



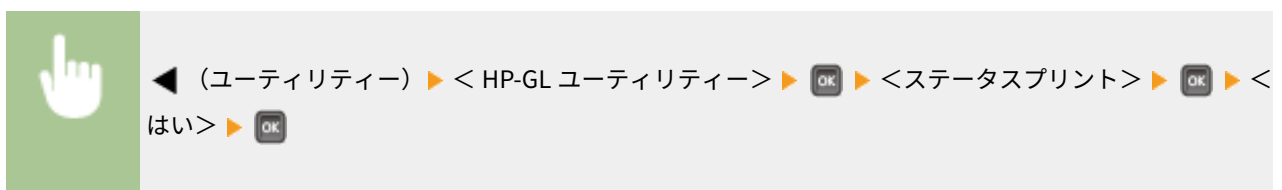
- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

HP-GL ユーティリティ *

コントロール ROM を装着している場合に、HP-GL エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。サンプルデータをプリントして機能の確認をすることもできます。

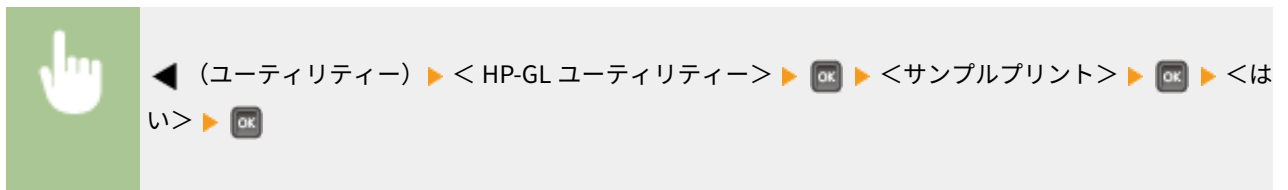
ステータスプリント

本機の HP-GL エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



サンプルプリント

HP-GL エミュレーションモードの機能を使用したサンプルデータをプリントします。

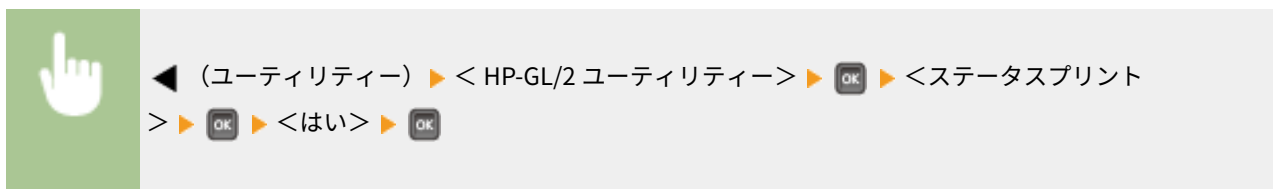


HP-GL/2 ユーティリティ *

コントロール ROM を装着している場合に、HP-GL/2 エミュレーションモードの設定内容のリストをプリントします。サンプルデータをプリントして機能の確認をすることもできます。

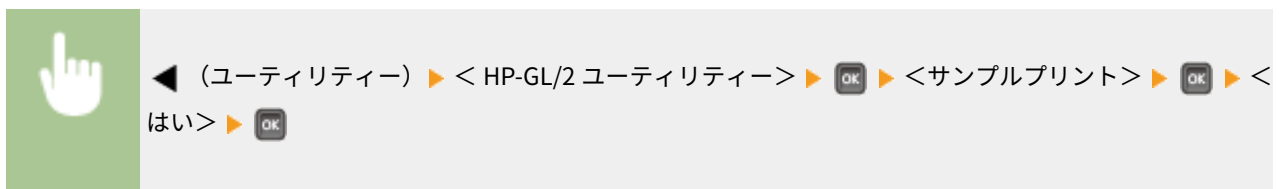
ステータスプリント

本機の HP-GL/2 エミュレーションモードの設定項目とその内容のリストをプリントします。



サンプルプリント

HP-GL/2 エミュレーションモードの機能を使用したサンプルデータをプリントします。



クリーニング

印刷された用紙に黒点状の汚れや黒いすじが現れるような場合に、定着器をクリーニングします。▶[定着器\(P. 482\)](#)

E メール印刷ユーティリティ

E メールを手動受信したり、Eメールの受信履歴の一覧を印刷したりします。

E メール受信

POP3 メールサーバーから E メールを手動で受信して印刷します。▶[E メールを手動で受信する\(P. 123\)](#)

E メール受信履歴リスト

本機で受信した Eメールの件名や受信日時などの履歴リストをプリントします。▶[Eメール印刷履歴リスト\(P. 508\)](#)

印字位置調整プリント

現在の印字位置を示すマークをプリントします。▶[印字位置を調整する\(P. 494\)](#)

カウント管理レポート*

部門別 ID 管理を実施している場合に、印刷したページ数の部門ごとのレポートをプリントします。▶[カウント管理レポート\(P. 501\)](#)

MEAP システム情報プリント*

MEAP 機能を使用している場合に、インストールされている MEAP アプリケーションや、MEAP のシステムアプリケーションに関する情報のリストをプリントします。▶[MEAP システム情報プリント\(P. 502\)](#)

カートリッジログプリント

トナーカートリッジの利用実績などをリストでプリントします。▶[カートリッジログプリント\(P. 502\)](#)

シリアル No.

本機のシリアルナンバーを表示します。

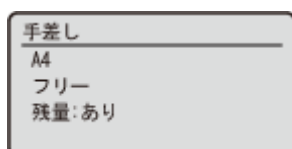


消耗品情報

用紙やトナーカートリッジに関する情報を表示します。

給紙情報

給紙部ごとに用紙サイズや用紙種類の現在の設定、および用紙の残量を表示します。▶[用紙を確認する\(P. 513\)](#)



トナーカートリッジ型番

本機のトナーカートリッジの型番を表示します。▶[トナーカートリッジの型番を確認する\(P. 513\)](#)



トナーカートリッジ残量

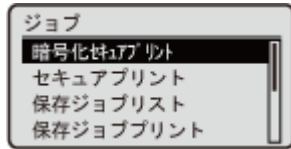
トナーカートリッジの状態を表示します。▶トナーカートリッジの状態を確認する(P. 513)



- 表示されるトナーカートリッジの状態は目安であり、実際と異なる場合があります。

ジョブメニュー

4L33-05F



SD カードに保存した文書を印刷したり、印刷履歴をプリントしたりすることができます。操作パネルで ▲（ジョブ）を押すと、ジョブメニューが表示されます。ここでの項目は、本機がオンラインのときに表示することができます。



項目にアスタリスク（*）が付いているとき

- 「*1」：お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。
- 「*2」：リモート UI の「ジョブ履歴を表示する」がオフのときは表示されません。▶印刷履歴を非表示にする (P. 264)

- ▶暗号化セキュアプリント (P. 463)
- ▶セキュアプリント (P. 463)
- ▶保存ジョブリスト (P. 463)
- ▶保存ジョブプリント (P. 463)
- ▶ジョブ印刷履歴リスト (P. 463)
- ▶保存ジョブ印刷履歴リスト (P. 464)
- ▶レポート印刷履歴リスト (P. 464)
- ▶E メール印刷履歴リスト (P. 464)

暗号化セキュアプリント *1

パソコンから本機に送った暗号化セキュア文書を印刷します。▶セキュア文書を本機から取り出す (P. 95)

セキュアプリント *1

パソコンから本機に送ったセキュア文書を印刷します。▶セキュア文書を本機から取り出す (P. 95)

保存ジョブリスト *1

本機の SD カードに保存されている文書のリストをプリントします。▶保存ジョブリスト (P. 506)

保存ジョブプリント *1

本機の SD カードに保存されている文書を印刷します。▶本機に保存した文書を印刷する (P. 100)

ジョブ印刷履歴リスト *2

パソコンから印刷した文書の履歴リストをプリントします。▶ジョブ印刷履歴リスト (P. 507)

保存ジョブ印刷履歴リスト *1*2

本機の SD カードに保存されている文書の印刷履歴リストをプリントします。▶[保存ジョブ印刷履歴リスト\(P. 507\)](#)

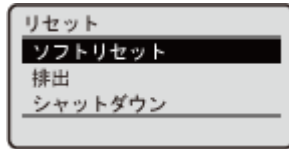
レポート印刷履歴リスト *2

設定リストやレポートの印刷履歴リストをプリントします。▶[レポート印刷履歴リスト\(P. 508\)](#)

E メール印刷履歴リスト *2

E メールを受信して印刷した履歴リストをプリントします。▶[E メール印刷履歴リスト\(P. 508\)](#)

リセットメニュー



全処理を中止してメモリー内のデータを消去する、電源を切る、などの操作ができます。操作パネルで ▼（リセット）を押すと、リセットメニューが表示されます。

- ▶ ソフトリセット(P. 465)
- ▶ 排出(P. 466)
- ▶ シャットダウン(P. 467)



- < Ennn-nnnn >（n は数字）のメッセージが表示されているときは、<シャットダウン>のみ実行できます。

ソフトリセット

印刷完了前のデータをすべて消去します（ソフトリセット）。また、変更した設定を有効にするときの再起動（ハードリセット）も、この項目から行います。



- ソフトリセットやハードリセットを行うと印刷完了前のデータがすべて消去されるので、ほかのユーザーが本機を使っていないことを確認してから実行してください。

■ ソフトリセットする

印刷中、印刷待ち、および受信中の印刷データをすべて消去したいときに実行します。



■ ハードリセットする

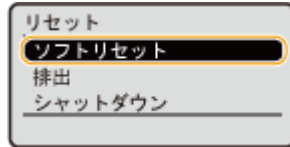
変更した本機の設定を有効にしたいときや、本機のメモリー上に登録されているデータをすべて消去したいときに行います。

1 ▼（リセット）を押す

MEMO

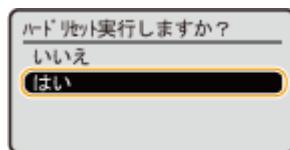
- 設定メニューが表示されているときは、（オンライン）を押し、基本画面に戻ってから操作してください。

2 ▲／▼で<ソフトリセット>を選んでいる状態で、 を 5 秒以上押し続けてから、指を離す



⇒ 指を離すと、<ハードリセット実行しますか？>が表示されます。

3 <はい>を選び、 を押す



⇒ ハードリセットを実行すると、本機が再起動されます。

MEMO

- ソフトリセットやハードリセットを実行すると、オプションの SD カードに保存してあるセキュア文書も削除されます。

排出

パソコン側で印刷を中止した場合や、受信中に通信が途切れた場合には、本機のメモリーにデータが残って印刷が終了しないことがあります。そのままでは次の印刷ができないため、「排出」を行ってメモリーに残っているデータを強制的に印刷します。



MEMO

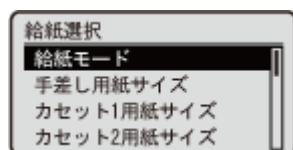
- 排出できないときはソフトリセットを行ってください。
- 排出を行っても本機のメモリーにデータが残っている（本機の［ジョブ］ランプが点灯している）ときは、ソフトリセットを行ってください。

シャットダウン

電源を切るときは、電源スイッチからではなく、「シャットダウン」を行います。▶電源を切る（シャットダウンする）
(P. 35)

給紙選択メニュー

4L33-05J



給紙モードや本機にセットした用紙サイズなどに関する設定項目を一覧で説明します。操作パネルで （給紙選択）を押すと、給紙選択メニューが表示されます。太字はお買い上げ時の設定です。



共通の設定項目について

- 設定項目は **● セットアップメニュー(P. 342)** の＜給紙＞と同じです。ここで設定した内容は＜給紙＞にも反映されます。

項目にアスタリスク（*）が付いているとき

- お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。

- | | |
|--------------------------|-------------------------|
| ● 給紙モード(P. 468) | ● 用紙カセット自動選択(P. 471) |
| ● 手差し用紙サイズ(P. 468) | ● デフォルト用紙種類(P. 472) |
| ● カセット 1～4 用紙サイズ(P. 469) | ● 手差し用紙種類(P. 472) |
| ● デフォルト用紙サイズ(P. 469) | ● カセット 1～4 用紙種類(P. 473) |
| ● 手差し優先(P. 470) | ● 手動両面印刷（手差し）(P. 473) |
| ● 用紙不一致時手差し(P. 471) | ● 両面印刷(P. 474) |

給紙モード

どの給紙部から給紙するかを設定します。印刷する用紙サイズや用紙種類に合わせて給紙部を自動的に切り替えたいときは、＜自動＞に設定してください。

自動

手差し
カセット 1
カセット 2 *
カセット 3 *
カセット 4 *



（給紙選択） ▶ ＜給紙モード＞ ▶  ▶ 給紙部を選択 ▶ 

手差し用紙サイズ

手差しトレイにセットした用紙のサイズを設定します。 ● **手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 62)**

A6

☐ A5
☐ A5R
 B5
A4
 LTR
 LGL
 EXEC
 フリーサイズ
☐ ユーザー設定サイズ
☐ ユーザー設定サイズ R
 はがき
 往復はがき
 4 面はがき
 封筒 長形 3 号
 封筒 洋形長 3 号
 封筒 ISO-C5
 封筒 Monarch
 封筒 No.10
 封筒 DL
 India-LGL
 インデックスカード
 STMT
 FLSC
 16K

カセット 1～4 用紙サイズ *

本体の給紙カセットまたはオプションのペーパーフィーダーの給紙カセットにセットした用紙のサイズを設定します。▶ **給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する(P. 60)**

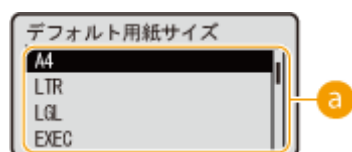
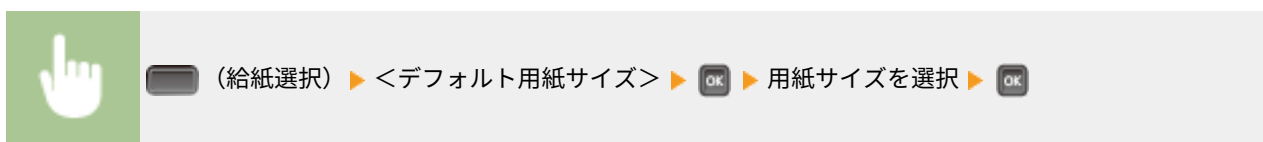
A6
☐ A5
☐ A5R
 B5
A4
 LTR
 LGL
 EXEC
 フリーサイズ
☐ ユーザー設定サイズ
☐ ユーザー設定サイズ R
 India-LGL
 STMT
 FLSC
 16K

デフォルト用紙サイズ

デフォルトの用紙サイズを設定します。プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙のサイズを設定できない機器から印刷するときに、ここで設定した用紙サイズで印刷されます。

A6

A5
B5
A4
LTR
LGL
EXEC
はがき
往復はがき
4 面はがき
封筒 長形 3 号
封筒 洋形長 3 号
封筒 ISO-C5
封筒 Monarch
封筒 No.10
封筒 DL
India-LGL
インデックスカード
STMT
FLSC
16K



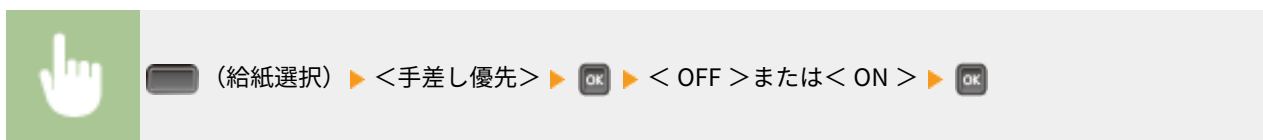
a 用紙サイズの選択

印刷に使用する用紙のサイズに応じて設定します。

手差し優先

<給紙モード>が<自動>に設定されているときに、手差しトレイからの給紙を優先するかどうかを設定します。< ON >に設定すると、手差しトレイと給紙カセットの両方に同じサイズ of 用紙がセットされている場合は、手差しトレイから給紙されます。

OFF
ON





- ・＜用紙不一致時手差し＞を＜ON＞に設定しているときは、＜手差し優先＞を＜ON＞に設定しても給紙カセットが優先されます。

用紙不一致時手差し

＜給紙モード＞が＜手差し＞以外に設定されているときに、この設定を＜ON＞にしておくと、文書サイズにあった用紙がカセットにセットされていない場合には、自動的に手差しトレイが選択されます。

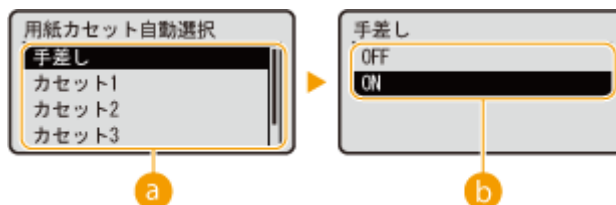
OFF
ON



用紙カセット自動選択

＜給紙モード＞が＜自動＞に設定されているときに、この設定を＜ON＞にしておくと、文書サイズにあった用紙がセットされている給紙部を本機が自動的に選択します。また、用紙がなくなったときに、他の給紙部に同じ用紙がセットされていれば、自動的にそちらに切り替えて印刷されます。

OFF
ON



a 給紙部の選択

設定したい給紙部を選びます。

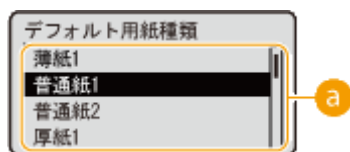
b 設定の切替

a で選んだ給紙部を自動選択の対象にするには、＜ON＞に設定します。

デフォルト用紙種類

デフォルトの用紙種類を設定します。プリンタードライバーが使えない OS やモバイル機器など、用紙の種類を設定できない機器から印刷するときに、ここで設定した用紙種類で印刷されます。

薄紙 1
普通紙 1
 普通紙 2
 厚紙 1
 厚紙 2
 厚紙 3
 厚紙 4
 はがき
 封筒
 封筒 H
 ラベル用紙
 ボンド紙 1
 ボンド紙 2
 ボンド紙 3



a 用紙種類の選択

印刷に使用する用紙の種類に応じて、プリンタードライバーの用紙設定と同じように設定します。🔴**用紙をセットする(P. 40)**



- プリンタードライバー側で「用紙種類」が「パネル優先」に設定されている場合、本機側で給紙部の用紙種類が「フリー」に設定されていると、この項目で設定した用紙種類で印刷されます。

手差し用紙種類

手差しトレイにセットした用紙の種類を設定します。🔴**手差しトレイの用紙サイズと種類を設定する(P. 62)**

薄紙 1
 普通紙 1
 普通紙 2
 厚紙 1
 厚紙 2

厚紙 3
厚紙 4
はがき
封筒
封筒 H
ラベル用紙
ボンド紙 1
ボンド紙 2
ボンド紙 3
フリー

カセット 1～4 用紙種類 *

給紙カセットにセットした用紙の種類を設定します。 **▶ 給紙カセットの用紙サイズと種類を設定する (P. 60)**

薄紙 1
普通紙 1
普通紙 2
厚紙 1
厚紙 2
ボンド紙 1
ボンド紙 2
ボンド紙 3
フリー

手動両面印刷（手差し）

すでに印刷された用紙のウラ面に印刷すると薄くなる場合は＜2 面目＞に設定します。

1 面目
2 面目



a < 1 面目 >

オモテ面（最初に印刷する面）に印刷するときに指定します。

b < 2 面目 >

ウラ面（一度印刷した用紙のウラ面）に印刷するときに指定します。

両面印刷

用紙の両面に印刷するかどうかを設定します。

OFF
ON



 (給紙選択) ▶ <両面印刷> ▶  ▶ < OFF > または < ON > ▶ 

困ったときは (Q&A)

困ったときは (Q&A)	476
--------------------	-----

困ったときは (Q&A)

4L33-08S

トラブルが発生した場合は、お問い合わせいただく前に、まず本章で対処方法を確認してください。

メンテナンス

メンテナンス	478
日常のお手入れ	480
本体	481
定着器	482
トナーカートリッジの交換	483
本機を移動する	489
印刷品質を調整する	491
印刷濃度を調整する	492
印字位置を調整する	494
レポートとリストをプリントする	499
印刷ページ数を確認する	510
消耗品を確認する	513
設定を初期化する	515
メニューを初期化する	516
ネットワーク設定を初期化する	517
無償保証や保守サービスについて	518
無償保証について	519
キヤノンサービスパック（CSP）	520
キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）	522
NETEYE について	523
本機を準備する	524

メンテナンス

4L33-063

本体のお手入れや各種設定の初期化など、本機の保守・管理について説明しています。また、キヤノンの保守サービス、無償保証についてもご紹介しています。

■ 基本的手入れ ● 日常のお手入れ(P. 480)



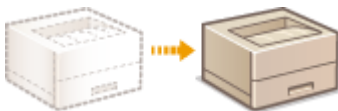
- 本体が汚れた ● **本体(P. 481)**
- 印刷された用紙に黒点状の汚れが付着した ● **定着器(P. 482)**

■ トナーカートリッジを交換する



- トナーカートリッジの状態や交換のしかたを確認したい ● **トナーカートリッジの交換(P. 483)**

■ 本機を移動する



- お手入れや事務所の移設などで本機を移動する ● **本機を移動する(P. 489)**

■ 印刷品質を調整する ● 印刷品質を調整する(P. 491)

- 印刷時のトナー濃度を調整したい ● **印刷濃度を調整する(P. 492)**
- 印字位置がずれて印刷されるので調整したい ● **印字位置を調整する(P. 494)**

■ レポートやリストをプリントする



- 各種設定値のリストなどをプリントする ● **レポートとリストをプリントする(P. 499)**

■ 印刷の総ページ数を確認する

- これまでに行った印刷の総ページ数を確認したい ● **印刷ページ数を確認する(P. 510)**

■ 設定を初期化する

設定メニューなどを、お買い上げ時の設定に戻したい  **設定を初期化する(P. 515)**

■ その他

 **無償保証や保守サービスについて(P. 518)**

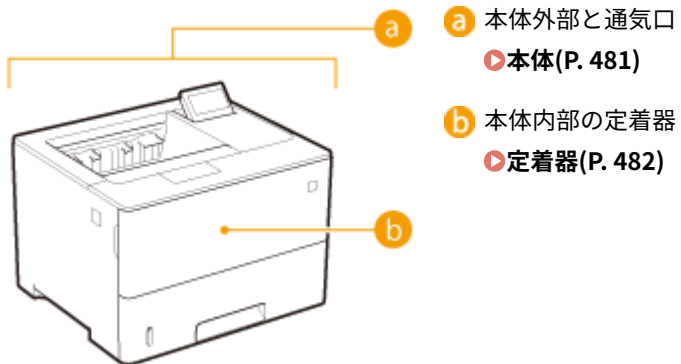
 **NETEYE について(P. 523)**

日常のお手入れ

4L33-064

印刷品質の低下を防ぎ、快適で安全にお使いいただくために、本機を定期的に清掃してください。

お手入れする場所



本体

4L33-065

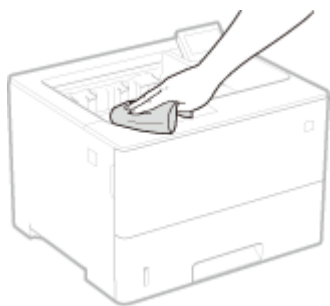
本体の表面を定期的に拭いて、きれいな状態を保ってください。また、通気口のホコリはこまめに拭き取ってください。

1 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。●電源を切る（シャットダウンする）(P. 35)

2 本体表面と通気口を拭く

- 水または薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固く絞って拭きます。
- 通気口の場所は ●本体前面(P. 18) および ●本体背面(P. 20) を参照してください。



3 水分が完全に乾くまで待つ

4 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる

定着器

4L33-066

定着器が汚れていると、印刷された用紙に黒点状の汚れが現れることがあります。このような場合、以下の手順で定着器をクリーニングしてください。待機中の印刷データがある場合、クリーニングはできませんのでご注意ください。なお、クリーニングには A4 またはレターサイズ of 用紙が必要です。あらかじめ手差しトレイにセットしておいてください。



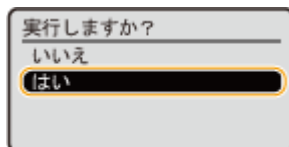
- クリーニングはトナーカートリッジを消耗します。あらかじめ、残量があることを確認してください。▶トナーカートリッジの状態を確認する(P. 485)

1 ◀ (ユーティリティー) を押す

2 ▲ / ▼ で<クリーニング>を選び、**OK** を押す

3 セットした用紙サイズを選び、**OK** を押す

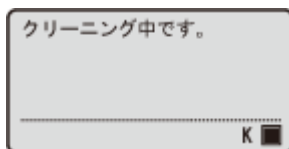
4 <はい>を選び、**OK** を押す



⇒ ディスプレーに<クリーニング用紙をセットしてオンラインキーを押してください。>と表示されます。

5 **オンライン** を押す

⇒ 用紙がゆっくりと送られて、定着器のクリーニングが開始されます。



- クリーニングは途中で中止することはできません。完了するまでお待ちください。

トナーカートリッジの交換

4L33-067

トナーカートリッジの交換時期が近づくとディスプレイにメッセージが表示されます。そのままご使用になりますと印刷品質が低下することがありますのでご注意ください。なお、トナーカートリッジの状態をディスプレイで確認することもできます。

- ▶メッセージが表示されたときは(P. 483)
- ▶印刷結果に以下のような症状が現れるときは(P. 484)
- ▶トナーカートリッジの状態を確認する(P. 485)
- ▶トナーカートリッジを交換する前に(P. 485)
- ▶トナーカートリッジを交換する(P. 486)

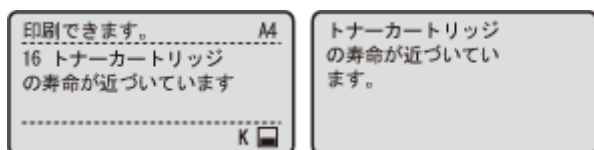
■メッセージが表示されたときは

メッセージに従って、新しいトナーカートリッジの用意や交換を行ってください。▶トナーカートリッジを交換する前に(P. 485) ▶トナーカートリッジを交換する(P. 486) ▶消耗品(P. 555)

< 16 トナーカートリッジの寿命が近づいています >

< トナーカートリッジの寿命が近づいています。 >

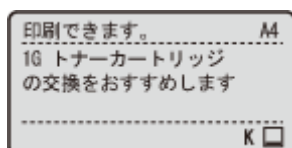
トナーカートリッジの交換時期が近づいています。新しいトナーカートリッジを用意してください。大量に印刷するときは、交換することをおすすめします。



- < トナーカートリッジの寿命が近づいています。 > が表示されたときは、印刷はいったん停止します。印刷を継続するときは  (オンライン) を押してください。
- どちらのメッセージが表示されるかは、操作パネルの設定メニューにある<警告処理>の設定によります。
▶警告処理(P. 348)
- トナーカートリッジが残り何%になったらこのメッセージを表示させるかを任意に設定することもできます。▶トナー交換予告時期指定(P. 402)

< 1G トナーカートリッジの交換をおすすめします >

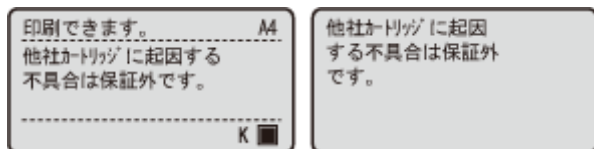
トナーカートリッジが寿命に達しました。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。
- E メールやファクス文書の受信はできなくなります。▶E メールを受信して印刷する（E メール印刷）（P. 119）

<他社カートリッジに起因する不具合は保証外です。>

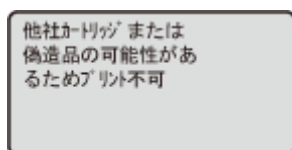
印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されていても続けて印刷できますが、印刷品質が低下することがあります。また、本機の故障の原因となることがあります。

<他社カートリッジまたは偽造品の可能性があるためプリント不可>

印刷品質を保証できないトナーカートリッジがセットされている可能性があります。交換することをおすすめします。



- このメッセージが表示されているときは、続けて印刷することはできません。▶Canon Genuine Mode(P. 355)

■印刷結果に以下のような症状が現れるときは

トナーカートリッジが寿命に近づいています。メッセージは表示されていなくても、トナーカートリッジを交換する目安としてください。▶トナーカートリッジを交換する前に(P. 485) ▶トナーカートリッジを交換する(P. 486)

すじ（線）が入る／印字ムラが出る



かすれる



ムラが出る



部分的に白く抜ける



トナーが飛び散っている

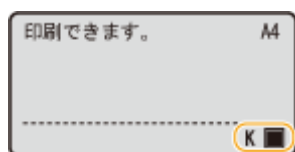


原稿の白い部分までうっすら暗くなる



■ トナーカートリッジの状態を確認する

トナーカートリッジの状態は基本画面で確認できます。特に、大量に印刷する前には、新しいトナーカートリッジを用意しておく必要がないか確認してください。

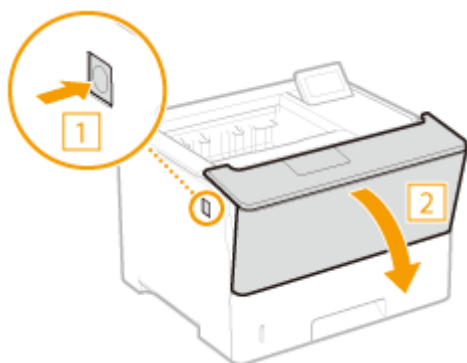


- 表示されるトナーカートリッジの状態は目安であり、実際と異なる場合があります。
- トナーカートリッジの状態は＜消耗品情報＞の＜トナーカートリッジ残量＞でも確認できます。▶**消耗品情報(P. 461)**

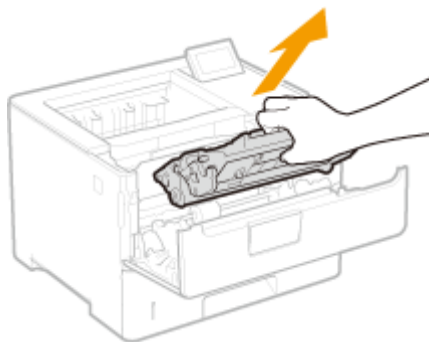
トナーカートリッジを交換する前に

交換する前に次の操作をしてください。メッセージが消えたり、印刷品質の低下が改善されることがあります。

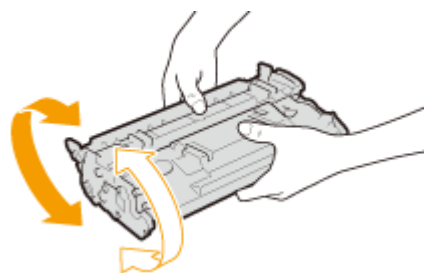
1 ボタンを押して、前カバーを開ける



2 トナーカートリッジを取り出す

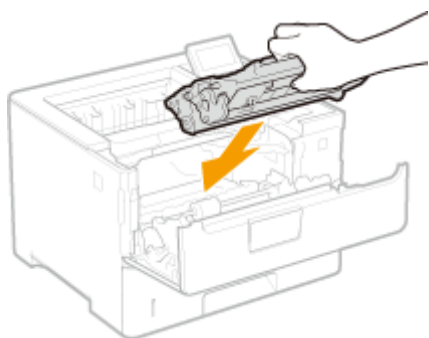


3 トナーカートリッジを5～6回振って内部のトナーを均一にならす



4 トナーカートリッジを取り付ける

- 奥に当たるまで確実に押し込みます。

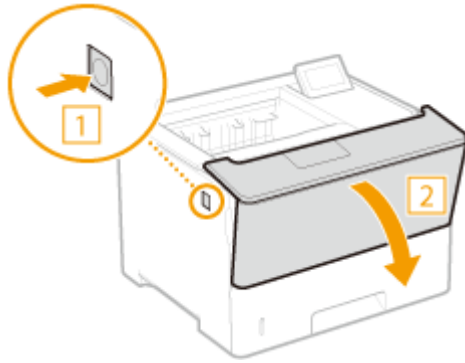


5 前カバーを閉める

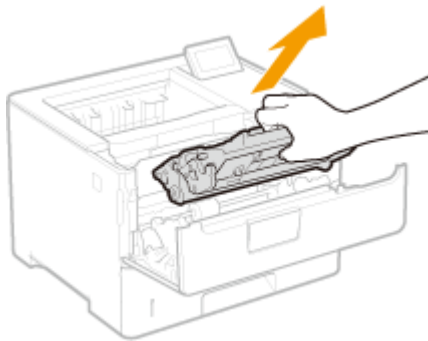
トナーカートリッジを交換する

交換を始める前に、トナーカートリッジの取り扱いに関する注意事項を確認してください。▶保守／点検について(P. 9) ▶消耗品について(P. 10)

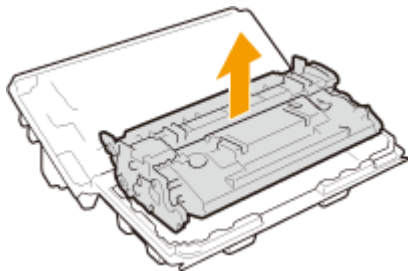
1 ボタンを押して、前カバーを開ける



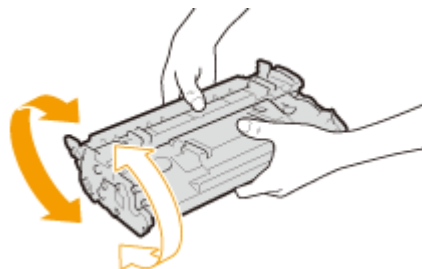
2 トナーカートリッジを取り出す



3 新しいトナーカートリッジを保護ケースから取り出す

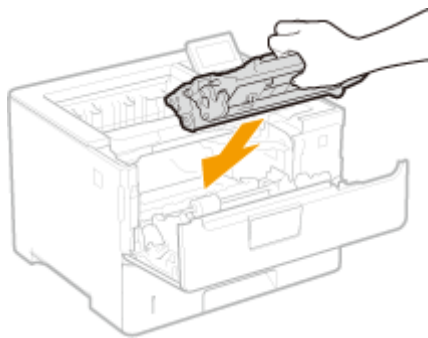


4 トナーカートリッジを5～6回振って内部のトナーを均一にならす



5 トナーカートリッジを取り付ける

- 奥に当たるまで確実に押し込みます。



6 前カバーを閉める



関連項目

●消耗品(P. 555)

本機を移動する

本機は重量物です。けがなどの事故を未然に防ぐためにも、移動するときは必ず次の手順に従ってください。なお、移動する前に、安全に関する注意事項を確認してください。🔴安全にお使いいただくために(P. 2)

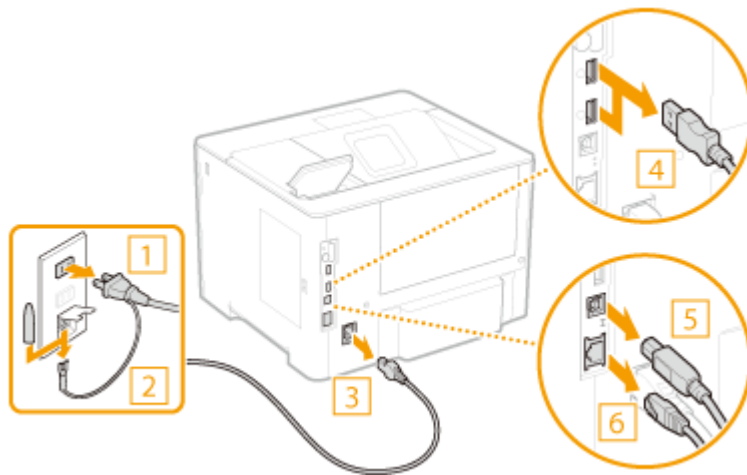
1 本機とパソコンの電源を切る

- 本機の電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンしてください。🔴電源を切る(シャットダウンする) (P. 35)

2 接続されているケーブルやコードをイラストの番号順に抜く

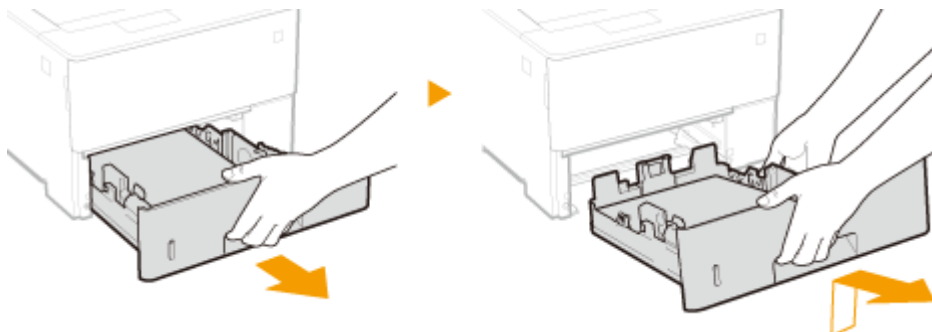
- USB 機器 (4) ~ LAN ケーブル (6) の有無は接続環境によって異なります。

- 1 電源プラグ
- 2 アース線
- 3 電源コード
- 4 USB 機器
- 5 USB ケーブル
- 6 LAN ケーブル



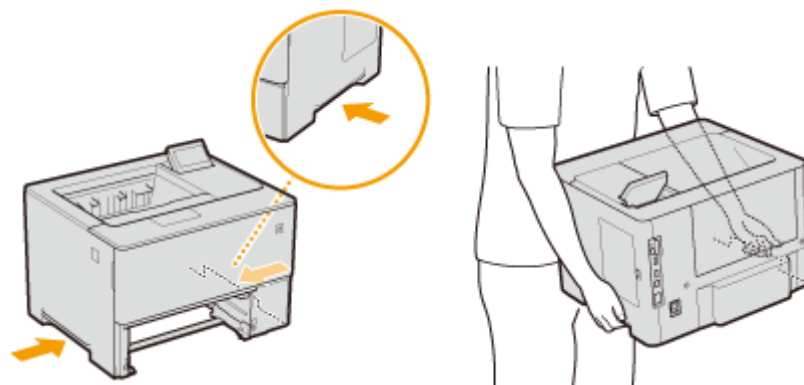
3 長距離を移動する場合はトナーカートリッジを取り出す 🔴トナーカートリッジの交換(P. 483)

4 給紙カセットを引き出し、手前側を持ち上げて取り外す



5 前カバーや手差しトレイなどをすべて閉じ、移動場所に運ぶ

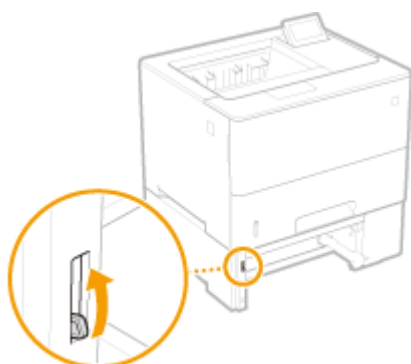
- 本機は重量物 (🔴本体(P. 537)) です。無理のないように運んでください。
- 本体の前面から運搬用取っ手をつかんで持ち上げます。



オプションのペーパーフィーダーを装着している場合

- 本体を持ち上げる前に本体とペーパーフィーダーとのロックを解除し、別に運んでください。

前面



背面



6 移動場所にゆっくりおろす

- 移動後の設置手順については、「はじめにお読みください」を参照してください。▶ **マニュアルの種類と内容 (P. 570)**

印刷品質を調整する

4L33-06A

思った通りの濃さで印刷されなかったり、印字位置がずれてしまったりして、納得のいく印刷結果が得られない場合、下記の調整を試してください。

■濃度調整

トナー濃度を調整します。濃度域別に微調整することもできます。 [▶印刷濃度を調整する\(P. 492\)](#)

■印字位置調整

給紙部ごとの印字位置を調整します。 [▶印字位置を調整する\(P. 494\)](#)

印刷濃度を調整する

4L33-06C

印刷結果が濃かったり、薄かったりする場合に、トナー濃度を調整できます。濃度域を3分割して微調整することもできます。



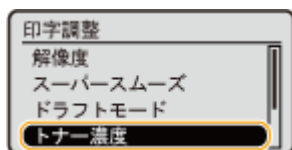
- ・ <ドラフトモード>が<ON>に設定されていると、この項目は設定できません。▶ドラフトモード(P.384)

1 ▶ (セットアップ) を押す

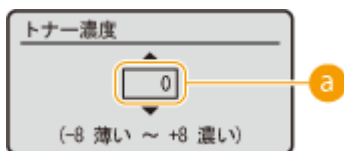
2 ▲／▼で<印字調整>を選び、**OK**を押す

3 濃度を調整する

1 <トナー濃度>を選び、**OK**を押す



2 ▲／▼で濃度を調整する



a 濃度の調整

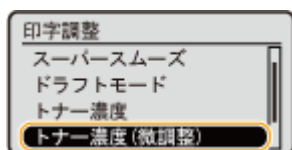
濃くするときは「+」に設定します。薄くするときは「-」に設定してください。

3 **OK**を押す

■濃度域別に微調整する

トナー濃度を高濃度／中濃度／低濃度の3つの濃度域別に微調整することができます。

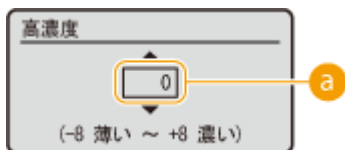
1 <トナー濃度(微調整)>を選び、**OK**を押す



2 濃度域を選び、**OK**を押す



3 ▲／▼で濃度を調整する



a 濃度の調整

濃くするときは「+」に設定します。薄くするときは「-」に設定してください。

■各濃度域の調整例

<高濃度>	
<中濃度>	
<低濃度>	

4 を押す

- 他の濃度域を調整するときは、手順2～4の操作を繰り返します。

印字位置を調整する

4L33-06E

かたよって印刷されたり、印刷範囲からはみ出しまったりする場合、印字位置の調整を行ってください。印字位置は給紙部ごとに調整することができます。



- ▶ **ステップ 1**：現在の印字位置を印刷する(P. 494)
- ▶ **ステップ 2**：調整が必要な方向と距離を確認する(P. 495)
- ▶ **ステップ 3**：給紙部ごとに印字位置を調整する(P. 496)

ステップ 1：現在の印字位置を印刷する

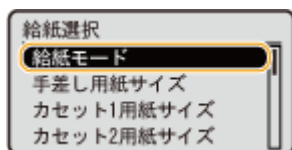
「印字位置調整プリント」を印刷することで、調整が必要な方向と距離を確認できます。



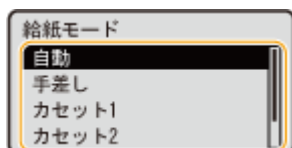
- 両面印刷時の印字位置を確認するときは、あらかじめ操作パネルの設定メニューにある＜両面印刷＞を＜ON＞に設定しておきます。▶ **両面印刷**(P. 474)

1  (給紙選択) を押す

2 ▲ / ▼ で＜給紙モード＞を選び、 を押す



3 印字位置を確認したい給紙部を選び、 を押す

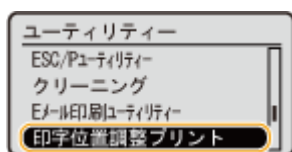


4  (オンライン) を押す

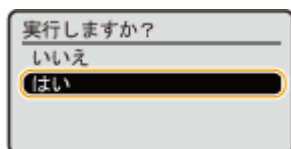
⇒ 基本画面に戻ります。

5 ◀ (ユーティリティー) を押す

6 <印字位置調整プリント>を選び、**OK** を押す



7 <はい>を選び、**OK** を押す



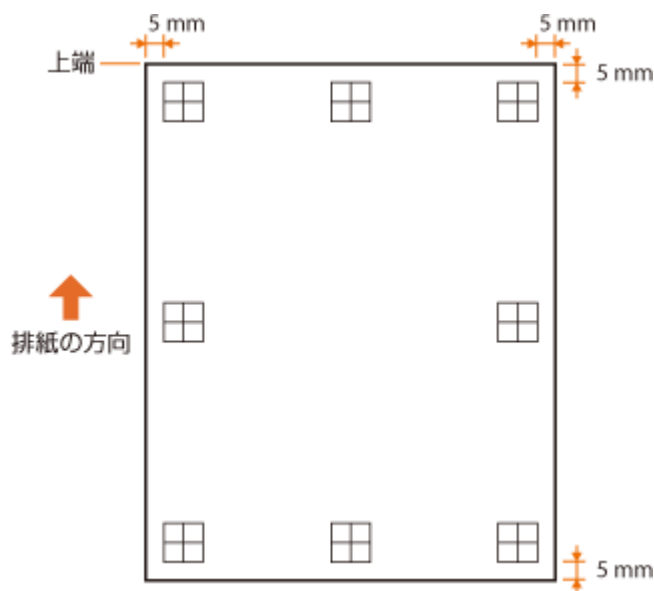
⇒ 印字位置調整プリントが出力されます。

ステップ2：調整が必要な方向と距離を確認する

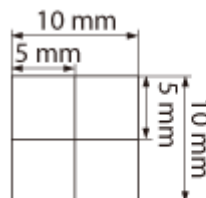
印字位置調整プリントには印字位置確認用のマーク「田」が印刷されます。このマークの位置によって、調整する方向と距離を決めます。すべてのマークが用紙の端から 5 mm の位置に印刷されているのが正常な状態です。

印字位置調整プリントの見かた

排紙された用紙の先端が、印字位置調整プリントの上端になります。用紙を手に取りときは、どの辺が上端か覚えておいてください。



- 印字位置確認用のマーク「田」の大きさは次のとおりです。



印字位置がかたよっているとき

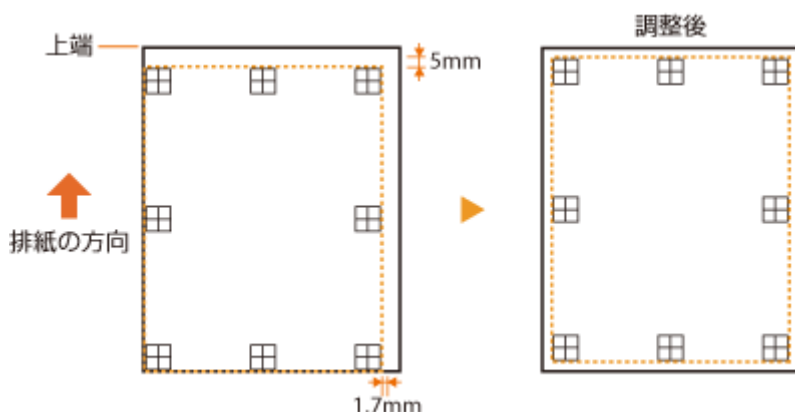
印字位置確認用のマークがかたよって印刷されているときは、印字位置の調整が必要です。印字位置の調整は、方向を「+」または「-」、距離を「mm」で指定します。上下にずらす場合（縦位置補正）は、上方向を「-」、下方向を「+」で指定します。左右にずらす場合（横位置補正）は、左方向を「-」、右方向を「+」で指定します。

タテ方向（＜縦位置補正＞）

ヨコ方向（＜横位置補正＞）



次の例では、印字位置を 5 mm 上に、また 1.7 mm 右にずらす必要があるため、＜縦位置補正＞を「-5.0 mm」、＜横位置補正＞を「+1.70 mm」に指定します。



ステップ 3：給紙部ごとに印字位置を調整する

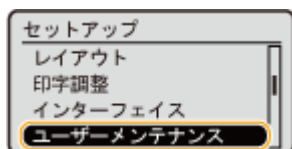
調整が必要な方向と距離を確認したら、印字位置を調整します。タテ方向／ヨコ方向ともに -5.0 ～ +5.0 mm の範囲で 0.1 mm 単位に指定できます。

1 オフラインにする

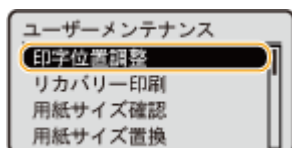
-  (オフライン) が点灯しているときに、 (オンライン) を押します。

2 ▶ (セットアップ) を押す

3 ▲／▼で＜ユーザーメンテナンス＞を選び、 を押す

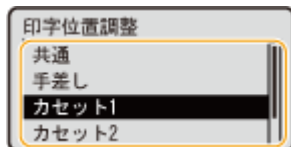


4 ＜印字位置調整＞を選び、 を押す

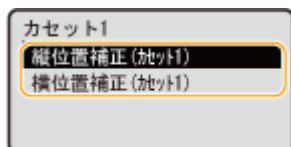


5 給紙部を選び、を押す

- ＜共通＞は、給紙部に関わらず両面印刷時の1ページ目（オモテ面）の印字位置を調整する場合に選びます。



6 調整したい方向を選び、を押す



両面印刷時の印字位置調整について

- ＜縦位置補正(両面)＞と＜横位置補正(両面)＞は、1ページ目（オモテ面）の印字位置を調整できます。2ページ目（ウラ面）の印字位置は、給紙部の設定で調整されます。

■印字位置調整例

1 ページ目（オモテ面）	＜縦位置補正(両面)＞の設定値
2 ページ目（ウラ面）	＜縦位置補正(手差し)＞の設定値

7 調整する数値を設定し、を押す

- 印字位置調整プリントの印刷結果をもとに、▲／▼で数値を入力します。



- 他の位置や給紙部の調整をするときは、手順 5～7 を繰り返します。

8 （オンライン）を押す

⇒ 基本画面に戻ります。

9 もう一度 （オンライン）を押す

⇒ オンラインになります。

10 印字位置調整プリントを出力し、正しく調整できたか確認する ▶ ステップ1：現在の印字位置を印刷する(P. 494)



すべての印刷の位置を調整する

- 操作パネルの設定メニューにある＜縦位置補正＞／＜横位置補正＞で、給紙部にかかわらず、すべての印刷における印字位置を調整することができます。タテ方向／ヨコ方向ともに -50.0 ～ +50.0 mm の間で、0.5 mm 単位で調整可能です。▶**縦位置補正／横位置補正(P. 379)**

レポートとリストをプリントする

4L33-06F

消耗品の状態や本機の設定項目の設定内容がレポートやリストとしてプリントされます。



項目にアスタリスク (*) が付いているとき

- 「*1」：お使いの機種やオプション、他の設定項目によっては表示されません。
- 「*2」：リモート UI の [ジョブ履歴を表示する] がオフのときは表示されません。▶印刷履歴を非表示にする (P. 264)

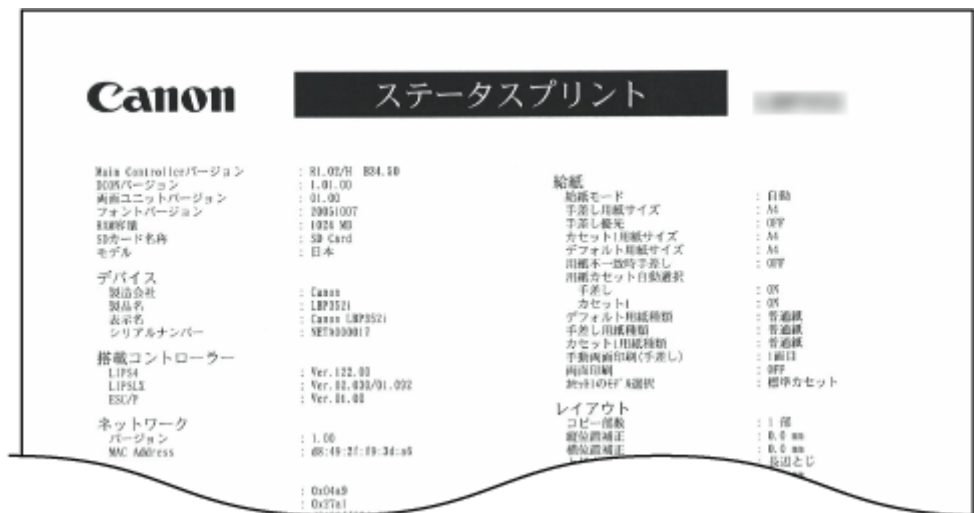
共通ステータスプリント

本機の設定項目 (▶**セットアップメニュー(P. 342)**) とその内容などをリストで確認できます。トナーカートリッジの残量や印刷ページ数、本機に搭載されているメモリー (RAM) の容量などの情報もプリントされます。設定項目名の先頭に「*」が付いているものは、初期値から設定が変更されている項目です。



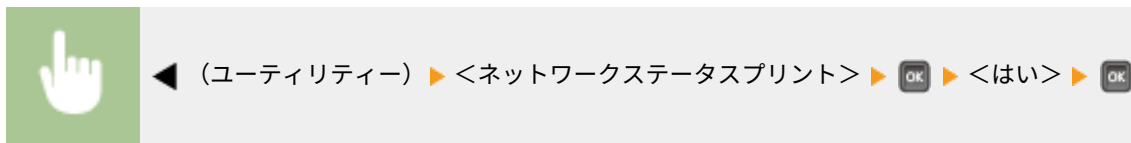
◀ (ユーティリティ) ▶ <共通ステータスプリント> ▶ OK ▶ <はい> ▶ OK

出力例：



ネットワークステータスプリント

本機のネットワークに関する設定項目 (▶**ネットワーク(P. 357)**) とその内容をリストで確認できます。アドレスフィルターや IPSec の設定状況など、セキュリティに関する情報もプリントされます。

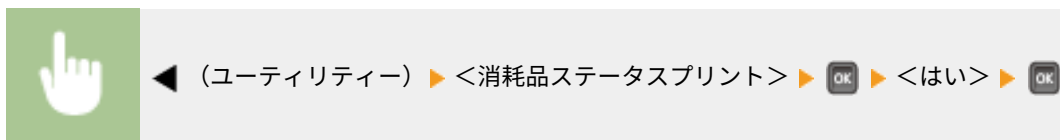


出力例：

Canon ネットワークステータスプリント		
Ethernetドライバー設定		
自動検出	: オン	
MACアドレス	: 08:00:27:19:3d:a6	
TCP/IP設定		
IPv4		
IPv4の使用	: オン	
DHCPによるアドレス設定	: オフ	
BOOTPによるアドレス設定	: オフ	
BOOTPによるアドレス設定	: オフ	
Auto IP	: オン	
DHCPによるDNSホスト名取得	: オン	
DHCPによるDNSの動的更新	: オフ	
IPアドレス	: 192.168.1.32	
サブネットマスク	: 255.255.255.0	
デフォルトゲートウェイアドレス	: 192.168.1.1	
DNS設定		
DNS	: オン	
DNS名	: Canon_LBP302i	
IPv6		
IPv6の使用	: オフ	
IPv6の静的アドレス	: オン	
IPv6の動的アドレス	: オフ	
HTTP		
プロキシ	: オン	
プロキシサーバーのアドレス	: オフ	
HTTPプロキシサーバーのポート番号	: 80	
同一ドメインにもプロキシを使用	: オフ	
プロキシ設定	: オフ	
マルチキャスト探索	: オン	
SSDP	: オフ	
SSDP	: オフ	
SSDPサーバー名	: 1	
スリープ通知設定		
通知	: オン	
ポート番号	: 1147	
通知させるルーター数	: 3	
通知時間	: 999	

消耗品ステータスプリント

トナーカートリッジの残量や警告メッセージ、新しいトナーカートリッジの購入先などの情報をリストで確認できます。

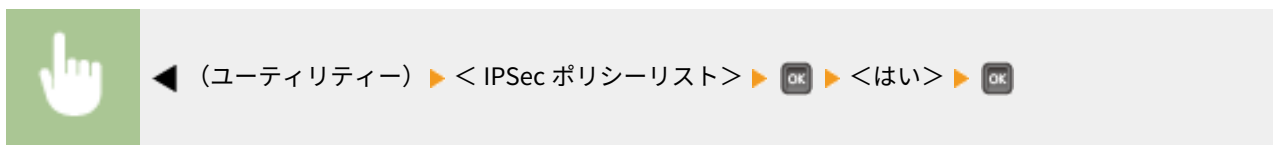


出力例：

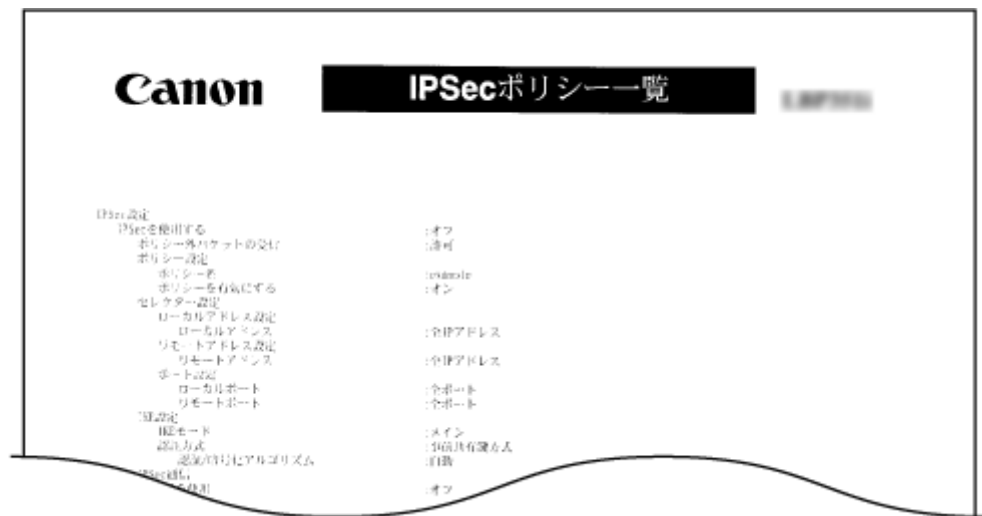
Canon 消耗品ステータスプリント	
装着カートリッジ情報	
ブラック 残量: 100% 警告: エラーはありません。	*** カートリッジを交換する前に必ずお読みください *** カートリッジの偽造品にご注意ください カートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。 「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など 機体本体の本来の性能が十分に発揮されない 場合があります。 「偽造品」に起因する故障や事故につきましては 責任を負いかねますので、ご了承ください。 詳しくは下記URLをご覧ください。 canon.com/canonterfeit 最適な印刷品位のため、交換用カートリッジは キヤノン純正カートリッジのご使用をお勧めします。 純正品情報

IPSec ポリシーリスト

本機に登録されている IPSec 設定のポリシー名と設定内容をリストで確認できます。

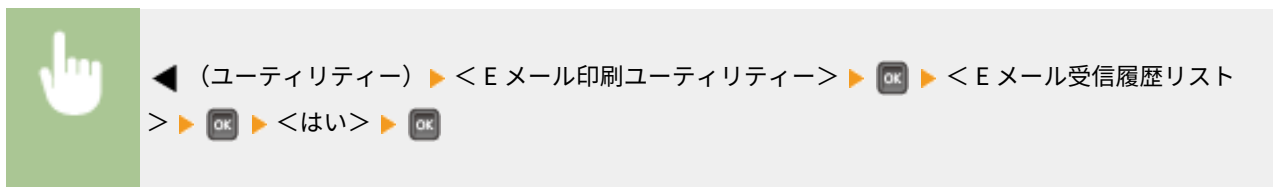


出力例：

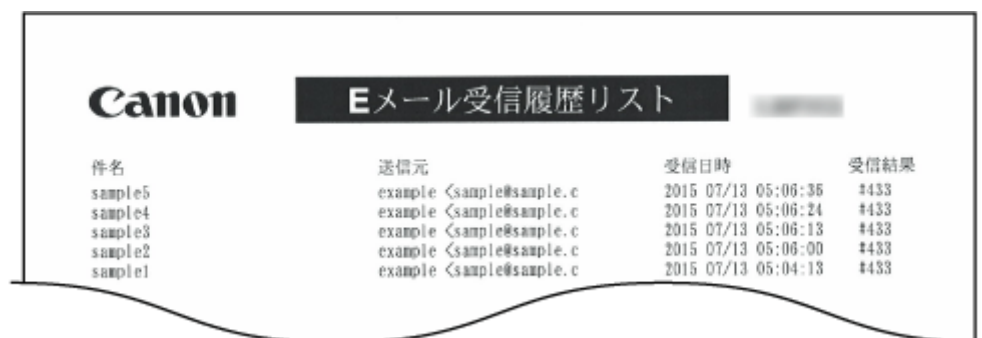


E メール受信履歴リスト

本機で受信したEメールの件名や受信日時などの履歴をリストで確認できます。

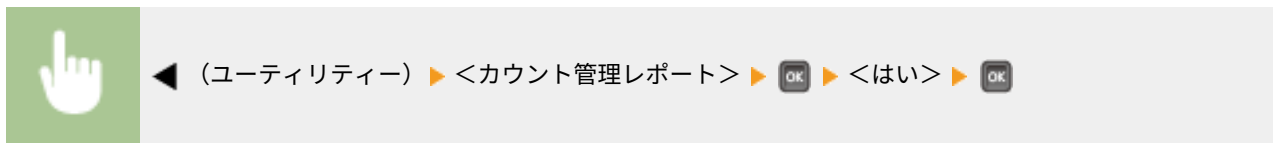


出力例：



カウント管理レポート

部門別 ID 管理を実施している場合は、印刷したページ数を部門ごとにレポートで確認できます。

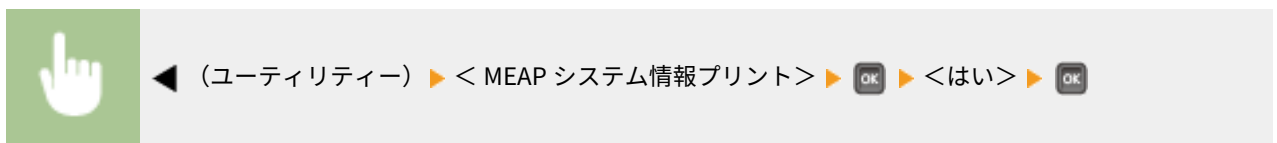


出力例：

Canon カウント管理レポート	
項目ID	トータル利用回数
1	0
2	0
本機IDジョブ	1
(ジョブID、ジョブ名、ジョブタイプ、ジョブ状態)	0

MEAP システム情報プリント ^{*1}

MEAP 機能を使用している場合は、インストールされている MEAP アプリケーションや、MEAP のシステムアプリケーションに関する情報をリストで確認できます。

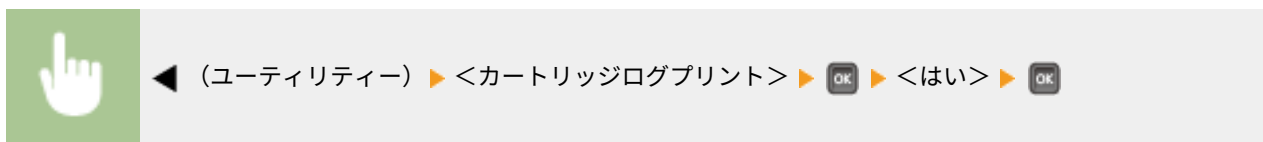


出力例：

Canon MEAPシステム情報	
MEAP Specifications : 11,15,18,19,25,26,27,29,34,39,43,45,47,50,51,52,54,55,57,58,60,61,62,63,74,75,76,77,82,83,86,87,99	
MEAP Contents : 00.44	
Application Name : DSL Installer Service	
Application ID/System Application Name : 2ca34a18-7f8a-4fd9-8de9-511c2963b733	
Application Version : 3.0.11.2	
Status : Started	
Installed on : Wed May 20 02:46:59 GMT+09:00 2015	
Vendor : Canon Inc.	
License Status : Installed	
Maximum Memory Usage : 1500	
Registered Service :	
Application Name : Service Management Service	
Application ID/System Application Name : c6b78400-9a49-45a7-a08e-...	
Application Version : 2.20.0.2	

カートリッジログプリント

トナーカートリッジの利用実績などをリストで確認できます。



出力例：



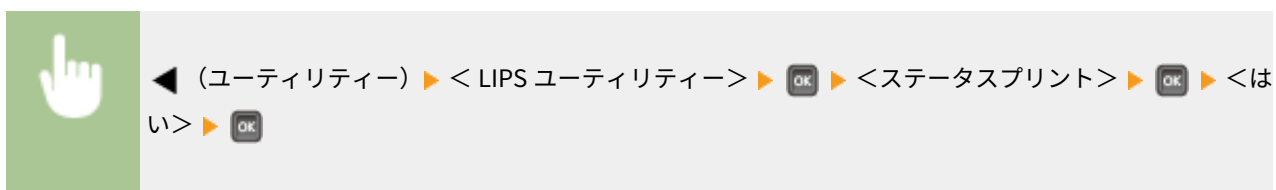
LIPS モード専用のリスト^{*1}

コントロールコマンドで LIPS II⁺、LIPS III、LIPS4 を使用するときの設定内容や、オーバーレイのフォーマットデータなどの本機に登録している内部情報が次のようなリストとしてプリントされます。

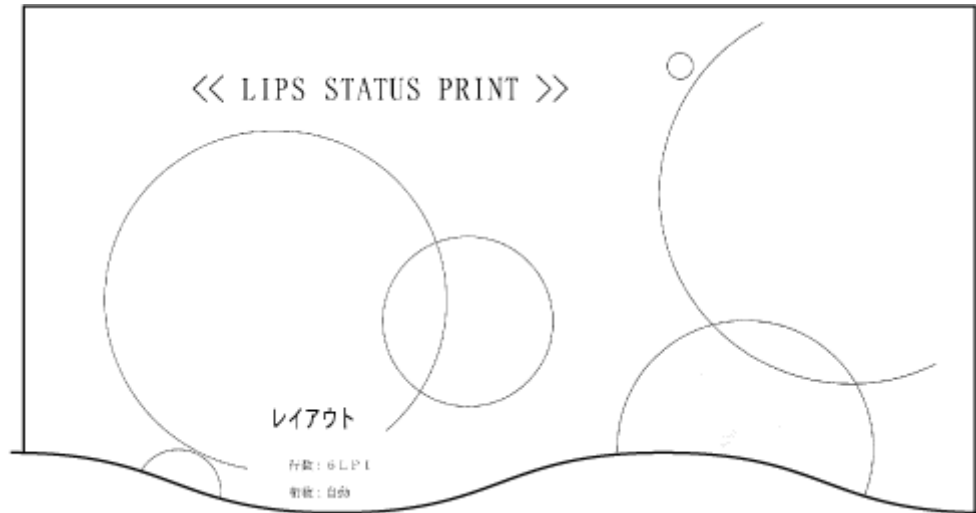
- ▶ステータスプリント(P. 503)
- ▶フォントリスト(P. 504)
- ▶オーバーレイリスト(P. 504)
- ▶マクロリスト(P. 505)
- ▶フォームリスト(P. 505)
- ▶オーバーレイプリント(P. 506)

■ステータスプリント

本機の設定項目（▶LIPS4 設定(P. 409)）とその内容をリストで確認できます。

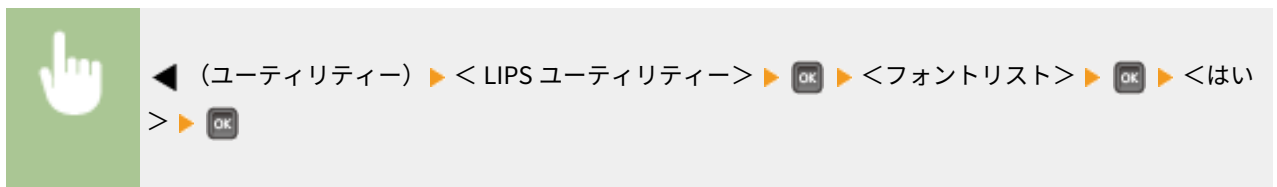


出力例：



■ フォントリスト

LIPS モードで使用できるフォントをリストで確認できます。

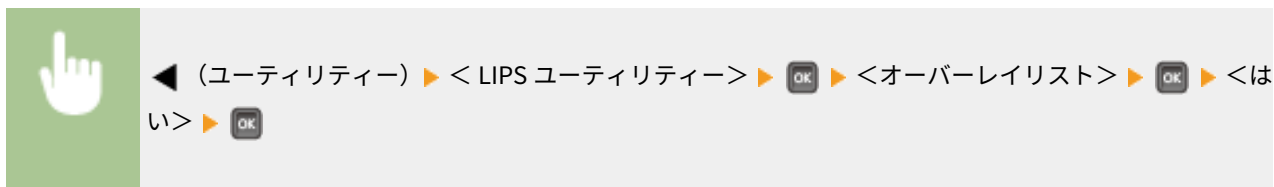


出力例：

FONT LISTS						
LIPS III・IV 内蔵: スケーラブル				PAGE. 001		
Gr. Set	Pitch	Size	Style	StrokeW.	Typeface# (Sub)	SAMPLE
Mincho-Medium-B, ROM	FIX	scalable	Upright	Medium	80 (10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Mincho-Medium-B, KATA	FIX	scalable	Upright	Medium	80 (10)	アキハタニシノカヒフヘホマミムメモヤユヨリリレ
Mincho-Medium-B, HIRA	FIX	scalable	Upright	Medium	80 (10)	アキハタニシノカヒフヘホマミムメモヤユヨリリレ
Mincho-Medium-B, PS, ROM	PS	scalable	Upright	Medium	80 (10)	ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
Mincho-Medium-B, PS, KATA	PS	scalable	Upright	Medium	80 (10)	アキハタニシノカヒフヘホマミムメモヤユヨリリレ
Mincho-Medium-B, PS, HIRA	PS	scalable	Upright	Medium	80 (10)	アキハタニシノカヒフヘホマミムメモヤユヨリリレ

■ オーバーレイリスト

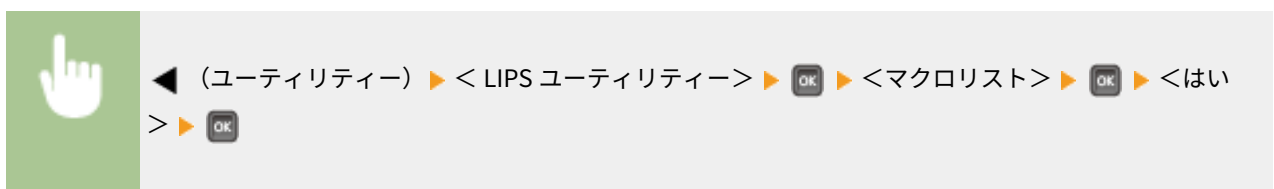
オーバーレイのフォーマットデータが登録されている場合は、フォーマットの番号やサイズなどをリストで確認できます。



- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ マクロリスト

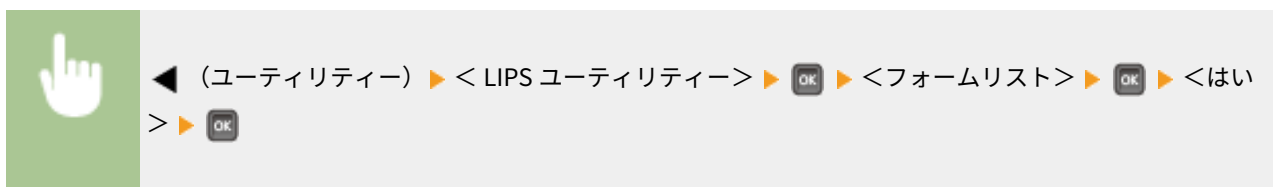
マクロデータが登録されている場合は、マクロの番号やサイズなどをリストで確認できます。



- マクロデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ フォームリスト

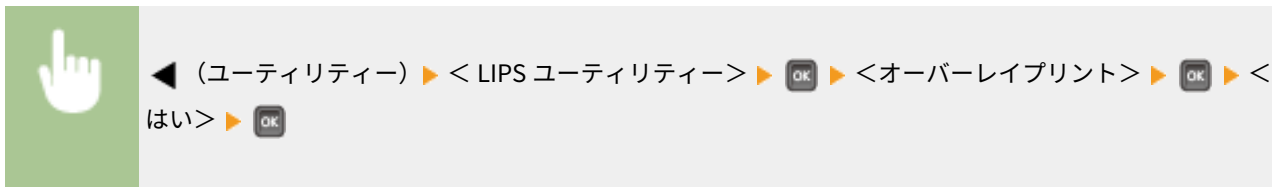
フォームデータが登録されている場合は、フォームの名称とサイズを一覧で確認できます。



- フォームデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

■ オーバーレイプリント

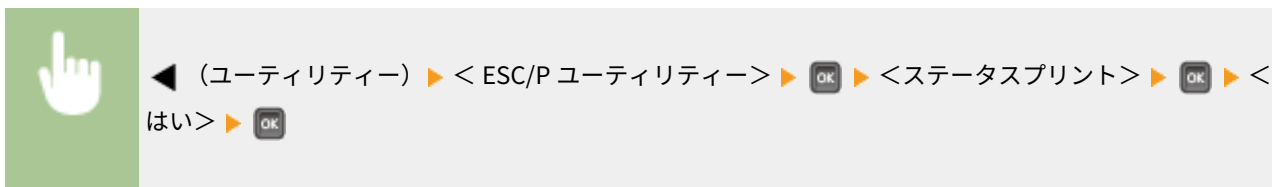
< LIPS4 設定 > の < オーバーレイ 1 > / < オーバーレイ 2 > に登録されているフォーマットデータをプリントして確認できます。▶ **オーバーレイ 1 / オーバーレイ 2 (P. 413)**



- フォーマットデータが登録されていないときは、手順を実行しても何もプリントされません。

ESC/P ステータスプリント *1

ESC/P エミュレーションモードの設定項目 (▶ **ESC/P 設定 (P. 424)**) とその内容をリストで確認できます。



出力例：

ESC/P ステータスプリント			Ver. 01.00
メニュー項目			
項	H	登録状態	
ページフォーマット		実寸縦	
上余白		0	
用紙位置微調整		0	
領域		標準	
右マージン既定値		136 桁	
用紙サイズ		A4	
漢字書体		明細	
フォントID		2	
漢字サイズ		システム	
文字コード		カタカナ	
国別文字		日本	
イメージの補正		しない	
縮小文字印刷			

保存ジョブリスト *1

本機の SD カードに保存されている文書のリストをプリントします。

印刷ページ数を確認する

4L33-06H

印刷ページ数を確認できます。

- すべての印刷ページ数を確認する(P. 510)
- 部門ごとの印刷ページ数を確認する(P. 510)

すべての印刷ページ数を確認する

これまでに行った印刷の総ページ数を確認できます。



部門ごとの印刷ページ数を確認する

部門ごとに、これまで印刷したページ数を確認できます。

1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする ●リモート UI を起動する(P. 315)

2 [設定/登録] をクリックする



3 [部門別 ID 管理] をクリックする



⇒ [プリント面数] に部門 ID ごとの印刷ページ数が表示されます。



確認結果をプリントするには

▶ **カウント管理レポート(P. 501)**

カウント数をゼロに戻すには

- 部門ごとにカウントをゼロに戻したい場合は、[部門 ID] のリンクをクリックし、[カウントクリア] ▶ [OK] をクリックします。



- 全部門のカウンタを一斉にゼロに戻す場合は、[カウントオールクリア] ▶ [OK] をクリックします。



消耗品を確認する

4L33-06J

操作パネルで消耗品の情報を確認できます。

- ▶ 用紙を確認する(P. 513)
- ▶ トナーカートリッジの型番を確認する(P. 513)
- ▶ トナーカートリッジの状態を確認する(P. 513)

用紙を確認する

給紙部ごとに用紙サイズや用紙種類の現在の設定、および用紙の残量を表示します。

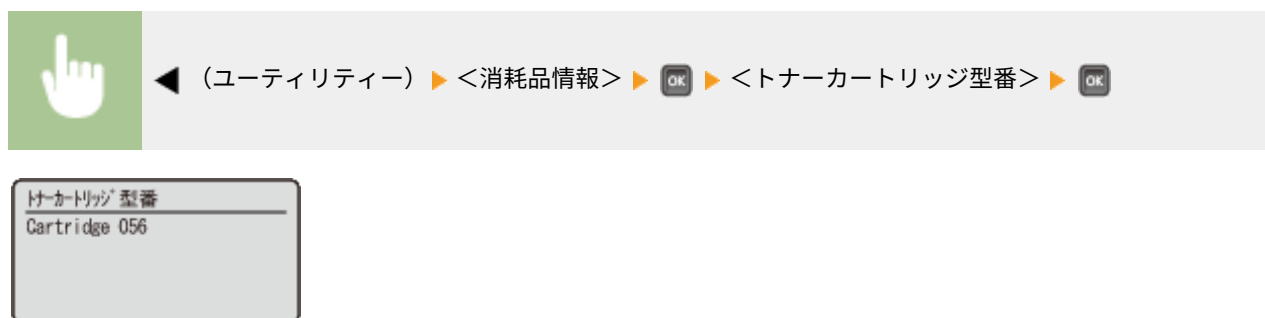


a 給紙部の選択

情報を表示する給紙部を選びます。

トナーカートリッジの型番を確認する

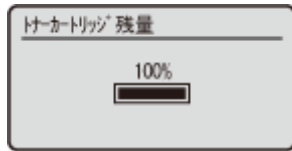
本機のトナーカートリッジの型番を表示します。



トナーカートリッジの状態を確認する

トナーカートリッジの状態を表示します。トナーがなくなる前に他の内部の部品が寿命に達する場合があります。





- 表示される数値は目安であり、実際と異なる場合があります。

設定を初期化する

4L33-06K

設定内容を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。

- ▶メニューを初期化する(P. 516)
- ▶ネットワーク設定を初期化する(P. 517)

メニューを初期化する

4L33-06L

各種設定項目（ **セットアップメニュー(P. 342)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。



● **ご注意**

初期化の実行中に電源スイッチを押さない

- 初期化中に電源が切れると、本機が故障することがあります。

リモート UI アクセス暗証番号を設定していたとき

- リモート UI アクセス暗証番号も初期化されます。初期化したあとは、リモート UI アクセス暗証番号を設定しなおしてください。 **リモート UI の暗証番号を設定する(P. 233)**



MEMO

- ネットワークに関する設定を初期化する場合は、 **ネットワーク設定を初期化する(P. 517)** を行ってください。
- <印字位置調整>の設定を初期化する場合は、 **印字位置調整(P. 390)** を行ってください。



▶ (セットアップ) ▶ <パネル設定初期化> ▶  ▶ <はい> ▶  ▶ ハードリセット ( **ハードリセットする(P. 465)**)

ネットワーク設定を初期化する

4L33-06R

ネットワークに関する設定項目（ **ネットワーク(P. 357)**）の設定値を初期化して、お買い上げ時の値に戻すことができます。



印刷中や印刷データの受信中に初期化しない

- 文書が正しく印刷されなかったり、紙づまりや故障の原因になったりすることがあります。



▶ (セットアップ) ▶ <ネットワーク> ▶  ▶ メッセージを確認 ▶  ▶ <ネットワーク設定初期化> ▶  ▶ <はい> ▶  ▶ ハードリセット（ **ハードリセットする(P. 465)**）

無償保証や保守サービスについて

4L33-06S

ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために

ご愛用いただく製品向けに、保守サービスをパッケージ化した「キャノンサービスパック（CSP）」と契約型の保守サービス制度「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」を用意しています。

「キャノンサービスパック（CSP）」や「キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）」は、電話による障害の解決支援や設置先での修理対応、安定した運用稼働のための定期点検（CCG のみ）を実施します。

- ▶無償保証について(P. 519)
- ▶キャノンサービスパック（CSP）(P. 520)
- ▶キャノン・ケア・ギャランティ（CCG）(P. 522)

無償保証について

4L33-06U

弊社の機器登録用ウェブサイトにお客様が機器情報をご登録いただくことで、お買い上げ日から1年間無償保証サービスを提供いたします。

下記ホームページからご登録をお願いいたします。

canon.jp/biz-regists

ご登録後に保証書を電子発行（ウェブサイトでの閲覧および印刷）いたしますので、印刷の上、大切に保管願います。

無償保証の保守サービスをお受けになるためには、ご登録後に電子発行される保証書、お買い上げ日が確認できる書面（納品書、領収書等）をあわせて、お買上げ販売店またはサービス実施店にご提示ください。

キヤノンサービスパック（CSP）

4L33-06W

キヤノンサービスパック（以下 CSP）は、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*1）がパッケージ化された保守サービス商品です。無償保証期間を含めた複数年パック（3 年、4 年、5 年）、または保証期間後の 1 年パックから選択することができます。

*1 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

CSP のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CSP の料金に含まれているため、部品代（*1）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CSP は、故障が発生した際に修理・調整をおこなうサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、機器の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：コールセンターの的確な対応

CSP は保守専用のコールセンターで障害の内容を承ります。障害の内容に応じて復旧方法のアドバイスやサービス実施店への修理手配などの的確な対応を行ないます。

修理受付時間：月～金曜日 9:00～17:30

- ご連絡先の電話番号はお客様 ID シールに記載しております。
- 祝祭日、年末年始等のキヤノンマーケティングジャパンが指定する休日を除きます。

安心 4：簡単購入、簡単登録

CSP はパッケージ化された商品のため簡単に購入することができます。また、契約書による契約手続きは不要で、CSP 購入後の保守登録は WEB、FAX、郵送で申請できます。

安心 5：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。
- 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

購入時の注意

購入タイミング

CSP スタンダードは対象製品の販売と同時にご購入ください。

CSP 保証延長は、無償保証期間経過後に CSP 保証延長を付ける場合、無償保証期間が終了する 3 ヶ月前から終了日までにご購入ください。CSP スタンダード 3 年、4 年パックの保守期間経過後に CSP を付ける場合は、保守期間が終了する 3 ヶ月前から保守終了日までにご購入ください。

サービス提供可能期間

CSP のサービス提供可能期間は延長期間を含め、対象製品お買い上げより最大 5 年間です。

CSP の登録期間

CSP のご購入後お早めにご登録ください。

CSP の登録申請後に発送する ID シールに障害発生時の電話連絡先を記載しています。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CSP の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キャノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キャノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キャノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キャノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

キヤノン・ケア・ギャランティ（CCG）

4L33-06X

キヤノン・ケア・ギャランティ（以下 CCG）は、無償保証期間後にいつでも締結可能（*1）な年間契約型の保守サービス制度で、万一故障した場合の訪問料、作業料、部品代（*2）が含まれています。

*1 ご契約を申し込まれる機器が正常に稼働していない場合は、ご契約できません。

*2 キヤノンマーケティングジャパンが別途定める特定の部品料金はこの限りではありません。

キヤノン保守契約制度のメリット

安心 1：予期せぬ出費を防ぐ

修理復旧作業にかかる費用は CCG の料金に含まれているため、部品代（*2）やその交換にかかる費用は発生しません。あらかじめ保守料金を予算化でき、予期せぬ出費を防ぐことができます。（CCG は、故障が発生した際に修理・調整を行うサービスです）

安心 2：安心の技術力

キヤノン認定のカスタマーエンジニアがお客様先へ訪問し、製品の診断から修理作業まできめ細やかなサービスを提供します。お客様に部品の交換作業をお願いすることはありません。

安心 3：保守内容のカスタマイズ

保守料金の支払い方法（一括払い／月払い）や契約の自動更新、点検作業の追加など、お客様のご要望に合わせて契約内容をカスタマイズすることが可能です。（*3）

安心 4：時間外サービス

土日や夜間など、サービス実施時間を延長することができます。

- 別途追加契約が必要になります。（*3）

*3 条件によっては契約をお受けできない場合があります。

購入後の注意

1. 下記の事由による対象製品の故障または損傷については、CCG の対象外とさせていただきます。

- 対象製品取り扱い上の不注意または誤用
- 火災、天災地変等の不可抗力、その他キヤノン MJ またはサービス実施店の責によらざる事由
- キヤノン MJ 指定以外の製品、部品、付属品、消耗品（キヤノン MJ の定める規格に適合しない用紙や再生品のカートリッジ等）の使用
- キヤノン MJ またはサービス実施店以外の者が実施した改造、修理、分解、加工、設置、輸送・移動
- 電氣的ノイズ、公衆回線障害、その他外的要因

2. 前項の他、下記の作業についても本サービスの対象外とさせていただきます。

- 対象製品の移動及び撤去作業
- 対象製品のオーバーホール及び改造作業

NETEYE について

4L33-06Y

NETEYE（ネットアイ）は、お客様のデバイスを常に見守り、快適な稼動環境を提供するレーザービームプリンター／スモールオフィス向け複合機の法人向け総合サービスです。万が一故障が起きた際も、オペレーターが電話にて状況確認・復旧サポートし、デバイスの稼動停止時間を最小限に抑えます。更にファームウェアの更新情報などのデバイスの安定稼動に必要な情報をお届けします。

サービス内容

モニタリングサービス

異常時には状況確認のご連絡をし、メンテナンスも手配

稼動状況 Web 確認サービス

使用状況を専用サイトで閲覧・集計でき、運用コストを分析可能

プリンタードライバー・ファームウェア更新案内サービス

ドライバー等の最新情報が通知され、管理負荷が軽減

FAQ 案内サービス

よくある質問等の FAQ 情報が通知され、問い合わせ負荷が軽減



- 詳しくは、サービスサイトをご参照ください。
canon.jp/neteye

サービス開始方法

お申し込み

カスタマープレミアサイトからお申し込みください。

canon.jp/biz-regists

デバイス設定

ご利用にはサービスを提供するサーバーと本機が通信できるようにする必要があります。

なお、通信の確認操作はお申し込み前に実施して頂いても構いません。

🔴 **本機を準備する(P. 524)**

本機を準備する

4L33-08L

NETEYE（ネットアイ）を利用するには、監視サーバーと通信するためにネットワークの設定が必要です。また、設定が正しいかを確認するために通信テストを行ってください。

- **本機のネットワーク設定を行う(P. 524)**
- **監視サーバーとの通信テストをする(P. 524)**

本機のネットワーク設定を行う

本機をネットワークに接続していない場合、お使いの環境に合わせたネットワーク設定が必要です。設定内容について詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 LAN に接続する ●有線 LAN に接続する(P. 150)

2 IP アドレスを設定する ●IP アドレスを設定する(P. 152)

- お買い上げ時の状態ではネットワークでお使いいただくことができません。特定の IP アドレスに固定するか、IP アドレスを自動取得するように設定します。



- DNS サーバーを使用しているときは、プライマリー DNS サーバーアドレス、セカンダリー DNS サーバーアドレスを設定してください。● **DNS の設定をする(P. 187)**
- プロキシサーバーを使用しているときは、プロキシサーバーのアドレス、プロキシサーバーのポート番号を設定してください。プロキシ認証機能を使用するときは、ユーザー名、パスワードの設定も必要です。● **プロキシを設定する(P. 246)**

3 ハードリセットする ●ハードリセットする(P. 465)

⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



- 本機のネットワークに関する設定項目とその内容はネットワークステータスプリントで確認できます。● **ネットワークステータスプリント(P. 499)**

監視サーバーとの通信テストをする

監視サーバーと正常に通信できることを確認します。

1 ▶（セットアップ）を押す

2 ▲／▼で<ネットワーク>を選び、を押す

- メッセージが表示されたら、を押します。

3 <NetEye>を選び、を押す**4 <通信テスト>を選び、を押す****5 メッセージを確認して、を押す****6 <はい>を選び、を押す**

⇒ 正しく接続されたときは、<終了しました。>と表示されます。

**<実行できませんでした。>が表示されたとき**

- <通信ログ>で表示されたエラーメッセージを確認してください。▶[通信ログ\(P. 377\)](#)
- ネットワークステータスプリント (▶[ネットワークステータスプリント\(P. 499\)](#)) でネットワークの設定を確認してください。
- ファイアウォールなど、お使いのネットワーク環境により通信が遮断されていないかをネットワーク管理者にお問い合わせください。
- トラブルが解消されない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

付録

付録	528
第三者のソフトウェアについて	529
活用術	530
節約してエコロジー	531
効率アップの使いこなし術	532
まだあるこんな使い方	534
おもな仕様	536
本体	537
用紙について	539
ペーパーフィーダー PF-C	543
環境ヒーター EH-H1	544
プリント機能	545
管理機能	549
サポート環境	553
ネットワーク環境	554
消耗品	555
オプションについて	557
オプション機器について	558
システムオプションについて	559
ROM を取り付ける	561
SD カードを取り付ける	565
マニュアルの種類と内容	570
ユーザーズガイドの使いかた	571
ユーザーズガイドの画面構成	572
ユーザーズガイドの読みかた	575
MEAP アプリケーションを管理する	577
FTP クライアントを使用する	578
FTP サーバーの準備をする	579
FTP クライアントを使用して印刷する（FTP 印刷）	582
FTP クライアントを使用して設定する	584
その他	592
Windows の基本操作	593
メニュールートマップ	602
動作モードについて	603

自動切り替えがうまくできないとき	606
動作モードを固定する	608
ESC/P エミュレーションのページフォーマット	609
内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント	624
ダンプリスト	630
おことわり	633

付録

4L33-070

本機の仕様、ユーザズガイドの使いかた、免責事項や著作権など、お客様に知っておいていただきたい情報を記載しています。必要に応じてお読みください。

第三者のソフトウェアについて

4L33-071

第三者のソフトウェアに関する情報を知りたいときは、次のアイコンをクリックしてください。

LBP322i**LBP321**

活用術

4L33-072

「節約してエコロジー」「効率アップの使いこなし術」「まだあるこんな使い方」の3つのカテゴリーで本機を活用するヒントをご紹介します。用途やシーンに合わせて、便利で役に立つ活用術をお試してください。

節約してエコロジー

4L33-073



用紙やトナーの使用量を抑える、電力量を少なくする、などの節約法をご紹介します。

01



両面印刷で用紙枚数を半分に

用紙の両面に印刷することができます。大量印刷はもちろん、数ページの少量印刷でも両面機能で積極的に用紙を節約してください。複数ページを1枚の用紙にまとめて印刷する集約印刷と組み合わせることも可能。最大32ページ分の文書が1枚にまとめられ大変エコロジーです。



▶パソコンから印刷する(P. 73)

02



節電モードでエコロジー

操作以外は徹底して消費電力を抑える「スリープモード」。電源を切ることなく手動または自動で最低限の電力消費に切り替わります。さらに長時間本機を使わないと自動的に電源を切る「オートシャットダウン」で効果をプラス！見えないところでコストダウン＆省エネのお手伝いをします。



▶スリープモードにする(P. 65)

▶オートシャットダウンを設定する(P. 68)



GREEN NAVI

エコなオフィスを実現するキヤノン
製品の活用方法や、新旧製品のエコ
効果が比較できます。

効率アップの使いこなし術

4L33-074



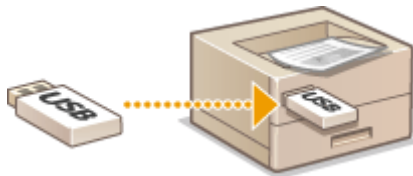
複雑な操作を簡単に。本機が効率アップのお手伝いをします。

01



アプリケーションなしでも印刷できる

PDF/TIFF/JPEG/XPS 形式のデータなら、リモート UI から直接本機に送って印刷できます。USB メモリーを本機に差し、パソコンを介さず直接印刷することもできます。ファイルを開く必要がないのでアプリケーションがなくても大丈夫。急ぎのときやパソコンが使えないときに大助かりです。



▶ ファイルを開かずに印刷する（ダイレクトプリント）(P. 109)

▶ USB メモリーから印刷する（メディアプリント）(P. 83)

02



デスクにしながら本機を設定

デスクのパソコンから本機を遠隔管理できます。用紙やトナーカートリッジの残量を確認できるだけでなく、印刷の状況を元に割り込みや追い越しをさせることもできます。プリンターとパソコンを往復する手間を省いて、時間を節約しましょう。



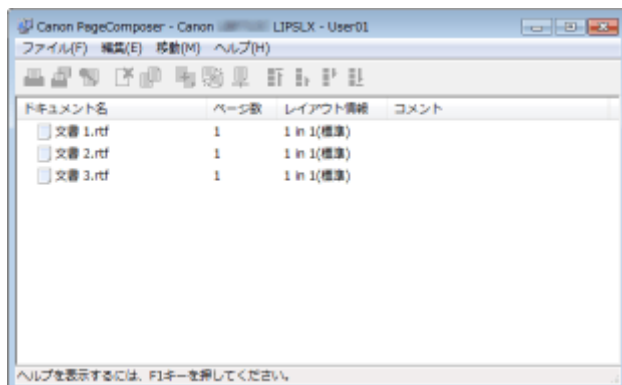
▶ リモート UI を使う(P. 314)

03



作業のショートカットで時短推進

たくさんの文書を続けて印刷する場合、一度の操作で済んだらとっても楽ですね。Canon PageComposer を使えば、複数の文書を結合し一度に印刷することができます。またファクスの送付状など繰り返し印刷する文書は本体の SD カードに保存して、いちいちパソコンやプリンタードライバを起動せず操作パネルから直接印刷できます。無駄な作業をカットして職場の時短をお手伝いします。



▶ パソコンから印刷する(P. 73)

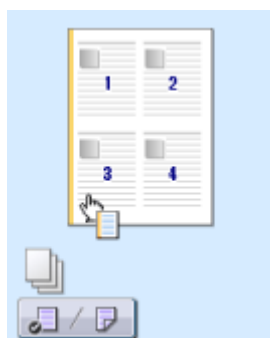
▶ 文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 98)

04



直感的な操作ですばやく印刷設定

プリンタードライバのプレビューイメージ上の直感的な操作で、ページレイアウト、とじ方向や片面・両面の切り替えなどが容易に設定できます。かんたんなクリック操作でイメージをつかみながら設定できるので便利です。



▶ パソコンから印刷する(P. 73)

まだあるこんな使い方

4L33-075



自宅、オフィス、外出先。さまざまなシーンで使える便利な機能がそろっています。

01



スマートフォン／タブレットを活用

タブレットを使って出張の移動時間に仕上げた企画書をすぐに印刷したい！そんなときは、キヤノンモバイルアプリケーションを使うと便利です。

PC レス、迅速、簡単！スピード時代に相応しい機能が仕事や趣味をいっそう充実させます。



▶モバイル機器と便利に連携(P. 129)

02



Google Cloud Print でどこでも手元から印刷

出張中、タブレットを使って車中で仕上げた企画書。取材の合間にスマートフォンで撮影した写真。Google Cloud Print を使えば、離れた場所からでもオフィスや自宅にある本機で印刷できます。



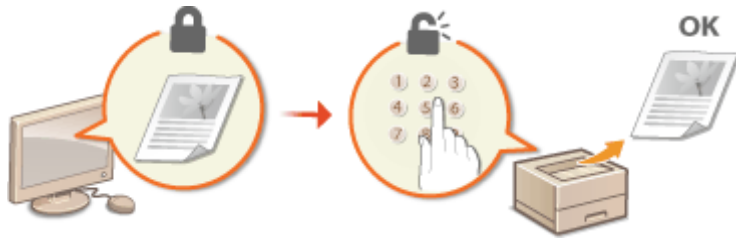
▶Google Cloud Print を使う(P. 141)

03



マル秘文書を印刷する

個人情報や機密文書は他人に見られるのが心配です。秘匿性の高い文書はセキュアプリントを使いましょう。パソコン上で印刷データに暗証番号をかけて本機に印刷指示すると、データは本体メモリーにいったん蓄積されます。操作パネルで同じ暗証番号を入力しない限り印刷されません。忙しくて印刷物を取りに行くのをすっかり忘れてしまっても大丈夫です。



▶ 暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）（P. 94）

おもな仕様

4L33-076

本製品が改良されて仕様変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になったりすることがありますので、ご了承ください。本製品に関する情報は、キヤノンホームページ（<https://global.canon/>）を参照してください。

■ 本体に関する仕様について

- ▶ 本体(P. 537)
- ▶ 用紙について(P. 539)

■ 本体に装着するオプション機器の仕様について

- ▶ ペーパーフィーダー PF-C(P. 543)
- ▶ 環境ヒーター EH-H1(P. 544)

■ 機能に関する仕様について

- ▶ プリント機能(P. 545)
- ▶ 管理機能(P. 549)

■ お使いになる環境について

- ▶ サポート環境(P. 553)
- ▶ ネットワーク環境(P. 554)

本体

4L33-077



- 給紙箇所ごとの用紙サイズ・種類については「**用紙について(P. 539)**」を参照ください。

形式	デスクトップ
カラー対応	白黒
書き込み解像度	600 dpi × 600 dpi
階調	256 階調
使用可能な用紙	用紙サイズ - 最大：216.0 mm × 355.6 mm - カセット最小：105.0 mm × 148.0 mm - 手差し最小：76.2 mm × 127.0 mm 用紙坪量 - 給紙カセット：60 g/m² ～ 120 g/m² - 手差しトレイ：60 g/m² ～ 199 g/m²
用紙種類	用紙について(P. 539)
ウォームアップタイム ^{*1}	主電源立ち上げ時 30.0 秒以下 スリープモードからの立ち上げ時 3.0 秒以下
ファーストプリントタイム (A4)	約 5.7 秒
連続印刷速度 ^{*2} (A4)	43.0 枚/分
給紙方式／給紙容量 ^{*3}	給紙カセット 550 枚 (80 g/m ²) ／ 640 枚 (64 g/m ²) × 1 手差しトレイ

	100 枚 (80 g/m ²) / 100 枚 (64 g/m ²) × 1
排紙方式／排紙容量 ^{*3}	排紙トレイ 250 枚 (68 g/m ²)
電源	AC 100 V、8.0 A、50 Hz/60 Hz
消費電力 ^{*1}	最大消費電力 1,250 W 以下 スリープモード時 ● 約 1.9 W (USB 接続) ● 約 1.2 W (有線 LAN 接続) 電源スイッチ切断時 0.4 W 以下
エネルギー消費効率 (省エネ法 (平成 25 年 3 月 1 日付) で定められた測定方法による数値)	73 kWh/年 (区分名: プリンター C)
大きさ (幅×奥行×高さ)	409 mm × 376 mm × 330 mm
質量	本体 ^{*4} 約 11.5 kg 消耗品 ●消耗品(P. 555)
機械占有寸法	「はじめにお読みください」を参照 ●マニュアルの種類と内容(P. 570)
メモリー容量	RAM : 1 GB
使用環境	● 温度: 10 °C ~ 30 °C ● 湿度: 20 % ~ 80 % (相対湿度・結露しないこと)

^{*1} 使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

^{*2} A4 片面等倍時。普通紙、同一データを連続印刷した場合の自社試験による速度です。はがきや小サイズ紙など、用紙の種類・サイズ・送り方向などによっては印刷速度が低下します。また連続印刷時に、プリンター本体の温度調整や画質調整などのため動作を休止もしくは遅くさせる場合があります。

^{*3} 設置環境や使用する用紙によって異なることがあります。

^{*4} トナーカートリッジを除く

用紙について

4L33-078

本機で利用できる用紙は以下のとおりです。

■使用可能な用紙サイズ

○：使用可能 ×：使用不可

用紙サイズ	給紙カセット *1	手差しトレイ	自動両面印刷 *2
A4	○	○	○
B5	○	○	×
A5	○	○	×
A6	○	○	×
リーガル (LGL)	○	○	○
レター (LTR)	○	○	○
ステートメント (STMT)	○	○	×
エグゼクティブ (EXEC)	○	○	×
Foolscap (FLSC)	○	○	○
16K	○	○	×

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-C を含みます。

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

*3 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 105.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 355.6 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 148.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 216.0 mm

*4 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合 (Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ) :
幅 76.2 mm ～ 216.0 mm、長さ 127.0 mm ～ 355.6 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合 :
幅 127.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 127.0 mm ～ 216.0 mm

*5 以下のサイズを使用できます。

- 幅 210.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 270.0 mm ～ 355.6 mm

用紙サイズ	給紙カセット *1	手差しトレイ	自動両面印刷 *2
インデックスカード	×	○	×
Legal (India)	○	○	○
はがき	×	○	×
往復はがき	×	○	×
4面はがき	×	○	×
封筒 長形 3号	×	○	×
封筒 洋形長 3号	×	○	×
封筒 No.10 (COM10)	×	○	×
封筒 Monarch	×	○	×
封筒 C5 (封筒 ISO-C5)	×	○	×
封筒 DL	×	○	×
ユーザー設定用紙	○ *3	○ *4	○ *5

*1 オプションのペーパーフィーダー PF-C を含みます。

*2 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

*3 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合（Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ）：
幅 105.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 355.6 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合：
幅 148.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 148.0 mm ～ 216.0 mm

*4 以下のサイズを使用できます。

- 用紙をタテ置きにセットした場合（Generic Plus LIPSLX プリンタードライバー使用時のみ）：
幅 76.2 mm ～ 216.0 mm、長さ 127.0 mm ～ 355.6 mm
- 用紙をヨコ置きにセットした場合：
幅 127.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 127.0 mm ～ 216.0 mm

*5 以下のサイズを使用できます。

- 幅 210.0 mm ～ 216.0 mm、長さ 270.0 mm ～ 355.6 mm



- プリンタードライバーによっては、一部の用紙が表示されないことがあります。使用したい用紙が表示されない場合は、LIPSLX / CARPS2 V4 Printer Driver をキヤノンホームページよりダウンロードしてお使いください。ダウンロードできない場合は、お近くのキヤノン販売店または「キヤノンお客様相談センター」にお問い合わせください。

■使用可能な用紙の種類

本機は、非塩素用紙を使用できます。



- 使用する用紙の種類によっては印字品質が低下する場合があります。

○：使用可能 ✕：使用不可

用紙の種類		給紙カセット ^{*1}	手差しトレイ	自動両面印刷 ^{*2}
薄紙 1 ^{*3*4}	60 g/m ²	○	○	○
普通紙 1 ^{*3}	60 g/m ² ~ 74 g/m ²	○	○	○
普通紙 2 ^{*3}	75 g/m ² ~ 89 g/m ²	○	○	○
厚紙 1	90 g/m ² ~ 105 g/m ²	○	○	○
厚紙 2	106 g/m ² ~ 120 g/m ²	○	○	○
厚紙 3	121 g/m ² ~ 149 g/m ²	✕	○	✕
厚紙 4	150 g/m ² ~ 199 g/m ²	✕	○	✕
ボンド紙 1	60 g/m ² ~ 74 g/m ²	○	○	○
ボンド紙 2	75 g/m ² ~ 104 g/m ²	○	○	○
ボンド紙 3	105 g/m ² ~ 120 g/m ²	○	○	○
ラベル用紙		✕	○	✕
はがき ^{*5}		✕	○	✕
封筒		✕	○	✕
封筒 H ^{*6}		✕	○	✕

^{*1} オプションのペーパーフィーダー PF-C を含みます。

^{*2} 用紙をセットしなおすことなく、自動で両面に印刷することができます。

^{*3} 再生紙も使用できます。

^{*4} <普通紙 1>に設定した場合に用紙がカールするようときは、<薄紙 1>に設定して印刷してください。

^{*5} インクジェット用の郵便はがきや郵便往復はがきは使用できません。

^{*6} <封筒>に設定したときにトナーが定着せず印刷がかすれる場合は、<封筒 H>に設定して印刷してください。

ペーパーフィーダー PF-C

4L33-079

用紙サイズ	- 最大：216.0 mm × 355.6 mm - 最小：105.0 mm × 148.0 mm
用紙坪量	60 g/m ² ~ 120 g/m ²
給紙容量／給紙段数*	550 枚 (80 g/m ²) ／ 640 枚 (64 g/m ²) × 1
大きさ (幅×奥行×高さ)	417 mm × 373 mm × 156 mm
質量	約 4.0 kg

*設置環境や使用する用紙によって異なります。

環境ヒーター EH-H1

4L33-07A

使用環境	● 温度：10℃～30℃ ● 湿度：20％～80％（相対湿度・結露しないこと）
電源	AC 100 V、50 Hz/60 Hz 共通
消費電力*	約 16 W

*使用環境、使用条件によって変わる場合があります。

プリント機能

4L33-07C

■ LIPS LX プリンター機能

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔴用紙について(P. 539)
連続印刷速度	本体の「連続印刷速度」と同じ 🔴本体(P. 537)
解像度	データ処理 1,200 dpi × 1,200 dpi、600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS LX
対応プロトコル	TCP/IP、SMB（SD カード装着時）
内蔵フォント	なし
インターフェイス	USB USB 2.0 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T

■ LIPS V プリンター機能^{*1}

形式	内蔵型
プリントサイズ	🔴用紙について(P. 539)
連続印刷速度	本体の「連続印刷速度」と同じ 🔴本体(P. 537)
解像度	データ処理 1,200 dpi × 1,200 dpi、600 dpi × 600 dpi
ページ記述言語	LIPS V（LIPS LX、LIPS IV、LIPS III、LIPS II+）

対応プロトコル	TCP/IP、SMB（SD カード装着時）
内蔵フォント	和文 平成明朝体™W3^{*2}、平成角ゴシック体™W5^{*2}、丸ゴシック体 欧文 Courier、Dutch、Swiss、Symbol その他 ラインプリンタ、バーコード（EAN-128、CODE39、NW-7、JAN、郵便バーコード、OCR フォント）
インターフェイス	USB USB 2.0 有線 LAN 10Base-T、100Base-TX、1000Base-T

^{*1}LIPS V プリンター機能は LBP322i で使用できます。

^{*2}これらのフォントは（財）日本規格協会文字フォント開発・普及センターと使用契約を締結して使用しているものです。フォントとして無断複製することは禁止されています。

■メディアプリント機能

印刷可能形式	● PDF ● XPS ● TIFF（MH/MR/MMR/Packbits/JPEG/LZW） ● JPEG（基本 DCT 方式のみ）
--------	--

■保存ジョブプリント機能

- SD カードに印刷データを最大 1,000 個（合計 3 GB）まで保存することができます。

■ダイレクトプリント機能

印刷可能形式 ^{*1}	● PDF（バージョン 1.7）^{*2} ● JPEG ● TIFF ● XPS
----------------------	--

^{*1}データによっては正しく印刷されないことがあります。

^{*2}本機で対応している PDF の暗号化アルゴリズムは、RC4 128bit/AES 128bit/AES 256bit です。



印刷できる 1 ファイルのサイズ上限は以下の通りです。

- PDF/XPS ファイル（SD カード装着時）：2 GB
（SD カード非装着時）：20 MB
- JPEG ファイル（SD カード装着時）：2 GB
（SD カード非装着時）：2 GB
- TIFF ファイル^{*1}（SD カード装着時）：2 GB
（SD カード非装着時）：2 GB

^{*1}TIFF ファイルの構造によっては、サイズの上限を超えていなくても印刷できないことがあります。その場合は< TIFF スプール機能>を< ON >にして再度印刷してください。●TIFF スプール機能(P. 439)

■ E メール印刷機能

E メール印刷の概要

全体

- 半角カタカナは全角カタカナで印刷されます。
- E メールの本文には、メールヘッダの情報もあわせて印刷されます。
- HTML 形式のメール本文はテキスト形式で印刷されます。
- E メール本文中で 1 行（改行なし）の文字数が、全角 500 文字（半角 1,000 文字）を超える場合、自動的に改行されるため、次行の文字が正しく印刷されないことがあります。

< TIFF スプール機能>が< ON >の場合

- E メールの本文データが 25 MB を超える場合、または 1 メールのサイズが 1.5 GB を超える場合、本文は印刷されません。
- E メールのヘッダデータが 20 KB を超える場合、20 KB 以降のヘッダデータは印刷されません。
- SD カードを未装着の場合、40 MB を超える TIFF ファイルは印刷されないことがあります。
- SD カードに十分な空きスペースがない場合、E メール印刷はできません。



- トナーカートリッジが寿命に近づくと、E メールを受信できなくなります。

対応エンコード形式	● 7bit ● 8bit ● binary ● uuencode ● x-uuencode ● base64 ● quoted-printable
対応文字セット*	● us-ascii ● iso-2022-jp

	● Shift_JIS ● SJIS ● EUC-JP ● eucJP
印刷可能な添付画像の形式	● JPEG ● TIFF

*文字セットの指定がない場合は、「us-ascii」で処理されます。



添付画像について

- ファイルの構造によっては印刷できないものもあります。
- 1 メールにつき 3 ファイルまで印刷できます（4 ファイル目以降の添付ファイルは印刷されません）。
- SD カードを装着している場合、印刷可能なファイルサイズは、1 ファイルあたり 100 MB 以下です。

管理機能

4L33-07E

■ファイアウォールを設定する場合

- 指定できる IP アドレス（IP アドレスの範囲）は IPv4 と IPv6 とでそれぞれ最大 16 です。
- 通信制限可能なプロトコルは TCP、UDP、ICMP です。
- 指定できる MAC アドレスは最大 50 です。

■IPSec について

- 本機の IPSec は RFC2401、RFC2402、RFC2406、RFC4305 に準拠しています。

対抗機器の OS	● Windows 7 ● Windows 8 ● Windows 8.1 ● Windows 10	
接続モード	トランスポートモード	
鍵交換プロトコル	IKEv1（メインモード）	
	認証方式	● 事前共有鍵方式 ● 電子署名方式
	ハッシュアルゴリズム（および鍵長）	● HMAC-MD5-96 ● HMAC-SHA1-96
	暗号化アルゴリズム（および鍵長）	● 3DES-CBC ● AES-CBC（128 ビット、192 ビット、256 ビット）
	鍵交換アルゴリズム／グループ（および鍵長）	Diffie-Hellman（DH） ● Group 1（768 ビット） ● Group 2（1024 ビット） ● Group 14（2048 ビット）
ESP	ハッシュアルゴリズム	● HMAC-MD5-96 ● HMAC-SHA1-96
	暗号化アルゴリズム（および鍵長）	● 3DES-CBC ● AES-CBC（128 ビット、192 ビット、256 ビット）
AH	ハッシュアルゴリズム	● HMAC-MD5-96 ● HMAC-SHA1-96



- ユニキャストアドレス（単一の相手）に対する通信だけに対応しています。

- 本機で IPsec を使用するときは、DHCPv6 は使用できません。

■ 鍵と証明書の登録について

- 鍵や CA 証明書をパソコンからインストールする場合は、次の条件を満たしているか確認してください。

形式	● CA 証明書：X.509 DER/PEM
ファイルの拡張子	● CA 証明書：「.cer」、「.pem」
公開鍵のアルゴリズム (および鍵長)	● RSA (512 ビット、1024 ビット、2048 ビット、4096 ビット) ● DSA (1024 ビット、2048 ビット、3072 ビット) ● ECDSA (P256、P384、P521)
証明書の署名アルゴリズム	● RSA：SHA-1、SHA-256、SHA-384[*]、SHA-512[*]、MD2、MD5 ● DSA：SHA-1 ● ECDSA：SHA-1、SHA-256、SHA-384、SHA-512
証明書の拇印アルゴリズム	SHA1

^{*}RSA-SHA-384 および RSA-SHA-512 は、RSA の鍵長が 1024 ビット以上の場合にだけ使用できます。



- 証明書失効リスト (CRL) には対応していません。

■ ジョブ履歴の表示上限数

[プリントジョブ/ ダイレクトプリント]	パソコンや USB メモリーから印刷した文書の履歴が最大 200 件まで表示されます。
[保存ジョブ]	本機に保存されている文書の印刷履歴が最大 200 件まで表示されます (SD カード装着時のみ)。
[レポート]	設定リストやレポートの印刷履歴が最大 16 件 (SD カード装着時は最大 128 件) まで表示され ます。
[E メール印刷]	E メールを受信して印刷した履歴が最大 16 件 (SD カード装着時は最大 128 件) まで表示され ます。

■ E メール受信のエラーコードについて

- エラーコードの詳細は以下のとおりです。

エラーコード	原因	処置
407	POP3 メールサーバーとの接続 が切れた	● ネットワーク管理者にお問い合わせください。 ● 同じ E メールのデータで何度もエラーが発生する場合は、E メールのデータが正常かどうかを確認してください。
	E メール受信時、10 分間に 1 Kbyte (1024 byte) のデータを 受信できなかった	

408	POP3 メールサーバーから「ERR」の応答が返ってきた	ネットワーク管理者にお問い合わせください。
412	E メール受信時、10 分間に 1 Kbyte (1024 byte) のデータを受信できなかった	- ネットワーク管理者にお問い合わせください。 - 同じ Eメールのデータで何度もエラーが発生する場合は、Eメールのデータが正常かどうかを確認してください。
420	Eメールのデータサイズが 1.5 GB を超えた	SD カード装着時は、送信する Eメールのデータサイズを 1.5 GB 以下にしてください。
421	Eメールの本文のサイズが 25 MB を超えた	SD カード装着時は、送信する Eメールの本文のサイズを 25 MB 以下にしてください。
422	添付ファイルのファイルサイズが 100 MB を超えた	SD カード装着時は、添付ファイルのファイルサイズを 1 ファイルあたり 100 MB 以下にしてください。
423	非サポートの形式の添付ファイルが送られてきた	印刷できる添付ファイルの形式は、JPEG または TIFF のみです。Eメールを送信するときは、他の形式のファイルは添付しないでください。
424	添付ファイルが 3 個を超えた	4 個目以降の添付ファイルは印刷されません。
430	送信者が不明の Eメールが送られてきた	Eメールを送信するときは、送信者が入力されるようにしてください。
431	分割メールを受信した	Eメールを分割しないで送信するように、次の対処を行ってください。 - 送信する Eメールの容量を減らします (分割されない容量まで減らします)。 - Eメールを分割しないで送信するようアプリケーションを設定します。
	対応していないエンコードや文字コードが含まれた Eメールが送られてきた	送信する Eメールは、本機に対応したエンコードや文字コードにしてください。🔴Eメール印刷の概要(P. 547)
	対応していない形式の Eメールを受信した	Eメールの形式を確認してください。Eメールはテキスト形式で送信することをおすすめします。
432	不正なデータが送られてきた	送信した Eメールのデータが正常かどうかを確認してください。
433	HTML 形式の Eメールが送信された	本機は HTML 形式の Eメールには対応していません (HTML 形式のメール本文はテキスト形式で印刷されます)。
434	Eメールの本文がない	本文がない Eメールを受信しました。
435	不正なファクス文書が転送されてきた	添付ファイルが TIFF 形式でないか、印刷可能サイズを超えています。
436	転送されたファクス文書に添付ファイルがない	添付ファイルがないため印刷されません。
440	何らかの理由で印刷がキャンセルされた	Eメールを送りなおしてください。

441	処理中に何らかのエラーが発生した	E メールを送りなおしてください。
499	本機に何らかのエラーが発生した	本体のディスプレイを確認して、表示されているメッセージに応じた対処をしてください。詳しくは、オンラインマニュアルサイトで「Q&A」を参照してください。



MEMO

- 複数のエラーが発生した場合は、番号の若いエラーコードのみが表示されます。
- エラーコードは、E メール受信履歴リストでも確認できます。▶ **E メール受信履歴リスト(P. 501)**

サポート環境

4L33-07F

リモート UI の使用環境 ^{*1}	Windows Internet Explorer 7.0 以降
ユーザズガイドの使用環境	Windows - Internet Explorer 9 以降 - Microsoft Edge - Firefox - Firefox ESR - Chrome^{*2} macOS - Safari - Firefox - Chrome^{*2} Linux - Firefox iOS - Safari^{*2} Android - Chrome^{*2}

^{*1} ウェブブラウザの設定で Cookie と JavaScript を利用できるようにしておいてください。

^{*2} インターネット上のマニュアル閲覧時のみ

ネットワーク環境

4L33-07H

■ ネットワーク仕様

対応プロトコル	TCP/IP ● フレームタイプ：Ethernet II ● プリントアプリケーション：LPD、Raw、IPP、IPPS、WSD、Mopria、Google Cloud Print、AirPrint、Windows10 Mobile Print
インターフェイス	10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T

消耗品

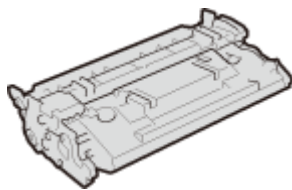
4L33-07J

本機の消耗品やその交換目安について説明します。消耗品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。消耗品のお取り扱いおよび保管に際しては、注意事項をお守りください。最適な印刷品位のため、交換用トナー、カートリッジ及びパーツは、キヤノン純正品のご使用をおすすめします。



- 消耗品のお取り扱いおよび保管に関しては、注意事項をお守りください。
 - ▶ 保守／点検について(P. 9)
 - ▶ 消耗品について(P. 10)
- 本機の設置環境や印刷する用紙サイズ、原稿の種類によって、記載の寿命より早く交換が必要になる場合があります。

■ トナーカートリッジ



付属のトナーカートリッジ

付属のトナーカートリッジの平均印字可能枚数および質量は次のとおりです。

- 平均印字可能枚数*
5,100 枚
- 質量
約 0.8 kg

交換用のトナーカートリッジ

最適な印刷品位のため、交換用トナーカートリッジは、キヤノン純正トナーカートリッジのご使用をおすすめします。

キヤノン純正トナーカートリッジ	平均印字可能枚数および質量
Canon Cartridge 056 L (キヤノン トナーカートリッジ 056 L)	● 平均印字可能枚数* 5,100 枚 ● 質量 約 0.8 kg
Canon Cartridge 056 (キヤノン トナーカートリッジ 056)	● 平均印字可能枚数* 10,000 枚 ● 質量 約 1.0 kg

*国際標準化機構（International Organization for Standardization）により発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準（ISO/IEC 19752）に準拠し、A4 サイズの普通紙を使用、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合の枚数です。



トナーカートリッジの偽造品に関するご注意

- キヤノン製トナーカートリッジの「偽造品」が流通していることが確認されています。「偽造品」はキヤノン株式会社の商標権を侵害するものです。また誤って「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。詳しくは下記ホームページをご覧ください。
global.canon/ctc



- トナーカートリッジを交換するとき ▶トナーカートリッジの交換(P. 483)

オプションについて

4L33-07K

本機にオプションを装着することで、より多くの機能が使えるようになります。

■どんなオプションがあるか知りたい

- ▶ オプション機器について(P. 558)
- ▶ システムオプションについて(P. 559)

■目的別にオプション機器を探したい

給紙カセットを追加したい

- ▶ ペーパーフィーダー PF-C(P. 558)

湿度の高い環境に設置するとき

- ▶ 環境ヒーター EH-H1(P. 558)

オプション機器について

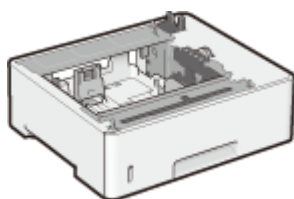
4L33-07L

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション品を用意しています。オプション品は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

▶ペーパーフィーダー PF-C(P. 558)

▶環境ヒーター EH-H1(P. 558)

■ペーパーフィーダー PF-C



オプションのペーパーフィーダーを取り付けると、本体標準の給紙カセットとは異なるサイズの用紙をセットできるので、用紙交換の手間を軽減できます。

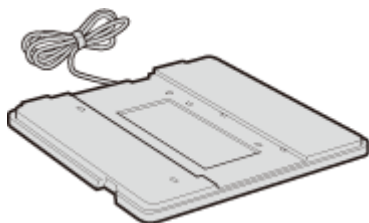
取り付け方法

「はじめにお読みください」を参照してください。▶マニュアルの種類と内容(P. 570)



- ペーパーフィーダーは、LBP322i に 3 台、LBP321 に 1 台まで取り付けることができます。

■環境ヒーター EH-H1



用紙の吸湿を低減させるためのヒーターです（本体とは別に電源が必要となります）。

取り付け方法

「はじめにお読みください」を参照してください。▶マニュアルの種類と内容(P. 570)

システムオプションについて

4L33-07R

本機の機能を十分にご活用いただくために、次のようなオプション機器を用意しています。オプション機器は、本機をお買い上げの販売店またはお近くのキヤノン販売店にてお買い求めください。

- ▶ **コントロール ROM(P. 559)**
- ▶ **SD カード(P. 559)**

コントロール ROM



コントロール ROM を取り付けると、エミュレーションモードが追加され、お使いのパソコンに対応した専用プリンターのように本機を動作させることができます。コントロール ROM には、次のエミュレーションモードが収録されています。

- PC-PR201/80A プリンターエミュレーション（拡張 N201）
- ESC/P 準拠プリンターエミュレーション（拡張 ESC/P）
- IBM5577 プリンターエミュレーション
- HP-7550B（HP-GL）プロッタエミュレーション
- HP Designjet 800（HP-GL/2）プリンターエミュレーション

エミュレーションモードの詳細については、オンラインマニュアルサイトからエミュレーションガイド（PDF マニュアル）を参照してください。

取り付け方法

- ▶ **ROM を取り付ける(P. 561)**



- コントロール ROM は、1 個のみ取り付けすることができます。

SD カード



SD カードを取り付けると、以下の機能が使えるようになります。

- セキュアプリント
 - ▶ **暗証番号を入力して印刷する（セキュアプリント）(P. 94)**
- 保存ジョブプリント
 - ▶ **文書を本機に保存して印刷する（保存ジョブプリント）(P. 98)**
- 割り込み印刷
- 印刷データの追い越し、一時停止／再開
 - ▶ **印刷文書の状況を確認する(P. 324)**
- SMB 印刷
 - ▶ **SMB の設定をする(P. 209)**
- スプール機能
 - ▶ **スプール機能(P. 372)**

取り付け方法

▶SD カードを取り付ける(P. 565)

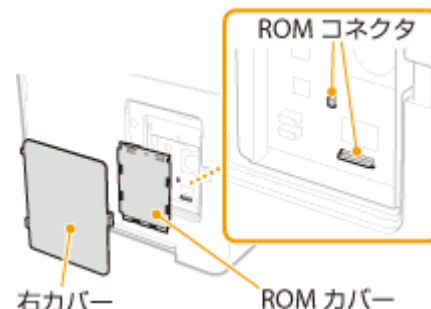


- SD カードを廃棄するときは、＜廃棄時消去＞を行ってデータを消去するか、物理的に破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。▶SD カードを取り付ける(P. 565)

ROM を取り付ける

4L33-07S

コントロール ROM を本機に取り付ける方法について説明します。ROM は右カバー内の ROM コネクタに取り付けます。作業を始める前に、**●設置について(P. 3)** の注意事項をお読みください。



取り付け時に次のことは行わない

- ネジなどの金属が基盤に触れないように作業してください。故障の原因となることがあります。
- 内部の部品、プリント配線、コネクタ、スイッチには触らないでください。故障の原因になることがあります。
- ROM カバーを開けたままで電源を入れないでください。故障の原因となることがあります。

静電気に注意する

ROM には、静電気に敏感な部品などが使用されています。静電気による破損を防止するために、次のことをお守りください。

- 一度室内の金属部分に手を触れ、体の静電気を逃がしてから作業をしてください。
- 作業中にディスプレイなど静電気を発生しやすいものに触れないでください。
- 静電気の影響を避けるために、ROM は取り付ける直前まで梱包材から取り出さないでください。

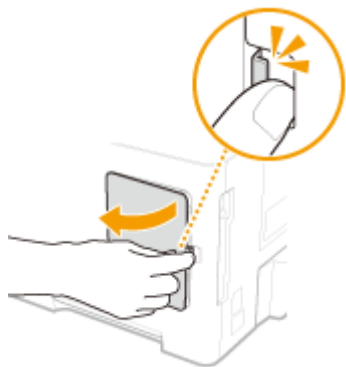
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



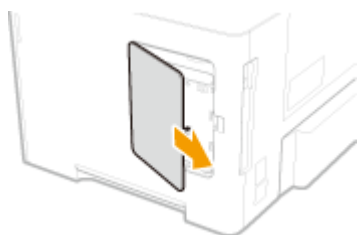
- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。 **●電源を切る(シャットダウンする) (P. 35)**

2 右カバーを取り外す

1 ツメを押しながら、手前に少し開ける

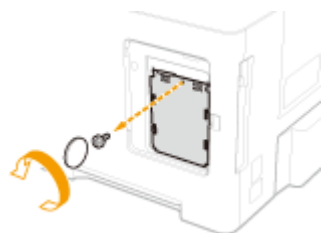


2 矢印の方向に取り外す

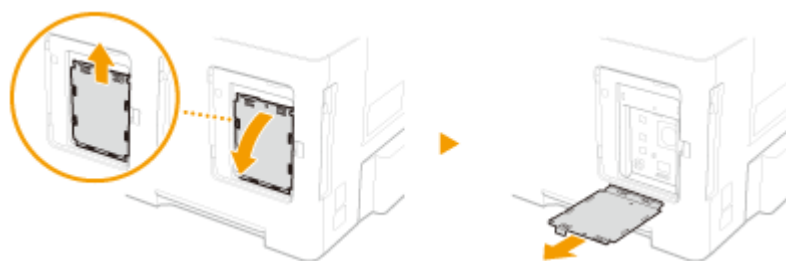


3 ROM カバーを取り外す

1 コインなどを使って ネジを取り外す

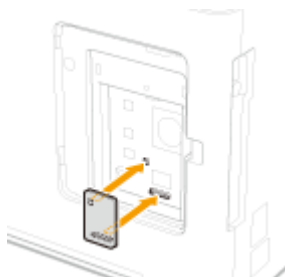


2 ROM カバーを開け、矢印の方向に取り外す



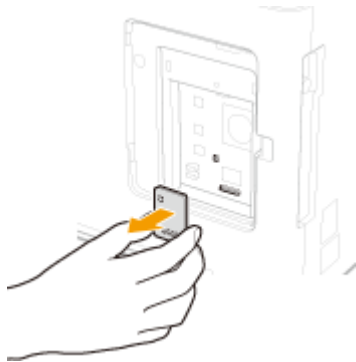
4 ROM を取り付ける

- 2 箇所の ROM コネクタに合わせて、奥までしっかりと押し込みます。



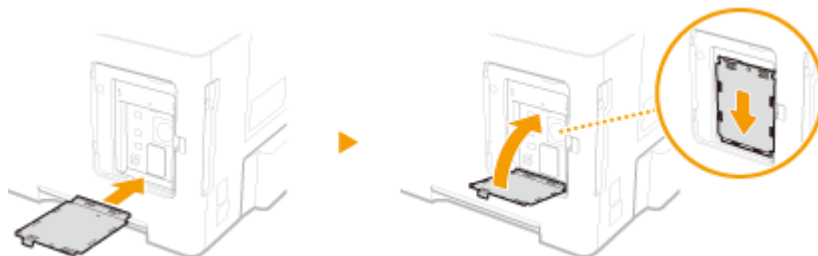
ROM を取り外すとき

- 図のように ROM の端を持って引き抜きます。

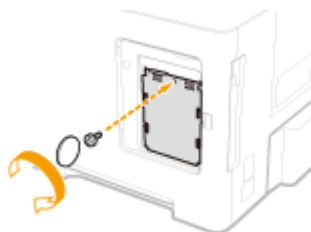


5 ROM カバーを取り付ける

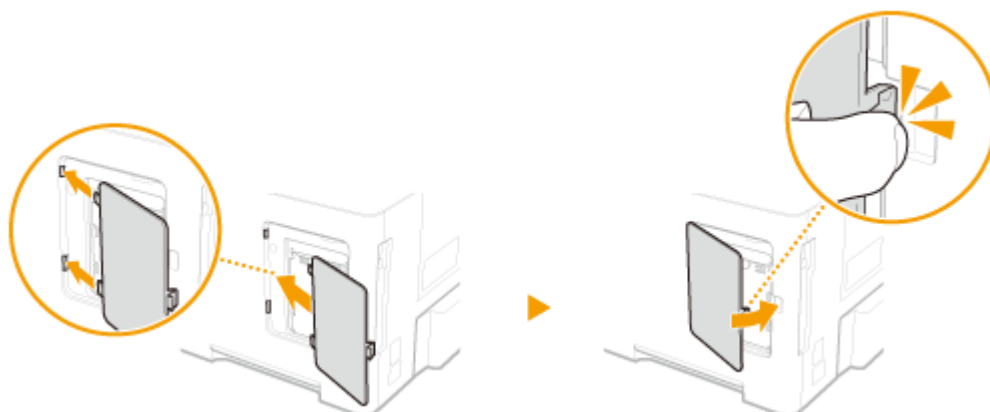
- 1 矢印の方向に ROM カバーのツメを差し込んで、閉める



- 2 コインなどを使ってネジを取り付ける



- 6 矢印の方向に右カバーを差し込んで、ツメを押しながら閉める



- SD カードも同時に設置するときは、**SD カードを取り付ける(P. 565)**に進んでください。

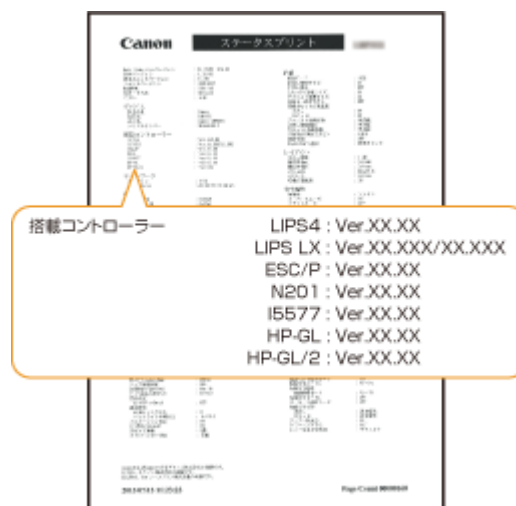
■ROM が正しく取り付けられていることを確認する

▶ **共通ステータスプリント(P. 456)** を印刷し、「搭載コントローラー」にコントロール ROM のエミュレーション（「N201」など）が表示されていることを確認します。コントロール ROM のエミュレーションが表示されていれば、ROM は正しく取り付けられています。



コントロール ROM のエミュレーションが表示されないとき

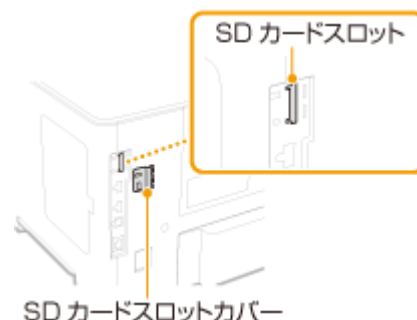
- ROM が正しく取り付けられていません。一度 ROM を取り外してから、取り付けなおしてください。



SD カードを取り付ける

4L33-07U

SD カードの取り付けかたや初期化の方法などについて説明します。SD カードは本体背面の SD カードスロットに取り付けます。作業を始める前に、**●設置について(P. 3)** の注意事項をお読みください。なお、本機から SD カード内に保存されるデータはすべて暗号化されます。これにより、パソコンなどに SD カードを接続してもデータを解読されることがないので、安心してお使いいただけます。



MEMO

- 取り付ける前に、SD カードが書き込み禁止になっていないか確認してください。書き込み禁止の場合は、ロックを解除してから取り付けてください。

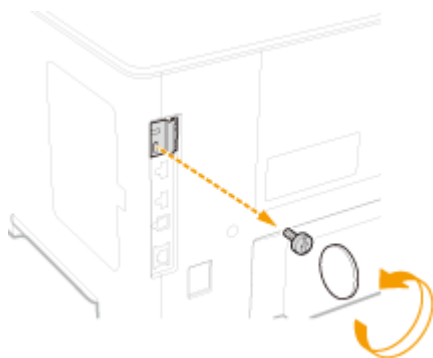
1 本機の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く



- 電源を切るときは電源スイッチは使わずに、操作パネルからシャットダウンの操作で切ります。 **●電源を切る** (シャットダウンする) (P. 35)

2 SD カードスロットカバーを取り外す

1 コインなどを使って ネジを取り外す

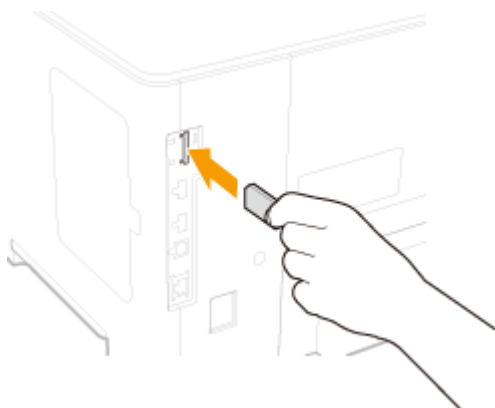


2 SD カードスロットカバーを開け、矢印の方向に取り外す



3 SD カードを取り付ける

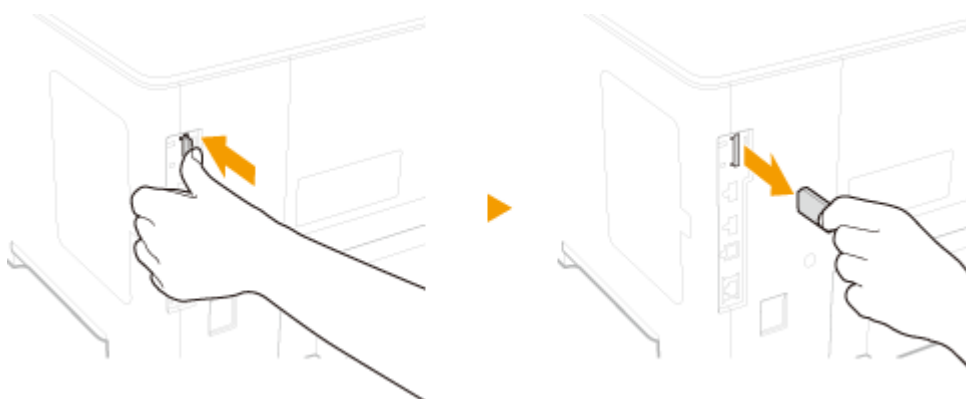
- SD カードスロットにカチッと音がするまで差し込みます。



MEMO

SD カードを取り外すとき

- カチッと音がするまで図のように SD カードを押し込んでから、指を離して取り外します。

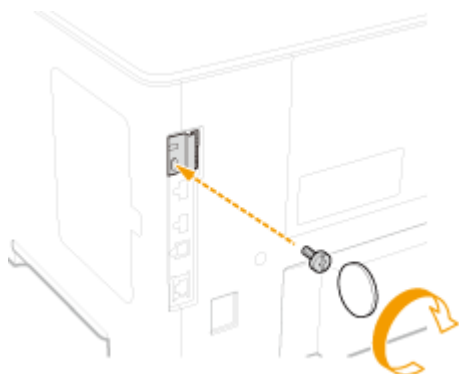


4 SD カードスロットカバーを取り付ける

- SD カードスロットカバーのツメを差し込んで、閉める



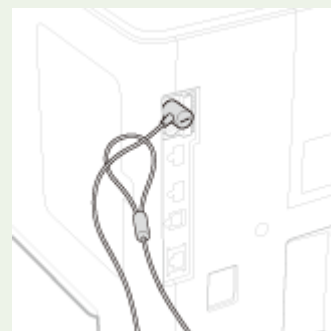
2 コインなどを使ってネジを取り付ける



MEMO

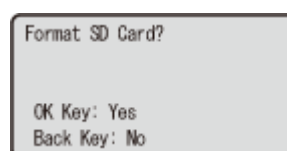
SD カード盗難防止用セキュリティスロットについて

- SD カードスロットカバーにはセキュリティスロットがあり、セキュリティーワイヤーなどを取り付けることができます。
- セキュリティスロットの穴寸法は幅 7.6 mm、高さ 3.6 mm です。
- セキュリティスロットに関するお問い合わせは、お買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。



■SD カードを初期化する

SD カードの取り付け後に初めて電源を入ると、ディスプレイに＜Format SD Card?＞が表示されます。**OK** を押すと、SD カードを初期化します。初期化が完了すると、SD カードが使用できる状態になります。



MEMO

＜Format SD Card?＞が表示されないとき

- 操作パネルの設定メニューにある＜SD カードメンテナンス＞の＜フォーマット＞で SD カードを初期化してください。▶SD カードメンテナンス(P. 396)

■SD カードが正しく取り付けられていることを確認する

▶共通ステータスプリント(P. 499) を印刷し、「拡張機能グループ」の「SD カードの使用」が「ON」になっていれば、SD カードは正しく取り付けられています。



「SD カード」が表示されないとき

- SD カードが正しく取り付けられていません。一度 SD カードを取り外してから、取り付けなおしてください。



■SD カードの情報を設定する

プリンタードライバーをインストールしたあとに SD カードを追加したときは、プリンタードライバーで SD カードの情報を設定する必要があります。▶プリンタードライバーのヘルプについて(P. 73)

■SD カードのデータをすべて消去する

SD カードを廃棄する前に、SD カード内のデータをすべて消去することができます。通常では消すことができないデータの断片まで消去するので、第三者にデータを読み取られる心配がなく、安全に廃棄することができます。



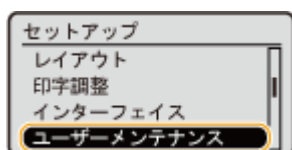
- オプション品以外の SD カードでは、この機能を使うことはできません。

1 オフラインにする

-  (オンライン) が点灯しているときに、 (オフライン) を押します。

2 ▶ (セットアップ) を押す

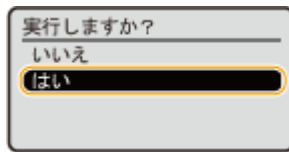
3 ▲ / ▼ で<ユーザーメンテナンス>を選び、 を押す



4 <SD カードメンテナンス> ▶ <廃棄時消去>の順に進む

- メッセージが表示されたら、 を押します。

5 <はい>を選び、を押す



⇒ 本機が再起動します。その後、電源が自動的に切れます。



- <廃棄時消去>を行うと、<SDカードの使用>が<OFF>になります。

マニュアルの種類と内容

4L33-07W

本機では、次のマニュアルを提供しています。目的と用途に合わせてお使いください。

はじめにお読みください	 	はじめにこのマニュアルをお読みください。箱を開けて梱包材を取り外す作業から、本機を使用できる状態にするまでの設定を説明しています。
ユーザーズガイド（本マニュアル）		ウェブブラウザーを使って閲覧するマニュアルで、本機のすべての機能を説明しています。使用目的から調べたり、キーワードを入力して目的のページを検索したりできます。▶ ユーザーズガイドの使いかた(P. 571)

ユーザーズガイドの使いかた

4L33-07X

ユーザーズガイドはパソコンやモバイル機器で見るマニュアルで、本機のすべての機能が掲載されています。使用目的から調べることでも、キーワードを入力して目的のページをすばやく検索することもできます。ここでは、ユーザーズガイドの画面構成や読みかたについて説明します。また、ユーザーズガイドの表示を設定することもできます。

■ユーザーズガイドの画面構成

ユーザーズガイドを構成する画面や配置されているボタンなどの使いかたについて説明します。▶[ユーザーズガイドの画面構成\(P. 572\)](#)

■ユーザーズガイドの読みかた

ユーザーズガイドで使われているマークの意味や、操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンをどのように表記しているかなど、ユーザーズガイドをお読みになるうえで知っておいていただきたいことについて説明します。▶[ユーザーズガイドの読みかた\(P. 575\)](#)

■ユーザーズガイドの表示を設定する

ユーザーズガイドの文字サイズを変更したり、ユーザーズガイドを表示する機器に合わせた画面レイアウトに切り替えたりすることができます。



- PDF 形式のマニュアルを見るとき、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。



探したい内容を見つける

もくじから探す

- 画面左に配置されている「もくじ」から項目を選ぶことで目的のページを探します。

検索して探す

- 「印刷設定」、「トナーカートリッジ」のようなキーワードを入力して検索すると、それを含むページが候補として表示されますので、その中から目的のページを探します。「ネットワークに接続」のような文章をキーワードとすることもできます。また、複数のキーワードをスペース（空白）で区切る AND 検索にも対応しています。検索画面の内容や操作方法については、▶[検索\(P. 573\)](#) を参照してください。

ユーザーズガイドの画面構成

4L33-07Y

ユーザーズガイドはいくつかの画面に分かれていて、それぞれ内容が異なります。

トップページ

ユーザーズガイドを起動すると最初に表示されるページです。



をクリックすると、章の下にある項目もすべて表示されます。 をクリックすると元の表示に戻ります。



クリックすると、もくじと検索の表示を切り替えることができます。もくじ表示中に 、検索表示中に を連続してクリックすると、表示／非表示が切り替わります。



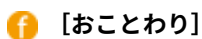
文字サイズやレイアウトなど、ユーザーズガイドの表示方法を設定できます。



ユーザーズガイドの見かたや検索のしかたなどが記載されています。



クリックすると、前後のページを表示します。



本機の使用にあたり、注意していただきたいことが記載されています。

本文ページ

機能の使いかたや設定方法が説明されています。



a ナビゲーション

どの章のどの項目を見ているのかを確認することができます。

b

クリックすると、該当するページにジャンプします。元に戻るときはウェブブラウザの [戻る] ボタンをクリックします。

c

▼ をクリックすると、隠れていた詳細説明が表示されます。▲ をクリックすると表示が閉じます。

d

現在表示しているページの先頭に戻ります。

検索

🔍 をクリックすると検索画面が表示されます。キーワード検索を利用して目的のページを探すときに使います。



a [キーワードを入力]

キーワードを入力して  をクリックすると、検索結果が表示されます。複数のキーワードをスペース（空白）で区切ると、すべてのキーワードを含むページが検索できます。また、キーワードをダブルクォーテーションで囲むと完全に一致するページのみを検索できます。

b 検索結果

指定したキーワードを含むすべてのページが表示されますので、この中から目的のページを探し、項目名をクリックします。



- 指定したキーワードは、検索結果に太字で表示されます。

ユーザーズガイドの読みかた

4L33-080

ユーザーズガイドで使われるマークやボタン、画面などについて説明します。なお、警告事項や注意事項については、本製品に同梱されている「はじめにお読みください」の「安全にお使いいただくために」にも掲載されています。あわせてご確認ください。

マークについて

安全上のご注意、取り扱い上の制限／注意、知っておくと便利なこと、などにはマークがついています。



警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。



注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。



製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。



ご注意

操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。



MEMO

操作の参考となることや補足説明が書かれています。



知っておくと便利な機能や、使いかたのヒントなどを記載しています。

キーについて

操作パネル上のキーやパソコン画面上のボタンなどを次のように表記しています。

種類	ユーザーズガイドでの表記例
操作パネル上のキー	 (セットアップ)
操作パネル上のディスプレイ	<タイマー設定> <用紙が足りなくなりました。>
パソコン画面上のボタンなど	[詳細設定]

▲／▼について

▲／▼は、設定などで目的の項目を選ぶときに使いますが、記載はそのページで初めて出てきた箇所でのみ記載し、2回目以降は省略しています。例では、手順2でのみ記載し、手順3では記載していません。

記載例：

- 1 ▶ (セットアップ) を押す
- 2 ▲／▼ で<ネットワーク>を選び、 を押す
- 3 < TCP/IP 設定> ▶ < IPv4 設定> ▶ < IP アドレス設定>の順に進む

パソコンの画面について

ユーザズガイドで使われている画面は特に断りがないかぎり LBP322i のものを掲載しています。お使いの機種や OS によっては、掲載している画面内容と一部異なる場合があります。また、ドライバーやソフトウェアはバージョンアップによって画面内容が変更されている場合があります。

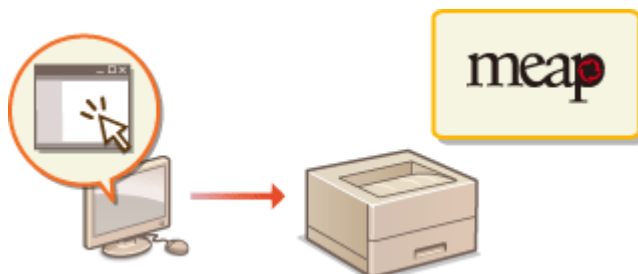
イラストについて

ユーザズガイドで使われているイラストは特に断りがないかぎり LBP322i のものを掲載しています。ただし、機種によって違いがある場合は複数掲載し、「LBPXXXX / LBPXXXX」のように機種名も表示しています。また、トナーカートリッジのイラストは、Canon Cartridge 056 のものを掲載しています。

MEAP アプリケーションを管理する LBP322i

4L33-082

本機に MEAP アプリケーション（機能拡張ソフトウェア）をインストールし、さまざまな機能を追加することができます。たとえば、IC カードによる認証システムや、ログによる出力管理など、お客様のニーズに応じてカスタマイズが可能です。MEAP アプリケーションを管理するときはウェブブラウザを使ってパソコンから本機にアクセスします。詳しくは、**MEAP アプリケーション管理機能ガイド** を参照してください。



FTP クライアントを使用する

4L33-083

FTP クライアントを使用して本機の FTP サーバーにアクセスし、文書の印刷やネットワークなどの設定を行うことができます。印刷も設定も OS に標準で搭載されているコマンドプロンプトで操作できるので、専用のドライバーやアプリケーションは必要ありません。



FTP サーバーの準備をする

本機と FTP クライアントが通信できるように設定します。▶[FTP サーバーの準備をする\(P. 579\)](#)

FTP クライアントを使用して印刷する (FTP 印刷)

本機へ FTP 経由で送信した文書を印刷します。▶[FTP クライアントを使用して印刷する \(FTP 印刷\) \(P. 582\)](#)

FTP クライアントを使用して設定する

本機の設定をテキスト形式でダウンロードし、編集できます。▶[FTP クライアントを使用して設定する\(P. 584\)](#)

FTP サーバーの準備をする

4L33-084

お買い上げ時は、FTP クライアントからの操作ができない設定になっていますので、操作を許可するように設定します。

- 1 リモート UI を起動し、管理者モードでログインする  リモート UI を起動する(P. 315)
- 2 [設定/登録] をクリックする



- ### 3 [ネットワーク] ▶ [TCP/IP 設定] をクリックする



- #### 4 [FTP 設定] にある [編集] をクリックする

The screenshot shows the 'Set up the wireless network' step of the Netgear Setup Wizard. The left sidebar lists various setup categories, with 'Wireless Network Settings' highlighted. The main area contains the following sections:

- 無線LANの接続** (Wireless LAN Connection): Includes a note about wireless network settings and a 'Next' button.
- 無線LANの設定** (Wireless LAN Settings): Contains checkboxes for 'Enable wireless network' and 'Use WPA2-PSK for security'. Below these are fields for 'Wireless network name' (set to 'default') and 'Password' (with a hint to use a strong password).
- 無線LANのファイル名とパスワード** (Wireless LAN File Name and Password): Includes a checkbox for 'Show wireless network name and password'.
- 無線LANの設定完了** (Wireless LAN Setup Complete): Includes a checkbox for 'Finish setup'.

The 'OK' button is located at the bottom right of the 'Wireless LAN Settings' section.

FTP クライアントを使用した本機の設定変更を許可するときはチェックマークを付けます。許可しない場合はチェックマークを外してください。

6 ハードリセットする

- [デバイス制御] をクリックし、[ハードリセット] を選んだあと、[実行] をクリックします。



⇒ ハードリセット後に設定が有効となります。



操作パネルで設定するとき

- 操作パネルの設定メニューから FTP 印刷、FTP 設定を有効／無効に切り替えることもできます。▶FTP(P. 361)



関連項目

- ▶FTP クライアントを使用して印刷する（FTP 印刷）（P. 582）
- ▶FTP クライアントを使用して設定する（P. 584）

FTP クライアントを使用して印刷する（FTP 印刷）

4L33-085

FTP クライアントからネットワークを経由して TEXT/JPEG/TIFF 形式の文書を印刷できます。あらかじめ、本機に設定されている IP アドレスを確認してください（[🔴 ネットワークステータスプリント\(P. 499\)](#)）。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 コマンドプロンプトを起動する

- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [コマンドプロンプト] を選択します。



macOS をお使いのとき

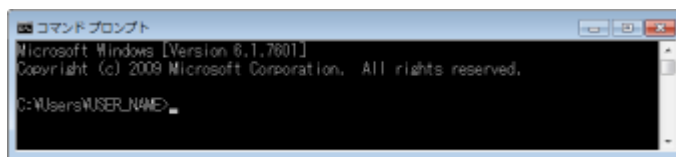
- ターミナルを起動してください。

UNIX をお使いのとき

- コンソール画面を表示してください。

2 コマンドプロンプトに表示されたディレクトリーに印刷したい文書をコピーする

- 画面の例では、C ドライブの「Users」内の「USER_NAME」フォルダーにコピーします。



3 「ftp <本機の IP アドレス>」を入力し、キーボードの [ENTER] キーを押す

- 入力例：「ftp 192.168.1.45」

4 FTP 印刷ユーザー名を入力し、[ENTER] キーを押す

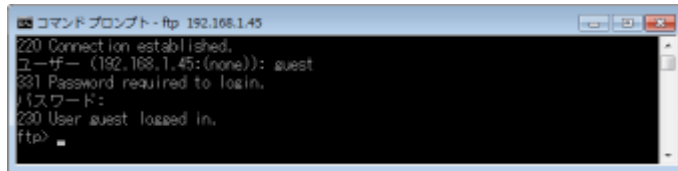
- お買い上げ時は「guest」に設定されています。



- Anonymous（アカウントのないユーザー）では、ログインできません。

5 FTP 印刷パスワードを入力し、[ENTER] キーを押す

- お買い上げ時は「7654321」に設定されています。
⇒ 「230 User < FTP 印刷ユーザー名 > logged in.」が表示されます。



```

コマンドプロンプト - ftp 192.168.1.45
220 Connection established.
ユーザー (192.168.1.45:(none)): guest
331 Password required to login.
パスワード:
230 User guest logged in.
ftp>
    
```

6 「bin」を入力し、[ENTER] キーを押す

⇒ 転送モードがバイナリモードに変更されます。



- TEXT 形式の文書を印刷するときもバイナリモードにする必要があります。

7 「put <印刷するファイル名>」を入力し、[ENTER] キーを押す

- 入力例：「put sample.txt」

⇒ 文書が印刷されます。

8 「quit」を入力し、[ENTER] キーを押す

9 「exit」を入力し、[ENTER] キーを押す

⇒ コマンドプロンプトが終了します。

FTP クライアントを使用して設定する

4L33-086

FTP クライアントから TCP/IP ネットワークを経由して本機のネットワークなどの設定ができます。あらかじめ、本機に設定されている IP アドレスを確認してください（[🔴 ネットワークステータスプリント\(P. 499\)](#)）。IP アドレスがわからない場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 コマンドプロンプトを起動する

- [スタート] メニューから [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [コマンドプロンプト] を選択します。



macOS をお使いのとき

- ターミナルを起動してください。

UNIX をお使いのとき

- コンソール画面を表示してください。

2 「ftp <本機の IP アドレス>」を入力し、キーボードの [ENTER] キーを押す

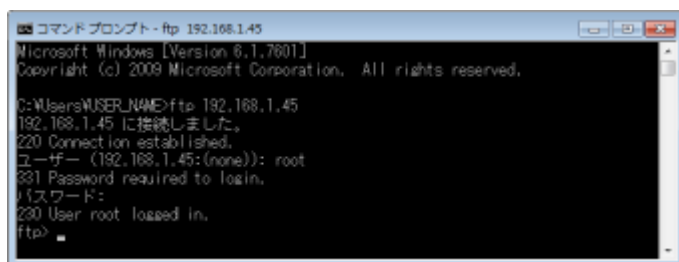
- 入力例：「ftp 192.168.1.45」

3 ユーザー名として「root」を入力し、[ENTER] キーを押す

4 管理者パスワードを入力し、[ENTER] キーを押す

- お買い上げ時は「7654321」に設定されています。[🔴 管理者パスワードを設定する\(P. 222\)](#)

⇒ 「230 User root logged in.」が表示されます。

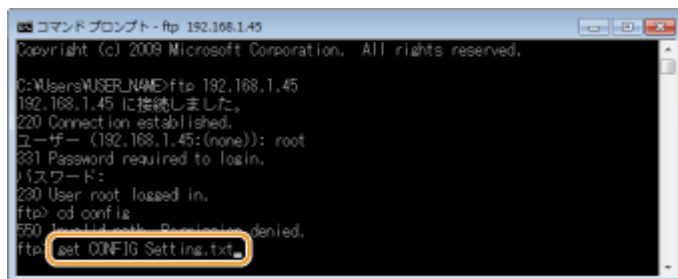


5 「cd config」を入力し、[ENTER] キーを押す

6 「get CONFIG <ファイル名>」を入力し、[ENTER] キーを押す

- 「CONFIG」はすべて大文字で入力してください。
- <ファイル名>には任意の文字を指定できます（入力例：「get CONFIG Setting.txt」）。

⇒ 設定ファイルがコマンドプロンプトを起動したときに表示されたディレクトリーにダウンロードされます。画面の例では、C ドライブの「Users」内の「USER_NAME」フォルダーにダウンロードされます。



7 ダウンロードした config ファイルをメモ帳などのテキストエディターで編集する

■config ファイルの設定項目一覧

General Menu（一般設定）

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
DEVICE_NAME (デバイス名)	文字の種類に応じて最大 128 文字	LBP322i / LBP321
SYS_LOC (設置場所)	文字の種類に応じて最大 128 文字	(空欄)
SYS_CONTACT (管理者名)	文字の種類に応じて最大 32 文字	(空欄)
ROOT_PWD (管理者パスワード)	半角英数字で 16 文字以内	7654321
USER_JOB_CONT (一般ユーザーによるジョブ操作を許可する)	ON、OFF	OFF
LINK_URL1 (サポートリンク URL)	半角英数字で 512 文字以内	http://canon.jp

TCP/IP Menu（TCP/IP 設定）

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
INT_ADDR (IP アドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
NET_MASK (サブネットマスク)	IP アドレス	0.0.0.0
DEF_GW (ゲートウェイアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
DHCP_ENB (DHCP によるアドレス設定)	ON、OFF	OFF
RARP_ENB	ON、OFF	OFF

(RARP によるアドレス設定)		
BOOTP_ENB (BOOTP によるアドレス設定)	ON、OFF	OFF
DNS_PADDR (プライマリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
DNS_SADDR (セカンダリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
HOST_NAME (ホスト名)	半角英数字で 47 文字以内	「Canon」 + 「MAC アドレス 下 6 桁」
DOMAIN_NAME (ドメイン名)	半角英数字で 47 文字以内	(空欄)
DDNS_ENB (DNS の動的更新を行う)	ON、OFF	OFF
WINS_ENB (WINS による名前解決する)	ON、OFF	OFF
WINS_SERVER (WINS サーバーアドレス)	IP アドレス	0.0.0.0
ARP_PING_ENB (ARP/PING を使用する)	ON、OFF	OFF
LPD_ENB (LPD 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
LPD_BANN (LPD バナーページを印刷する)	ON、OFF	OFF
RAW_ENB (RAW 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
RAW_BIDIR_ENB (双方向通信を使用する)	ON、OFF	OFF
FTP_PRINT_ENB (FTP 印刷を使用する)	ON、OFF	OFF
FTP_PRINT_USER (FTP 印刷ユーザー名)	半角英数字で 24 文字以内	guest
FTP_PRINT_PWD (FTP 印刷パスワード)	半角英数字で 24 文字以内	7654321
BM_ENB (BMLinkS を使用する)	ON、OFF	OFF
BM_DISCOVERY_TIME (Discovery 送信間隔)	30、60、180、360、720、1440 (分)	30
BM_SET_COMPANY	文字の種類に応じて 256 文字以内	(空欄)

(組織名)		
BM_SET_SECTION (支店名)	文字の種類に応じて 256 文字以内	(空欄)
BM_SET_BUILDING (ビル名)	文字の種類に応じて 256 文字以内	(空欄)
BM_SET_FLOOR (階数)	文字の種類に応じて 256 文字以内	(空欄)
BM_SET_BLOCK (ブロック名)	文字の種類に応じて 256 文字以内	(空欄)
IPP_ENB (IPP 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
IPP_AUTH_ENB (IPP 認証を使用する)	ON、OFF	OFF
IPP_AUTH_ACCUNT1 (IPP 認証ユーザー名)	半角英数字で 24 文字以内 (IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	guest
IPP_AUTH_PASSWD1 (IPP 認証パスワード)	半角英数字で 24 文字以内 (IPP 認証を使用する場合は必ず入力)	7654321
WSD_ENB (WSD 印刷を使用する)	ON、OFF	ON
WSD_BROWSING (WSD 参照を使用する)	ON、OFF	ON
WSD_MULTICAST_ DISCOVERY (マルチキャスト探索を使用する)	ON、OFF	ON
HTTP_ENB (HTTP を使用する)	ON、OFF	ON
SNTP_ENB (SNTP を使用する)	ON、OFF	OFF
SNTP_ADDR (NTP サーバー名)	IP アドレスまたはホスト名	(空欄)
SNTP_INTERVAL (ポーリング間隔)	1～48 (時間)	24
DISCOVERY_ENB (探索応答する)	ON、OFF	ON
DISCOVERY_SCOPE_ NAME (スコープ名)	半角英数字で 32 文字以内	default
EMAIL_PRINT_ENB (POP3 受信する)	ON、OFF	OFF

EMAIL_POP_ADDR (POP3 サーバー名)	半角英数字で 48 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_ACCOUNT (POP3 ユーザー名)	半角英数字で 32 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_PASSWD (POP3 パスワード)	半角英数字で 32 文字以内	(空欄)
EMAIL_POP_INTERVAL (POP3 受信間隔)	0～90 (分)	0
EMAIL_POP_PORTNO (POP3 サーバーのポート番号)	0～65535	110
IPV4_USE (IPv4 を使用する)	ON、OFF	ON
IPV6_USE (IPv6 を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_STATELESS_USE (ステートレスアドレスを使用する)	ON、OFF	ON
IPV6_MANUAL_ADDR_ USE (手動アドレスを使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_MANUAL_ADDR_ SET (IP アドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_MANUAL_ADDR_ PREFIX (プレフィックス長)	0～128	64
IPV6_MANUAL_ROUTER_ ADDR (デフォルトルーターアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DHCPV6_USE (DHCPv6 を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_ADDRESS_ PRI (プライマリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DNS_ADDRESS_ SEC (セカンダリー DNS サーバーアドレス)	IP アドレス	(空欄)
IPV6_DNS_NAME_ SAME_AS_IPV4 (IPv4 と同じホスト名/ドメイン名を使用する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_HOST_ NAME_V6	半角英数字で 47 文字以内	「Canon」 + 「MAC アドレス 下 6 桁」

(ホスト名)		
IPV6_DNS_DOMAIN_NAME_V6 (ドメイン名)	半角英数字で 47 文字以内	(空欄)
IPV6_DNS_DYNAMIC_SET (DNS の動的更新を行う)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_STATELESS (ステートレスアドレスを登録する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_MANUAL (手動アドレスを登録する)	ON、OFF	OFF
IPV6_DNS_STATEFUL (ステートフルアドレスを登録する)	ON、OFF	OFF

SMB Server Menu (SMB 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SMB_ENB (SMB を使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_SERVER (サーバー名)	文字の種類に応じて最大 16 文字	(空欄)
SMB_WG (ワークグループ名)	文字の種類に応じて最大 16 文字	WORKGROUP
SMB_COMMENT (コメント)	文字の種類に応じて最大 192 文字	(空欄)
SMB_LM_ENB (LM アナウンスを使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_PRINT_ENB (SMB 印刷を使用する)	ON、OFF	OFF
SMB_PRINTER (プリンター名)	文字の種類に応じて最大 13 文字	PRINTER

SNMP Menu (SNMP 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SNMP_V1_ENB (SNMPv1 を使用する)	ON、OFF	ON

SNMP_COMMUNITY1_ENB (コミュニティ名 1 を使用する)	ON、OFF	ON
SNMP_COMMUNITY1_ACCESS (MIB アクセス権限)	RW (読込／書込)、RO (読込のみ)	RO
SNMP_COMMUNITY1_NAME (コミュニティ名 1)	半角英数字で 32 文字以内	public
SNMP_COMMUNITY2_ENB (コミュニティ名 2 を使用する)	ON、OFF	OFF
SNMP_COMMUNITY2_ACCESS (MIB アクセス権限)	RW (読込／書込)、RO (読込のみ)	RO
SNMP_COMMUNITY2_NAME (コミュニティ名 2)	半角英数字で 32 文字以内	public2
SNMP_V3_ENB (SNMPv3 を使用する)	ON、OFF	OFF
SNMP_GET_PRT_MNG_INFO (ホストからプリンター管理情報を取得する)	ON、OFF	OFF

SPOOLER Menu (スプール設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
SPOOL_ENB (スプール機能を使用する)	ON、OFF	OFF

START TIMER Menu (起動時の接続待機時間設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
STRT_DELAY_TIME (起動時の接続待機時間)	0～300 (秒)	0

RUI Menu (リモート UI 設定)

項目名	設定値	お買い上げ時の設定
RUI_ENB	ON、OFF	ON

(リモート UI 使用)		
--------------	--	--

8 「put <ファイル名> CONFIG」を入力し、[ENTER] キーを押す

- <ファイル名>には編集したファイル名を指定します（入力例：「put Setting.txt CONFIG」）。
⇒ 設定ファイルがアップロードされます。

9 「get reset」を入力し、[ENTER] キーを押す

- ⇒ 本機が再起動します。再起動後に設定が有効となります。

10 本機の再起動を確認したら、キーボードの [CTRL] キーを押しながら [C] キーを押す

11 「quit」を入力し、[ENTER] キーを押す

12 「exit」を入力し、[ENTER] キーを押す

- ⇒ コマンドプロンプトが終了します。



関連項目

- ネットワーク(P. 357)

その他

4L33-087

Windows の基本操作、免責事項や著作権などについて記載しています。また、設定メニューを一覧形式でまとめたメニュールートマップ（PDF ファイル）もここから表示できます。

Windows の基本操作

4L33-08U

- ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)
- ▶ [ネットワーク探索] を有効にする(P. 593)
- ▶ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法(P. 594)
- ▶ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法(P. 595)
- ▶ Windows のテストページの印刷方法(P. 595)
- ▶ プロセッサバージョンの確認方法(P. 596)
- ▶ コンピューター名の確認方法(P. 597)
- ▶ プリンターポートの確認方法(P. 598)
- ▶ 双方向通信の確認方法(P. 599)
- ▶ Windows ストアアプリから印刷するときは(P. 600)



- お使いのパソコンによっては操作が異なる場合があります。

■ プリンターフォルダーの表示方法

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をクリックします。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [デバイスとプリンター] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [デバイスとプリンターの表示] を選びます。

Windows 10

[

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [プリンタ] をダブルクリックします。

Windows Server 2016

[

■ [ネットワーク探索] を有効にする

ネットワーク上のパソコンを確認するときは、[ネットワーク探索] を有効に設定してください。

Windows Vista

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 7/Server 2008 R2

[スタート] ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] ▶ [ネットワークの状態とタスクの表示] ▶ [共有の詳細設定の変更] ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows 10

[

Windows Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選ぶ ▶ [ネットワークと共有センター] をダブルクリック ▶ [ネットワーク探索] で [ネットワーク探索を有効にする] に設定します。

Windows Server 2016

[

■ プリントサーバー内の共有プリンターの表示方法

1 エクスプローラーを表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [すべてのプログラム] または [プログラム] ▶ [アクセサリ] ▶ [エクスプローラ] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

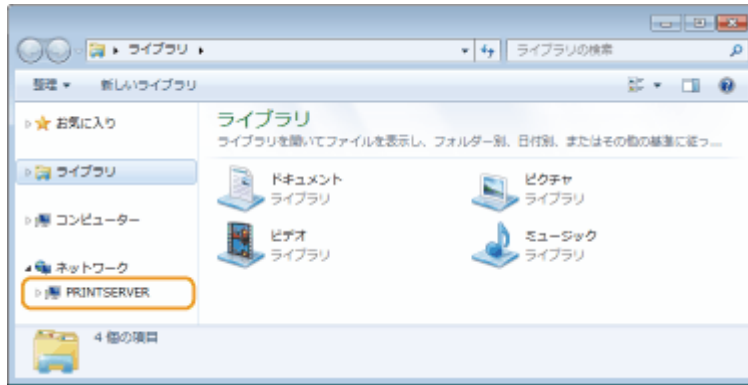
[スタート] を右クリック ▶ [エクスプローラー] を選びます。

Windows 10/Server 2016

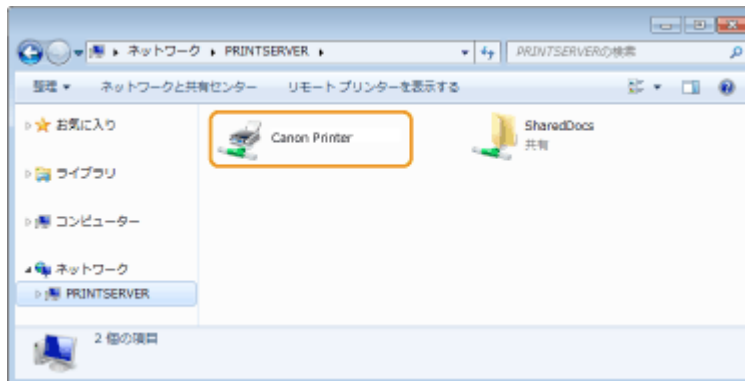
[

2 [ネットワーク] または [マイネットワーク] からプリントサーバーを選ぶ

- ネットワーク上のパソコンを確認するには、ネットワーク探索を有効にしたり、ネットワーク上でパソコンを検索したりする必要がある場合があります。



⇒ 共有プリンターが表示されます。



■ [ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面の表示方法

CD-ROM/DVD-ROM をセットしても、[ソフトウェア/マニュアル セットアップ] 画面が表示されないときは、次の操作を行ってください。ここでは CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名を「D:」と表記しています。CD-ROM/DVD-ROM ドライブ名は、お使いのパソコンによって異なります。

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [プログラムとファイルの検索] または [検索の開始] に「D:\MInst.exe」と入力 ▶ キーボードの [ENTER] キーを押します。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [ファイル名を指定して実行] ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ [OK] をクリックします。

Windows 10

[ここに入力して検索] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

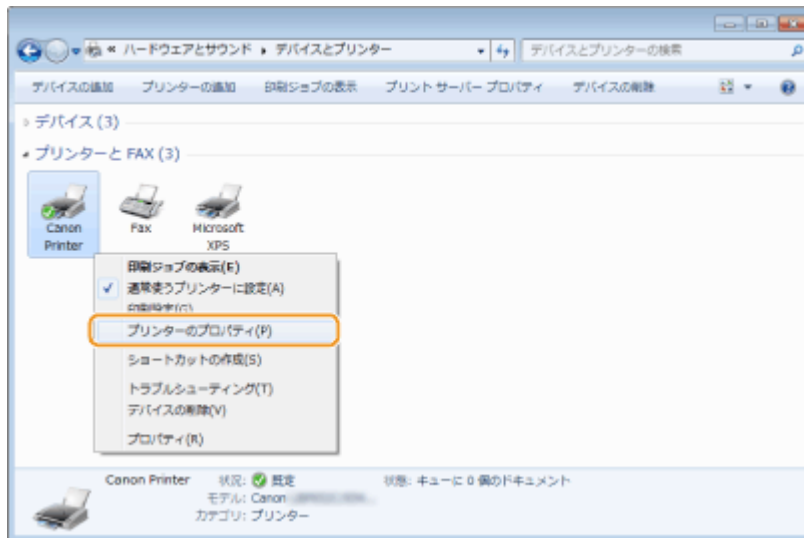
Windows Server 2016

[検索] をクリック ▶ 「D:\MInst.exe」と入力 ▶ 検索結果に表示された [D:\MInst.exe] をクリックします。

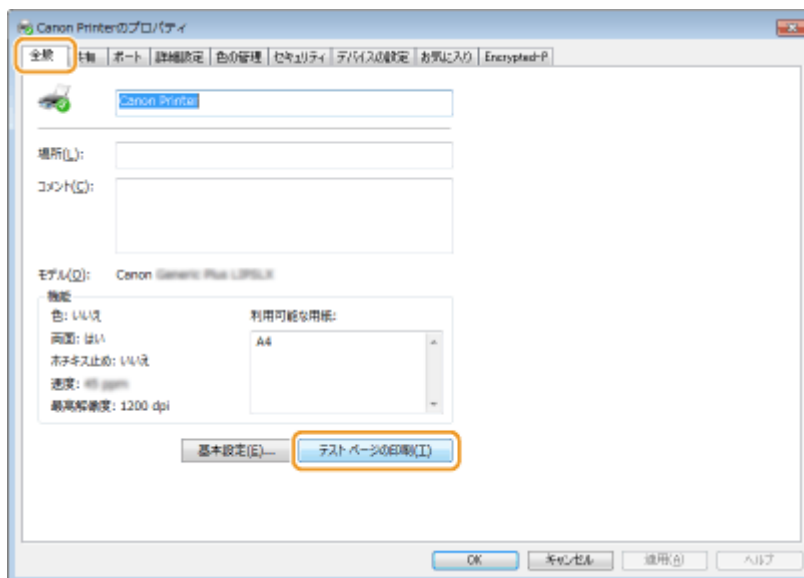
■ Windows のテストページの印刷方法

Windows のテストページを印刷して、プリンタードライバの動作を確認することができます。

- 1 給紙カセットまたは手差しトレイに、A4 サイズの用紙をセットする ▶用紙をセットする(P. 40)
- 2 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)
- 3 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



- 4 [全般] タブで [テストページの印刷] をクリックする



▶▶▶ テストページが印刷されます。

■ プロセッサバージョンの確認方法

お使いの Windows が、32 ビット版か 64 ビット版かわからない場合は、次の手順で確認することができます。

- 1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10/Server 2016

手順 2 へ進んでください。

2 [システム] を表示する

Windows Vista/7/8/Server 2008 R2/Server 2012

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows 10/Server 2016

[

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

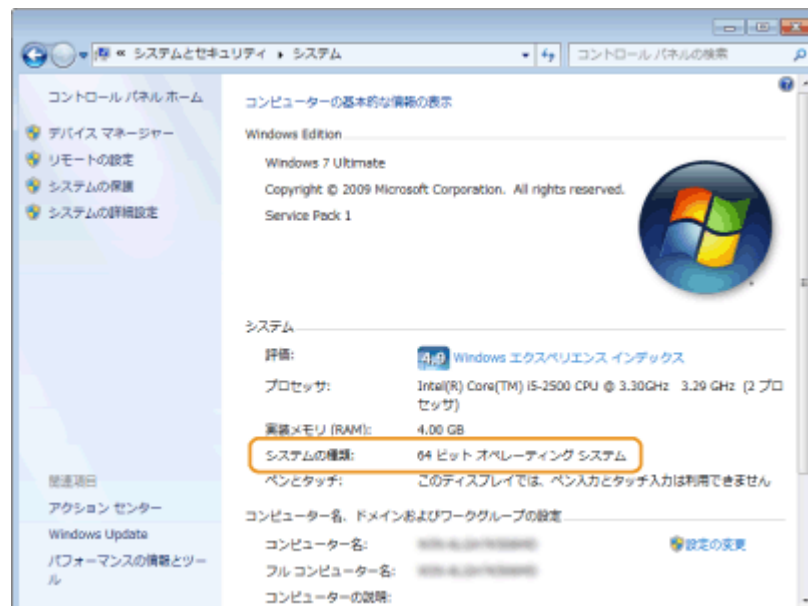
3 プロセッサバージョンを確認する

32 ビット版のとき

[32 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。

64 ビット版のとき

[64 ビットオペレーティングシステム] と表示されます。



■ コンピューター名の確認方法

1 [コントロールパネル] を表示する

Windows Vista/7/Server 2008

[スタート] ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8/Server 2012

画面の左下隅を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 8.1/Server 2012 R2

[スタート] を右クリック ▶ [コントロールパネル] を選びます。

Windows 10

[

Windows Server 2016

[

2 [システム] を表示する

Windows Vista/7/8/10/Server 2008 R2/Server 2012/Server 2016

[システムとメンテナンス] または [システムとセキュリティ] ▶ [システム] をクリックします。

Windows Server 2008

[システム] をダブルクリックします。

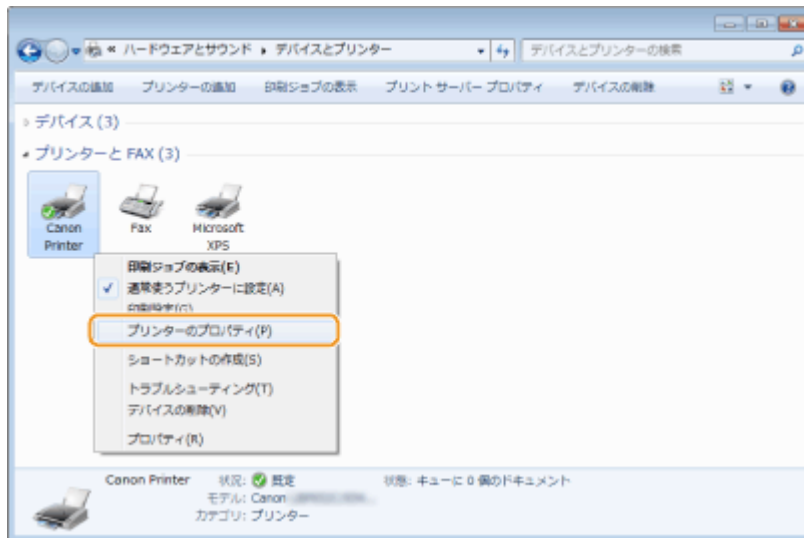
3 コンピューター名を確認する



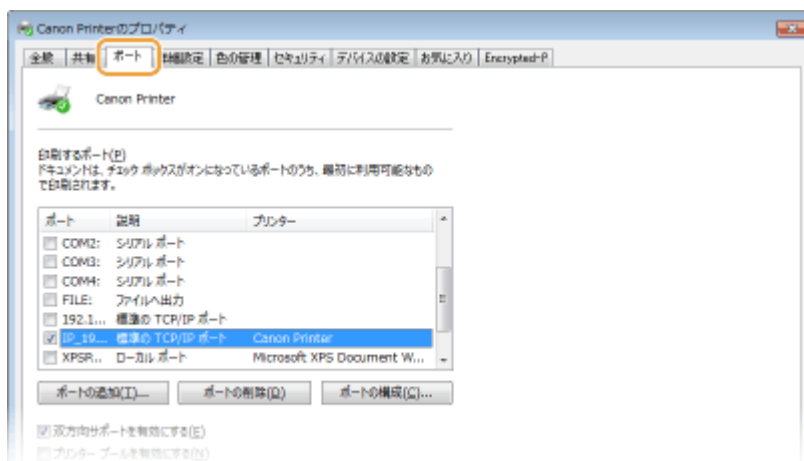
■ プリンターポートの確認方法

1 プリンターフォルダーを開く ▶ プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)

- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする

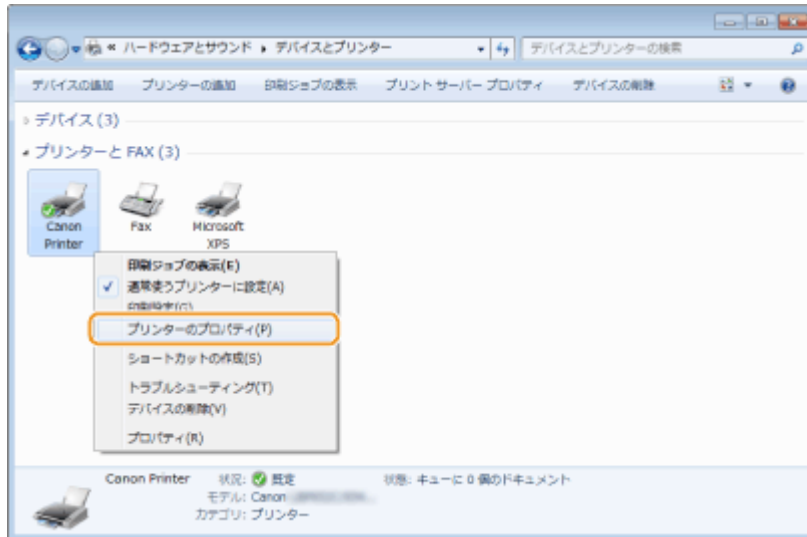


- 3 [ポート] タブでポートが正しく選択されていることを確認する

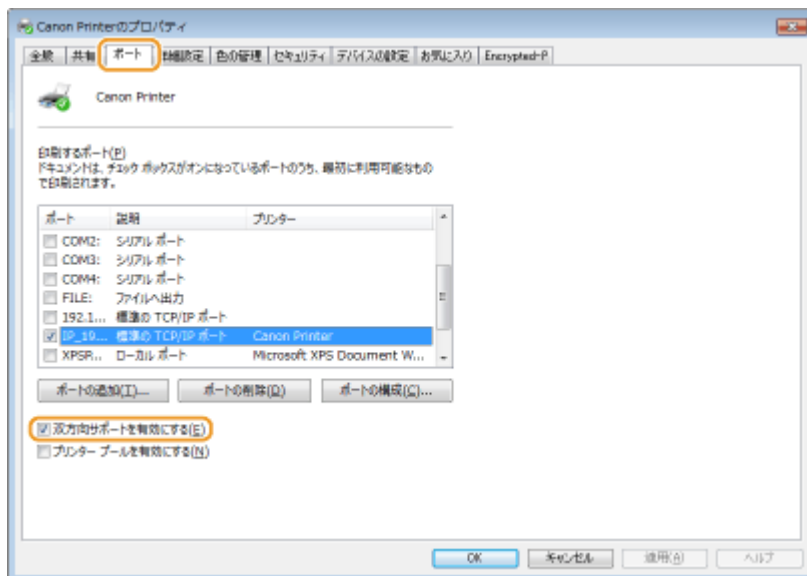


■双方向通信の確認方法

- 1 プリンターフォルダーを開く ▶プリンターフォルダーの表示方法(P. 593)
- 2 本機のプリンタードライバーのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ] または [プロパティ] をクリックする



3 [ポート] タブで [双方向サポートを有効にする] にチェックマークが付いていることを確認する



■ Windows ストアアプリから印刷するときは

Windows 8.1/Server 2012 R2

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows 10

Windows ストアアプリの [印刷] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。

Windows Server 2012

画面右側のチャームを表示 ▶ [デバイス] ▶ 本機のドライバー ▶ [印刷] をタップまたはクリックします。



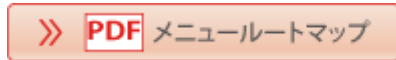
- この方法で印刷した場合は、使用できる印刷設定は制限されます。

- 「印刷するには入力が必要です。デスクトップへ移動します。」というメッセージが表示されたときは、デスクトップに移動し、表示されているダイアログボックスに従って操作してください。メッセージは印刷時にユーザー名を確認するように設定しているときなどに表示されます。

メニュールートマップ

4L33-089

本機の画面に表示される設定項目については、「メニュールートマップ」(PDF マニュアル) を参照してください。



動作モードについて

4L33-08A

本機は、キヤノン独自の LIPS モードと、IBM PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）の ESC/P エミュレーションモードの 2 種類の動作モードを標準で内蔵しています。さらにオプションのコントロール ROM を装着すると、その他のエミュレーションモードを追加することができます。本機が印刷データを受信すると、データに応じた動作モードに自動的に切り替えて印刷しますので、通常はお買い上げ時の設定のままでご使用いただけます。



- LBP321 は、ESC/P エミュレーションモードを内蔵していません。また、その他のエミュレーションモードを使用できません。

LIPS モード

LIPS は、LBP Image Processing System の略で、キヤノンが独自に開発したページプリンターをコントロールするためのコマンド体系です。Windows や macOS では、付属のプリンタードライバをインストールすると、自動的に LIPS モードで印刷します。LIPS II⁺ 対応アプリケーションを使用する場合、従来のレーザーショットシリーズで行った印刷とは解像度が異なります。

ESC/P エミュレーションモード

IBM-PC/AT 互換機（DOS/V パソコン）、AX パソコンで標準的に使用されている ESC/P 準拠プリンターの動作をエミュレートする（まねをする）モードです。このモードでは ESC/P 対応したアプリケーションからの印刷ができます。セイコーエプソン（株）が提唱する ESC/P-J84 のコマンド体系に準拠しています。

■ESC/P 準拠プリンターとの違い

ESC/P エミュレーションモードでは、ESC/P 準拠プリンターとは異なる点があります。印刷するときは次の点にご注意ください。

解像度の違いについて

ESC/P 準拠プリンターの解像度 180 dpi に対し、本機は解像度 600 dpi で、ページフォーマットごとの縮小率によってデータを変換します。これによって、印刷結果が ESC/P 準拠プリンターと異なることがあります。

- **イメージデータ**
解像度／縮小率によってドットパターンが変換されるため、線の太さやグラフィックパターンが異なって見えることがあります。
- **登録文字**
24×24 ドット構成の外字は、8 ポイント相当、32×32 ドット構成の外字は 10 ポイント相当のドット構成に変換されるため、印字したときに文字パターンが変化したように見えることがあります。ダウンロード文字セットも同様にドット構成が変換されます。
- **印字間隔など**
解像度／縮小率によって印字間隔が変換されるため、半端な値によって印字にずれを生じることがあります。
- **右マージン**
文字が右マージンをわずか（1 ドット未満）でも超える場合は、改行します。

文字パターンの違いについて

- **文字サイズ**

次のポイントで文字が印字されるため、ESC/P 準拠プリンターより若干小さめに見えることがあります。特に縮小モードでは、ページフォーマットの縮小率よりも小さな文字サイズになります。また、ローマン文字では英数のみ文字幅が細めになります。

<実寸縦> <実寸横> < 10 インチ→A4 縦>	10 ポイント
< 15 インチ→A4 横> < B4→A4 縦> < B4→A4 横>	8 ポイント

- **フォントデザイン**

ESC/P 準拠プリンターとはフォントのデザインが異なります。このため、特殊文字などの字形や ANK／漢字のバランスが若干異なって見えるようになります。

- **2 バイトコードの未定義領域**

2 バイトコードの中で、ESC/P では未定義の領域に本機専用の文字パターンが割り当てられている部分があります。このため、この部分のコードを印字すると本機特有のパターンが印字されます。

その他の制限

- **ESC/P スーパー**

ESC/P エミュレーションモードは ESC/P24-J84 仕様にのみ対応しているため、ESC/P スーパーのプリンター設定では正しく印刷されません。

その他のエミュレーションモード

コントロール ROM を取り付けることにより、PC-9800 シリーズ、PS/55 シリーズ、HP-GL、HP-GL/2 対応のアプリケーションから印刷できるようになります。

動作モードの設定を変更するには

- ▶ 自動切り替えがうまくできないとき (P. 606)
- ▶ 動作モードを固定する (P. 608)

動作モードの詳細情報

- ▶ ESC/P エミュレーションのページフォーマット (P. 609)
- ▶ 内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント (P. 624)
- ▶ ダンプリスト (P. 630)



コントロールコマンドリスト

本機が標準で対応している 2 つのコントロールコマンド（LIPS、ESC/P エミュレーション）の機能、書式、コード、パラメータについては、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。LIPS コントロールコマンドのさらに詳細な書式、使用例については、「プログラマーズマニュアル」を参照してください。



関連項目

- ▶ システムオプションについて(P. 559)
- ▶ ROM を取り付ける(P. 561)

自動切り替えがうまくできないとき

4L33-08C

動作モードの設定を＜自動選択＞（お買い上げ時の状態）で使用しているときに、ESC/P データが LIPS で印刷されるなど、動作モードの自動切り替えがうまくいかない場合は、次の設定を行ってください。

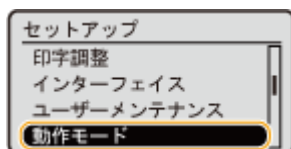
- 優先的に切り替える動作モードを設定する(P. 606)
- 不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す(P. 606)

優先的に切り替える動作モードを設定する

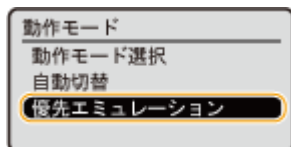
動作モードの設定を＜自動選択＞に設定した状態で、本機がコントロールコマンドを識別できなかった場合に、優先的に切り替える動作モードを設定しておくことができます。よく印刷するデータに合わせて、設定しておいてください。お買い上げ時は＜なし＞に設定されています。

1 ▶（セットアップ）を押す

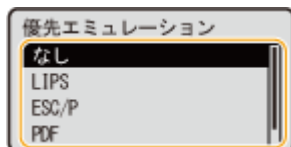
2 ▲／▼で＜動作モード＞を選び、を押す



3 ＜優先エミュレーション＞を選び、を押す



4 優先する動作モードを選び、を押す

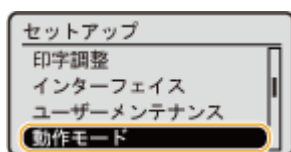


不要な動作モードを自動切り替えの対象から外す

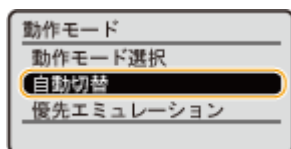
お買い上げ時は、すべての動作モードを自動切り替えの対象にしています。使わない動作モードは自動切り替えの対象から外してください。

1 ▶（セットアップ）を押す

2 ▲／▼で<動作モード>を選び、**OK**を押す



3 <自動切替>を選び、**OK**を押す



4 不要な動作モードを選び、**OK**を押す



5 <OFF>を選び、**OK**を押す



MEMO

設定を変更しても自動切り替えがうまくいかないとき

- 印刷データに合った動作モードに固定して印刷してください。▶[動作モードを固定する\(P. 608\)](#)

関連項目

▶[動作モード\(P. 404\)](#)

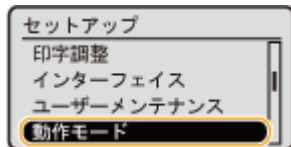
動作モードを固定する

4L33-08E

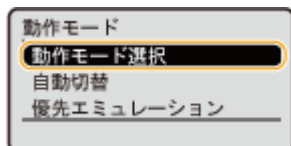
特定の動作モードでしか印刷しない場合は、動作モードを固定しておくことができます。

1 ▶ (セットアップ) を押す

2 ▲ / ▼ で<動作モード>を選び、 を押す



3 <動作モード選択>を選び、 を押す



4 固定する動作モードを選び、 を押す

- IBM-PC/AT 互換機 (DOS/V パソコン) や AX パソコンのときは、ESC/P エミュレーションモードに固定します。
- PC-9800 シリーズや PS/55 シリーズなどのパソコンのときは、オプションのコントロール ROM にある N201 や I5577 などのエミュレーションモードに固定します。



- ESC/P エミュレーションモードで印刷する場合は、ページフォーマットの設定が必要です。▶ [ESC/P エミュレーションのページフォーマット \(P. 609\)](#)



▶ [動作モード専用の設定 \(P. 407\)](#)

ESC/P エミュレーションのページフォーマット

4L33-08F

< ESC/P 設定 > の < ページフォーマット > によって、印刷データは次のように変換されます。▶ **ESC/P 設定(P. 424)**



- 用紙をタテに使う場合をポートレイト、ヨコに使う場合をランドスケープと呼びます。

<実寸縦>

ESC/P 準拠プリンター

本機

タテ置き



タテ置き



ヨコ置き



ESC/P 準拠プリンターにカット紙をタテ置きにセットして使用していたときに選択します。ESC/P 準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ポートレイトで印刷します。

用紙サイズ

A4、B5、A5、はがきサイズが使用できます。

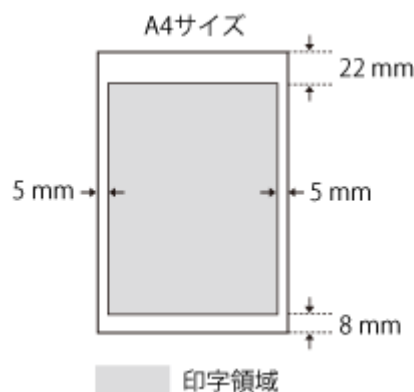
印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントです。

イメージの印字

プリンターの解像度が異なるため、ESC/P 準拠プリンターとは印字結果が若干異なります。

印字領域



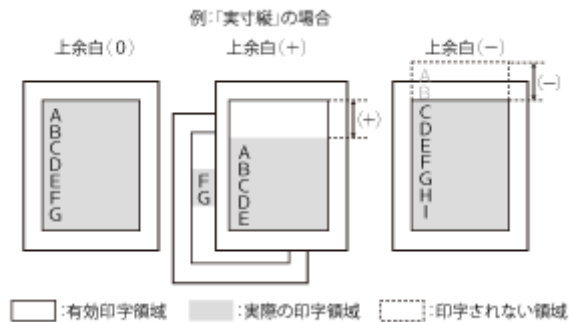
印字位置

一文字目の印字位置	先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm (13.6 インチ) または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。

ボトム位置	ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダー「実寸縦」と同じです。ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または<ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。
-------	--

上余白

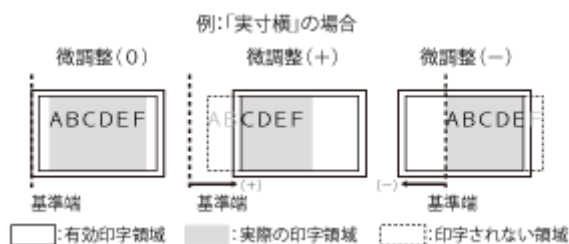
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

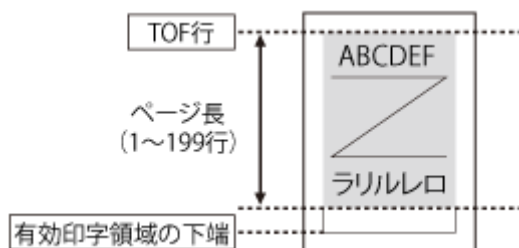
用紙位置微調整

用紙位置を調整した結果は次のようになります(実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合)。



単票用紙長

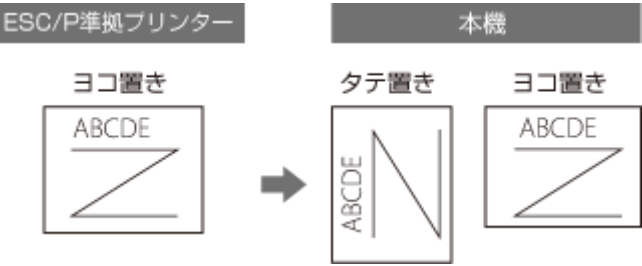
- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。

ミシン目スキップ
無効です。

<実寸横>



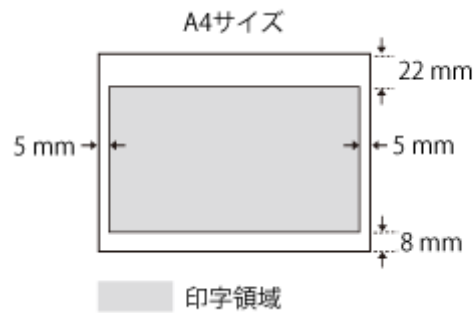
ESC/P 準拠プリンターにカット紙をヨコ置きにセットして使用していたときに選択します。ESC/P 準拠プリンターと同じ改行ピッチ、文字間隔で、実寸、ランドスケープで印刷します。

用紙サイズ
A4、B5、A5、はがきサイズが使用できます。

印字文字
初期状態で 10 ポイントのフォントです。

イメージの印字
プリンターの解像度が異なるため、ESC/P 準拠プリンターとは印字結果が若干異なります。

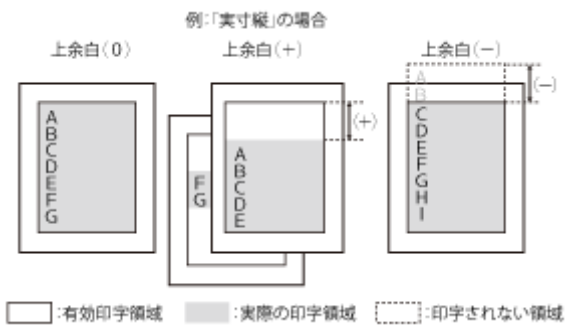
印字領域



印字位置

一文字目の印字位置	先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）または<ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定した右マージン位置になります（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。
ボトム位置	ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダー「実寸縦」と同じです。ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または<ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。

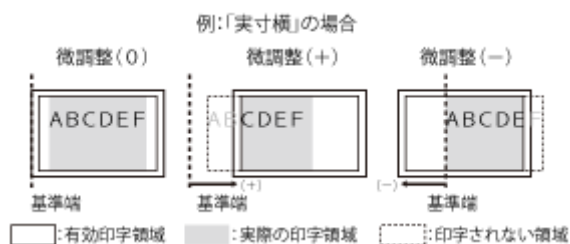
上余白
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

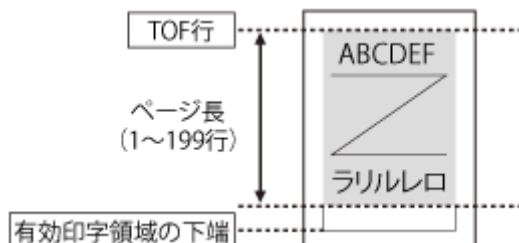
用紙位置微調整

用紙位置を調整した結果は次のようになります(実寸サイズで印刷するページフォーマットの場合)。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。

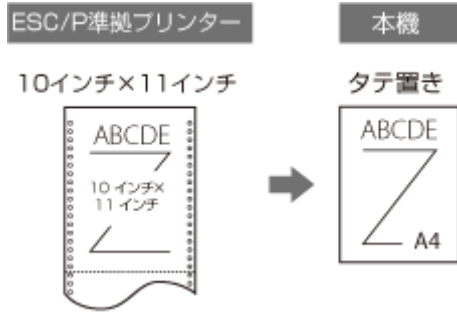


- 行間は1インチあたり6行(6 lpi)です(lpiは、Line Per Inchの略で、1インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が1増えると、ページ長が約4.2 mm (1/6インチ) 増えます。

ミシン目スキップ

無効です。

< 10 インチ→A4 縦 >



ESC/P 準拠プリンターに 10 インチ×11 インチの連続用紙をセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい）にポートレートで印刷します。

用紙サイズ

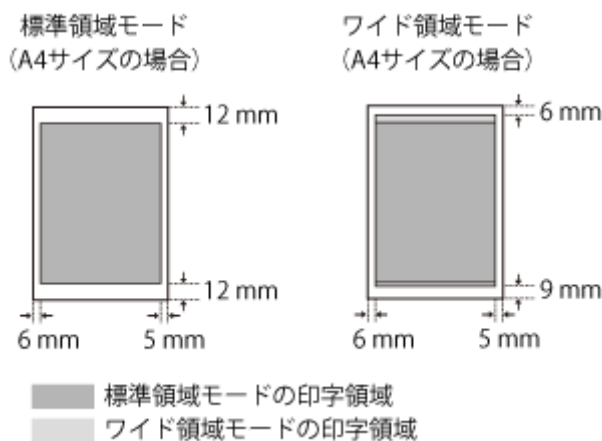
A4 サイズが使用できます。（A4 より小さい用紙へのプリントは保証しません）

印字文字

初期状態で 10 ポイントのフォントを、文字間をつめて印字します。

イメージの印字

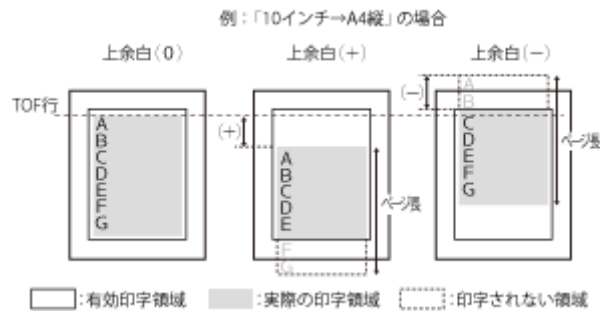
プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域**印字位置**

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード 初期状態の印字開始位置から 279.4 mm（11 インチ）（実際用紙上では 271.8 mm（10.7 インチ））下、または < ESC/P 設定 > やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。

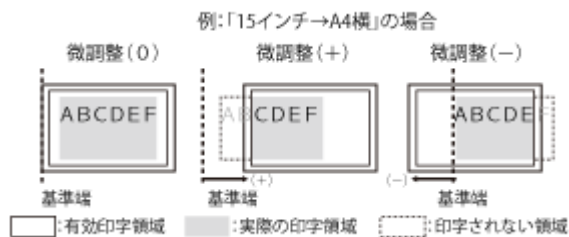


- 上余白を増やした場合、印刷データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長（初期状態の1行目からボトム位置までの範囲）までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

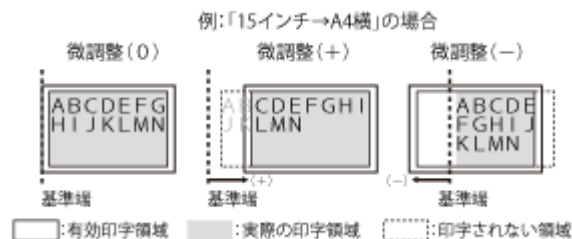
標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります（縮小印刷するページフォーマットの場合）。



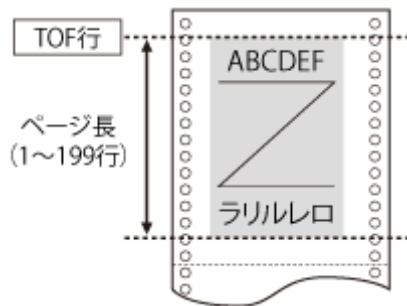
ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



連続用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



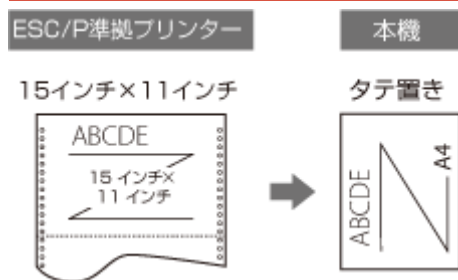
MEMO

- 行間は 1 インチあたり 6 行 (6 lpi) です (lpi は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm (1/6 インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

有効です。

< 15 インチ→A4 横 >



ESC/P 準拠プリンターに 15 インチ×11 インチの連続用紙をセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい）にランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

A4 サイズが使用できます。(A4 より小さい用紙へのプリントは保証しません)

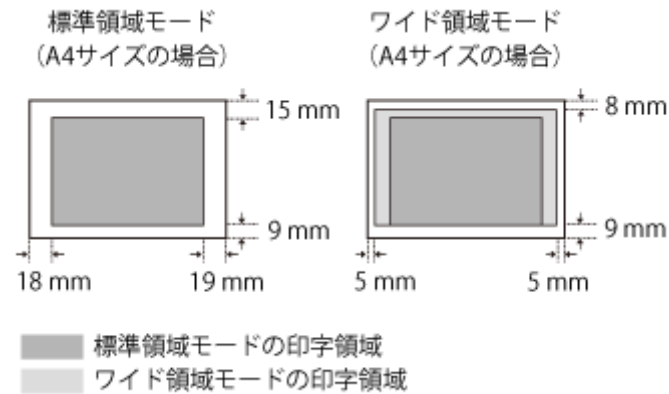
印字文字

初期状態で 8 ポイントのフォントを、行間をつめて印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

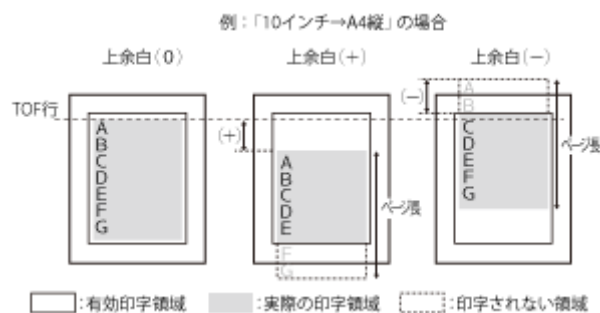


印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行 (TOF 行) の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm (13.6 インチ) です (印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません)。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード 初期状態の印字開始位置から 279.4 mm (11 インチ) (実際の用紙上では 210.8 mm (8.3 インチ)) 下、または <ESC/P 設定> やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

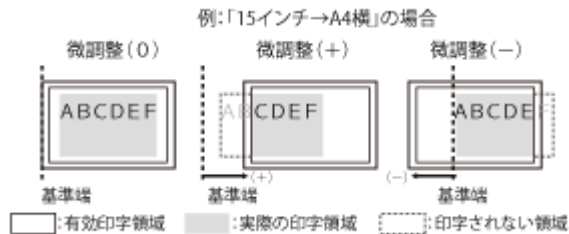
上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした場合、印刷データがボトム位置を超えると、ボトム位置からページ長 (初期状態の 1 行目からボトム位置までの範囲) までのあふれたデータは印刷されません。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分のデータは印刷されません。このとき、下端はページ長までのデータを印刷します。

用紙位置微調整

- **標準領域モードでの印字動作**
用紙位置を調整した結果は次のようになります (縮小印刷するページフォーマットの場合)。



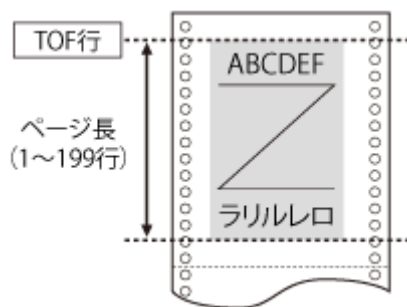
● ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



連続用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1～199 行の範囲で設定します。



MEMO

- 行間は 1 インチあたり 6 行 (6 lpi) です (lpi は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm (1/6 インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

有効です。

< B4→A4 縦 >

ESC/P 準拠プリンター

本機

タテ置き



タテ置き



ESC/P 準拠プリンターに B4 サイズのカット紙をタテ置きにセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し用紙のほぼ中央（ワイド領域では印字領域ほぼいっぱい）に、ポートレートで印刷します。

用紙サイズ

A4 サイズが使用できます。（A4 より小さい用紙へのプリントは保証しません）

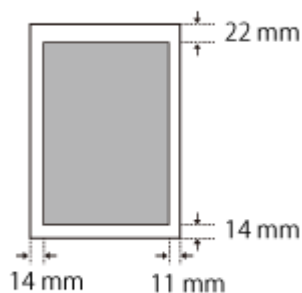
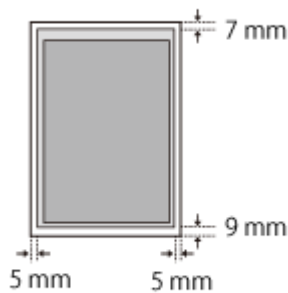
印字文字

初期状態で 8 ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域

標準領域モード
(A4サイズの場合)ワイド領域モード
(A4サイズの場合)

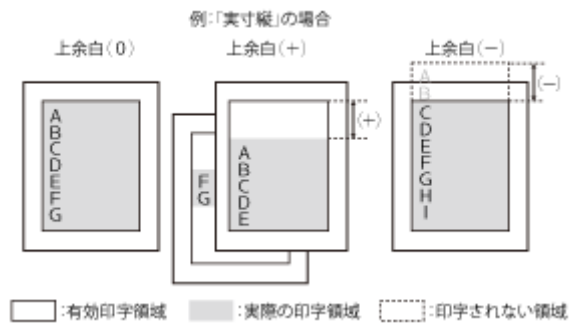
■ 標準領域モードの印字領域
■ ワイド領域モードの印字領域

印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または ESC/P 設定>やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。

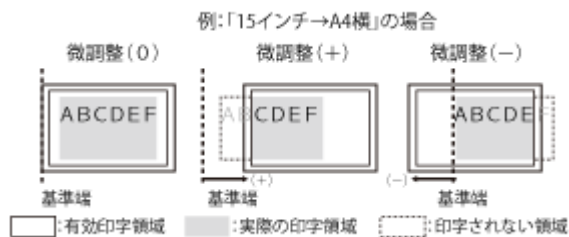


- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの1行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます(ただし、ページ長を設定していない場合)。

用紙位置微調整

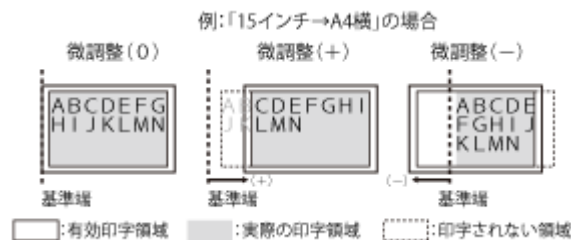
● 標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります(縮小印刷するページフォーマットの場合)。



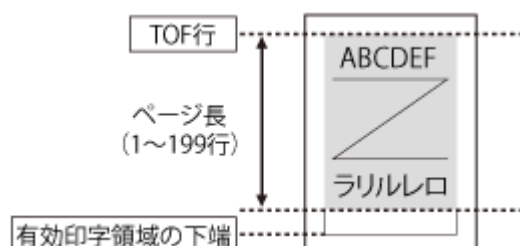
● ワイド領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。
- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1ページに印刷する行数を1～199行の範囲で設定します。



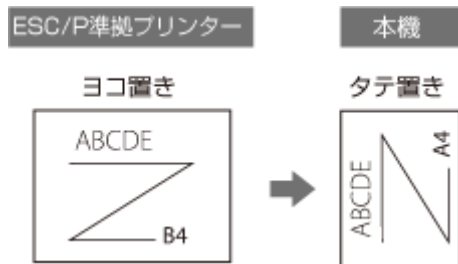


- 行間は1インチあたり6行（6 lpi）です（lpi は、Line Per Inch の略で、1インチあたりの行数を表す単位です）。
- 設定値が1 増えると、ページ長が約 4.2 mm（1/6 インチ） 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

ワイドモードで有効です。

< B4→A4 横 >



ESC/P 準拠プリンターに B4 サイズのカット紙をヨコ置きにセットして使用していたときに選択します。A4 サイズに縮小し、用紙のほぼ中央（ワイド領域モードでは印字領域ほぼいっぱい）に、ランドスケープで印刷します。

用紙サイズ

A4 サイズが使用できます。（A4 より小さい用紙へのプリントは保証しません）

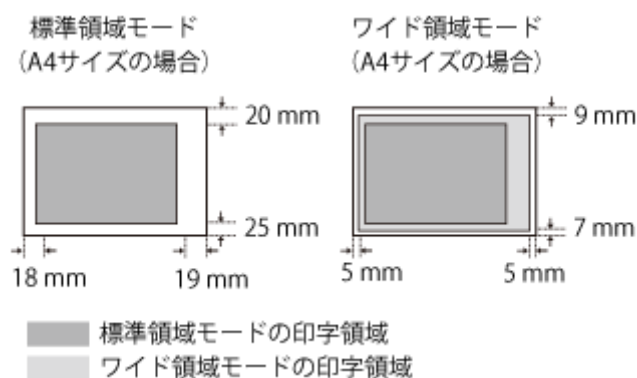
印字文字

初期状態で 8 ポイントのフォントを、若干縮小して印字します。

イメージの印字

プリンターの解像度の違いや縮小印刷のため、ESC/P 準拠プリンターの印字結果とは見た目が異なります。

印字領域



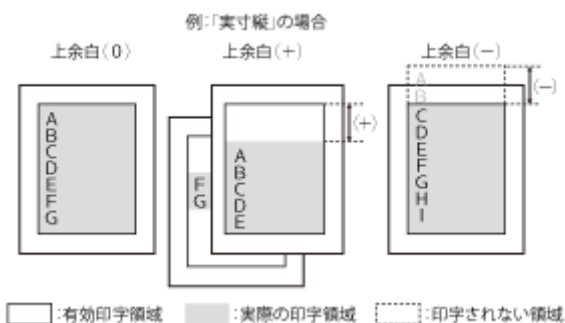
印字位置

一文字目の印字位置	標準領域モード 先頭行（TOF 行）の左マージン位置です。
-----------	----------------------------------

右マージン	標準領域モード 用紙サイズに関係なく、初期状態で 345.4 mm（13.6 インチ）です（印字領域の右端を超えた場合は、はみ出たデータは印刷されません）。 ワイド領域モード 印字領域は印字領域とほぼ同じです。
ボトム位置	標準領域モード ESC/P 準拠プリンターのカットシートフィーダーの用紙エンド検出とほぼ同じ位置、または ESC/P 設定＞やコントロールコマンドで設定したページ長になります。 ワイド領域モード 印字領域の下端とほぼ同じ位置になります。

上余白

上余白を調整した結果は次のようになります。



- 上余白を増やした結果、印刷データがボトム位置を超える場合は、次ページの 1 行目の位置から印刷されます。
- 上余白を減らした場合、印字領域の上端を超えた部分は印刷されません。下端はボトム位置まで印刷されます（ただし、ページ長を設定していない場合）。

用紙位置微調整

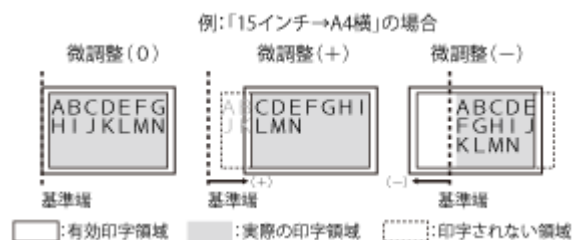
● 標準領域モードでの印字動作

用紙位置を調整した結果は次のようになります（縮小印刷するページフォーマットの場合）。



● ワイド領域モードでの印字動作

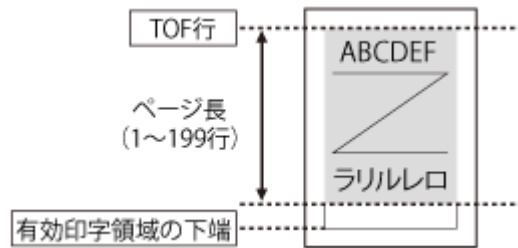
用紙位置を調整した結果は次のようになります。



単票用紙長

- <システム>に設定すると、ページフォーマットで決められているページ長に設定します。

- <設定方法>を<任意設定>に設定して<任意設定値>を「1」～「199」に設定すると、1 ページに印刷する行数を 1～199 行の範囲で設定します。



MEMO

- 行間は 1 インチあたり 6 行 (6 lpi) です (lpi は、Line Per Inch の略で、1 インチあたりの行数を表す単位です)。
- 設定値が 1 増えると、ページ長が約 4.2 mm (1/6 インチ) 増えます。
- 操作パネルまたはコントロールコマンドによってミシン目スキップ行数が設定されている場合、実際の改ページ位置は、設定したページ長の位置より上になります。

ミシン目スキップ

ワイドモードで有効です。

MEMO

連続用紙のサイズについて

- 10 インチ×11 インチの連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、254.0 mm × 279.4 mm です。
- 15 インチ×11 インチの連続用紙の 1 ページあたりのサイズは、381.0 mm × 279.4 mm です。

■ ページフォーマットと印字範囲

用紙のサイズが小さい場合、<ESC/P 設定>の<領域>を<ワイド>に設定しても、印字領域拡大の効果があまり上がらないことがあります。🔴ESC/P 設定(P. 424)

MEMO

- 表中の文字数／行数は、<上余白>、<用紙位置微調整>、<右マージン既定値>がお買い上げ時の設定の場合です。

標準領域モード

(桁数 10 cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	78	67	54	35
	行数	63	54	42	28

実寸横	文字数	112	97	78	54
	行数	42	36	28	16
10 インチ→A4 縦	文字数	80	×	×	×
	行数	66	×	×	×
15 インチ→A4 横	文字数	136	×	×	×
	行数	66	×	×	×
B4→A4 縦	文字数	97	×	×	×
	行数	82	×	×	×
B4→A4 横	文字数	136	×	×	×
	行数	52	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。

ワイド領域モード

(桁数 10 cpi、行数 6 lpi)

ページフォーマット	印字範囲	A4	B5	A5	はがき
実寸縦	文字数	—	—	—	—
	行数	—	—	—	—
実寸横	文字数	—	—	—	—
	行数	—	—	—	—
10 インチ→A4 縦	文字数	80	×	×	×
	行数	68	×	×	×
15 インチ→A4 横	文字数	150	×	×	×
	行数	68	×	×	×
B4→A4 縦	文字数	104	×	×	×
	行数	88	×	×	×
B4→A4 横	文字数	150	×	×	×
	行数	61	×	×	×

×：印字不可能または印字データが欠落する場合があります。



関連項目

- 自動切り替えがうまくできないとき (P. 606)
- 動作モードを固定する (P. 608)

内蔵フォント ID と LIPS 内蔵フォント

4L33-08H

LBP322i と LBP321 では、内蔵フォントが異なります。詳しくは、**▶プリント機能(P. 545)** を参照してください。

- ▶内蔵フォント ID について(P. 624)
- ▶文字セットの属性について(P. 625)
- ▶LIPS II + 内蔵フォント一覧(P. 625)
- ▶LIPS III / LIPS4 内蔵フォント一覧(P. 627)



文字セットコード表

- 本機内蔵フォントのコード表（LIPS、ESC/P）は、オンラインマニュアルサイトで各動作モードのマニュアルを参照してください。

内蔵フォント ID について

本機に内蔵されているフォントの ID 番号は次のとおりです。

フォント名称	フォントID	フォント見本書体
Mincho-Medium-H	001	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Mincho-Medium-HPS	013	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Mincho-Medium	002	あいうえお かきくけこ 差氏巢背
Mincho-Medium-PS	014	あいうえお かきくけこ 差氏巢背
Gothic-Medium-H	003	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Gothic-Medium-HPS	015	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Gothic-Medium	004	あいうえお かきくけこ 差氏巢背
Gothic-Medium-PS	016	あいうえお かきくけこ 差氏巢背
LinePrinter-Bold	020	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Garland-Medium-HP	021	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij
Garland-Medium-H	022	ABCDEF GHI JKLMNO abcde fghij

文字セットの属性について

各文字セットは、次のような属性があります。

- **書体**
書体には、「明朝体」「ゴシック体」「ラインプリンター」「ガーランド」など多数の種類があります。
- **グラフィックセット**
あるグラフィックセットを選択すると、文字コードに対応するフォントパターンが決まります。グラフィックセットには、「ROMA」「KATA」「HIRA」といった各国語の文字に対応したものや、「N_hKEI」といった罫線や記号などがあります。
- **文字ピッチ**
文字を印刷する間隔です。固定ピッチでは、単位は「CPI（1 インチあたりの文字数）」で示され、コマンドで固定した文字ピッチで印刷されます。「プロポーションアル」の文字ピッチは固定ピッチではなく、各文字によって異なります。
- **サイズ**
文字の大きさをポイント数で示します。単位は「ポイント」で示します。1 ポイントは約 0.35 mm（1/72 インチ）です。「スケーラブル」のときは、属性として一定の文字サイズはありません。
- **スタイル**
スタイルには「直立体（Upright）」と「イタリック体（Italic）」があります。
- **太さ**
文字の太さには「標準（Medium）」「ボールド（Bold）」「ライト（Light）」があります。

LIPS II⁺ 内蔵フォント一覧

文字セット名称のあとにはグラフィックセットを付けて使用します。

【例】 ALP10.XXX → ALP10.ROMA

1 バイトビットマップフォント

【書体名】 ラインプリンター

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
ALP10.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	12.00	直立体	標準
ALP15.XXX		15.00	7.20		
ALP1125.XXX		11.25	9.60		

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
A1224M.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA、HIRA、N_hKEI	20.00	7.20	直立体	標準
A1632M.XXX		15.00	9.60		
A2040M.XXX		12.00	12.00		

A2412M.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	3.60		
A3216M.XXX		7.50	4.80		
A4020M.XXX		6.00	6.00		

【書体名】 ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
A1224G.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA、HIRA、N_hKEI	20.00	7.20	直立体	標準
A1632G.XXX		15.00	9.60		
A2040G.XXX		12.00	12.00		
A2412G.XXX	ROMA、N_USA、N_JPN、KATA	10.00	3.60		
A3216G.XXX		7.50	4.80		
A4020G.XXX		6.00	6.00		

【書体名】 Garland

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Garland10.XXX	ROMA、N_Jpn、N/USA、N/GER、N/SWD、N/JPN、N/UK、N_UK、N_USA、N_SWD、N_JPN、N_GER、N_KATA、N_HIRA、N_GRF	10.00	10.80	直立体	標準
Garland12.XXX		12.00			
Garland17.XXX		17.15			
GarlandPS11.XXX		プロポーショナル			

2バイトビットマップフォント

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
K24M.XXX	J78、J83	10.00	7.20	直立体	標準
K32M.XXX		7.50	9.60		
K40M.XXX		6.00	12.00		

【書体名】 ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
K24G.XXX	J78、J83	10.00	7.20	直立体	標準
K32G.XXX		7.50	9.60		
K40G.XXX		6.00	12.00		

LIPS III／LIPS4 内蔵フォント一覧

文字セット名称のあとにはグラフィックセットを付けて使用します。

【例】 Nc courier10.XXX → Nc courier10.ISO_UK

グラフィックセットの「」～「」については、MEMO の表を参照してください。

1 バイトビットマップフォント

【書体名】 Courier

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Nc courier10.XXX	   	10.00	12.00	直立体	標準
Nc courier10I.XXX				イタリック体	
Nc courier10B.XXX				直立体	ボールド
Nc courier15.XXX	  	15.00	8.16		標準
Nc courier17.XXX		16.66	8.16		
Nc courier20.XXX	  	20.00	7.20		
		13.60	8.16		

1 バイトスケーラブルフォント

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Mincho-Medium-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
Mincho-Medium-HPS.XXX	ROMA、KATA	プロポーショナル			

【書体名】 ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Gothic-Medium-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	標準
Gothic-Medium-HPS.XXX	ROMA、KATA	プロポーショナル			

【書体名】 丸ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
---------	-----------	-------	-----	------	----

RoundGothic-Light-H.XXX	ROMA、KATA、HIRA	固定	スケーラブル	直立体	ライト
-------------------------	----------------	----	--------	-----	-----

【書体名】 ラインプリンター

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
LinePrinter-Bold.XXX	ROMA、KATA	固定	スケーラブル	直立体	ボールド

【書体名】 Courier

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Ncourier.XXX		固定	スケーラブル	直立体	標準
Ncourier-Bold.XXX					ボールド
Ncourier-Italic.XXX				イタリック体	標準
Ncourier-BoldItalic.XXX					ボールド

【書体名】 Swiss

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Swiss.XXX		プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
Swiss-Bold.XXX					ボールド
Swiss-Oblique.XXX				イタリック体	標準
Swiss-BoldOblique.XXX					ボールド

【書体名】 Dutch

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Dutch-Roman.XXX		プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準
Dutch-Bold.XXX					ボールド
Dutch-Italic.XXX				イタリック体	標準
Dutch-BoldItalic.XXX					ボールド

【書体名】 Symbol

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Symbol.XXX	SYML、SYMR	プロポーショナル	スケーラブル	直立体	標準



- 1 バイトビットマップフォント表と 1 バイトスケーラブルフォント表の「a」～「f」の部分には、次のようなグラフィックセットが入ります。

a	ISO_UK、ISO_USA、ISO_S/F、ISO_N/D、ISO_JPN、ISO_GER、ISO_FRC、ISO_ITY、ISO_SPN
b	88_UK、92_NL、92_UK、92_SWD、92_GER、92_FRC、96M_UK、96M_USA、96M_S/F、96M_N/D、96M_GER、96M_FRC、96X_USA、96P_UK96P_USA96P_S/F96P_NOR96P_GER96P_FRC
c	CN_CND、CN_NL、CN_SWS、CN_UK、CN_USA、CN_SWD、CN_N/D、CN_JPN、CN_GER、CN_FRC
d	IBMR1、IBMR2、IBM850、IBMP、IBM860、IBM863、IBM865、IBML
e	IBMR1、IBMR2、IBM850、IBM819、IBMP、IBM860、IBM863、IBM865、IBM1004、IBML、IBML2、Win31L、Win31R、TURKISH
f	PSR、PSL

2 バイトスケーラブルフォント

【書体名】 明朝体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Mincho-Medium.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
Mincho-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

【書体名】 角ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
Gothic-Medium.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	標準
Gothic-Medium-PS.XXX		プロポーショナル			

【書体名】 丸ゴシック体

文字セット名称	グラフィックセット	文字ピッチ	サイズ	スタイル	太さ
RoundGothic-Light.XXX	J78、J90	固定	スケーラブル	直立体	ボールド

ダンプリスト

4L33-08J

- ▶ヘキサダンプリスト(P. 630)
- ▶LIPS ダンプリスト(P. 630)

ヘキサダンプリスト

操作パネルの設定メニューにある<動作モード選択>で< HEX-DUMP >を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、16進コードで印刷します。 **動作モード選択(P. 405)**

[illegible]

- 1 行に 32 バイトの 16 進コードを印字します。
- 16 進コードに対応する文字をリストの右側に印字します。
- A4 サイズでのみ印刷できます。

LIPS ダンプリスト

操作パネルの設定メニューにある<動作モード選択>で< LIPS-DUMP >を選択すると、パソコンから送信されたデータを図形や文字に変換せずに、LIPS のコントロールコマンドの形式で印刷します。▶動作モード選択(P. 405)

Version : /FT5J07

Page : 1

```

0000  FF  9  FF  3  nu di J F I F nu sh sh sh nu ` nu ` nu nu FF 0 nu C nu eq ex et
0018  et et ex eq et et et eq eq eq ak bl ff bs bl bl bl bl bl si vt vt ht ff dl si
0036  d2 d2 d1 si d1 d1 d3 sy fs eb d3 d4 sb nk d1 d1 cn ! cn sb gs gs us us us
0054  d3 eb " $ " rs $ fs rs us rs FF 0 nu C sh eq eq eq bl ak bl so bs bs so rs
0072  d4 d1 d4 rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs
0090  rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs rs
0108  rs rs rs FF 9 nu dl bs nu d3 nu en ex sh " nu sx dl sh ex dl sh FF t nu us
0126  nu nu sh eq sh sh sh sh sh sh nu nu nu nu nu nu nu nu sh sx ex et eq ak bl
0144  bs ht lf vt FF t nu 8 dl nu sx sh ex ex sx et ex eq eq et et mu nu sh ; sh
0162  sx ex nu et dl eq d2 ! 1 A ak d3 0 a bl " a d4 2 8l 9l . bs # 7 7 nk R A Z $

```

- 現在選択されている給紙部の用紙サイズで印刷します。

枠囲みパターンについて

コマンドとして解釈できるものは、コマンド単位に枠で囲み印字されます。テキストモードからベクタモードへ、またはベクタモードからテキストモードへ移行した場合は、改行によって区別します。

改行・改ページを示す記号



lf (改行)、vt (垂直タブ)、nl (復帰改行) による改行を伴うコマンド、または ff (改ページ) による改ページを伴うコマンドがあった場合に印字されます。

【例】 If |

異常終了を知らせる記号



命令終了コードが送られる前に、命令開始コードが送られた場合、または、16進コードのダウンロードで16進コード以外の文字が送られた場合に印字されます。

【例】

00000 ec[ec[5 m ABCD

■LIPS ダンプリストの文字・記号の表記

	0	1	7	8	9	F
0	nu(NUL)	dl(DLE)		80	dc(DCS)	
1	sh(SHO)	d1(DC1)		81	91	
2	sx(STX)	d2(DC2)		82	92	
3	ex(ETX)	d3(DC3)		83	93	
4	et(EOT)	d4(DC4)		ix(IDX)	94	
5	eq(ENQ)	nk(NAK)		nl(NEL)	95	
6	ak(ACK)	sy(SYN)		86	96	

	0	1	7	8	9	F
7	bl(BEL)	eb(ETB)		87	97	
8	bs(BS)	cn(CAN)		hs(HTS)	98	
9	ht(HT)	em(EM)		89	99	
A	lf(LF)	sb(SUB)		vs(VTS)	9A	
B	vt(VT)	ec(ESC)		pd(PLD)	cs(CSI)	
C	ff(FF)	fs(FS)		pu(PLU)	st(ST)	
D	cr(CR)	gs(GS)		ri(RI)	9D	
E	so(SO)	rs(RS)		s2(SS2)	9E	
F	si(SI)	us(US)	de(DEL)	s3(SS3)	9F	FF(DEL)

ベクタモードの LIPS ダンプリスト

- 命令は全角文字で印字されます
- パラメーターは 10 進コードで、文字パターンは 16 進コードでそれぞれ印字されます。
- パラメーターが 2 つ以上連続するときは、パラメーターの間にスペースが入ります。



- 通常の文字で印字されるデータはそのまま印字されます。
- ダウンロードするデータが多い場合は、先頭から 20 バイトと最後から 20 バイトのみを印字し、その間のデータを印字しません。
- 文字コード 20h (16 進コード) は「」、文字コード A0h (16 進コード) は「A0」で印字されます。
- 制御コードは大文字で、省略記号は小文字で印字されます。

【例】改ページ → ff FFh (16 進コード) → FF

おことわり

4L33-08K

■国際エネルギー星プログラムについて



国際エネルギー星プログラムは、コンピュータをはじめとしてオフィス機器の省エネルギー化推進のための、国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により、参加することができる任意制度となっています。

■IPv6 Ready Logo について



本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-2 を取得しています。

■高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

■物質エミッションの拡散に関する認定基準について

本製品は、エコマーク基準の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。(トナーは本製品推奨トナーを使用し、印刷を行った場合について、エコマーク基準に基づき試験を実施しました。)

■免責事項

- 本書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- キヤノン株式会社は、ここに定める場合を除き、市場性、商品性、特定使用目的の適合性、または特許権の非侵害性に対する保証を含め、明示的または暗示的にかかわらず本書に関していかなる種類の保証を負うものではありません。キヤノン株式会社は、直接的、間接的、または結果的に生じたいかなる自然の損害、あるいは本書をご利用になったことにより生じたいかなる損害または費用についても、責任を負うものではありません。
- PDF 形式のマニュアルを見ると、Adobe Reader が使用できない場合は、Vivid Document Imaging Technologies 社製の PDF Preview などをお使いください。

■商標について

Adobe、Acrobat、Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。

Apple、Bonjour、iPad、iPhone、iPod touch、Safari、Mac、macOS および OS X は、Apple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows Server、Internet Explorer、Microsoft Edge、Excel および PowerPoint は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

iOS は、米国および他の国々で登録された Cisco の商標であり、ライセンスに基づいて使用しています。

「MEAP」は、キヤノンの複合機ならびにプリンターに搭載された「アプリケーションプラットフォーム」についてのキヤノン株式会社の商標です。

Mopria®, the Mopria® Logo and the Mopria® Alliance logo are registered trademarks and service marks of Mopria Alliance, Inc. in the United States and other countries. Unauthorized use is strictly prohibited.

Google Cloud Print、Google Chrome、Android は、Google Inc.の登録商標または商標です。

下記の書体は米国 Bitstream Inc.よりライセンスを受けています。

Dutch 801 Bold, Dutch 801 Bold Italic, Dutch 801 Italic, Dutch 801 Roman, Swiss 721, Swiss 721 Bold, Swiss 721 Bold Oblique, Swiss 721 Oblique, Symbol, Fixed Pitch 810 Courier 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Oblique 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold 10 Pitch/Text, Fixed Pitch 810 Courier Bold Oblique 10 Pitch/Text

下記の書体は米国 Bitstream Inc.の商標です。

Dutch 801, Swiss 721

© Copyright 1987, Bitstream Inc., Cambridge Massachusetts USA. All rights reserved.

UFST: Copyright © 1989 - 1996, 1997, 2003, 2004, 2008, all rights reserved, by Monotype Imaging Inc.

This product contains the Universal Font Scaling Technology or UFST® under license from Monotype Imaging, Inc. UFST® is a trademark of Monotype Imaging, Inc. registered in the United States Patent and Trademark Office and may be registered in certain jurisdictions.



Java and all Java based trademarks and logos are trademarks or registered trademarks of Oracle and/or its affiliates.



Copyright © 2007 -08 Adobe Systems Incorporated. All rights reserved.

Protected by U.S. Patents 5,737,599; 5,781,785; 5,819,301; 5,929,866; 5,943,063; 6,073,148; 6,515,763; 6,639,593; 6,754,382; 7,046,403; 7,213,269; 7,242,415; Patents pending in the U.S. and other countries.

All instances of the name PostScript in the text are references to the PostScript language as defined by Adobe Systems Incorporated unless otherwise stated. The name PostScript also is used as a product trademark for Adobe Systems' implementation of the PostScript language interpreter.

Except as otherwise stated, any reference to a "PostScript printing device," "PostScript display device," or similar item refers to a printing device, display device or item (respectively) that contains PostScript technology created or licensed

by Adobe Systems Incorporated and not to devices or items that purport to be merely compatible with the PostScript language.

Adobe, the Adobe logo, PostScript, the PostScript logo, and PostScript 3 are either registered trademarks or trademarks of Adobe Systems Incorporated in the United States and/or other countries.

Linux is a registered trademark of Linus Torvalds. Microsoft and Windows are either registered trademarks or trademarks of Microsoft Corporation in the United States and/or other countries.

All other trademarks are the property of their respective owners.

その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■著作権

本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。

■原稿などを読み込む際の注意事項

著作物、通貨、有価証券、公文書などを原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられることがありますのでご注意ください。

著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製、加工することは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製すると、肖像権が問題となることがあります。

通貨、有価証券など

次のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

公文書など

次のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

関係法律について

- 刑法
- 郵便法

- 著作権法
- 郵便切手類模造等取締法
- 通貨及証券模造取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 印紙等模造取締法

■資源再利用について

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

使用済みプリンターの受け入れ場所について

使用済みとなったプリンターにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンターのリサイクルを推進しています。

使用済みのプリンターの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

使用済みトナーカートリッジなどの回収について

使用済みとなったトナーカートリッジなどにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。



キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みトナーカートリッジの回収とリサイクルを推進しています。

使用済みトナーカートリッジの回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。

なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋などに入れて、地域の条例に従い処分してください。

V_190320

This Font Software is licensed under the SIL Open Font License, Version 1.1.
This license is copied below, and is also available with a FAQ at:
<https://openfontlicense.org>

SIL OPEN FONT LICENSE Version 1.1 - 26 February 2007

PREAMBLE

The goals of the Open Font License (OFL) are to stimulate worldwide development of collaborative font projects, to support the font creation efforts of academic and linguistic communities, and to provide a free and open framework in which fonts may be shared and improved in partnership with others.

The OFL allows the licensed fonts to be used, studied, modified and redistributed freely as long as they are not sold by themselves. The fonts, including any derivative works, can be bundled, embedded, redistributed and/or sold with any software provided that any reserved names are not used by derivative works. The fonts and derivatives, however, cannot be released under any other type of license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the fonts or their derivatives.

DEFINITIONS

"Font Software" refers to the set of files released by the Copyright Holder(s) under this license and clearly marked as such. This may include source files, build scripts and documentation.

"Reserved Font Name" refers to any names specified as such after the copyright statement(s).

"Original Version" refers to the collection of Font Software components as distributed by the Copyright Holder(s).

"Modified Version" refers to any derivative made by adding to, deleting, or substituting -- in part or in whole -- any of the components of the Original Version, by changing formats or by porting the Font Software to a new environment.

"Author" refers to any designer, engineer, programmer, technical writer or other person who contributed to the Font Software.

PERMISSION & CONDITIONS

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of the Font Software, to use, study, copy, merge, embed, modify, redistribute, and sell modified and unmodified copies of the Font Software, subject to the following conditions:

1) Neither the Font Software nor any of its individual components,

in Original or Modified Versions, may be sold by itself.

2) Original or Modified Versions of the Font Software may be bundled, redistributed and/or sold with any software, provided that each copy contains the above copyright notice and this license. These can be included either as stand-alone text files, human-readable headers or in the appropriate machine-readable metadata fields within text or binary files as long as those fields can be easily viewed by the user.

3) No Modified Version of the Font Software may use the Reserved Font Name(s) unless explicit written permission is granted by the corresponding Copyright Holder. This restriction only applies to the primary font name as presented to the users.

4) The name(s) of the Copyright Holder(s) or the Author(s) of the Font Software shall not be used to promote, endorse or advertise any Modified Version, except to acknowledge the contribution(s) of the Copyright Holder(s) and the Author(s) or with their explicit written permission.

5) The Font Software, modified or unmodified, in part or in whole, must be distributed entirely under this license, and must not be distributed under any other license. The requirement for fonts to remain under this license does not apply to any document created using the Font Software.

TERMINATION

This license becomes null and void if any of the above conditions are not met.

DISCLAIMER

THE FONT SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF COPYRIGHT, PATENT, TRADEMARK, OR OTHER RIGHT. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE FONT SOFTWARE OR FROM OTHER DEALINGS IN THE FONT SOFTWARE.